



CX421、CX522、CX622、CX625、 MC2325、MC2425、MC2535、 MC2640、XC2235、XC4240 MFP

ユーザーズガイド

2024 年 7 月

www.lexmark.com

機種タイプ:

7529

モデル:

081、230、238、436、486、496、636、638、686、698、836、838、898

目次

安全に関する情報	8
表記規則.....	8
製品ステートメント.....	8
プリンタについての確認	11
プリンタに関する情報を見つける.....	11
プリンタの設置場所を選択する.....	12
プリンタ構成.....	13
ケーブルを接続する.....	14
プリンタのシリアル番号を確認する.....	16
操作パネルを使用する	18
Lexmark CX421、MC2325、MC2425 MFP パネル.....	18
Lexmark CX522、CX622、MC2535、MC2640、XC2235 MFP パネル.....	19
Lexmark CX625 および Lexmark XC4240 MFP パネル.....	20
電源ボタンとインジケータランプの状態について理解する.....	20
ホーム画面のアプリケーションをセットアップして使用する	22
ホーム画面を使用する.....	22
ホーム画面をカスタマイズする.....	23
サポートされるアプリケーション.....	23
[ID カードコピー] を設定する.....	23
ショートカットを作成する.....	24
ディスプレイのカスタマイズを使用する.....	24
スキャンセンターを設定する.....	25
デバイスクォータを設定する.....	25
QR コードジェネレータを使用する.....	26
ECO 設定を行う.....	26
カスタマサポートを使用する.....	26
クラウドコネクタプロファイルを作成する.....	26
ブックマークを管理する.....	27
ブックマークを作成する.....	27
フォルダを作成する.....	28
連絡先を管理する.....	28
連絡先を追加する.....	28

グループを追加する.....	28
連絡先またはグループを編集する.....	29
連絡先またはグループを削除する.....	29
アクセシビリティ機能をセットアップして使用する.....	30
拡大モードを有効にする.....	30
音声ガイダンスを有効にする.....	30
音声ガイダンスのスピーチ速度を調整する.....	30
ジェスチャを使用して画面を操作する.....	30
ディスプレイのキーボードを使用する.....	31
音声のパスワードまたは個人 ID 番号を有効にする.....	31
用紙と特殊用紙をセットする.....	32
用紙のサイズとタイプを設定する.....	32
ユニバーサル用紙設定を構成する.....	32
用紙をトレイにセットする.....	32
手差しトレイに用紙をセットする.....	34
手差しフィーダに用紙をセットする.....	35
トレイのリンク.....	37
用紙サポート.....	38
サポートされている用紙サイズ.....	38
サポートされている用紙タイプ.....	40
サポートされている用紙の重さ.....	40
使用できない用紙.....	41
再生紙を使用する.....	42
印刷.....	43
コンピュータから印刷する.....	43
モバイルデバイスから印刷する.....	43
フラッシュメモリから印刷する.....	44
サポートされているフラッシュメモリとファイルタイプ.....	45
コンフィデンシャルジョブを設定する.....	46
コンフィデンシャルジョブおよびその他の保留ジョブを印刷する.....	46
クラウドコネクタプロファイルからの印刷.....	47
フォントサンプルリストを印刷する.....	48
ディレクトリリストを印刷する.....	48

コピー	49
自動原稿フィーダーと原稿台を使用する.....	49
コピーを実行する.....	49
写真をコピーする.....	49
レターヘッド紙にコピーする.....	50
用紙の両面にコピーする.....	50
コピーを縮小または拡大する.....	50
部単位印刷する.....	50
コピーの区切りとして挿入紙を挿入する.....	51
1枚の用紙に複数ページをコピーする.....	51
コピーショートカットを作成する.....	51
Eメールで送信する	52
自動原稿フィーダーと原稿台を使用する.....	52
Eメール SMTP 設定を構成する.....	52
Eメールを送信する.....	59
Eメールショートカットを作成する.....	60
FAX	61
自動原稿フィーダーと原稿台を使用する.....	61
プリンタを設定して Fax を送信する.....	61
Fax を送信する.....	70
FAX をスケジュール設定する.....	71
FAX 宛先のショートカットを作成する.....	71
FAX の解像度変更.....	72
FAX の濃度を調整する.....	72
FAX ログを印刷する.....	73
迷惑 FAX のブロック.....	73
FAX の保留.....	73
Fax の転送.....	73
スキャン	75
自動原稿フィーダーと原稿台を使用する.....	75
コンピュータへのスキャン.....	75
FTP サーバーにスキャンデータを送信する.....	76
ショートカットを使用してネットワークフォルダにスキャンする.....	77

FTP ショートカットを作成する.....	77
フラッシュドライブにスキャンする.....	78
クラウドコネクタプロファイルにスキャンする.....	79
プリンタメニューを理解する.....	80
メニューマップ.....	80
デバイス.....	81
印刷.....	95
用紙.....	103
コピー.....	106
FAX.....	109
E メール.....	121
FTP.....	129
USB ドライブ.....	133
ネットワーク/ポート.....	138
セキュリティ.....	149
レポート.....	156
ヘルプ.....	157
問題に対処する.....	158
メニュー設定ページを印刷する.....	158
プリンタを保護する.....	159
セキュリティスロットの場所.....	159
プリンタメモリを消去する.....	159
プリンタハードディスクメモリを消去する.....	160
プリンタのハードディスクを暗号化する.....	160
出荷時初期設定を復元する.....	160
揮発性に関する記述.....	160
プリンタのメンテナンス.....	162
消耗品通知を設定する.....	162
E メールアラートをセットアップする.....	162
レポートを表示する.....	162
スピーカー音量の調整.....	163
ネットワーク.....	164
プリンタ部品の清掃.....	168
部品と消耗品を注文する.....	172

消耗品を交換する.....	176
プリンタを移動する.....	188
電力と用紙を節約する.....	189
リサイクル.....	190
紙詰まりを取り除く.....	191
紙詰まりを防止する.....	191
紙詰まりの場所を確認する.....	192
トレイの紙詰まり.....	193
ドア A の紙詰まり.....	193
ドア C の紙詰まり.....	199
標準排紙トレイの紙詰まり.....	199
多目的フィーダの紙詰まり.....	203
手差しフィーダーの紙詰まり.....	204
問題に対処する.....	205
印刷品質の問題.....	205
印刷の問題.....	206
プリンタが応答していない.....	229
フラッシュメモリを読み取れない.....	230
USB ポートの有効化.....	231
ネットワーク接続の問題.....	231
ハードウェアオプションの問題.....	233
消耗品の問題.....	235
給紙の問題.....	236
色品質の問題.....	240
E メールの問題.....	243
FAX に関するトラブル.....	243
スキャンに関するトラブル.....	248
カスタマサポートに問い合わせる.....	254
アップグレードと移行.....	255
ハードウェア.....	255
ソフトウェア.....	265
ファームウェア.....	267

通知.....	269
索引.....	277

安全に関する情報

表記規則

メモ: メモは、役立つ情報を示します。

注意: 注意は、製品本体またはソフトウェアに障害を与える可能性のある場合を示します。

警告: 警告は、人体に損傷を与える可能性のある、潜在的に危険な状況を示します。

以下の警告文があります。

-  **注意—傷害の恐れあり:** 損傷の危険性を示します。
-  **注意—感電危険:** 感電の危険性を示します。
-  **注意—表面高温:** 接触した場合、火傷を起こす危険性を示します。
-  **注意—転倒危険:** 押しつぶしの危険性を示します。
-  **注意—挟み込み危険:** 動作している部品の間にはさまれる危険があることを示します。

製品ステートメント

-  **注意—傷害の恐れあり:** 火災や感電の危険を避けるため、製品の近くにあって簡単にアクセスでき、正しく接地され、定格を守ったコンセントに電源コードを接続してください。
-  **注意—傷害の恐れあり:** 火災や感電の危険を避けるため、製品に同梱されている電源コード、または製造元が代替品として認可した電源コードのみを使用してください。
-  **注意—傷害の恐れあり:** 本製品をご使用の際は、延長コードや、複数コンセントの電源タップ、多口の延長プラグ、UPS 機器に接続しないでください。このようなタイプのアクセサリは、レーザープリンタを接続すると簡単に電力容量を超過してしまい、火災、機器の故障、プリンタの性能低下などの原因になる可能性があります。
-  **注意—傷害の恐れあり:** 本製品とともに使用できるのは、プリンタと付属の電源コードの間に適切に接続できる Lexmark インラインサージプロテクタのみです。Lexmark 以外のサージプロテクタを使用すると、火災、物的損傷、プリンタの性能低下などが起こるおそれがあります。
-  **注意—傷害の恐れあり:** 火災発生の恐れがないように、本製品を公共電話回線ネットワークに接続する場合は、26 AWG 以上の太さの電気通信ケーブル (RJ-11) のみを使用してください。オーストラリアで使用する場合は、ケーブルはオーストラリア通信メディア庁によって承認されているものである必要があります。
-  **注意—感電危険:** 感電の危険を避けるため、本製品を水に濡れる恐れのある場所に置いたり、そのような場所で使用しないでください。
-  **注意—感電危険:** 感電の危険を避けるため、雷雨時には、本製品のセットアップや、電源コード、FAX、電話など、電氣的な接続を行わないでください。
-  **注意—傷害の恐れあり:** 電源コードを切断したり、結んだり、束ねたり、傷を付けたりしないでください。また、コードの上に重いものを置いたりしないでください。電源コードがこすれたり、引っ張られたりする状態で使用しないでください。電源コードを家具や壁などの間に挟まないでください。以上のことを守らないと、火災や感電の原因になる恐れがあります。電源コードが以上の状態になっていないか、定期的に確認してください。確認の前には、電源コードをコンセントから抜いてください。

-  **注意—感電危険:** 感電の危険を避けるため、イーサネットおよび電話線の接続など、すべての外部接続が表示どおりのポートに正しく行われていることを確認してください。
-  **注意—感電危険:** 感電の危険を避けるため、プリンタの設置後にコントローラボードにアクセスしたり、オプションのハードウェアやメモリデバイスを取り付ける場合、作業を行う前にプリンタの電源を切り、コンセントから電源コードを抜いてください。他のデバイスがプリンタに接続されている場合は、他のデバイスの電源も切り、プリンタに接続しているケーブルを抜きます。
-  **注意—感電危険:** 感電の危険を避けるため、雷のときは、FAX を使用しないでください。
-  **注意—感電危険:** 感電の危険を避けるため、プリンタの外側の掃除を始める前に電源コードをコンセントから抜き、プリンタのすべてのケーブルを外します。
-  **注意—傷害の恐れあり:** プリンタの重量が 20 kg (44 ポンド) 以上ある場合、安全に持ち上げるには 2 名以上の人が必要になることがあります。
-  **注意—傷害の恐れあり:** プリンタを移動するときは、けがやプリンタの破損を避けるため、以下のガイドラインに従ってください。
- すべてのドアとトレイが閉じられていることを確認します。
 - プリンタの電源を切り、電源コードをコンセントから抜きます。
 - プリンタからコードやケーブル類をすべて取り外します。
 - プリンタに別途フロアスタンド型オプショントレイまたは排紙オプションが取り付けられている場合は、それらを取り外してからプリンタを移動します。
 - プリンタにキャスターベースがある場合は、慎重に新しい場所に移動します。しきいや床の割れ目を通るときは注意してください。
 - プリンタにキャスターベースがなく、オプションのトレイまたは排紙オプションで構成されている場合は、排紙オプションを取り外してからプリンタをトレイから取り外します。どのオプションの場合も、プリンタと同時に持ち上げないでください。
 - 必ずプリンタの持ち手を使用してプリンタを持ち上げます。
 - プリンタの移動に台車を使用する場合は、プリンタの底面全体を載せられる台車を使用してください。
 - オプションの移動に台車を使用する場合は、オプション全体を載せられる台車を使用してください。
 - プリンタは直立状態に保ってください。
 - 急激な動きは避けてください。
 - 下に置くときにプリンタの下に指が入らないようにしてください。
 - プリンタの周囲に十分なスペースがあることを確認します。
-  **注意—転倒危険:** プリンタまたは MFP に 1 つ以上のオプションを取り付ける場合は、けがを防ぐためにキャスターベース、ファニチャ、または他のフィーチャを使用して安定させる必要があります。サポートされる構成の詳細については、www.lexmark.com/multifunctionprinters を参照してください。
-  **注意—転倒危険:** 本機が不安定にならないように、用紙トレイは個別にセットしてください。その他のすべてのトレイは必要になるまで閉じた状態にします。
-  **注意—表面高温:** プリンタの内部は高温になっている場合があります。高温になったコンポーネントで火傷などを負わないように、表面が冷えてから触れてください。
-  **注意—挟み込み危険:** 挟み込みを防止するため、このラベルが貼られている作業領域では、十分注意してください。挟み込みによる負傷は、ギア、ドア、トレイ、およびカバーなどの動作している部品の周りで起こる可能性があります。
-  **注意—傷害の恐れあり:** 本製品はレーザーを使用しています。『ユーザーズガイド』に記載されている手順以外の制御、調整などを行うと、有害な放射にさらされる恐れがあります。

 **注意—傷害の恐れあり:** この製品に使用されているリチウム電池は、交換を前提としていません。リチウム電池の交換を誤ると破裂する危険性があります。リチウム電池の再充電、分解、焼却は行わないでください。使用済みのリチウム電池を廃棄する際は、製造元の指示およびお使いの地域の法律に従ってください。

本機は、特定のメーカーのコンポーネントとともに使用した場合に、安全性に関する厳しい世界標準を満たすように設計、テスト、承認されています。一部の部品の安全性に関する機能は開示されていない場合があります。メーカーは、他の交換部品の使用については責任を負わないものとします。

取扱説明書に記載以外の事項については、サービス担当者にお尋ねください。

本製品は印刷処理において印刷用紙を加熱するため、この熱が原因で用紙から有害ガスが発生する可能性があります。操作説明書に記載されている、用紙選択についてのセクションをよく読み、有害ガスが放出されないようにしてください。

この製品は、通常の操作中に少量のオゾンが発生する可能性があるため、推奨される被爆制限値をはるかに下回るレベルまでオゾンの濃度を抑制するよう設計されたフィルタが取り付けられています。非常に頻繁に使用してもオゾンの濃度レベルが高くなるように、この製品は換気のよいエリアに設置し、製品の保守説明に記載されているとおり、オゾンおよび排気フィルタを交換してください。フィルタに関する記述が製品の保守説明に見当たらない場合、この製品には交換が必要なフィルタが搭載されていないことを意味します。

この手引きを大切に保管してください。

プリンタについての確認

プリンタに関する情報を見つける

検索する場所	入手先
初期設定の手順	詳細については、プリンタに同梱されているセットアップマニュアルを参照してください。
<ul style="list-style-type: none"> プリンタソフトウェア 印刷または FAX ドライバ プリンタファームウェア ユーティリティ 	<p>www.lexmark.com/downloads にアクセスし、プリンタ機種を検索して、[タイプ]メニューで必要なドライバ、ファームウェア、またはユーティリティを選択します。</p>
<ul style="list-style-type: none"> 用紙および特殊用紙を選択して保存する 用紙をセットする プリンタ設定を構成する ドキュメントおよび写真を表示して印刷する ネットワーク上でプリンタを構成する プリンタの手入れと保守を実施する 問題に対処して解決する 	<p>インフォメーションセンター—https://infoserve.lexmark.com にアクセスします。</p> <p>使い方ビデオ—https://infoserve.lexmark.com/idv/ を参照してください。</p> <p>[ヘルプ]メニューページ—プリンタのファームウェアのガイドを参照するか、http://support.lexmark.com を参照してください。</p> <p>タッチ画面ガイド—http://support.lexmark.com を参照してください。</p>
プリンタのユーザー補助機能のセットアップと設定	Lexmark アクセシビリティガイド— http://support.lexmark.com を参照してください。
プリンタソフトウェアの使用に関するヘルプ情報	<p>Microsoft Windows または Macintosh のオペレーティングシステムのヘルプ—プリンタソフトウェアプログラムまたはアプリケーションを開き、[ヘルプ]をクリックします。</p> <p> をクリックすると、状況に対応した情報が表示されます。</p> <p>メモ:</p> <ul style="list-style-type: none"> ヘルプシステムはプリンタソフトウェアとともに自動的にインストールされます。 オペレーティングシステムに応じて、プリンタソフトウェアは、プリンタのプログラムフォルダまたはデスクトップにあります。
<ul style="list-style-type: none"> マニュアル ライブチャットサポート Eメールサポート 電話サポート 	<p>http://support.lexmark.com を参照してください。</p> <p>メモ: 国または地域を選択してから、製品を選択し、該当するサポートサイトを表示します。お住まいの国または地域を担当するサポートの連絡先情報については、Web サイトまたはプリンタに同梱されている書面の保証書でご確認ください。</p> <p>カスタマサポートにお問い合わせの際には、次の情報を手元に用意しておいてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ご購入の場所と日付 プリンタタイプとシリアル番号 <p>詳細については、「プリンタのシリアル番号を確認する」、16 ページ を参照してください。</p>
<ul style="list-style-type: none"> 安全情報 規制情報 保証情報 環境情報 	<p>保証情報は国または地域によって異なります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 米国—プリンタに同梱されている『限定保証宣言』を参照するか、http://support.lexmark.com を参照してください。 その他の国および地域—プリンタに同梱されている書面の保証書をご覧ください。 <p>『製品情報ガイド』—詳細については、プリンタに同梱されているマニュアルを参照するか、http://support.lexmark.com を参照してください。</p>

プリンタの設置場所を選択する

- トレイ、カバー、ドアを開くためのスペースを十分確保し、ハードウェアオプションを取り付けます。
- プリンタをコンセントの近くにセットします。
- 
注意—傷害の恐れあり: 火災や感電の危険を避けるため、製品の設置場所の近くでアクセスしやすく、正しく接地され定格を守ったコンセントに、電源コードを接続します。
- 
注意—感電危険: 感電の危険を避けるため、本製品を水に濡れる恐れのある場所に置いたり、そのような場所で使用しないでください。
- 室内の空気の流れが最新版の ASHRAE 62 基準または CEN Technical Committee 156 基準を満たしていることを確認します。
- 設置面が平らかつ丈夫で、安定していることを確認します。
- プリンタを以下の状態に保ちます。
 - 清潔で乾燥した、ほこりのない状態にする。
 - ホチキスや紙クリップを近くに置かない。
 - エアコン、ヒーター、換気装置の風が直接当たらないようにする。
 - 直射日光、極度の湿気を避ける。
- 温度範囲を確認します。

動作温度	10 ~ 32.2°C (50 ~ 90°F)
------	-------------------------

- 適切な通気を保つために、プリンタの周囲に以下のスペースを確保することをお勧めします。



1	上部	305 mm (12 インチ)
2	背面	102 mm (4 インチ)
3	右側	76 mm (3 インチ)
4	前面	508 mm (20 インチ) メモ: 機器の前面に、最低 76 mm (3 インチ) のスペースが必要です。
5	左側	76 mm (3 インチ)

プリンタ構成

⚠ 注意—転倒危険: プリンタまたは MFP に 1 つ以上のオプションを取り付ける場合は、けがを防ぐためにキャスタベース、ファニチャ、または他のフィーチャを使用して安定させる必要があります。サポートされる構成の詳細については、www.lexmark.com/multifunctionprinters を参照してください。

⚠ 注意—転倒危険: 本機が不安定にならないように、用紙トレイは個別にセットしてください。その他のすべてのトレイは必要になるまで閉じた状態にします。

プリンタ機種に応じて、オプションの 650 枚デュオトレイ、または 650 枚デュオトレイと 550 枚トレイの両方を追加してプリンタを構成できます。詳細については、「[オプショントレイを取り付ける](#)」、[264 ページ](#) を参照してください。



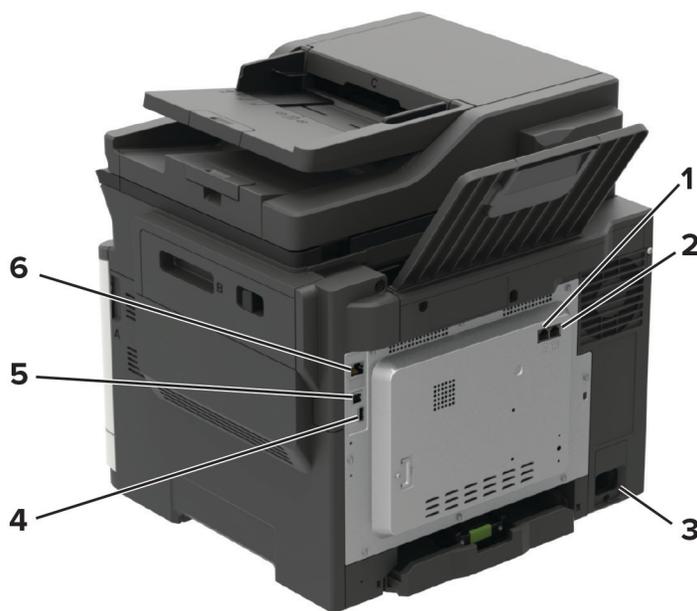
1	自動原稿フィーダー(ADF)
2	ADFトレイ
3	標準排紙トレイ
4	ADF 排紙トレイ
5	標準の 250 枚トレイ
6	オプション 650 枚デュオトレイ メモ: このトレイは、一部のプリンタ機種でのみ使用できます。

7	オプションの 550 枚トレイ メモ: このトレイは、一部のプリンタ機種でのみ使用できます。
8	手差しフィーダー
9	操作パネル メモ: 外観は、お使いのプリンタ機種によって異なります。

ケーブルを接続する

-  **注意—感電危険:** 感電の危険を避けるため、雷雨時には本機のセットアップや、電源コード、FAX 機能、電話などの電氣的接続またはケーブル接続を行わないでください。
-  **注意—傷害の恐れあり:** 火災や感電の危険を避けるため、製品の設置場所の近くにある、アクセスしやすい、正しく接地されていて、適切な定格を持つコンセントに電源コードを接続します。
-  **注意—傷害の恐れあり:** 火災や感電の危険を避けるため、製品に同梱されている電源コード、または製造元の正規の交換品のみを使用してください。
-  **注意—傷害の恐れあり:** 火災発生の恐れがないように、本製品を公共電話回線ネットワークに接続する場合は、26 AWG 以上の太さの電気通信ケーブル (RJ-11) のみを使用してください。オーストラリアのユーザーは、オーストラリア通信メディア庁 (Australian Communications and Media Authority) が承認するケーブルを必ず使用してください。

警告—破損の恐れあり: データの損失やプリンタの誤動作の発生を防ぐため、印刷を実行している間は、USB ケーブル、ワイヤレスネットワークアダプタ、またはプリンタの以下のエリアに触れないでください。



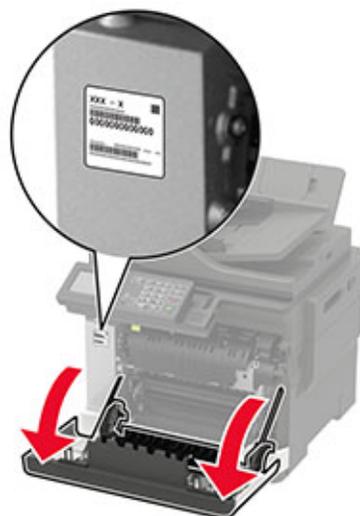
	項目	目的
1	LINE ポート メモ: 一部のプリンタ機種でのみ使用できます。	標準壁ジャック (RJ-11)、DSL フィルタ、または VoIP アダプタ、または Fax を送受信するために電話回線にアクセスできるその他のアダプタ経由で、プリンタをアクティブな電話回線に接続します。
2	EXT ポート メモ: 一部のプリンタ機種でのみ使用できます。	追加デバイス(電話または留守番電話)をプリンタおよび電話回線に接続します。プリンタ用の専用 Fax 回線がなく、この接続方法が国または地域でサポートされている場合には、このポートを使用します。
3	電源コードソケット	プリンタを正しく接地されたコンセントに接続します。
4	USB ポート メモ: 一部のプリンタ機種でのみ使用できます。	キーボードまたは互換性のあるオプションを接続します。
5	USB プリンタポート	プリンタをコンピュータに接続します。
6	イーサネットポート	プリンタをネットワークに接続します。

プリンタのシリアル番号を確認する

1 ドア A を開きます。

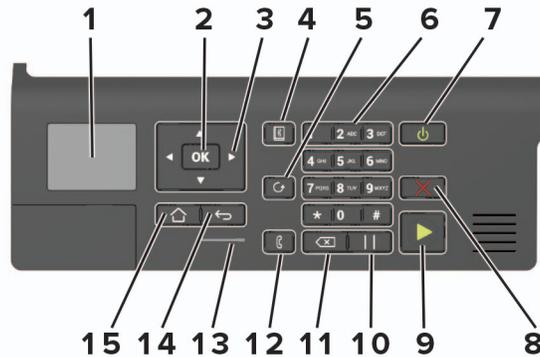


2 プリンタの左側でシリアル番号を探します。



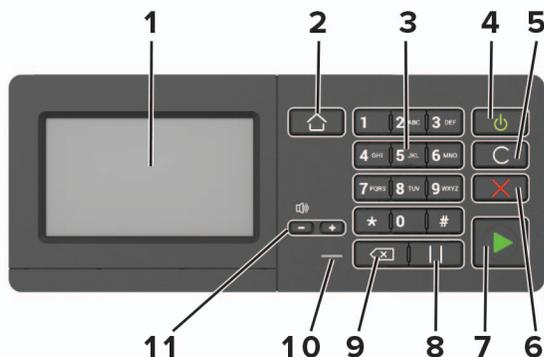
操作パネルを使用する

Lexmark CX421、MC2325、MC2425 MFP パネル



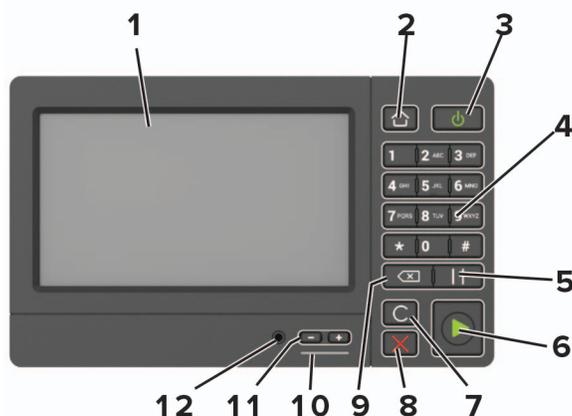
項目	目的
1 表示	印刷オプション、プリンタの状態、エラーメッセージを表示します。
2 [選択]ボタン	<ul style="list-style-type: none"> メニューのオプションを選択します。 設定の変更を保存します。
3 [矢印]ボタン	<ul style="list-style-type: none"> メニューをスクロールするか、画面とメニューオプション間を移動します。 設定の数値を調整します。
4 [アドレス帳]ボタン	保存されているアドレスを表示します。
5 [リダイヤル]ボタン	最後にダイヤルした番号を表示します。
6 数値キーパッド	入力欄に数字または記号を入力します。
7 電源ボタン	<ul style="list-style-type: none"> プリンタの電源のオン/オフを切り替えます。 メモ: プリンタの電源を切るには、電源ボタンを 5 秒間押し続けます。 プリンタのスリープモードまたは休止モードを設定します。 スリープモードまたは休止モードからプリンタを復帰します。
8 [停止]または[キャンセル]ボタン	実行中のプリンタのタスクを停止します。
9 [スタート]ボタン	選択されているモードに応じて、プリンタのタスクを開始します。
10 [ポーズ]ボタン	FAX 番号にダイヤルポーズを入れます。
11 バックスペースボタン	カーソルを後ろに移動し、入力欄の文字を 1 つ削除します。
12 FAX ボタン	FAX を送信します。
13 インジケータランプ	プリンタの状態をチェックします。
14 [戻る]ボタン	前の画面に戻ります。
15 [ホーム]ボタン	ホーム画面に移動します。

Lexmark CX522、CX622、MC2535、MC2640、XC2235 MFP パネル



項目	目的
1 表示	<ul style="list-style-type: none"> プリンタのメッセージと消耗品の状態を表示します。 プリンタを設定して操作します。
2 [ホーム]ボタン	ホーム画面に移動します。
3 数値キーパッド	入力欄に数字または記号を入力します。
4 電源ボタン	<ul style="list-style-type: none"> プリンタの電源のオン/オフを切り替えます。 メモ: プリンタの電源を切るには、電源ボタンを 5 秒間押し続けます。 プリンタのスリープモードまたは休止モードを設定します。 スリープモードまたは休止モードからプリンタを復帰します。
5 [すべてクリア]または[リセット]ボタン	コピー、FAX、スキャンなどの機能の初期設定をリセットします。
6 [停止]または[キャンセル]ボタン	実行中のプリンタのタスクを停止します。
7 [スタート]ボタン	選択されているモードに応じて、ジョブを開始します。
8 [ポーズ]ボタン	FAX 番号にダイヤルポーズを入れます。
9 バックスペースボタン	カーソルを後ろに移動し、入力欄の文字を 1 つ削除します。
10 インジケータランプ	プリンタの状態をチェックします。
11 音量ボタン	スピーカー音量を調整します。

Lexmark CX625 および Lexmark XC4240 MFP パネル



項目	目的
1 表示	<ul style="list-style-type: none"> プリンタのメッセージと消耗品の状態を表示します。 プリンタを設定して操作します。
2 [ホーム]ボタン	ホーム画面に移動します。
3 電源ボタン	<ul style="list-style-type: none"> プリンタの電源のオン/オフを切り替えます。 メモ: プリンタの電源を切るには、電源ボタンを5秒間押し続けます。 プリンタのスリープモードまたは休止モードを設定します。 スリープモードまたは休止モードからプリンタを復帰します。
4 数値キーパッド	入力欄に数字または記号を入力します。
5 [ポーズ]ボタン	FAX 番号にダイヤルポーズを入れます。
6 [スタート]ボタン	選択されているモードに応じて、ジョブを開始します。
7 [すべてクリア]または[リセット]ボタン	コピー、FAX、スキャンなどの機能の初期設定をリセットします。
8 [停止]または[キャンセル]ボタン	実行中のプリンタのタスクを停止します。
9 バックスペースボタン	カーソルを後ろに移動し、入力欄の文字を1つ削除します。
10 インジケータランプ	プリンタの状態を確認します。
11 音量ボタン	スピーカー音量を調整します。
12 スピーカーポート	スピーカーを接続します。

電源ボタンとインジケータランプの状態について理解する

インジケータランプ	プリンタの状態
オフ	プリンタがオフまた休止モードです。
青	プリンタは、準備ができているかデータの処理中です。
赤	ユーザーによるプリンタ操作が必要です。

電源ボタンのランプ	プリンタの状態
オフ	プリンタはオフか、準備ができていないか、データの処理中です。
黄色で点灯	プリンタはスリープモードです。
黄色で点滅	プリンタは休止モードです。

ホーム画面のアプリケーションをセットアップして使用する

メモ: これらのアプリケーションは、一部のプリンタ機種でのみサポートされています。

ホーム画面を使用する

メモ: ホーム画面のカスタマイズ設定、管理者設定、およびアクティブな内蔵ソリューションによっては、ホーム画面が異なって表示される場合があります。



タッチ	目的
1	コピー コピーを作成します。
2	Eメール Eメールを送信します。
3	設定 プリンタのメニューを表示します。
4	Fax FAXを送信します。
5	アドレス帳 プリンタの他のアプリケーションがアクセスできる連絡先リストを管理します。
6	状況/消耗品 <ul style="list-style-type: none"> プリンタで処理を続行するために操作が必要な場合には、必ずプリンタ警告またはエラーメッセージが表示されます。 プリンタ警告またはメッセージの詳細と解決方法を示します。 メモ: ホーム画面の上部にあるセクションをタッチしてこの設定にアクセスすることもできます。
7	USBドライブ <ul style="list-style-type: none"> フラッシュメモリ上の写真やドキュメントを印刷します。 写真やドキュメントをスキャンしてフラッシュメモリに保存します。
8	ジョブ表示 実行中の印刷ジョブをすべて表示します。 メモ: ホーム画面の上部にあるセクションをタッチしてこの設定にアクセスすることもできます。
9	保持されたジョブ プリンタメモリに待ちの印刷ジョブを表示します。
10	ショートカットセンター すべてのショートカットを整理します。
11	アプリのプロファイル アプリケーションのプロファイルにアクセスします。
12	スキャンプロファイル ドキュメントをスキャンして、直接コンピュータに保存します。
13	FTP ドキュメントをスキャンして、直接FTPサーバーに保存します。
14	ブックマーク すべてのブックマークを整理します。

タッチ	目的
15	言語を変更

ディスプレイの言語を変更します。

ホーム画面をカスタマイズする

1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ:

- プリンタのホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。

2 [設定] > [デバイス] > [ホーム画面アイコンの表示] をクリックします。

3 ホーム画面に表示させたいアイコンを選択します。

4 変更を適用します。

サポートされるアプリケーション

アプリケーション	プリンタ機種
スキャンセンター	CX522、CX622、CX625、MC2535、MC2640、XC2235、XC4240
ショートカットセンター	CX522、CX622、CX625、MC2535、MC2640、XC2235、XC4240
カードコピー	CX522、CX622、CX625、MC2535、MC2640、XC2235、XC4240
ディスプレイのカスタマイズ	CX522、CX622、CX625、MC2535、MC2640、XC2235、XC4240
クラウドコネクタ	MC2535、MC2640、XC2235、XC4240
カスタマサポート	XC2235、XC4240
デバイスクォータ	XC2235、XC4240
QR コード	XC2235、XC4240
エコ設定	XC2235、XC4240

[ID カードコピー] を設定する

1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ:

- プリンタのホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。

2 [アプリ] > [ID カードコピー] > [設定] の順にクリックします。

メモ:

- [アイコンの表示] が有効になっていることを確認します。
- E メール設定とネットワーク共有設定が設定されていることを確認します。

- 1枚のカードをスキャンするときには、必ずカラーの場合で解像度が 200 dpi 以下、モノクロの場合で 400 dpi 以下になるようにします。
- 複数のカードをスキャンするときには、必ずカラーの場合で解像度が 150 dpi 以下、モノクロの場合で 300 dpi 以下になるようにします。

3 変更を適用します。

メモ: 複数のカードをスキャンするには、プリンタのハードディスクが必要です。

ショートカットを作成する

1 ホーム画面で、[ショートカットセンター]をタッチします。

メモ: アイコンと名前が変更されている可能性があります。詳細については、システム管理者に問い合わせてください。

2 いずれかのプリンタ機能を選択し、[ショートカットを作成]をタッチします。

メモ: セキュア E メール機能はサポートされていません。

3 設定を行い、[保存]をタッチします。

4 ショートカットの一意の名前を入力します。

メモ: ホーム画面で名前がクリッピングされるのを避けるには、25 文字以内で入力します。

5 [OK]をタッチします。

アプリケーションによって、一意のショートカット番号が自動的に生成されます。ショートカットを起動するには、# を押してからショートカット番号を押します。

ディスプレイのカスタマイズを使用する

アプリケーションを使用する前に、以下を確認してください。

- EWS で、[アプリ] > [ディスプレイのカスタマイズ] > [設定]をクリックします。
- スクリーンセーバー、スライドショー、壁紙の設定を有効にして設定します。

スクリーンセーバーとスライドショーのイメージを管理する

1 [スクリーンセーバーとスライドショーのイメージ]セクションで、イメージを追加、編集、または削除します。

メモ:

- 最大 10 個のイメージを追加できます。
- 有効にすると、エラー、警告、またはクラウドベースの通知がある場合のみ、スクリーンセーバーに状態アイコンが表示されます。

2 変更を適用します。

壁紙のイメージを変更する

1 ホーム画面で、[壁紙を変更]をタッチします。

2 使用するイメージを選択します。

3 変更を適用します。

フラッシュメモリからスライドショーを実行する

- 1 フラッシュメモリを USB ポートに挿入します。
- 2 ホーム画面から[スライドショー]をタッチします。
イメージがアルファベット順で表示されます。

メモ: スライドショーが開始された後はフラッシュメモリを取り外すことができますが、イメージはプリンタ内に保存されていません。スライドショーが停止した場合は、フラッシュメモリを再度挿入するとイメージが表示されます。

スキャンセンターを設定する

- 1 ホーム画面で、[スキャンセンター]をタッチします。
- 2 送信先を選択および作成してから、設定を構成します。

メモ:

- ネットワーク送信先を作成するときは、エラーが発生しなくなるまで設定を検証し、調整するようにしてください。
- 内蔵 Web サーバーで作成された送信先だけが保存されます。詳細については、ソリューションに同梱されているマニュアルを参照してください。

- 3 変更を適用します。

デバイスクォータを設定する

メモ:

- このアプリケーションは、一部のプリンタ機種でのみサポートされています。詳細については、[「サポートされるアプリケーション」](#)、23 ページ を参照してください。
- アプリケーションにアクセスするには、管理者権限が必要になることがあります。

- 1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ:

- プリンタのホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。

- 2 [アプリ] > [デバイスクォータ] > [設定]をクリックします。
- 3 [ユーザーアカウント]セクションで、ユーザーを追加または編集し、ユーザーの数量割当を設定します。
- 4 変更を適用します。

メモ: アプリケーションとそのセキュリティ設定を行う方法に関する情報については、『デバイスクォータ管理者ガイド』を参照してください。

QR コードジェネレータを使用する

メモ:

- このアプリケーションは、一部のプリンタ機種でのみサポートされています。詳細については、[「サポートされるアプリケーション」、23 ページ](#) を参照してください。
- アプリケーションにアクセスするには、管理者権限が必要になることがあります。

- 1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ:

- プリンタのホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。

- 2 [アプリ] > [QR コードジェネレータ] > [設定] をクリックします。

- 3 次のいずれかを実行します。

- 初期設定の QR コード値を選択します。
- QR コード値を入力します。

- 4 変更を適用します。

ECO 設定を行う

メモ: このアプリケーションは、一部のプリンタ機種でのみサポートされています。詳細については、[「サポートされるアプリケーション」、23 ページ](#) を参照してください。

- 1 ホーム画面で、[ECO 設定] をタッチします。
- 2 ECO モードを設定するか、または省電力モードのスケジュールを設定します。

カスタマサポートを使用する

メモ: このアプリケーションは、一部のプリンタ機種でのみサポートされています。詳細については、[「サポートされるアプリケーション」、23 ページ](#) を参照してください。

- 1 プリンタのホーム画面で、[カスタマサポート] をタッチします。
- 2 情報を印刷または E メール送信します。

メモ: アプリケーション設定に関する情報については、『カスタマサポート管理者ガイド』を参照してください。

クラウドコネクタプロファイルを作成する

プロファイルを作成する前に、プリンタにログインすることをお勧めします。ログイン方式を有効にする方法については、『EWS セキュリティ管理者ガイド』を参照してください。

- 1 ホーム画面で、[クラウドコネクタ] をタッチします。
- 2 クラウドサービスプロバイダを選択します。

- 3 [プロフィールを作成]または (+) をタッチします。
- 4 一意のプロファイル名を入力します。
- 5 必要に応じて、PIN を入力します。
メモ: ゲストとしてプリンタを使用する場合は、PIN を使用してプロフィールを保護します。
- 6 [作成]をタッチしてから、認証コードをメモします。
メモ: 認証コードは 24 時間のみ有効です。
- 7 Web ブラウザを開き、<https://lexmark.cloud-connect.co> にアクセスします。
- 8 [次へ]をクリックして、利用規約に同意します。
- 9 認証コードを入力し、[接続]をクリックします。
- 10 クラウドサービスプロバイダのアカウントにログインします。
- 11 権限を付与します。
メモ: 認証プロセスを完了するために、72 時間以内にプロフィールを開きます。

ブックマークを管理する

ブックマークを作成する

サーバーまたは Web 上に保存されている、頻繁にアクセスするドキュメントを印刷する場合は、ブックマークを使用します。

- 1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。
メモ:
 - プリンタのホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。
 - プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。
- 2 [ブックマークの設定] > [ブックマークの追加]をクリックし、一意のブックマーク名を入力します。
- 3 アドレスのプロトコルの種類を選択し、以下のいずれかの手順を実行します。
 - HTTP および HTTPS の場合は、作成するブックマークの URL を入力します。
 - HTTPS の場合、IP アドレスの代わりにホスト名を使用してください。例えば、「123.123.123.123/sample.pdf」の代わりに「myWebsite.com/sample.pdf」を入力します。また、ホスト名がサーバー証明書の共通名 (CN) の値と一致していることも確認します。サーバー証明書の CN 値の取得の詳細については、Web ブラウザのヘルプ情報を参照してください。
 - FTP の場合は、FTP アドレスを入力します。たとえば、「myServer/myDirectory」と入力します。FTP ポートを入力します。コマンドを送信する場合は、ポート 21 が初期設定のポートです。
 - SMB の場合は、ネットワークフォルダのアドレスを入力します。例えば、「myServer/myShare/myFile.pdf」と入力します。ネットワークドメイン名を入力します。
 - 必要に応じて、FTP および SMB の認証タイプを選択します。ブックマークへのアクセスを制限するには、PIN を入力します。

メモ: アプリケーションでは、以下のファイルタイプがサポートされています。PDF、JPEG、TIFF、HTML ベースの Web ページ。DOCX や XLXS など、その他のファイルタイプは一部のプリンタ機種でサポートされています。

4 [保存]をクリックします。

メモ: ブックマークを管理するには、[ブックマークの設定]をクリックします。

フォルダを作成する

1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ:

- プリンタのホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。

2 [ブックマークの設定] > [フォルダの追加]をクリックし、一意のフォルダ名を入力します。

メモ: フォルダへのアクセスを制限するには、PIN を入力します。

3 [保存]をクリックします。

メモ:

- フォルダ内にフォルダやブックマークを作成することができます。ブックマークを作成するには、[「ブックマークを作成する」、27 ページ](#)を参照してください。
- フォルダを管理するには、[ブックマークの設定]をクリックします。

連絡先を管理する

連絡先を追加する

1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ:

- プリンタのホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。

2 [アドレス帳]をクリックします。

3 [連絡先]セクションから連絡先を追加します。

メモ: 1 つまたは複数のグループに連絡先を割り当てることができます。

4 必要に応じて、アプリケーションアクセスを許可するためにログイン方式を指定します。

5 変更を適用します。

グループを追加する

1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ:

- プリンタのホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。

2 [アドレス帳]をクリックします。

3 [連絡先グループ]セクションからグループ名を追加します。

メモ: グループに 1 つまたは複数の連絡先を割り当てることができます。

4 変更を適用します。

連絡先またはグループを編集する

1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ:

- プリンタのホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。

2 [アドレス帳]をクリックします。

3 次のいずれかを実行します。

- [連絡先]セクションで連絡先名をクリックして、情報を編集します。
- [連絡先グループ]セクションでグループ名をクリックして、情報を編集します。

4 変更を適用します。

連絡先またはグループを削除する

1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ:

- プリンタのホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。

2 [アドレス帳]をクリックします。

3 次のいずれかを実行します。

- [連絡先]セクションで、削除する連絡先を選択します。
- [連絡先グループ]セクションで、削除するグループ名を選択します。

アクセシビリティ機能をセットアップして使用する

メモ:

- これらの機能は、一部のプリンタ機種でのみサポートされています。
- お使いのプリンタ機種のアクセシビリティ機能の詳細については、『ユーザー補助機能ガイド』(<http://support.lexmark.com>)を参照してください。

拡大モードを有効にする

- 1 操作パネルで、音声メッセージが聞こえるまで **5** キーを長押しします。
- 2 **[拡大モード]**を選択します。
- 3 **[OK]**を選択します。

拡大した画面を操作する方法の詳細については、『[ジェスチャを使用して画面を操作する](#)』、30 ページを参照してください。

音声ガイダンスを有効にする

操作パネルから

- 1 音声メッセージが聞こえるまで **5** キーを長押しします。
- 2 **[OK]**を選択します。

キーボードから

- 1 音声メッセージが聞こえるまで **5** キーを長押しします。
- 2 **Tab** キーを押してフォーカスカーソルを**[OK]**ボタンに移動し、**Enter** キーを押します。

メモ:

- 音声ガイダンスは、ヘッドホンヘッドホンジャックに挿入しても有効になります。
- 音量を調整するには、操作パネルの下部で音量ボタンを使用します。

音声ガイダンスのスピーチ速度を調整する

- 1 ホーム画面で、**[設定]** > **[デバイス]** > **[アクセシビリティ]** > **[スピーチ速度]**を選択します。
- 2 スピーチ速度を選択します。

ジェスチャを使用して画面を操作する

メモ:

- 音声ガイダンスを有効にしている場合のみ、ジェスチャで操作できます。

- 拡大とパンのジェスチャを使用するには、[拡大]を有効にします。
- 文字の入力と特定の設定の調整を行うには、物理キーボードを使用します。

ジェスチャ	機能
ダブルタップ	画面でオプションまたは項目を選択します。
トリプルタップ	文字とイメージを拡大/縮小します。
右または下にスワイプ	画面で次の項目に移動します。
左または上にスワイプ	画面で前の項目に移動します。
パン	画面の限界を超えて拡大してイメージの特定の部分を表示します。 メモ: このジェスチャでは、拡大/縮小したイメージをドラッグするために 2 本の指で操作する必要があります。
上にスワイプして左	アプリケーションを終了してホーム画面に戻ります。
下にスワイプして左	<ul style="list-style-type: none"> • ジョブを中止します。 • 前の設定に戻ります。 • 設定または値を変更せずに、表示された画面を終了します。
上にスワイプして下	音声のプロンプトを繰り返します。

ディスプレイのキーボードを使用する

次の手順を 1 つ以上実行します。

- 指をキーにドラッグすると、その文字が発音されます。
- 画面から指をはなしてその文字を入力するか、フィールドに文字を打ち込みます。
- 文字を削除するには、**Backspace** キーを押します。
- 入力フィールドの内容を聞くには、**Tab** キーを押して次に **Shift + Tab** キーを押します。

音声のパスワードまたは個人 ID 番号を有効にする

- 1 ホーム画面で、[設定] > [デバイス] > [アクセシビリティ] > [パスワード/PIN を発声]を選択します。
- 2 設定を有効にします。

用紙と特殊用紙をセットする

用紙のサイズとタイプを設定する

- 1 操作パネルから、次のメニューを選択します。

[設定] > [用紙] > [トレイ構成設定] > [用紙サイズ/タイプ] > 給紙トレイを選択

タッチ画面のないプリンタ機種では、**OK** を押して設定内を移動します。

- 2 用紙のサイズとタイプを設定します。

ユニバーサル用紙設定を構成する

- 1 操作パネルから、次のメニューを選択します。

[設定] > [用紙] > [用紙構成] > [ユニバーサル設定]

タッチ画面のないプリンタ機種では、**OK** を押して設定内を移動します。

- 2 設定を行います。

用紙をトレイにセットする

注意—転倒危険: 本機が不安定にならないように、用紙トレイは個別にセットします。その他のすべてのトレイは必要になるまで閉じた状態にします。

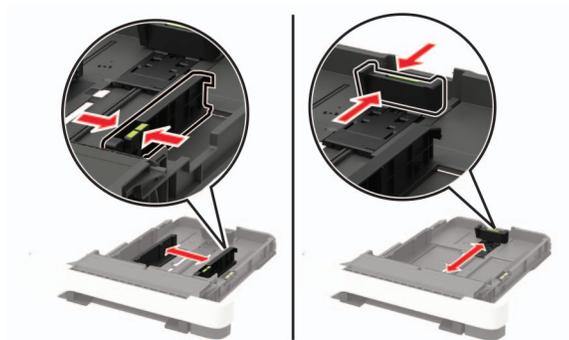
- 1 トレイを取り外します。

メモ: 紙詰まりを防ぐために、プリンタがビジー状態の間はトレイを取り外さないでください。

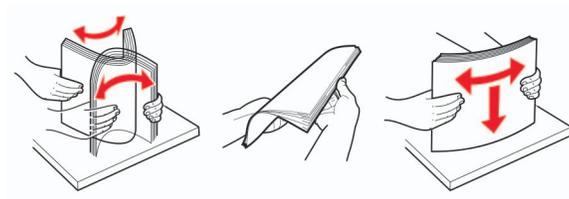


- 2 セットする用紙のサイズに合わせてガイドを調整します。

メモ: トレイの下部にあるインジケータで、ガイドの位置合わせをします。



3 用紙をほぐし、パラパラとめくってから端をそろえ、用紙をセットします。



4 印刷面を上にして、用紙の束をセットしたら、用紙ガイドが用紙にぴったりと合っていることを確認します。



メモ:

- 片面印刷する場合は、レターヘッド紙のヘッダーがトレイの前方を向くようにして、上向きにセットします。
- 両面印刷する場合は、レターヘッド紙のヘッダーがトレイの後方を向くようにして、下向きにセットします。
- トレイに用紙を滑らせて入れないでください。
- 紙詰まりを避けるために、重ねた用紙の高さが、給紙上限マークを超えないようにします。



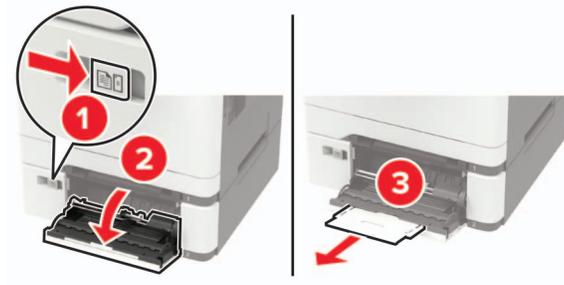
5 トレイを挿入します。

必要に応じて、セットした用紙に合わせて、操作パネルから用紙サイズと用紙タイプを設定します。

手差しトレイに用紙をセットする

1 手差しトレイを開きます。

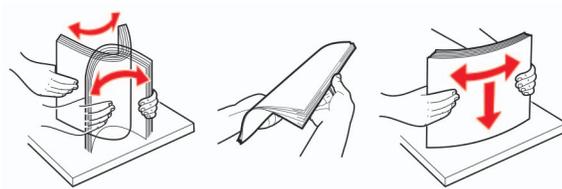
メモ: 手差しトレイは、一部のプリンタ機種でのみ使用可能です。



2 セットする用紙のサイズに合わせてガイドを調整します。



3 用紙をほぐし、パラパラとめくってから端をそろえ、用紙をセットします。



4 印刷面を下に向けて用紙をセットします。

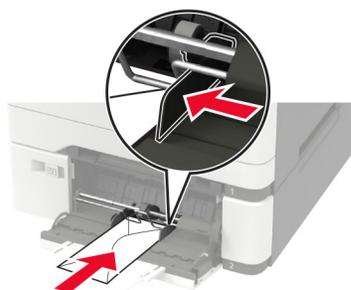
- 片面印刷する場合は、レターヘッド紙の印刷面を下向きにして、上端からプリンタに給紙されるようにセットします。



- 両面印刷する場合は、レターヘッド紙の印刷面を上向きにして、上端が最後にプリンタに給紙されるようにセットします。



- フラップ面を上にして、用紙ガイドの右側に封筒をセットします。



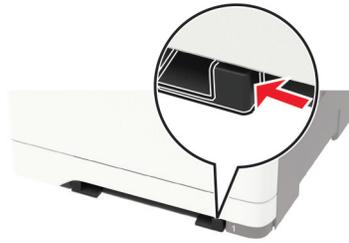
警告—破損の恐れあり: 切手、留め金、スナップ、窓、つや出し加工された内張り、封かん用口糊の付いた封筒は使用しないでください。

5 操作パネルから用紙サイズと用紙タイプを設定し、セットされた用紙に一致させます。

手差しフィーダに用紙をセットする

1 セットする用紙の幅に合わせてガイドを調整します。

メモ: ガイドが用紙にぴったりとフィットしていることを確認しますが、用紙が曲がらないよう幅を狭めすぎないようにしてください。



2 印刷面を下に向けて用紙を 1 枚セットします。

メモ: 用紙が歪んだり曲がったりしないよう、まっすぐにセットされていることを確認します。

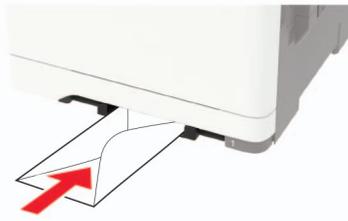
- 片面印刷する場合は、レターヘッド紙の印刷面を下向きにして、上端からプリンタに給紙されるようにセットします。



- 両面印刷する場合は、レターヘッド紙の印刷面を上向きにして、上端が最後にプリンタに給紙されるようにセットします。



- フラップ面を上にして、用紙ガイドの右側に封筒をセットします。



3 その先端が引き込まれるまで給紙します。

警告—破損の恐れあり: 紙詰まりを予防するため、用紙を手差しフィーダに無理に押し込まないでください。

トレイのリンク

1 操作パネルから、次のメニューを選択します。

[設定] > [用紙] > [トレイ構成]

タッチ画面のないプリンタ機種では、 を押して設定内を移動します。

2 給紙トレイを選択します。

3 リンクしているトレイと同じ用紙サイズと用紙タイプを設定します。

4 操作パネルから、次のメニューを選択します。

[設定] > [デバイス] > [メンテナンス] > [設定メニュー] > [トレイ構成設定]

5 同一用紙サイズのトレイのリンクを[自動]に設定します。

メモ: トレイとのリンクを解除するには、同じ用紙サイズと用紙タイプの設定を持つトレイが他にないことを確認してください。

警告—破損の恐れあり: フューザーの温度は、指定した用紙タイプによって異なります。印刷の問題を回避するには、プリンタの用紙タイプの設定をトレイにセットした用紙に合わせます。

用紙サポート

サポートされている用紙サイズ

メモ: ご使用のプリンタ機種では、650 枚デュオトレイ(550 枚トレイおよび統合 100 枚手差しトレイから構成)を使用できます。650 枚デュオトレイの 550 枚トレイは、オプションの 550 枚トレイと同じ用紙サイズをサポートしています。統合手差しトレイは、異なる用紙サイズ、タイプ、重さをサポートしています。

用紙サイズと寸法	標準の 250 枚カセット	手差しフィーダー	オプションの 650 枚デュオトレイ		オプションの 550 枚トレイ	両面印刷
			550 枚トレイ	手差しトレイ		
A4 210 x 297 mm(8.27 x 11.7 インチ)	✓	✓	✓	✓	✓	✓
A5^{1,2} 148 x 210 mm(5.83 x 8.27 インチ)	✓	✓	✓	✓	✓	✗
A6 105 x 148 mm(4.13 x 5.83 インチ)	✓	✓	✗	✓	✗	✗
JIS B5 182 x 257 mm(7.17 x 10.1 インチ)	✓	✓	✓	✓	✓	✗
レター 215.9 x 279.4 mm(8.5 x 11 インチ)	✓	✓	✓	✓	✓	✓
リーガル 215.9 x 355.6 mm(8.5 x 14 インチ)	✓	✓	✓	✓	✓	✓
エグゼクティブ 184.2 x 266.7 mm(7.25 x 10.5 インチ)	✓	✓	✓	✓	✓	✗
Oficio(メキシコ) 215.9 x 340.4 mm(8.5 x 13.4 インチ)	✓	✓	✓	✓	✓	✓
フォリオ 215.9 x 330.2 mm(8.5 x 13 インチ)	✓	✓	✓	✓	✓	✓
ステートメント 139.7 x 215.9 mm(5.5 x 8.5 インチ)	✓	✓	✗	✓	✗	✗
ハガキ 100 x 148 mm(3.94 x 5.83 インチ)	✓	✓	✗	✓	✗	✗

¹ この用紙サイズを、長辺からプリンタに入るように、トレイ 1 と手差しフィーダーにセットします。

² この用紙サイズを、短辺からプリンタに入るように、トレイ 2、トレイ 3、手差しトレイにセットします。

³ [ユニバーサル]が選択されている場合は、ソフトウェアアプリケーションによってサイズが指定されていない限り、ページが 215.9 x 355.6 mm(8.5 x 14 インチ)にフォーマットされます。

⁴ 幅の狭い用紙を短辺からプリンタに入るようにセットします。

⁵ [その他の封筒]が選択されている場合は、ソフトウェアアプリケーションによってサイズが指定されていない限り、ページは 215.9 x 355.6 mm(8.5 x 14 インチ)にフォーマットされます。

用紙サイズと寸法	標準の 250 枚カセット	手差しフィーダー	オプションの 650 枚デュオトレイ		オプションの 550 枚トレイ	両面印刷
			550 枚トレイ	手差しトレイ		
ユニバーサル ^{3,4} 98.4 x 148 mm ~ 215.9 x 355.6 mm (3.87 x 5.83 インチ ~ 8.5 x 14 インチ)	✓	✓	X	✓	X	X
ユニバーサル ^{3,4} 76.2 x 127 mm ~ 215.9 x 355.6 mm (3 x 5 インチ ~ 8.5 x 14 インチ)	X	✓	X	✓	X	X
ユニバーサル ^{3,4} 148 x 210 mm ~ 215.9 x 355.6 mm (5.83 x 8.27 インチ ~ 8.5 x 14 インチ)	✓	✓	✓	✓	✓	X
ユニバーサル ^{3,4} 210 x 250 mm ~ 215.9 x 355.6 mm (8.27 x 9.84 インチ ~ 8.5 x 14 インチ)	✓	✓	✓	✓	✓	✓
7 3/4 封筒 98.4 x 190.5 mm (3.875 x 7.5 インチ)	✓	✓	X	✓	X	X
9 封筒 98.4 x 225.4 mm (3.875 x 8.9 インチ)	✓	✓	X	✓	X	X
10 封筒 104.8 x 241.3 mm (4.12 x 9.5 インチ)	✓	✓	X	✓	X	X
DL 封筒 110 x 220 mm (4.33 x 8.66 インチ)	✓	✓	X	✓	X	X
C5 封筒 162 x 229 mm (6.38 x 9.01 インチ)	✓	✓	X	✓	X	X
B5 封筒 176 x 250 mm (6.93 x 9.84 インチ)	✓	✓	X	✓	X	X
モナーク 98.425 x 190.5 mm (3.875 x 7.5 インチ)	✓	✓	X	✓	X	X
その他の封筒 ⁵ 98.4 x 162 mm ~ 176 x 250 mm (3.87 x 6.38 インチ ~ 6.93 x 9.84 インチ)	✓	✓	X	✓	X	X

¹ この用紙サイズを、長辺からプリンタに入るように、トレイ 1 と手差しフィーダーにセットします。

² この用紙サイズを、短辺からプリンタに入るように、トレイ 2、トレイ 3、手差しトレイにセットします。

³ [ユニバーサル]が選択されている場合は、ソフトウェアアプリケーションによってサイズが指定されていない限り、ページが 215.9 x 355.6 mm (8.5 x 14 インチ)にフォーマットされます。

⁴ 幅の狭い用紙を短辺からプリンタに入るようにセットします。

⁵ [その他の封筒]が選択されている場合は、ソフトウェアアプリケーションによってサイズが指定されていない限り、ページは 215.9 x 355.6 mm (8.5 x 14 インチ)にフォーマットされます。

サポートされている用紙タイプ

メモ:

- ご使用のプリンタ機種では、650 枚デュオトレイ(550 枚トレイおよび統合 100 枚手差しトレイから構成)を使用できます。650 枚デュオトレイの 550 枚トレイは、550 枚トレイと同じ用紙タイプをサポートしています。統合手差しトレイは、異なる用紙サイズ、タイプ、重さをサポートしています。
- ラベル紙、封筒、厚紙の印刷速度は常に 25 ページ/分です。
- ADF は普通紙のみをサポートしています。

用紙タイプ	標準の 250 枚カセット	手差しフィーダー	オプションの 650 枚デュオトレイ		オプションの 550 枚トレイ	両面印刷
			550 枚トレイ	手差しトレイ		
普通紙	✓	✓	✓	✓	✓	✓
厚紙	✓	✓	✓	✓	✓	X
封筒	✓	✓	X	✓	X	X
用紙ラベル	✓	✓	✓	✓	✓	✓
ビニールラベル紙	✓	✓	✓	✓	✓	X

サポートされている用紙の重さ

メモ:

- ご使用のプリンタ機種では、650 枚デュオトレイ(550 枚トレイおよび統合 100 枚手差しトレイから構成)を使用できます。650 枚デュオトレイの 550 枚トレイは、550 枚トレイと同じ用紙タイプをサポートしています。統合手差しトレイは、異なる用紙サイズ、タイプ、重さをサポートしています。
- ラベル紙、封筒、厚紙の印刷速度は常に 25 ページ/分です。
- ADF は 52 ~ 120 g/m²(14 ~ 32 lb ボンド)紙をサポートします。

用紙タイプと重さ	標準の 250 枚カセット	手差しフィーダー	オプションの 650 枚デュオトレイ		オプションの 550 枚トレイ	両面印刷
			550 枚トレイ	手差しトレイ		
軽量紙 ¹ 60 ~ 74.9 g/m ² の縦目 (16 ~ 19.9 lb ボンド紙)	✓	✓	✓	✓	✓	✓
普通紙 75 ~ 90.3 g/m ² の縦目 (20 ~ 24 lb ボンド紙)	✓	✓	✓	✓	✓	✓

¹ 75 g/m²(20 ポンド)未満の用紙は、[用紙タイプ]を[軽量紙]に設定して印刷してください。そうしないと、特に多湿環境ではカールの度合いが大きくなり、給紙の際に問題が発生することがあります。

² ラベル紙および普通紙以外の用紙は、少量であれば使用できますが、使用可能かどうかを必ずテストしてください。

³ 最大 105 g/m²(28 lb ボンド)のラベル紙をサポートしています。

⁴ 100% コットン含有率の最大重量は 24 lb ボンドです。

⁵ 28 lb ボンドの封筒は、コットン含有率が 25% に制限されます。

用紙タイプと重さ	標準の 250 枚 カセット	手差しフィー ダー	オプションの 650 枚デュオ レイ		オプションの 550 枚トレイ	両面印刷
			550 枚トレイ	手差しトレイ		
重い用紙 90.3 ~ 105 g/m ² の縦目 (24.1 ~ 28lb ポンド)	✓	✓	✓	✓	✓	✓
厚紙 105.1 ~ 162 g/m ² の縦目 (28.1 ~ 43 lb ポンド紙)	✓	✓	✓	✓	✓	X
厚紙 105.1 ~ 200 g/m ² の縦目 (28.1 ~ 53 lb ポンド紙)	✓	✓	X	X	X	X
ラベル紙² 131 g/m ² (35 lb ポンド紙)	✓	✓	✓	✓	✓	✓ ³
ビニールラベル紙² 131 g/m ² (35 lb ポンド紙)	✓	✓	✓	✓	✓	X
封筒^{4,5} 60 ~ 105 g/m ² (16 ~ 28 lb ポンド紙)	✓	✓	X	✓	X	X

¹ 75 g/m² (20 ポンド) 未満の用紙は、[用紙タイプ]を[軽量紙]に設定して印刷してください。そうしないと、特に多湿環境ではカールの度合いが大きくなり、給紙の際に問題が発生することがあります。

² ラベル紙および普通紙以外の用紙は、少量であれば使用できますが、使用可能かどうかを必ずテストしてください。

³ 最大 105 g/m² (28 lb ポンド) のラベル紙をサポートしています。

⁴ 100% コットン含有率の最大重量は 24 lb ポンドです。

⁵ 28 lb ポンドの封筒は、コットン含有率が 25% に制限されます。

使用できない用紙

次の種類の用紙は、プリンタで使用しないでください。

- カーボン紙なしでコピーの作成に使用される化学処理済みの用紙。これらは、ノーカーボン紙、感圧複写紙 (CCP)、カーボン不要 (NCR) 紙とも呼ばれます。
- プリンタを汚染する可能性のある化学薬品を使用して事前印刷された用紙。
- プリンタフューザーの温度の影響を受ける可能性のある事前印刷用紙。
- ±2.3 mm (±0.09 インチ) よりも高い精度で位置合わせする必要がある事前印刷用紙。例えば、光学式文字認識 (OCR) フォームなどです。

場合によっては、ソフトウェアアプリで位置合わせを調整することで、このようなフォームにも正常に印刷できます。

- コート紙 (消去可能ポンド紙)、合成紙、または感熱紙。
- 縁がぎざぎざな用紙、表面のきめが粗い用紙、ざらつきのある用紙、カールした用紙。
- EN12281:2002 (欧州) に準拠していない用紙。
- 重量が 60g/m² (16 ポンド) 未満の用紙。
- マルチパートフォームまたはマルチパートドキュメント。

再生紙を使用する

Lexmark は、さまざまなオプションをお客様に提供することで、紙の使用による環境負荷の低減に取り組んでいます。これを実現する方法の一つが、再生紙を使用できるか確認するために製品をテストすることです。具体的には、30%、50%、100% の再生紙をテストできます。Lexmark は、再生紙がバージンパルプを使用する用紙と同等の性能をプリンタで発揮できるように取り組んでいます。オフィス機器での用紙利用に関する公式な規格は存在しませんが、Lexmark は欧州規格 EN 12281 を最低限の特性基準として用いています。広範なテストを行うことができるように、テストのための用紙には北米、ヨーロッパ、アジアの 100% 再生紙を使用し、試験は相対湿度 8~80% で実施されています。両面印刷についてもテストを行っています。再生可能素材、リサイクル素材、非塩素系素材を使用した事務用の用紙を使用できます。

印刷

コンピュータから印刷する

メモ: ラベル紙、厚紙、封筒の場合、プリンタで用紙のサイズとタイプを設定してからドキュメントを送信してください。

- 1 印刷するドキュメントで、[印刷]ダイアログボックスを開きます。
- 2 必要に応じて、設定を調整します。
- 3 ドキュメントを印刷します。

モバイルデバイスから印刷する

Lexmark モバイル印刷を使用してモバイルデバイスから印刷する

Lexmark™ モバイル印刷では、サポートされている Lexmark プリンタにドキュメントや画像を直接送信できます。

- 1 ドキュメントを開いてから、ドキュメントを Lexmark モバイル印刷に送信または共有します。

メモ: サードパーティ製アプリケーションの中には、送信機能または共有機能をサポートしていないものもあります。詳細については、アプリケーションに付属のマニュアルを参照してください。

- 2 プリンタを選択します。
- 3 ドキュメントを印刷します。

Mopria プrintサービスを使用してモバイルデバイスから印刷する

Mopria® Printサービスは、Android™ バージョン 5.0 以降が実行されているモバイルデバイス用の、モバイル印刷ソリューションです。お好きな Mopria 認定プリンタへ直接印刷できます。

メモ: 必ず、Google Play™ ストアから Mopria プrintサービスアプリケーションをダウンロードし、モバイルデバイスで有効にしてください。

- 1 Android モバイルデバイスで対応アプリケーションを起動するか、ファイルマネージャでドキュメントを選択します。
- 2  > [印刷]をタップします。
- 3 プリンタを選択し、必要に応じて設定を調整します。
- 4  をタップします。

AirPrint を使用してモバイルデバイスから印刷する

AirPrint ソフトウェア機能は、Apple デバイスから AirPrint 認定プリンタへ直接印刷することができる、モバイル印刷ソリューションです。

メモ:

- Apple デバイスとプリンタが同じネットワークに接続していることを確認しますネットワークが複数のワイヤレスハブに接続している場合、両方のデバイスが同じサブネットに接続されていることを確認します。
- このアプリケーションは、一部の Apple デバイスのみでサポートされています。

- 1 モバイルデバイスで、ファイルマネージャからドキュメントを選択するか、互換性のあるアプリケーションを起動します。
- 2  > [印刷]をタップします。
- 3 プリンタを選択し、必要に応じて設定を調整します。
- 4 ドキュメントを印刷します。

Wi-Fi Direct® を使用してモバイルデバイスから印刷する

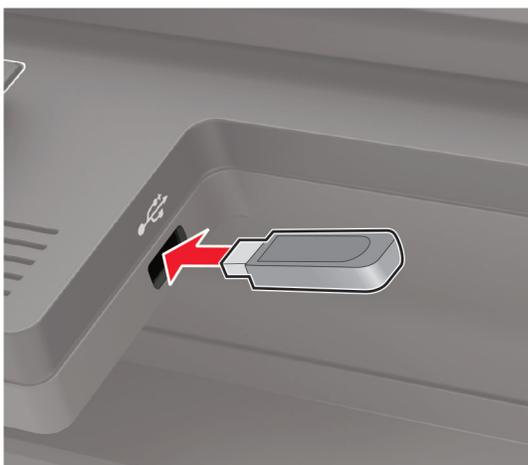
wifi ダイレクト® は、お好きな wifi ダイレクト対応のプリンタへ印刷することができる、印刷サービスです。

メモ: モバイルデバイスがプリンタのワイヤレスネットワークに接続されていることを確認してください。(⇒ [「プリンタにモバイルデバイスを接続する」](#)、166 ページ)

- 1 モバイルデバイスで対応アプリケーションを起動するか、ファイルマネージャでドキュメントを選択します。
- 2 モバイルデバイスに応じて、次の手順のいずれかを実行します。
 -  > [印刷]をタップします。
 -  > [印刷]をタップします。
 -  > [印刷]をタップします。
- 3 プリンタを選択し、必要に応じて設定を調整します。
- 4 ドキュメントを印刷します。

フラッシュメモリから印刷する

- 1 フラッシュメモリをセットします。



メモ:

- エラーメッセージが表示されているときにフラッシュメモリを挿入しても、フラッシュメモリはプリンタで認識されません。
- フラッシュメモリを挿入したときに、プリンタで他の印刷ジョブが処理されていた場合には、画面に[ビジー]が表示されます。

2 印刷する文書を選択します。

必要に応じて、印刷設定を構成します。

3 ドキュメントを印刷します。

他の文書を印刷する場合は、[USB ドライブ]を選択します。

警告—破損の恐れあり: データの損失やプリンタの誤動作を防ぐため、メモリデバイスから印刷またはデータの読み書きを行っている間は、フラッシュメモリまたはプリンタの図で示した範囲に手を触れないでください。



サポートされているフラッシュメモリとファイルタイプ

フラッシュメモリ

- Lexar JumpDrive S70 (16GB および 32GB)
- SanDisk Cruzer (16GB および 32GB)
- PNY Attache (16GB および 32GB)

メモ:

- プリンタは、フルスピード規格の高速 USB フラッシュメモリをサポートしています。
- USB フラッシュメモリで、FAT (File Allocation Table) システムをサポートしている必要があります。

ファイルタイプ

ドキュメント

- PDF (バージョン 1.7 以前)
- XPS
- Microsoft ファイル形式 (.doc、.docx、.xls、.xlsx、.ppt、.pptx) は一部のプリンタ機種でのみサポートされます。

イメージ

- .dcm
- .gif
- .JPEG または .jpg
- .bmp
- .pcx
- .TIFF または .tif
- .png

コンフィデンシャルジョブを設定する

1 操作パネルから、次のメニューを選択します。

[設定] > [セキュリティ] > [コンフィデンシャル印刷設定]

タッチ画面のないプリンタ機種では、 を押して設定内を移動します。

2 設定します。

使用	目的
無効暗証番号許容回数	無効な暗証番号を入力できる回数を設定します。 メモ: 制限回数に達すると、そのユーザー名に対する印刷ジョブが削除されます。
コンフィデンシャルジョブ期限切れ	コンフィデンシャル印刷ジョブの有効期限を設定します。 メモ: コンフィデンシャル保留ジョブは、手動でリリースするか削除するまでプリンタに保存されます。
期限切れジョブの繰り返し	繰り返し印刷ジョブの有効期限を設定します。 メモ: 繰り返し保留ジョブは、再印刷のためにプリンタのメモリに保存されます。
期限切れジョブの確認	残りのコピーを印刷する前に、コピーの印刷を実行する有効期限を設定します。 メモ: 確認印刷を最初に 1 部印刷し、間違いがないかどうかを確認してから残りの部数を印刷します。
期限切れジョブの予約	印刷ジョブがプリンタに保存される有効期限を設定します。 メモ: 予約保留ジョブは、印刷後に自動的に削除されます。
すべてのジョブを保留にする	すべての印刷ジョブを保留にするようにプリンタを設定します。
重複ドキュメントを維持	同じファイル名を持つすべてのドキュメントを印刷するようにプリンタを設定します。

コンフィデンシャルジョブおよびその他の保留ジョブを印刷する

Windows の場合

- 1 ドキュメントを開いている状態で、[ファイル] > [印刷]をクリックします。
- 2 プリンタを選択し、[プロパティ]、[基本設定]、[オプション]、または[設定]をクリックします。
- 3 [印刷して保持]をクリックします。
- 4 [印刷して保持]を使用する]を選択して、ユーザー名を割り当てます。

- 5 印刷ジョブの種類(コンフィデンシャル、繰り返し、予約、確認)を選択します。
[コンフィデンシャル]を選択した場合は、個人 ID 番号(PIN)で印刷ジョブを保護します。
- 6 [OK]または[印刷]をクリックします。
- 7 プリンタの操作パネルから印刷ジョブをリリースします。
 - コンフィデンシャル印刷ジョブの場合は、次のメニューを選択します。
[保留ジョブ] > ユーザー名を選択 > [コンフィデンシャル] > PIN を入力 > 印刷ジョブを選択 > 設定 > [印刷]
 - 他の印刷ジョブの場合は、次のメニューを選択します。
[保留ジョブ] > ユーザー名を選択 > 印刷ジョブを選択 > 設定 > [印刷]

メモ: タッチ画面のないプリンタ機種では、 を押して設定内を移動します。

Macintosh の場合

AirPrint を使用する

- 1 ドキュメントが開いている状態で、[ファイル] > [印刷]の順に選択します。
- 2 プリンタを選択し、[原稿の向き]メニューの後にあるドロップダウンメニューから[PIN 印刷]を選択します。
- 3 [PIN で印刷]を有効にしてから、4 桁の PIN を入力します。
- 4 [印刷]をクリックします。
- 5 プリンタの操作パネルから印刷ジョブをリリースします。次のメニューを選択します:
[保留ジョブ] > コンピュータ名を選択 > [コンフィデンシャル] > PIN を入力 > 印刷ジョブを選択 > [印刷]

タッチ画面のないプリンタ機種では、 を押して設定内を移動します。

プリントドライバを使用する

- 1 ドキュメントが開いている状態で、[ファイル] > [印刷]の順に選択します。
- 2 プリンタを選択し、[原稿の向き]メニューの後にあるドロップダウンメニューから[印刷して保持]を選択します。
- 3 [コンフィデンシャル印刷]を選択してから、4 桁の PIN を入力します。
- 4 [印刷]をクリックします。
- 5 プリンタの操作パネルから印刷ジョブをリリースします。次のメニューを選択します:
[保留ジョブ] > コンピュータ名を選択 > [コンフィデンシャル] > 印刷ジョブを選択 > PIN を入力 > [印刷]

タッチ画面のないプリンタ機種では、 を押して設定内を移動します。

クラウドコネクタプロフィールからの印刷

この機能は、一部のプリンタ機種でのみ使用できます。

- 1 ホーム画面で、[クラウドコネクタ]をタッチします。
- 2 クラウドサービスプロバイダを選択してから、プロフィールを選択します。

メモ: クラウドコネクタプロフィールの作成の詳細については、[「クラウドコネクタプロフィールを作成する」](#)、26 ページを参照してください。

3 [印刷]をタッチして、ファイルを選択します。

必要に応じて、設定を変更します。

メモ: サポートされているファイルが選択されていることを確認します。

4 ドキュメントを印刷します。

フォントサンプルリストを印刷する

1 操作パネルから、次のメニューを選択します。

[設定] > [レポート] > [印刷] > [フォント一覧を印刷]

タッチ画面のないプリンタ機種では、 を押して設定内を移動します。

2 フォントサンプルを選択します。

ディレクトリリストを印刷する

操作パネルから、次のメニューを選択します。

[設定] > [レポート] > [印刷] > [ディレクトリ印刷]

タッチ画面のないプリンタ機種では、 を押して設定内を移動します。

コピー

自動原稿フィーダーと原稿台を使用する

自動原稿フィーダー(ADF)	原稿台
 <ul style="list-style-type: none"> • 複数ページの原稿や両面印刷の原稿の場合、ADFを使用します。 • スキャンする面を上にして原稿をセットします。複数ページの文書の場合は、セットする前に用紙の先端をそろえてください。 • セットする用紙の幅に合わせて ADF ガイドを調整します。 	 <ul style="list-style-type: none"> • 1 ページの文書、本のページ、小さいもの(葉書や写真など)、OHP フィルム、感光紙、薄いもの(雑誌の切り抜きなど)には原稿台を使用します。 • 原稿を下向きにして、矢印のある隅にセットします。

コピーを実行する

1 原稿を ADF トレイまたは原稿台にセットします。

メモ: 画像が途切れないように、原稿と印刷物の用紙サイズが同じであることを確認してください。

2 操作パネルから[コピー]を選択して、コピー部数を指定します。

必要に応じて、その他の設定を調整します。

3 ドキュメントをコピーします。

メモ: クイックコピーを実行するには、操作パネルで  を押します。

写真をコピーする

1 写真を原稿台にセットします。

2 操作パネルから、次のメニューを選択します。

[コピー] > [設定] > [原稿の種類] > [原稿の画質] > [写真]

タッチ画面のないプリンタ機種では、 を押して設定内を移動します。

3 [原稿の種類]メニューから、元の写真に最適な設定を選択します。

4 ドキュメントをコピーします。

レターヘッド紙にコピーする

- 1 原稿を ADF トレイまたは原稿台にセットします。
- 2 操作パネルから、次のメニューを選択します。
[コピー] > [原稿サイズ] > 原稿のサイズを選択 > [用紙選択] > 給紙トレイを選択
レターヘッド紙を手差しトレイにセットしている場合は、次のメニューを選択します。
[用紙選択] > [手差しトレイ] > 用紙サイズを選択 > [レターヘッド紙]

タッチ画面のないプリンタ機種では、**OK** を押して設定内を移動します。

- 3 ドキュメントをコピーします。

用紙の両面にコピーする

- 1 原稿を ADF トレイまたは原稿台にセットします。
- 2 操作パネルから、次のメニューを選択します。
[コピー] > [設定] > [両面設定]

タッチ画面のないプリンタ機種では、**OK** を押して設定内を移動します。

- 3 設定を調整します。
- 4 ドキュメントをコピーします。

コピーを縮小または拡大する

- 1 原稿を ADF トレイまたは原稿台にセットします。
- 2 操作パネルから、次のメニューを選択します。
[コピー] > [設定] > [倍率] > 倍率を指定します

タッチ画面のないプリンタ機種では、**OK** を押して設定内を移動します。

メモ: [倍率]を設定してから、原稿または出力のサイズを変更すると、倍率は[自動]に戻ります。

- 3 ドキュメントをコピーします。

部単位印刷する

- 1 原稿を ADF トレイまたは原稿台にセットします。
- 2 操作パネルから、次のメニューを選択します。
[コピー] > [設定] > [ソート(1部ごと)] > [オン「1,2,1,2,1,2」]
- 3 ドキュメントをコピーします。

コピーの区切りとして挿入紙を挿入する

- 1 原稿を ADF トレイまたは原稿台にセットします。
- 2 操作パネルから、次のメニューを選択します。

[コピー] > [設定] > [挿入紙] > [オン]

タッチ画面のないプリンタ機種では、 を押して設定内を移動します。

- 3 設定を調整します。
- 4 ドキュメントをコピーします。

1 枚の用紙に複数ページをコピーする

- 1 原稿を ADF トレイまたは原稿台にセットします。
- 2 操作パネルから、次のメニューを選択します。

[コピー] > [設定] > [ページ集約]

タッチ画面のないプリンタ機種では、 を押して設定内を移動します。

- 3 設定を調整します。
- 4 ドキュメントをコピーします。

コピーショートカットを作成する

メモ: ショートカットを作成するには、管理者権限が必要になることがあります。

- 1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ:

- ホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。

- 2 [ショートカット] > [ショートカットを追加] の順にクリックします。
- 3 [ショートカットタイプ] メニューで [コピー] を選択して設定します。
- 4 変更を適用します。

Eメールで送信する

自動原稿フィーダーと原稿台を使用する

自動原稿フィーダー(ADF)	原稿台
 <ul style="list-style-type: none"> • 複数ページの原稿や両面印刷の原稿の場合、ADFを使用します。 • スキャンする面を上にして原稿をセットします。複数ページの文書の場合は、セットする前に用紙の先端をそろえてください。 • セットする用紙の幅に合わせて ADF ガイドを調整します。 	 <ul style="list-style-type: none"> • 1 ページの文書、本のページ、小さいもの(葉書や写真など)、OHP フィルム、感光紙、薄いもの(雑誌の切り抜きなど)には原稿台を使用します。 • 原稿を下向きにして、矢印のある隅にセットします。

Eメール SMTP 設定を構成する

スキャンしたドキュメントを E メールで送信するように、簡易メール転送プロトコル(SMTP)設定を構成します。設定は、サービスプロバイダによって異なります。詳細については、次を参照してください。[サポートされている E メールサービスプロバイダ](#)。

開始する前に、プリンタがネットワークに接続されていることを確認します。

プリンタの[設定]メニューを使用する

- 1 操作パネルから、次のメニューを選択します。

[設定] > [Eメール] > [Eメール設定]

タッチ画面のないプリンタ機種では、 を押して設定内を移動します。

- 2 設定を行います。

メモ:

- パスワードの詳細については、[Eメールサービスプロバイダに問い合わせください](#)。
- リストにない E メールサービスプロバイダの場合は、プロバイダに連絡して設定を問い合わせます。

内蔵 Web サーバーを使用する

- 1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ:

- プリンタのホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。

- プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。

- 2 [設定] > [E メール]をクリックします。
- 3 [E メール設定]セクションで、設定を構成します。
- 4 [保存]をクリックします。

E メールサービスプロバイダ

- [AOL メール](#)
- [Comcast メール](#)
- [Gmail](#)
- [iCloud メール](#)
- [Mail.com](#)
- [NetEase メール\(mail.126.com\)](#)
- [NetEase メール\(mail.163.com\)](#)
- [NetEase メール\(mail.yeah.net\)](#)
- [Outlook Live](#)
- [QQ メール](#)
- [Sina メール](#)
- [Sohu メール](#)
- [Yahoo! メール](#)
- [Zoho メール](#)

メモ:

- 指定された設定を使用してエラーが発生した場合は、E メールサービスプロバイダにお問い合わせください。
- リストにない E メールサービスプロバイダの場合は、プロバイダにお問い合わせください。

AOL メール

設定	値
一次 SMTP ゲートウェイ	smtp.aol.com
一次 SMTP ゲートウェイポート	587
Use SSL/TLS	必須
信頼済み証明書を使用	無効
返信アドレス	お客様の E メールアドレス
SMTP サーバー認証	Login/Plain
デバイスから送信される E メール	デバイスの SMTP 証明書を使用
SMTP サーバーのユーザー ID	お客様の E メールアドレス
デバイスのパスワード	アプリのパスワード メモ: アプリのパスワードを作成するには、 AOL アカウントのセキュリティページ にアクセスしてアカウントにログインし、[アプリのパスワードを生成する]をクリックします。

Comcast メール

設定	値
一次 SMTP ゲートウェイ	smtp.comcast.net
一次 SMTP ゲートウェイポート	587
Use SSL/TLS	必須
信頼済み証明書を使用	無効
返信アドレス	お客様の E メールアドレス
SMTP サーバー認証	Login/Plain
デバイスから送信される E メール	デバイスの SMTP 証明書を使用
SMTP サーバーのユーザー ID	お客様の E メールアドレス
デバイスのパスワード	アカウントパスワード

Gmail™

メモ: Google アカウントで 2 段階認証が有効になっていることを確認します。2 段階認証を有効にするには、[Google アカウントのセキュリティ](#) ページに移動してアカウントにログインし、[Google にサインイン] セクションで [2 段階認証プロセス] をクリックします。

設定	値
一次 SMTP ゲートウェイ	smtp.gmail.com
一次 SMTP ゲートウェイポート	587
Use SSL/TLS	必須
信頼済み証明書を使用	無効
返信アドレス	お客様の E メールアドレス
SMTP サーバー認証	Login/Plain
デバイスから送信される E メール	デバイスの SMTP 証明書を使用
SMTP サーバーのユーザー ID	お客様の E メールアドレス
デバイスのパスワード	アプリのパスワード メモ: <ul style="list-style-type: none"> • アプリのパスワードを作成するには、Google アカウントセキュリティページ にアクセスしてアカウントにログインし、[Google にサインイン] セクションで [アプリパスワード] をクリックします。 • [アプリパスワード] は、2 段階認証が有効になっている場合にのみ表示されます。

iCloud メール

メモ: アカウントで 2 段階認証が有効になっていることを確認します。

設定	値
一次 SMTP ゲートウェイ	smtp.mail.me.com
一次 SMTP ゲートウェイポート	587
Use SSL/TLS	必須

設定	値
信頼済み証明書を使用	無効
返信アドレス	お客様の E メールアドレス
SMTP サーバー認証	Login/Plain
デバイスから送信される E メール	デバイスの SMTP 証明書を使用
SMTP サーバーのユーザー ID	お客様の E メールアドレス
デバイスのパスワード	アプリのパスワード メモ: アプリのパスワードを作成するには、 iCloud アカウント管理 ページにアクセスしてアカウントにログインし、[セキュリティ] セクションで [パスワードの生成] をクリックします。

Mail.com

設定	値
一次 SMTP ゲートウェイ	smtp.mail.com
一次 SMTP ゲートウェイポート	587
Use SSL/TLS	必須
信頼済み証明書を使用	無効
返信アドレス	お客様の E メールアドレス
SMTP サーバー認証	Login/Plain
デバイスから送信される E メール	デバイスの SMTP 証明書を使用
SMTP サーバーのユーザー ID	お客様の E メールアドレス
デバイスのパスワード	アカウントパスワード

NetEase メール (mail.126.com)

メモ: アカウントで SMTP サービスが有効になっていることを確認します。サービスを有効にするには、NetEase メールのホームページで、[設定] > [POP3/SMTP/IMAP] をクリックし、[IMAP/SMTP] サービスまたは [POP3/SMTP] サービスのいずれかを有効にします。

設定	値
一次 SMTP ゲートウェイ	smtp.126.com
一次 SMTP ゲートウェイポート	465
Use SSL/TLS	必須
信頼済み証明書を使用	無効
返信アドレス	お客様の E メールアドレス
SMTP サーバー認証	Login/Plain
デバイスから送信される E メール	デバイスの SMTP 証明書を使用
SMTP サーバーのユーザー ID	お客様の E メールアドレス
デバイスのパスワード	認証パスワード メモ: 認証パスワードは、IMAP/SMTP サービスまたは POP3/SMTP サービスが有効になっている場合に提供されます。

NetEase メール(mail.163.com)

メモ: アカウントで SMTP サービスが有効になっていることを確認します。サービスを有効にするには、NetEase メールのホームページで、[設定] > [POP3/SMTP/IMAP]をクリックし、[IMAP/SMTP]サービスまたは[POP3/SMTP]サービスのいずれかを有効にします。

設定	値
一次 SMTP ゲートウェイ	smtp.163.com
一次 SMTP ゲートウェイポート	465
Use SSL/TLS	必須
信頼済み証明書を使用	無効
返信アドレス	お客様の E メールアドレス
SMTP サーバー認証	Login/Plain
デバイスから送信される E メール	デバイスの SMTP 証明書を使用
SMTP サーバーのユーザー ID	お客様の E メールアドレス
デバイスのパスワード	認証パスワード メモ: 認証パスワードは、IMAP/SMTP サービスまたは POP3/SMTP サービスが有効になっている場合に提供されます。

NetEase メール(mail.yeah.net)

メモ: アカウントで SMTP サービスが有効になっていることを確認します。サービスを有効にするには、NetEase メールのホームページで、[設定] > [POP3/SMTP/IMAP]をクリックし、[IMAP/SMTP]サービスまたは[POP3/SMTP]サービスのいずれかを有効にします。

設定	値
一次 SMTP ゲートウェイ	smtp.yeah.net
一次 SMTP ゲートウェイポート	465
Use SSL/TLS	必須
信頼済み証明書を使用	無効
返信アドレス	お客様の E メールアドレス
SMTP サーバー認証	Login/Plain
デバイスから送信される E メール	デバイスの SMTP 証明書を使用
SMTP サーバーのユーザー ID	お客様の E メールアドレス
デバイスのパスワード	認証パスワード メモ: 認証パスワードは、IMAP/SMTP サービスまたは POP3/SMTP サービスが有効になっている場合に提供されます。

Outlook Live

これらの設定は、outlook.com および hotmail.com の E メールドメインに適用されます。

設定	値
一次 SMTP ゲートウェイ	smtp.office365.com
一次 SMTP ゲートウェイポート	587
Use SSL/TLS	必須
信頼済み証明書を使用	無効
返信アドレス	お客様の E メールアドレス
SMTP サーバー認証	Login/Plain
デバイスから送信される E メール	デバイスの SMTP 証明書を使用
SMTP サーバーのユーザー ID	お客様の E メールアドレス
デバイスのパスワード	アカウントパスワードまたはアプリのパスワード メモ: <ul style="list-style-type: none"> 2 段階認証が無効なアカウントの場合は、アカウントパスワードを使用します。 2 段階認証が有効になっているアカウントの場合は、アプリのパスワードを使用します。アプリのパスワードを作成するには、Outlook Live アカウントの管理ページに移動し、アカウントにログインします。

QQ メール

メモ: アカウントで SMTP サービスが有効になっていることを確認します。サービスを有効にするには、QQメールのホームページで、**[Settings] > [Account]**の順にクリックします。

[POP3/IMAP/SMTP/Exchange/CardDAV/CalDAV Service]セクションで、**POP3/SMTP サービス**または**IMAP/SMTP サービス**のいずれかを有効にします。

設定	値
一次 SMTP ゲートウェイ	smtp.qq.com
一次 SMTP ゲートウェイポート	587
Use SSL/TLS	必須
信頼済み証明書を使用	無効
返信アドレス	お客様の E メールアドレス
SMTP サーバー認証	Login/Plain
デバイスから送信される E メール	デバイスの SMTP 証明書を使用
SMTP サーバーのユーザー ID	お客様の E メールアドレス
デバイスのパスワード	認証コード メモ: 認証コードを生成するには、QQ Mail ホームページで [設定] > [アカウント] をクリックし、[POP3/IMAP/SMTP/Exchange/CardDAV/CalDAV サービス]セクションで [認証コードの生成] をクリックします。

Sina メール

メモ: アカウントで POP3/SMTP サービスが有効になっていることを確認します。サービスを有効にするには、Sinaメールのホームページで、[設定] > [その他の設定] > [ユーザーエンド POP/IMAP/SMTP]の順にクリックし、POP3/SMTP サービスを有効にします。

設定	値
一次 SMTP ゲートウェイ	smtp.sina.com
一次 SMTP ゲートウェイポート	587
Use SSL/TLS	必須
信頼済み証明書を使用	無効
返信アドレス	お客様の E メールアドレス
SMTP サーバー認証	Login/Plain
デバイスから送信される E メール	デバイスの SMTP 証明書を使用
SMTP サーバーのユーザー ID	お客様の E メールアドレス
デバイスのパスワード	認証コード メモ: 認証コードを作成するには、Eメールのホームページで、[設定] > [その他の設定] > [ユーザーエンド POP/IMAP/SMTP]の順にクリックし、[認証コードの状態]を有効にします。

Sohu メール

メモ: アカウントで SMTP サービスが有効になっていることを確認します。サービスを有効にするには、SOHUメールのホームページで、[オプション] > [設定] > [POP3/SMTP/IMAP]をクリックし、IMAP/SMTP サービスまたは POP3/SMTP サービスのいずれかを有効にします。

設定	値
一次 SMTP ゲートウェイ	smtp.sohu.com
一次 SMTP ゲートウェイポート	465
Use SSL/TLS	必須
信頼済み証明書を使用	無効
返信アドレス	お客様の E メールアドレス
SMTP サーバー認証	Login/Plain
デバイスから送信される E メール	デバイスの SMTP 証明書を使用
SMTP サーバーのユーザー ID	お客様の E メールアドレス
デバイスのパスワード	独立したパスワード メモ: 独立したパスワードは、IMAP/SMTP サービスまたは POP3/SMTP サービスが有効になっている場合に提供されます。

Yahoo! メール

設定	値
一次 SMTP ゲートウェイ	smtp.mail.yahoo.com
一次 SMTP ゲートウェイポート	587

設定	値
Use SSL/TLS	必須
信頼済み証明書を使用	無効
返信アドレス	お客様の E メールアドレス
SMTP サーバー認証	Login/Plain
デバイスから送信される E メール	デバイスの SMTP 証明書を使用
SMTP サーバーのユーザー ID	お客様の E メールアドレス
デバイスのパスワード	アプリのパスワード メモ: アプリのパスワードを作成するには、 Yahoo アカウントのセキュリティページ にアクセスしてアカウントにログインし、[アプリのパスワードを生成する]をクリックします。

Zoho メール

設定	値
一次 SMTP ゲートウェイ	smtp.zoho.com
一次 SMTP ゲートウェイポート	587
Use SSL/TLS	必須
信頼済み証明書を使用	無効
返信アドレス	お客様の E メールアドレス
SMTP サーバー認証	Login/Plain
デバイスから送信される E メール	デバイスの SMTP 証明書を使用
SMTP サーバーのユーザー ID	お客様の E メールアドレス
デバイスのパスワード	アカウントパスワードまたはアプリのパスワード メモ: <ul style="list-style-type: none"> 2 段階認証が無効なアカウントの場合は、アカウントパスワードを使用します。 2 段階認証が有効になっているアカウントの場合は、アプリのパスワードを使用します。アプリのパスワードを作成するには、Zoho メールアカウントセキュリティページに移動してアカウントにログインし、[アプリケーション固有のパスワード]セクションで[新しいパスワードの生成]をクリックします。

E メールを送信する

開始する前に、SMTP 設定が構成されていることを確認します。詳細情報(⇒[「E メール SMTP 設定を構成する」](#)、[52 ページ](#))。

操作パネルを使用する

- 1 原稿を ADF トレイまたは原稿台にセットします。
- 2 ホーム画面から[E メール]をタッチして、必要な情報を入力します。
必要に応じて、出力ファイルタイプを設定します。
- 3 E メールを送信します。

ショートカット番号を使用する

1 Eメールショートカットを作成します。

a Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ:

- ホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 組の数字で表示されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。

b [ショートカット] > [ショートカットを追加]の順にクリックします。

c [ショートカットタイプ]メニューで[Eメール]を選択して設定を構成します。

d 変更を適用します。

2 原稿を ADFトレイまたは原稿台にセットします。

3 操作パネルから、次のメニューを選択します。

[ショートカット] > [Eメール]

タッチ画面のないプリンタ機種では、 を押して設定内を移動します。

4 ショートカットを選択します。

5 Eメールを送信します。

Eメールショートカットを作成する

メモ: ショートカットを作成するには、管理者権限が必要になることがあります。

1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ:

- ホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 組の数字で表示されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。

2 [ショートカット] > [ショートカットを追加]の順にクリックします。

3 [ショートカットタイプ]メニューで[Eメール]を選択して設定を構成します。

4 変更を適用します。

FAX

自動原稿フィーダーと原稿台を使用する

自動原稿フィーダー(ADF)	原稿台
 <p>The diagram shows a document being fed into the automatic document feeder (ADF) of a multifunction printer. A red arrow indicates the direction of the paper's movement into the feeder.</p> <ul style="list-style-type: none"> • 複数ページの原稿や両面印刷の原稿の場合、ADF を使用します。 • スキャンする面を上にして原稿をセットします。複数ページの文書の場合は、セットする前に用紙の先端をそろえてください。 • セットする用紙の幅に合わせて ADF ガイドを調整します。 	 <p>The diagram shows a document being placed on the original tray of a multifunction printer. A red arrow points to the document, and a dashed red line indicates the correct placement area. A red circle with a minus sign is also shown near the document.</p> <ul style="list-style-type: none"> • 1 ページの文書、本のページ、小さいもの(葉書や写真など)、OHP フィルム、感光紙、薄いもの(雑誌の切り抜きなど)には原稿台を使用します。 • 原稿を下向きにして、矢印のある隅にセットします。

プリンタを設定して Fax を送信する

メモ:

- 以下の接続方法は、一部の国と地域でのみご利用できます。
- プリンタの初期設定時には、[FAX 機能]チェックボックスや後で設定する他の機能をオフにして、[続行]を選択します。
- FAX 機能が有効になっていても設定が完了していない場合、インジケータランプが赤く点滅することがあります。

警告—破損の恐れあり: 実際に FAX を送受信している間、ケーブルや下記に示すプリンタの部分に触らないでください。



サポートされている FAX

プリンタ機種	アナログ FAX	etherFAX ¹	FAX サーバー	Fax over IP (FoIP) ²
CX421adn	✓	✓	✓	✓
CX522ade	✓	✓	✓	✓
CX522de	x	✓	✓	✓
CX622ade	✓	✓	✓	✓
CX622de	x	✓	✓	✓
CX625ade	✓	✓	✓	✓
CX625adhe	✓	✓	✓	✓
CX625de	x	✓	✓	✓
MC2325adw	✓	✓	✓	✓
MC2425adw	✓	✓	✓	✓
MC2535adw	✓	✓	✓	✓
MC2640adwe	✓	✓	✓	✓

¹ サブスクリプションが必要です。詳細については、<https://www.etherfax.net/lexmark> をご覧いただくか、プリンタの販売店までお問い合わせください。

² インストール済みのライセンスバンドルが必要です。詳細については、プリンタの販売店までお問い合わせください。

プリンタ機種	アナログ FAX	etherFAX ¹	FAX サーバー	Fax over IP (FoIP) ²
XC2235	✓	✓	✓	✓
XC4240	✓	✓	✓	✓
XC4240i	x	✓	✓	✓

¹ サブスクリプションが必要です。詳細については、<https://www.etherfax.net/lexmark> をご覧いただくか、プリンタの販売店までお問い合わせください。

² インストール済みのライセンスバンドルが必要です。詳細については、プリンタの販売店までお問い合わせください。

アナログ FAX を使用した FAX 機能の設定

メモ:

- この機能は、一部のプリンタ機種でのみ使用できます。
- 一部の接続方法は、一部の国と地域でのみ利用できます。
- FAX 機能が有効になっていても設定が完了していない場合、インジケータランプが赤く点滅することがあります。
- TCP/IP 環境がない場合、操作パネルを使用して FAX を設定します。

警告—破損の恐れあり: データの損失やプリンタの誤動作の発生を防ぐため、実際に FAX を送受信している間は、ケーブルや下記に示すプリンタの部分に触らないでください。



プリンタの[設定]メニューを使用する

1 操作パネルから、次のメニューを選択します。

[設定] > [FAX] > [FAX 設定] > [一般 FAX 設定]

タッチ画面のないプリンタ機種では、**OK** を押して設定内を移動します。

2 設定を行います。

内蔵 Web サーバーを使用する

1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ:

- ホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。

2 [設定] > [FAX] > [FAX 設定] > [一般 FAX 設定]をクリックします。

3 設定を行います。

4 変更を適用します。

etherFAX を使用した FAX 機能の設定

メモ:

- プリンタファームウェアを最新バージョンにアップデートする必要があります。詳細については、[「ファームウェアを更新する」](#)、267 ページを参照してください。
- 適切なライセンスバンドルがプリンタにインストールされている必要があります。詳細については、etherFAX にお問い合わせください。
- プリンタが etherFAX ポータルに登録されていることを確認します。詳細については、<https://www.etherfax.net/lexmark>
- 登録時にはプリンタのシリアル番号が必要です。シリアル番号を確認するには、[「プリンタのシリアル番号を確認する」](#)、16 ページを参照してください。

1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ:

- ホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。

2 [設定] > [FAX] > [FAX 設定] > [一般 FAX 設定]をクリックします。

メモ: [FAX 設定]は、[FAX モード]が[FAX]に設定されている場合にのみ表示されます。

3 [FAX 名]フィールドに一意の名前を入力します。

4 [FAX 番号]フィールドに、etherFAX から提供される FAX 番号を入力します。

5 [FAX の転送]メニューで[etherFAX]を選択します。

6 変更を適用します。

FAX サーバーを使用した FAX 機能の設定

メモ:

- この機能を使用すると、E メール受信をサポートしている FAX サービスプロバイダに FAX メッセージを送信できます。
- この機能は、送信 FAX メッセージのみをサポートしています。FAX 受信をサポートするには、プリンタでアナログ FAX、etherFAX、または Fax over IP (FoIP) など、デバイスベースの FAX が設定されていることを確認してください。

1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ:

- ホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。

2 [設定] > [FAX] の順にクリックします。

3 [FAX モード] メニューから [FAX サーバー] を選択し、[保存] をクリックします。

4 [FAX サーバー設定] をクリックします。

5 [送信先形式] フィールドに、「[#]@myfax.com」と入力します。ここで、[#] は FAX 番号、myfax.com は FAX プロバイダドメインです。

メモ:

- 必要に応じて、[返信アドレス]、[件名]、または [メッセージ] フィールドを設定してください。
- プリンタで FAX メッセージを受信するには、デバイスベースの FAX 受信設定を有効にしてください。デバイスベースの FAX が設定されていることを確認してください。

6 [保存] をクリックします。

7 [FAX サーバー E メール設定] をクリックし、以下のいずれかを行います。

- [E メール SMTP サーバーを使用] を有効にします。

メモ: E メール SMTP 設定が設定されていない場合 (⇒ [「E メール SMTP 設定を構成する」](#)、52 ページ)。

- SMTP 設定を設定します。詳細については、E メールサービスプロバイダにお問い合わせください。

8 変更を適用します。

標準電話回線を使用して FAX を設定する

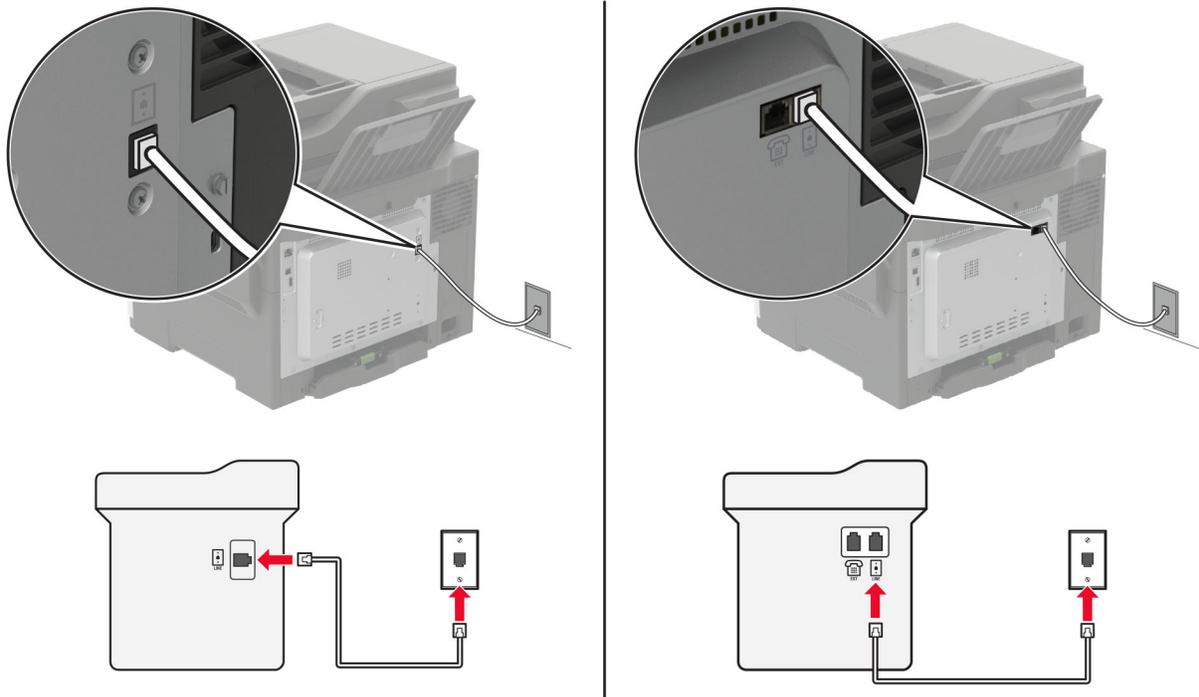
メモ: これらの手順は、アナログ FAX をサポートしているプリンタにのみ適用されます。詳細については、[「サポートされている FAX」](#)、62 ページ を参照してください。

 **注意—感電危険:** 感電の危険を避けるため、雷雨時には本機のセットアップや、電源コード、FAX 機能、電話などの電氣的接続またはケーブル接続を行わないでください。

 **注意—感電危険:** 雷雨時には、感電の危険を避けるため、FAX 機能を使用しないでください。

 **注意—傷害の恐れあり:** 火災発生の恐れがないように、本製品を公共電話回線ネットワークに接続する場合は、26 AWG 以上の太さの電気通信ケーブル (RJ-11) のみを使用してください。オーストラリアのユーザーは、オーストラリア通信メディア庁 (Australian Communications and Media Authority) が承認するケーブルを必ず使用してください。

セットアップ 1: プリンタが専用 FAX 回線に接続されている場合



- 1 電話ケーブルの一方の端をプリンタの LINE ポートに接続します。
- 2 ケーブルのもう一方の端を、現在ご使用のアナログ電話のコンセントに接続します。

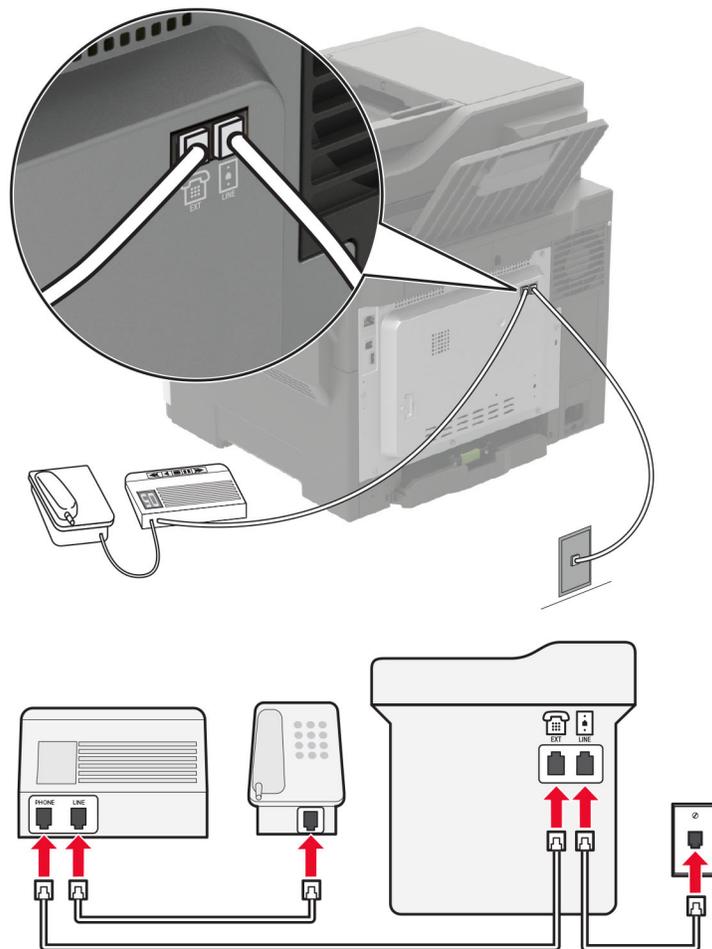
メモ:

- FAX を自動（[自動応答]を[オン]に設定）または手動（[自動応答]を[オフ]に設定）で受信するようにプリンタを設定できます。
- FAX を自動的に受信する場合は、応答するまでの呼び出し回数を設定してください。

セットアップ 2: プリンタが留守番電話機と回線を共有している場合

メモ: 着信識別サービスに加入している場合は、プリンタに正しい着信音を設定していることを確認します。間違った着信音を設定すると、FAX を自動受信するように設定していたとしてもプリンタは FAX を受信しません。

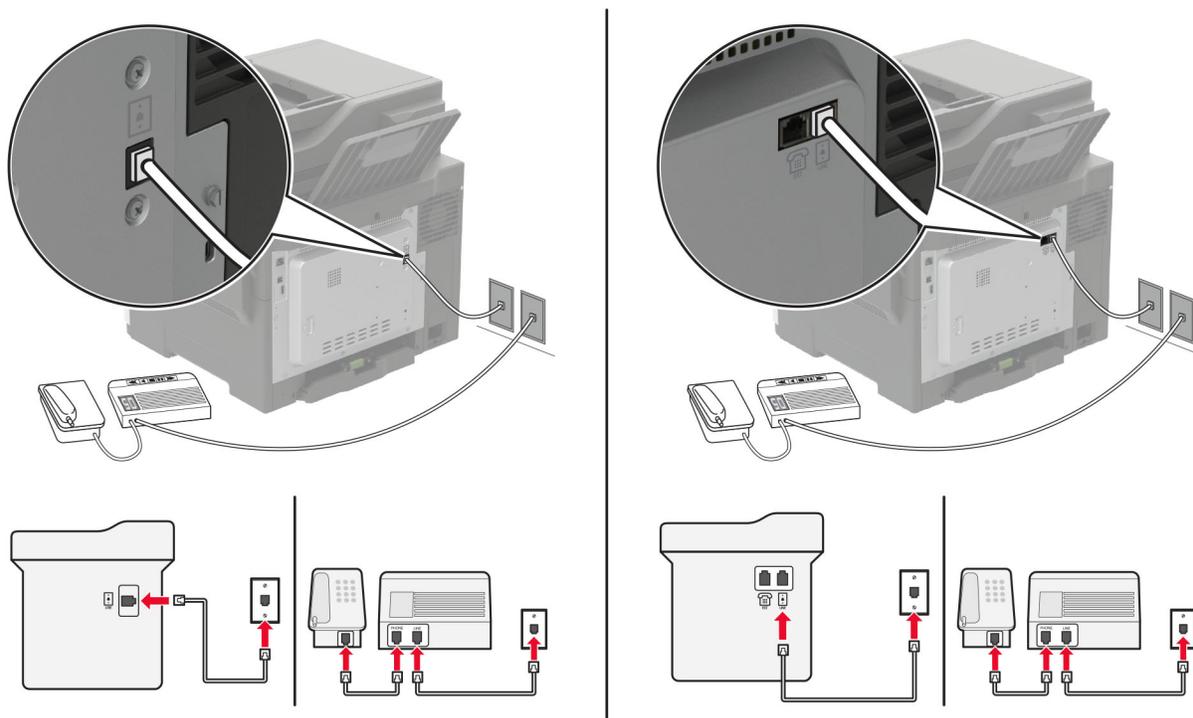
同じ電話コンセントに接続されている場合



メモ: これらの手順は、EXT ポートおよび LINE ポートを持つプリンタにのみ適用されます。

- 電話ケーブルの一方の端をプリンタの LINE ポートに接続します。
- ケーブルのもう一方の端を、アクティブなアナログ電話回線ジャックに接続します。
- 留守番電話をプリンタの電話ポートに接続します。

別々の電話回線ジャックに接続されている場合



- 1 電話ケーブルの一方の端をプリンタの LINE ポートに接続します。
- 2 ケーブルのもう一方の端を、アクティブなアナログ電話回線ジャックに接続します。

メモ:

- お使いの電話回線で 1 つの電話番号しか持っていない場合は、FAX を自動で受信するようにプリンタを設定します。
- 留守番電話が応答してから着信音が 2 回鳴った後でプリンタが応答するように、プリンタを設定します。たとえば、留守番電話が着信音 4 回で応答する場合は、プリンタの[呼び出し回数]設定を 6 回に設定します。

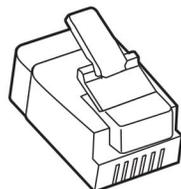
異なる電話のモジュージャックとプラグを使用する国または地域で FAX を設定する

メモ: これらの手順は、アナログ FAX をサポートしているプリンタにのみ適用されます。詳細については、「[サポートされている FAX](#)」、62 ページ を参照してください。

- ⚠ **注意—感電危険:** 感電の危険を避けるため、雷雨時には本機のセットアップや、電源コード、FAX 機能、電話などの電氣的接続またはケーブル接続を行わないでください。
- ⚠ **注意—感電危険:** 雷雨時には、感電の危険を避けるため、FAX 機能を使用しないでください。
- ⚠ **注意—傷害の恐れあり:** 火災発生の恐れがないように、本製品を公共電話回線ネットワークに接続する場合は、26 AWG 以上の太さの電気通信ケーブル (RJ-11) のみを使用してください。オーストラリアのユーザーは、オーストラリア通信メディア庁 (Australian Communications and Media Authority) が承認するケーブルを必ず使用してください。

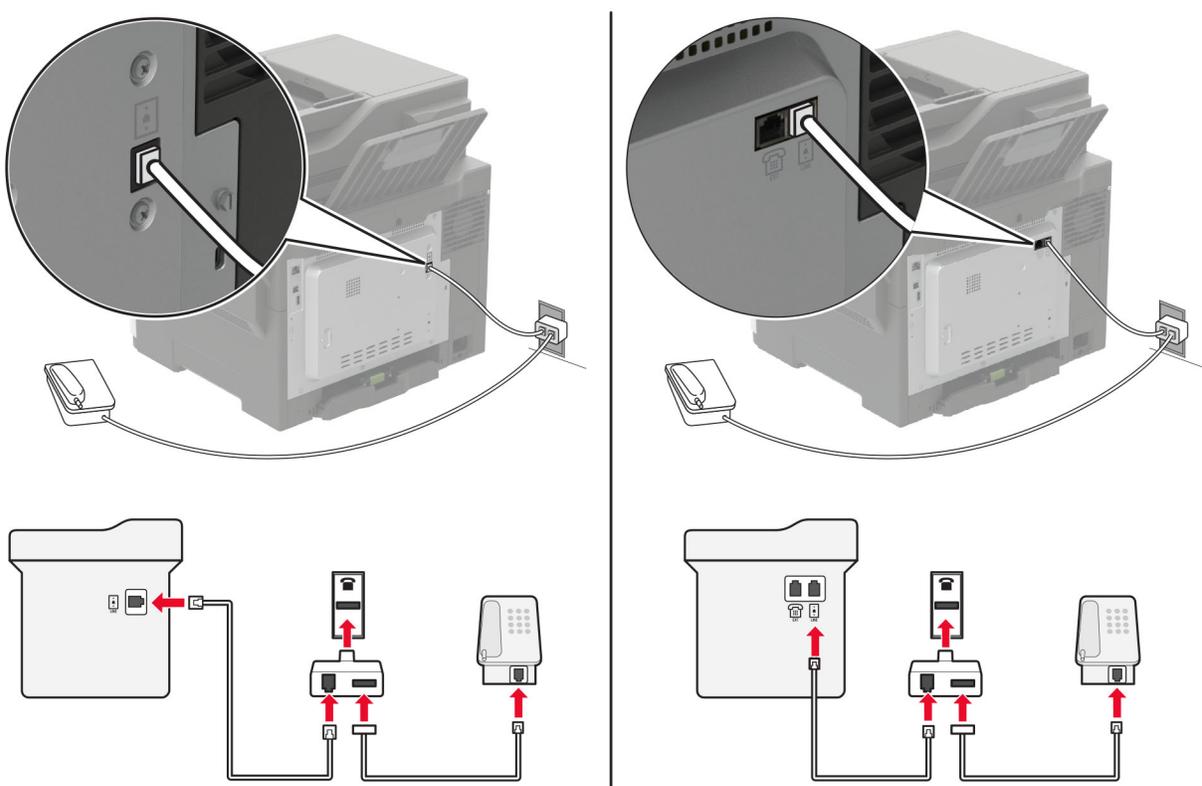
ほとんどの国または地域で標準として採用されているモジュージャックは、RJ-11 です。ファシリティ内のモジュージャックまたは機器がこのタイプの接続に互換性がない場合は、電話アダプタを使用します。お住まいの国または地域のアダプタがプリンタに含まれておらず、別途購入する必要がある場合があります。

プリンタの電話ポートにアダプタプラグが取り付けられている場合があります。シリアルまたはカスケード式電話システムに接続している場合、プリンタの電話ポートからアダプタプラグを取り外さないでください。



部品名	部品番号
Lexmark アダプタプラグ	40X8519

プリンタを RJ-11 以外のモジュージャックに接続する



- 1 電話ケーブルの一方の端をプリンタの LINE ポートに接続します。
- 2 もう一方の端を RJ-11 アダプタに接続し、アダプタをモジュージャックに接続します。
- 3 RJ-11 以外のコネクタを使用した別のデバイスを同じモジュージャックに接続する場合は、直接電話アダプタに接続します。

着信識別サービスへの接続

着信識別サービスを使用すると、1つの電話回線で複数の電話番号を持つことができます。各電話番号がそれぞれ異なる着信音パターンに割り当てられます。

メモ: これらの手順は、アナログ FAX をサポートしているプリンタにのみ適用されます。詳細については、[「サポートされている FAX」、62 ページ](#) を参照してください。

- 1 操作パネルから、次のメニューを選択します。

[設定] > [FAX] > [FAX 設定] > [FAX 受信設定] > [管理者用設定] > [受信の設定]

タッチ画面のないプリンタ機種では、 を押して設定内を移動します。

- 2 着信音パターンを選択します。

FAX の日時を設定する

メモ: FAX が設定されていることを確認します。詳細については、[「プリンタを設定して Fax を送信する」、61 ページ](#) を参照してください。

- 1 操作パネルから、次のメニューを選択します。

[設定] > [デバイス] > [基本設定] > [日付/時刻] > [設定]

タッチ画面のないプリンタ機種では、 を押して設定内を移動します。

- 2 設定を行います。

夏時間を設定する

メモ: FAX が設定されていることを確認します。詳細については、[「プリンタを設定して Fax を送信する」、61 ページ](#) を参照してください。

- 1 操作パネルから、次のメニューを選択します。

[設定] > [デバイス] > [基本設定] > [日付/時刻] > [設定]

タッチ画面のないプリンタ機種では、 を押して設定内を移動します。

- 2 [タイムゾーン]メニューで、[(UTC+時差)カスタム]を選択します。

- 3 設定を行います。

Fax を送信する

メモ: FAX が設定されていることを確認します。詳細については、[「プリンタを設定して Fax を送信する」、61 ページ](#) を参照してください。

操作パネルを使用する

- 1 原稿を ADF トレイまたは原稿台にセットします。
- 2 ホーム画面から、[FAX]をタッチし、必要な情報を入力します。
必要に応じて、設定を調整します。

3 FAX を送信します。

コンピュータを使用する

開始する前に、FAX ドライバがインストールされていることを確認してください。詳細については、[「FAX ドライバをインストールする」](#)、265 ページ を参照してください。

Windows の場合

- 1 FAX するドキュメントで、[印刷]ダイアログを開きます。
- 2 プリンタを選択し、[プロパティ]、[基本設定]、[オプション]、または[設定]をクリックします。
- 3 [FAX] > [FAX を有効化] > [FAX 送信前に FAX 設定を常に表示]をクリックして、受信者番号を入力します。
必要に応じて、その他の FAX 設定を変更します。
- 4 FAX を送信します。

Macintosh の場合

- 1 ドキュメントが開いている状態で、[ファイル] > [印刷]の順に選択します。
- 2 名前の後に「- Fax」が追加されているプリンタを選択します。
- 3 [宛先]フィールドに送信先番号を入力します。
必要に応じて、その他の FAX 設定を変更します。
- 4 FAX を送信します。

FAX をスケジュール設定する

メモ: FAX が設定されていることを確認します。詳細については、[「プリンタを設定して Fax を送信する」](#)、61 ページ を参照してください。

- 1 原稿を ADFトレイまたは原稿台にセットします。
- 2 操作パネルから、次のメニューを選択します。
[FAX] > [送信先] > FAX 番号を入力 > [終了]

タッチ画面のないプリンタ機種では、 を押して設定内を移動します。
- 3 [送信時刻]を選択して日時を設定し、[完了]を選択します。
必要に応じて、その他の FAX 設定を変更します。
- 4 FAX を送信します。

FAX 宛先のショートカットを作成する

メモ:

- ショートカットを作成するには、管理者権限が必要になることがあります。

- FAX が設定されていることを確認します。詳細については、[「プリンタを設定して Fax を送信する」](#)、61 ページを参照してください。

1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ:

- ホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。

2 [ショートカット] > [ショートカットを追加]の順にクリックします。

3 [ショートカットタイプ]メニューで[FAX]を選択して設定します。

4 変更を適用します。

FAX の解像度変更

メモ: FAX が設定されていることを確認します。詳細については、[「プリンタを設定して Fax を送信する」](#)、61 ページを参照してください。

1 原稿を ADFトレイまたは原稿台にセットします。

2 操作パネルから、次のメニューを選択します。

[FAX] > [解像度]

タッチ画面のないプリンタ機種では、 を押して設定内を移動します。

3 設定を選択します。

4 FAX を送信します。

FAX の濃度を調整する

メモ: FAX が設定されていることを確認します。詳細については、[「プリンタを設定して Fax を送信する」](#)、61 ページを参照してください。

1 原稿を ADFトレイまたは原稿台にセットします。

2 操作パネルから、次のメニューを選択します。

[FAX] > [濃度]

タッチ画面のないプリンタ機種では、 を押して設定内を移動します。

3 設定を選択します。

4 FAX を送信します。

FAX ログを印刷する

メモ: FAX が設定されていることを確認します。詳細については、「[プリンタを設定して Fax を送信する](#)」、61 ページを参照してください。

- 1 操作パネルから、次のメニューを選択します。

[設定] > [レポート] > [FAX]

タッチ画面のないプリンタ機種では、 を押して設定内を移動します。

- 2 [FAX ジョブログ]または[FAX 通信ログ]を選択します。

迷惑 FAX のブロック

メモ: FAX が設定されていることを確認します。詳細については、「[プリンタを設定して Fax を送信する](#)」、61 ページを参照してください。

- 1 ホーム画面から、次のメニューを選択します。

[設定] > [FAX] > [FAX 設定] > [FAX 受信設定] > [管理者用設定]

タッチ画面のないプリンタ機種では、 を押して設定内を移動します。

- 2 [無記名の FAX をブロック]を[オン]に設定します。

FAX の保留

メモ: FAX が設定されていることを確認します。詳細については、「[プリンタを設定して Fax を送信する](#)」、61 ページを参照してください。

- 1 操作パネルから、次のメニューを選択します。

[設定] > [FAX] > [FAX 設定] > [FAX 受信設定] > [FAX 保持]

タッチ画面のないプリンタ機種では、 を押して設定内を移動します。

- 2 モードを選択します。

Fax の転送

メモ: FAX が設定されていることを確認します。詳細については、「[プリンタを設定して Fax を送信する](#)」、61 ページを参照してください。

- 1 宛先ショートカットを作成します。

- a Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ:

- ホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。

- b [ショートカット] > [ショートカットを追加]の順にクリックします。

c ショートカットの種類を選択してから、設定を構成します。

メモ: ショートカット番号を書き留めます。

d 変更を適用します。

2 [設定] > [FAX] > [FAX 設定] > [FAX 受信設定] > [管理者用設定]をクリックします。

3 [FAX 転送] メニューで、[転送]または[印刷して転送]を選択します。

4 [転送先] メニューで宛先のタイプを選択し、ショートカット番号を入力します。

5 変更を適用します。

スキャン

自動原稿フィーダーと原稿台を使用する

自動原稿フィーダー(ADF)	原稿台
 <p>ADF (Automatic Document Feeder) diagram showing a document being fed into the scanner from the top. A red arrow points to the document's leading edge.</p> <ul style="list-style-type: none"> • 複数ページの原稿や両面印刷の原稿の場合、ADF を使用します。 • スキャンする面を上にして原稿をセットします。複数ページの文書の場合は、セットする前に用紙の先端をそろえてください。 • セットする用紙の幅に合わせて ADF ガイドを調整します。 	 <p>Flatbed scanner diagram showing a document being placed on the scanner bed. A red arrow points to the document's leading edge, and a dashed red line indicates the scanning path.</p> <ul style="list-style-type: none"> • 1 ページの文書、本のページ、小さいもの(葉書や写真など)、OHP フィルム、感光紙、薄いもの(雑誌の切り抜きなど)には原稿台を使用します。 • 原稿を下向きにして、矢印のある隅にセットします。

コンピュータへのスキャン

開始する前に、次の点を確認してください。

- プリンタのファームウェアが更新されている詳細については、[「ファームウェアを更新する」](#)、267 ページ を参照してください。
- コンピュータとプリンタが同じネットワークに接続されている

Windows の場合

Lexmark ScanBack ユーティリティを使用する

- 1 コンピュータから Lexmark ScanBack ユーティリティを実行し、**[次へ]**をクリックします。

メモ: ユーティリティをダウンロードするには、www.lexmark.com/downloads にアクセスします。

- 2 **[設定]**をクリックし、プリンタの IP アドレスを追加します。

メモ: プリンタのホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。

- 3 **[閉じる]** > **[次へ]**をクリックします。

- 4 原稿のサイズを選択し、**[次へ]**をクリックします。

- 5 ファイル形式とスキャン解像度を選択し、**[次へ]**をクリックします。

- 6 一意のスキャンプロファイル名を入力し、**[次へ]**をクリックします。

- 7 スキャンした原稿を保存する場所を参照し、ファイル名を作成して、**[次へ]**をクリックします。

メモ: スキャンプロファイルを再利用するには、**[ショートカットを作成]**を有効にして、一意のショートカット名を作成します。

- 8 [終了]をクリックします。
- 9 原稿を、自動原稿フィーダの中、または原稿台の上にセットします。
- 10 プリンタの操作パネルで[スキャンプロファイル]をタッチしてから、スキャンプロファイルを選択します。
メモ: [スキャンプロファイル]が有効になっていることを確認します。操作パネルで、[設定] > [デバイス] > [ホーム画面アイコンの表示] > [スキャンプロファイル] > [ディスプレイ]の順にタッチします。タッチ画面のないプリンタ機種では、 を押して設定内を移動します。

[Windows FAX とスキャン]を使用する

メモ: プリンタがコンピュータに追加されていることを確認します。詳細については、[「コンピュータにプリンタを追加する」](#)、265 ページ を参照してください。

- 1 原稿を、自動原稿フィーダの中、または原稿台の上にセットします。
- 2 コンピュータで、[Windows FAX とスキャン]を開きます。
- 3 [ソース]メニューからスキャナソースを選択します。
- 4 必要に応じて、スキャン設定を変更します。
- 5 原稿をスキャンします。

Macintosh の場合

メモ: プリンタがコンピュータに追加されていることを確認します。詳細については、[「コンピュータにプリンタを追加する」](#)、265 ページ を参照してください。

- 1 原稿を、自動原稿フィーダの中、または原稿台の上にセットします。
- 2 コンピュータから以下のいずれかの手順を実行します。
 - イメージキャプチャを開きます。
 - [プリンタとスキャナ]を開き、プリンタを選択します。[スキャン] > [スキャナを開く]をクリックします。
- 3 [スキャナ]ウィンドウで、次の手順の内 1 つ以上を実施します。
 - スキャンした原稿の保存先を選択します。
 - 原稿のサイズを選択します。
 - ADF からスキャンするには、[スキャン]メニューから[原稿フィーダ]を選択するか、[原稿フィーダの使用]を有効化します。
 - 必要に応じて、スキャン設定を構成します。
- 4 [スキャン]をクリックします。

FTP サーバーにスキャンデータを送信する

- 1 原稿を ADF トレイまたは原稿台にセットします。
- 2 操作パネルから、[FTP]を選択し、必要な情報を入力します。
タッチ画面のないプリンタ機種では、# を押してから、キーパッドを使用してショートカット番号を入力します。
- 3 必要に応じて、その他の FTP 設定を変更します。
- 4 原稿をスキャンします。

ショートカットを使用してネットワークフォルダにスキャンする

1 ネットワークフォルダのショートカットを作成します。

a Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ:

- ホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。

b [ショートカット] > [ショートカットを追加]の順にクリックします。

c [ショートカットタイプ]メニューで[ネットワークフォルダ]を選択して設定します。

d 変更を適用します。

2 原稿を ADFトレイまたは原稿台にセットします。

3 操作パネルで# と作成したショートカット番号を押します。

4 原稿をスキャンします。

FTP ショートカットを作成する

メモ: ショートカットを作成するには、管理者権限が必要になることがあります。

1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ:

- プリンタのホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。

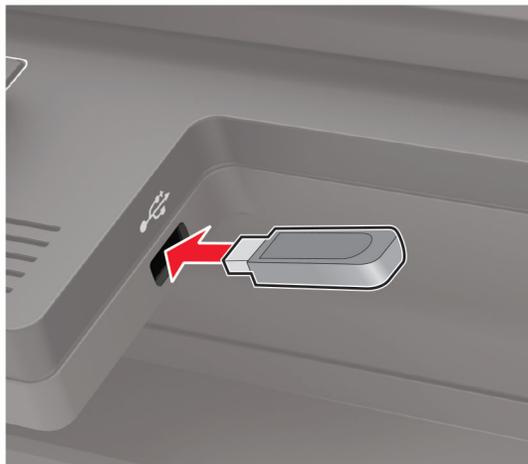
2 [ショートカット] > [ショートカットを追加]の順にクリックします。

3 [ショートカットタイプ]メニューで[FTP]を選択して設定します。

4 変更を適用します。

フラッシュドライブにスキャンする

- 1 原稿を ADF トレイまたは原稿台にセットします。
- 2 フラッシュメモリをセットします。



- 3 [USB にスキャン]を選択し、必要に応じて設定を調整します。

メモ: [USB ドライブ]画面が表示されない場合は、操作パネルで[USB ドライブ]を選択します。

- 4 原稿をスキャンします。

警告—破損の恐れあり: データの損失やプリンタの誤動作を防ぐため、メモリデバイスから印刷またはデータの読み書きを行っている間は、フラッシュメモリまたはプリンタの図で示した範囲に手を触れないでください。



クラウドコネクタプロファイルにスキャンする

この機能は、一部のプリンタ機種でのみ使用できます。

- 1 原稿を ADF トレイまたは原稿台にセットします。
- 2 ホーム画面で、[クラウドコネクタ]をタッチします。
- 3 クラウドサービスプロバイダを選択し、プロファイルを選択します。

メモ: クラウドコネクタプロファイルの作成の詳細については、[「クラウドコネクタプロファイルを作成する」](#)、26 ページを参照してください。

- 4 [スキャン]をタッチして、ファイル名と宛先フォルダを割り当てます。
- 5 [ここにスキャン]をタッチします。
必要に応じて、スキャン設定を変更します。
- 6 原稿をスキャンします。

プリンタメニューを理解する

メニューマップ

デバイス	<ul style="list-style-type: none"> • 基本設定 • エコモード • 遠隔操作パネル • 通知 • 電源管理 	<ul style="list-style-type: none"> • 匿名データの収集 • 工場出荷状態に復元 • メンテナンス • ホーム画面アイコンの表示 • このプリンタについて
印刷する	<ul style="list-style-type: none"> • レイアウト • セットアップ • 印刷品質 • ジョブアカウント • XPS 	<ul style="list-style-type: none"> • PDF • PostScript • PCL • HTML • 画像
用紙	<ul style="list-style-type: none"> • トレイ構成設定 	<ul style="list-style-type: none"> • 用紙構成
コピー	コピー初期設定	
Fax	FAX 初期設定	
E メール	<ul style="list-style-type: none"> • E メール設定 • E メール初期値設定 	<ul style="list-style-type: none"> • Web リンク設定
FTP	FTP 初期値設定	
USB ドライブ	<ul style="list-style-type: none"> • フラッシュドライブスキャン 	<ul style="list-style-type: none"> • フラッシュドライブ印刷
ネットワーク/ポート	<ul style="list-style-type: none"> • ネットワークの概要 • ワイヤレス • wifi ダイレクト • イーサネット • TCP/IP • SNMP 	<ul style="list-style-type: none"> • IPSec • 802.1x • LPD 設定 • HTTP/FTP の設定 • ThinPrint • USB
セキュリティ	<ul style="list-style-type: none"> • ログイン方式 • USB デバイスのスケジュール • セキュリティ監査ログ • ログイン制限 • コンフィデンシャル印刷設定 	<ul style="list-style-type: none"> • ディスク暗号化 • 一時データファイルの消去 • ソリューション LDAP 設定 • その他
レポート	<ul style="list-style-type: none"> • メニュー設定ページ • デバイス • 印刷する 	<ul style="list-style-type: none"> • ショートカット • Fax • ネットワーク

ヘルプ	<ul style="list-style-type: none"> • すべてのガイドを印刷 • 色品質ガイド • 接続ガイド • コピーガイド • Eメールガイド • FAXガイド 	<ul style="list-style-type: none"> • 情報ガイド • 用紙ガイド • 移動ガイド • 印刷品質ガイド • スキャンガイド • 消耗品ガイド
問題に対処する	印刷品質テストページ	スキャナの清掃

デバイス

基本設定

メニュー項目	説明
表示言語 [言語リスト]	ディスプレイに表示されるテキストの言語を設定します。
国/地域 [国または地域のリスト]	プリンタが動作するように設定する国または地域を特定します。
初期設定を実行 オン オフ*	セットアップウィザードを実行します。
キーボード キーボードタイプ [言語リスト]	キーボードタイプとして言語を選択します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> • キーボードタイプの値がすべて表示されなかったり、表示するには特殊なハードウェアの取り付けが必要になる場合があります。 • このメニュー項目は、一部のプリンタ機種にのみ表示されます。
ホーム画面に表示する情報 表示テキスト 1 [IP アドレス*] 表示テキスト 2 [日付/時間*] カスタムテキスト 1 カスタムテキスト 2	ホーム画面に表示する情報を指定します。 メモ: カスタムテキスト 1 とカスタムテキスト 2 は、一部のプリンタ機種でのみ表示されます。
日付/時刻 設定 現在の日時 日時を手動設定 日付形式 [MM-DD-YYYY*] 時間形式 [12 時間表示 A.M./P.M.*] タイムゾーン [GMT*]	プリンタの日時を設定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
日付/時刻 ネットワークタイムプロトコル NTPの有効化[オン*] NTPサーバー 認証を有効化	ネットワークタイムプロトコル(NTP)を設定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> • [認証を有効化]は、一部のプリンタ機種でのみ表示されます。 • [認証を有効化]が[MD5キー]に設定されている場合は、キーIDとパスワードが表示されます。
用紙サイズ インチ* メートル法	用紙サイズの測定方法を指定します。 メモ: 用紙サイズの初期設定は、初期設定ウィザードで選択した国や地域によって決まります。
画面明るさ 20 ~ 100%(100*)	ディスプレイの明るさを調整します。 メモ: このメニュー項目は、一部のプリンタ機種にのみ表示されます。
フラッシュメモリアクセス 有効* 無効	フラッシュメモリへのアクセスを有効にします。
背景削除を許可 オン* オフ	背景削除を可能にするかどうかを指定します。
ユーザー定義ジョブスキャンを許可 オン* オフ	複数のジョブをスキャンして1つのファイルに保存します。
1ページフラットベッドスキャン オン オフ*	原稿台から一度に1ページずつコピーするよう設定します。
タッチスクリーンのタッチ音の設定 ボタンのフィードバック オン* オフ	ボタンの押下、パネルの操作、用紙セットの要請、エラーの通知の際に、音で注意を促します。 メモ: このメニュー項目は、一部のプリンタ機種にのみ表示されます。
タッチスクリーンのタッチ音の設定 ボリューム 1 ~ 10(5*)	プリンタのスピーカーの音量を調整します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> • 音量の変更は、現在のユーザーセッションの終了後に適用されます。 • このメニュー項目は、一部のプリンタ機種にのみ表示されます。
画面タイムアウト 10 ~ 300(60*)	ディスプレイにホーム画面が表示されるまでのアイドル時間、またはユーザーアカウントが自動的にログオフされるまでのアイドル時間を秒単位で設定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

エコモード

メニュー項目	説明
印刷 両面片面選択 片面* 両面	用紙の片面に印刷するか両面に印刷するかを指定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
印刷 割り付けるページ数 オフ* 2 アップ 3 アップ 4 アップ 6 アップ 9 アップ 12 アップ 16 アップ	複数のページ画像を 1 枚の用紙の片面に印刷します。
印刷 トナーの濃さ 1-10(8*)	文字画像の明るさや濃度を指定します。
コピー 両面片面選択 片面->片面* 片面を両面に 両面を片面に 両面を両面に	原稿に応じてスキャン動作を指定します。
コピー 割り付けるページ数 オフ* 縦 2 アップ 縦 4 アップ 横 2 アップ 横 4 アップ	原稿に応じてスキャン動作を指定します。
コピー 濃さ 1 ~ 9(5*)	スキャンした文字画像の濃度を指定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

遠隔操作パネル

メニュー項目	説明
外部 VNC 接続 許可しない* 許可する	外部の Virtual Network Computing(VNC)クライアントをリモート操作パネルに接続します。
認証タイプ なし* 標準認証	VNC クライアントサーバーにアクセスする際の認証タイプを設定します。
VNC パスワード	VNC クライアントサーバーに接続するためのパスワードを指定します。 メモ: このメニュー項目は、[認証タイプ]が[標準認証]に設定されている場合にのみ表示されます。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

通知

メニュー項目	説明
エラーランプ オフ オン*	プリンタエラーの発生時にインジケータランプが点灯するように設定します。 メモ: このメニュー項目は、一部のプリンタ機種にのみ表示されます。
ADF セットビープ オフ オン*	ADF に用紙をセットしたときに音が鳴るようにします。
警報制御 オフ 1 回* 連続	プリンタでユーザーの操作が必要なときに、アラームを鳴らす回数を設定します。 メモ: このメニュー項目は、一部のプリンタ機種にのみ表示されます。
消耗品 消耗品の推定を表示 (Show Supply Estimates) 寿命を表示* 推定を表示しない (Do not show estimates)	消耗品の寿命を表示します。
消耗品 カートリッジ警報 オフ 1 回* 連続	トナーカートリッジの残量が少なくなるときに、アラームを鳴らす回数を設定します。 メモ: このメニュー項目は、一部のプリンタ機種にのみ表示されます。
E メールアラートを設定 E メール設定 一次 SMTP ゲートウェイ	E メール送信に使用するプライマリ SMTP サーバーの IP アドレスまたはホスト名を入力します。 メモ: このメニュー項目は、一部のプリンタ機種にのみ表示されます。
E メールアラートを設定 E メール設定 一次 SMTP ゲートウェイポート 1 ~ 65535 (25*)	プライマリ SMTP サーバーのポート番号を入力します。 メモ: このメニュー項目は、一部のプリンタ機種にのみ表示されます。
E メールアラートを設定 E メール設定 二次 SMTP ゲートウェイ	セカンダリまたはバックアップ SMTP サーバーのサーバー IP アドレスまたはホスト名を入力します。 メモ: このメニュー項目は、一部のプリンタ機種にのみ表示されます。
E メールアラートを設定 E メール設定 二次 SMTP ゲートウェイポート 1 ~ 65535 (25*)	セカンダリまたはバックアップ SMTP サーバーのサーバーポート番号を入力します。 メモ: このメニュー項目は、一部のプリンタ機種にのみ表示されます。
E メールアラートを設定 E メール設定 SMTP タイムアウト 5 ~ 30 秒 (30*)	SMTP サーバーが応答しない場合にプリンタがタイムアウトするまでの時間を指定します。 メモ: このメニュー項目は、一部のプリンタ機種にのみ表示されます。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
E メールアラートを設定 E メール設定 返信アドレス	Eメールの返信アドレスを指定します。 メモ: このメニュー項目は、一部のプリンタ機種にのみ表示されます。
E メールアラートを設定 E メール設定 SMTP の初期設定返信アドレスを常に使用する オフ* オン	SMTP の初期設定返信アドレスを使用します。 メモ: このメニュー項目は、一部のプリンタ機種にのみ表示されます。
E メールアラートを設定 E メール設定 Use SSL/TLS 無効* 交渉 必須	暗号化されたリンクを使用して E メールを送信します。 メモ: このメニュー項目は、一部のプリンタ機種にのみ表示されます。
E メールアラートを設定 E メール設定 信頼済み証明書を使用 オフ オン*	SMTP サーバーにアクセスする際に、信頼済み証明書が必要となります。 メモ: このメニュー項目は、一部のプリンタ機種にのみ表示されます。
E メールアラートを設定 E メール設定 SMTP サーバー認証 使用しない* Login/Plain NTLM CRAM-MD5 Digest-MD5 Kerberos 5	SMTP サーバーの認証タイプを設定します。 メモ: このメニュー項目は、一部のプリンタ機種にのみ表示されます。
E メールアラートを設定 E メール設定 デバイスから送信される E メール なし* デバイスの SMTP 証明書を使用	デバイスから送信される E メールに資格情報が必要かどうかを設定します。 メモ: このメニュー項目は、一部のプリンタ機種にのみ表示されます。
E メールアラートを設定 E メール設定 ユーザーから送信される E メール なし デバイスの SMTP 証明書を使用 ログインしているユーザー ID とパスワードを使用 ログインしている E メールアドレスとパスワードを使用* ユーザーに確認	ユーザーから送信される E メールに資格情報が必要かどうかを設定します。 メモ: このメニュー項目は、一部のプリンタ機種にのみ表示されます。

メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。

メニュー項目	説明
E メールアラートを設定 E メール設定 Active Directory デバイス資格証明書を使用 オフ オン*	SMTP サーバーに接続するために、ユーザー資格情報とグループ指定を有効にします。 メモ: このメニュー項目は、一部のプリンタ機種にのみ表示されま ず。
E メールアラートを設定 E メール設定 デバイスのユーザー ID	SMTP サーバーに接続するためのユーザー ID を指定します。 メモ: このメニュー項目は、一部のプリンタ機種にのみ表示されま ず。
E メールアラートを設定 E メール設定 デバイスのパスワード	SMTP サーバーに接続するためのパスワードを指定します。 メモ: このメニュー項目は、一部のプリンタ機種にのみ表示されま ず。
E メールアラートを設定 E メール設定 Kerberos 5 レルム	Kerberos 5 認証プロトコルのレルムを指定します。 メモ: このメニュー項目は、一部のプリンタ機種にのみ表示されま ず。
E メールアラートを設定 E メール設定 NTLM ドメイン	NTLM セキュリティプロトコルのドメイン名を指定します。 メモ: このメニュー項目は、一部のプリンタ機種にのみ表示されま ず。
E メールアラートを設定 E メール設定 [SMTP サーバーが設定されていません]エラーを 無効にする オフ* オン	SMTP 設定エラーメッセージの画面表示を無効にします。 メモ: このメニュー項目は、一部のプリンタ機種にのみ表示されま ず。
エラー防止 紙づまりアシスト オフ オン*	詰まった用紙を取り除いた後に、白紙ページまたは部分的に印刷 されたページを自動的に排出するようプリンタを設定します。
エラー防止 自動続行 オフ オン* (5 秒)	ユーザーの操作を必要とするような特定のプリンタの状態が解消 されたら、プリンタがジョブの処理や印刷を自動的に続行するよう にします。
エラー防止 自動再起動 自動再起動 アイドル時に再起動 常に再起動* 再起動しない	エラー発生時にプリンタを再起動するように設定します。
エラー防止 自動再起動 最大自動再起動 1 ~ 20(2*)	プリンタが実行可能な自動再起動回数を指定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
エラー防止 自動再起動 自動再起動までの時間 1 ~ 525600(720*)	プリンタが自動的に再起動するまでの秒数を設定します。
エラー防止 自動再起動 自動再起動カウンタ	再起動カウンタの読み取り専用情報を表示します。
エラー防止 自動再起動 自動再起動カウンタをリセット キャンセル 続行	自動再起動カウンタをリセットします。 メモ: このメニュー項目は、一部のプリンタ機種にのみ表示されま ず。
エラー防止 「用紙が短すぎます」エラーを表示 オン 自動クリア*	「用紙が短すぎます」エラーが発生した場合に、プリンタにメッセ ージを表示するかどうかを設定します。 メモ: セットされている用紙のサイズが短いことを示します。
エラー防止 ページ保護 オフ* オン	印刷の前に、ページ全体をメモリで処理するように設定します。
紙詰まりしたページの再印刷 紙づまり回復 オフ オン 自動*	紙詰まりが発生したページを再印刷するかどうかを設定します。
紙詰まりしたページの再印刷 ADF 紙詰まり時の再開位置 ジョブレベル ページレベル*	紙詰まりの解決後にスキャンジョブを再開する方法を指定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

電源管理

メニュー項目	説明
スリープモードプロファイル スリープモードから印刷 印刷後も起動状態を維持する 印刷後にスリープモードにする*	印刷後にプリンタを待機中モードのままにするか、スリープモードに戻すかを設定し ます。
タイムアウト時間 スリープモード 1 ~ 120 分(15*)	プリンタがスリープモードになるまでのアイドル時間を設定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
タイムアウト時間 休止モード 無効 1 時間 2 時間 3 時間 6 時間 1 日 2 日 3 日 * 1 週間 2 週間 1 か月	プリンタの電源が切れるまでの時間を設定します。
タイムアウト時間 ネットワーク接続時の休止モード 休止モードにする 休止モードにしない *	有効なイーサネット接続が存在する間にプリンタの電源を切るために休止モードを設定します。
電力モードの定期実行 スケジュール 新しいスケジュールを追加	プリンタのスリープモードまたは休止モードをスケジュールします。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

匿名データの収集

メニュー項目	説明
匿名データの収集 デバイス使用量およびパフォーマンスに関する情報 なし *	プリンタ使用方法およびパフォーマンスに関する情報を Lexmark へ送信します。 メモ: [匿名データ送信時間]は、[匿名データの収集]を[デバイス使用量およびパフォーマンス]に設定した場合にのみ表示されます。
匿名データ送信時間 開始時間 停止時刻	
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

アクセシビリティ

メモ: このメニューは、一部のプリンタ機種にのみ表示されます。

メニュー項目	説明
重複したキー操作の間隔 0 ~ 5(0*)	接続したキーボードで連続で押されたキーをプリンタに無視させる間隔を秒単位で設定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
キーリピートまでの待ち時間 0.25 ~ 5(1*)	反復キーが繰り返しを開始するまでの遅延の初期時間を秒単位で設定します。 メモ: このメニュー項目は、キーボードがプリンタに接続されている場合にのみ表示されます。
キーリピートの間隔 0.5 ~ 30(30*)	反復キーを 1 秒間に押す回数を設定します。 メモ: このメニュー項目は、キーボードがプリンタに接続されている場合にのみ表示されます。
画面タイムアウトを延長 オフ* オン	期限が切れても、ユーザーはホーム画面に戻らずに同じ場所に留まり、画面タイムアウトのタイマーをリセットできます。
ヘッドホンの音量 1 ~ 10(5*)	ヘッドホンの音量を調整します。 メモ: このメニュー項目は、ヘッドホンがプリンタに接続されている場合にのみ表示されます。
ヘッドホン接続時に音声ガイダンスを有効化 オフ* オン	ヘッドホンがプリンタに接続されている場合に、音声ガイダンスを有効にします。
パスワード/PIN を発声 オフ* オン	発声されたパスワードまたは個人 ID 番号を認識するようにプリンタを設定します。 メモ: このメニュー項目は、ヘッドホンまたはスピーカーがプリンタに接続されている場合にのみ表示されます。
スピーチ速度 とても遅い 遅い 標準* 速い より速い 非常に速い 高速 非常に高速 最も高速	音声ガイダンスのスピーチ速度を設定します。 メモ: このメニュー項目は、ヘッドホンまたはスピーカーがプリンタに接続されている場合にのみ表示されます。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

工場出荷状態に復元

メニュー項目	説明
設定を復元 すべての設定を復元 プリンタ設定を復元 ネットワーク設定を復元 アプリ設定を復元	プリンタの出荷時初期設定に復元します。 メモ: [アプリ設定を復元]は、一部のプリンタ機種にのみ表示されます。

メンテナンス

設定メニュー

メニュー項目	説明
USB 設定 USB PnP 1 * 2	プリンタの USB ドライバモードを変更して、PC との互換性を向上させます。 メモ: このメニュー項目は、一部のプリンタ機種にのみ表示されます。
ローカルに USB スキャン オン* オフ	USB デバイスドライバを USB シンプルデバイス(単一インターフェイス)として表示するのか、USB 複合デバイス(複数インターフェイス)として表示するのかを設定します。
USB 設定 USB 速度 フル 自動 *	USB ポートがフルスピードで動作するように設定し、USB ポートの高速機能を無効化します。 メモ: このメニュー項目は、一部のプリンタ機種にのみ表示されます。
トレイ構成設定 トレイのリンク 自動 * オフ	同じ用紙タイプと用紙サイズが設定されているトレイをリンクするように、プリンタを設定します。
トレイ構成設定 トレイ挿入時のメッセージ表示 オフ * オン	トレイを挿入した後で、用紙サイズと用紙タイプの設定を変更できるメッセージが表示されます。
トレイ構成設定 用紙の給紙トレイ 自動 * 多目的フィーダー 手差し用紙 封筒の給紙トレイ 自動 * 多目的フィーダー 手差し用紙	用紙または封筒をセットするよう要求された場合に、ユーザーがセットする給紙トレイを設定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> 多目的フィーダーは、一部のプリンタ機種でのみ使用可能です。 多目的フィーダーを表示するには、[用紙]メニューで[多目的フィーダー設定]を[トレイ]に設定します。
トレイ構成設定 用紙変更時のアクション ユーザーに確認 * 続行 セットされている用紙を使用	用紙または封筒関連の変更を求めるプロンプトを解決するようにプリンタを設定します。
レポート メニュー設定ページ イベントログ イベントログサマリ ヘルスチェック統計	プリンタメニュー設定、状態、イベントログに関するレポートを印刷します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
消耗品使用量とカウンタ 消耗品使用履歴をクリア	ページ数や残りの日数など、消耗品の使用履歴を工場出荷時のレベルにリセットします。
消耗品使用量とカウンタ メンテナンスカウンタをリセット	新しいメンテナンスキットを取り付けたら、カウンタをリセットします。
消耗品使用量とカウンタ 段階的トナー使用率の範囲	印刷ページの着色面率の範囲を調整します。
プリンタエミュレーション PPDS エミュレーション オフ* オン	PPDS データストリームを認識して使用するようプリンタを設定します。
FAX 設定 FAX 節電サポート スリープしない スリープする 自動*	プリンタが独自に判断してスリープモードになるように FAX を設定します。 メモ: このメニュー項目は、一部のプリンタ機種でのみ使用できます。
FAX 設定 FAX 保存場所 ディスク NAND*	すべての FAX の保存場所を指定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> このメニュー項目は、一部のプリンタ機種でのみ使用できます。 このメニュー項目はハードディスクがある場合にのみ表示されます。
印刷の構成 モノクロモード オフ* オン	カラーのコンテンツをグレースケールで印刷します。
印刷の構成 カラートラッピング オフ 1 2* 3 4 5	出力を修正して、プリンタの見当ずれを補正します。
印刷の構成 フォントのシャープ度 0 ~ 150(24*)	フォントデータの印刷時に高周波数スクリーンを使用する場合の、文字ポイントサイズの最高値を設定します。 たとえば、値が 24 の場合、サイズが 24 ポイント以下のすべてのフォントで高周波数スクリーンが使用されます。
デバイスの操作 静音モード オフ* オン	プリンタを静音モードで作動するように設定します。 メモ: この設定を有効にすると、プリンタのパフォーマンスが低下します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
デバイスの操作 パネルメニュー オフ オン*	操作パネルメニューへのアクセスを有効にします。
デバイスの操作 ユーザー定義の消耗品残量 オフ* オン	プリントサービスに、EWS の値の読み込み/編集を許可します。
デバイスの操作 セーフモード オフ* オン	既知の問題が発生しても、プリンタを特別なモードで動作させ、できるだけ多くの機能の提供を続行するかどうかを設定します。 たとえば、[オン]に設定した場合、両面モーターが機能していないときには、両面印刷ジョブであっても、文書は片面に印刷されます。
デバイスの操作 最小コピーメモリ 80 MB* 100 MB	コピージョブを保存するために、最小限のメモリ割り当てを設定します。
デバイスの操作 カスタムメッセージをクリア	初期設定のカスタムメッセージ、または代替のカスタムメッセージから、ユーザーが定義した文字列が消去されます。
デバイスの操作 クラウドからのメッセージをすべて消去	リモートからインストールされたメッセージが消去されます。
デバイスの操作 エラー画面の自動表示 オフ オン*	[画面タイムアウト]設定で指定した時間、ホーム画面のままプリンタを使用しない状態が続くと、ディスプレイに既存のエラーメッセージが表示されます。
デバイスの操作 高速コピー時に向きの設定を使用 オン オフ*	クイックコピージョブを送信する場合に、プリンタで[コピー]メニューの[用紙の向き]設定を使用できるようにします。
デバイスの操作 オプションの平行レポートを有効化 オフ* オン	オプションの平行レポートを有効にします。 メモ: [オン]に設定すると、プリンタが再起動します。
トナーパッチセンサーの設定 調整頻度設定 無効 カラー調整を最少にする カラー調整を少なくする 標準* カラー精度を良好にする カラー精度を最良にする	カラーの一貫性を維持するため、トナーを正しい量に調整するかどうかを設定します。
トナーパッチセンサーの設定 完全調整	カラーの完全調整を実行します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
トナーパッチセンサーの設定 TPS 情報ページを印刷	トナーパッチセンサー調整の情報を含む診断ページを印刷します。
アプリ設定 LES アプリケーション オフ オン*	Lexmark 組み込みソリューション (LES) アプリケーションを有効にします。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> • このメニュー項目は、一部のプリンタ機種でのみ使用できます。 • [オン]に設定した場合、この設定は内蔵アプリケーションには影響しません。
スキャナ設定 スキャナ手動登録 印刷簡易テスト	簡易テストのターゲットページを印刷します。 メモ: ターゲットページで余白の幅が全周で均等になっていることを確認します。均等になっていない場合は、プリンタの余白をリセットする必要があります。
スキャナ設定 スキャナ手動登録 正面 ADF 登録 背面 ADF 登録 フラットベッド登録	ADF、原稿台、またはコントローラボードを交換したら、フラットベッドと ADF を手動で登録します。
スキャナ設定 フチ縮小 フラットベッドフチ消去 0 ~ 6(3*) ADF フチ消去 0 ~ 6(3*)	ADF またはフラットベッドスキャンジョブの周囲にある非印刷領域のサイズをミリ単位で設定します。
スキャナ設定 ADF 傾き補正 ADF メカニカルデスキュー オフ オン 自動*	ADF の機械的スキュー調整を行うようにプリンタを設定します。
スキャナ設定 無効化されたスキャナ 有効* 無効 ADF 無効	スキャナが正常に動作しない場合に、スキャナを無効にします。
スキャナ設定 TIFF バイトオーダー CPU エンディアン* リトルエンディアン ビッグエンディアン	TIFF 形式のスキャン出力のバイトオーダーを設定します。
スキャナ設定 正確な Tiff RowsPerStrip オン* オフ	TIFF 形式のスキャン出力の RowsPerStrip タグ値を設定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

データ完全消去

メニュー項目	説明
データ完全消去 前回のプリンタメモリ消去 前回消去したハードディスク	プリンタのメモリまたはハードディスクの前の消去がいつだったかを示します。 メモ: [前回消去したハードディスク]は、プリンタにハードディスクが取り付けられている場合にのみ表示されます。
データ完全消去 不揮発性メモリにあるすべての情報を消去 ハードディスクのすべての情報を消去 すべてのプリンタおよびネットワーク設定を消去	プリンタのメモリまたはハードディスクに保存されているすべての設定およびアプリケーションを消去します。 メモ: [ハードディスクのすべての情報を消去]は、プリンタにハードディスクが取り付けられている場合にのみ表示されます。

ホーム画面アイコンの表示

メモ: このメニューは、一部のプリンタ機種にのみ表示されます。

メニュー	説明
コピー E メール Fax 状況/消耗品 ジョブ表示 言語を変更 ショートカットセンター アドレス帳 ブックマーク 保持されたジョブ USB FTP スキャンプロファイル アプリのプロファイル 用紙とお気に入り スキャンセンター ID カードコピー	ホーム画面に表示するアイコンを指定します。

このプリンタについて

メニュー項目	説明
アセットタグ¹	プリンタについての説明です。最大文字数は 32 文字です。
プリンタの設置場所¹	プリンタの設置場所を特定します。最大文字数は 63 文字です。
プリンタ名¹	プリンタ名を定義します。最大文字数は 63 文字です。
設定ファイルを USB にエクスポート²	設定ファイルをフラッシュメモリにエクスポートします。
圧縮ログを USB にエクスポート²	圧縮ログファイルをフラッシュメモリにエクスポートします。
¹ 一部のプリンタ機種では、このメニュー項目は EWS からのみ設定できます。 ² このメニュー項目は、一部のプリンタ機種にのみ表示されます。	

メニュー項目	説明
ログの送信 キャンセル 送信	診断情報を Lexmark に送信します。
1 一部のプリンタ機種では、このメニュー項目は EWS からのみ設定できます。 2 このメニュー項目は、一部のプリンタ機種にのみ表示されます。	

印刷

レイアウト

メニュー項目	説明
両面片面選択 片面 * 両面	用紙の片面に印刷するか両面に印刷するかを指定します。
反転スタイル 長辺 * 短辺	両面印刷を実行する場合は、用紙のどちら側(長辺または短辺)を綴じるかを決定します。 メモ: 選択したオプションに応じて、プリンタはページの各印刷情報を自動的にオフセットしてジョブを正しく綴じます。
白紙ページ 印刷 印刷しない *	印刷ジョブに含まれる白紙ページを印刷します。
丁合印刷 オフ「1,1,1,2,2,2」 * オン「1,2,1,2,1,2」	特にジョブを複数部印刷する場合は、各印刷ジョブのページ順が維持されるように積み重ねます。
セパレータ紙 なし * 各部の間 各ジョブの間 各ページの間	印刷時に白紙の挿入紙を挿入します。
区切り紙給紙源 トレイ [x](1 *) 手差しトレイ	区切り紙の給紙源を指定します。 メモ: 手差しトレイは、一部のプリンタ機種でのみ使用可能です。
割り付けるページ数 オフ * 2 アップ 3 アップ 4 アップ 6 アップ 9 アップ 12 アップ 16 アップ	複数のページ画像を 1 枚の用紙の片面に印刷します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
集約順 横方向 * 横方向(右から) 縦方向 縦方向(右から)	[ページ集約]を使用する場合に、複数ページの画像の位置を指定します。 メモ: 配置は、ページの画像数とページの向きによって異なります。
原稿セット方向 自動 * 横長 縦	[ページ集約]を使用する場合に、複数ページのドキュメントの向きを指定します。
ページ枠 なし * 実線	[ページ集約]を使用する場合に、各ページの画像に枠線を印刷します。
部数 1 ~ 9999(1 *)	各印刷ジョブの部数を指定します。
印刷領域 標準 * ページに合わせる ページ全体	1 枚の用紙の印刷領域を設定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

セットアップ

メニュー項目	説明
プリンタ言語 PCL エミュレーション PS エミュレーション *	プリンタ言語を設定します。 メモ: プリンタで設定した標準言語にかかわらず、ソフトウェアから他の言語の印刷データを送信できます。
待機中のジョブ オフ * オン	消耗品を必要とする印刷ジョブを保持し、不足している消耗品を必要としないジョブが印刷できるようにします。 メモ: このメニュー項目は、プリンタにハードディスクが取り付けられている場合のみ表示されます。
ジョブ保留タイムアウト 0 ~ 255(30 *)	使用できないリソースを必要とするジョブを保持し、印刷キュー内の他のジョブの印刷を続行する前に、プリンタがユーザーの操作を待つ時間を秒単位で設定します。 メモ: このメニュー項目は、プリンタにハードディスクが取り付けられている場合のみ表示されます。
プリンタ使用方法 最高速度 印刷可能枚数を最大にする *	カラーイメージングキットが印刷中にどのように動作するかを決定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> • [印刷可能枚数を最大にする]に設定されている場合は、モノクロのみのページのグループを印刷しているときにカラーイメージングキットが減速したり停止したりします。 • [送信最大ビット速度]に設定されている場合は、カラーページを印刷中かブラックのページを印刷中かに関係なく、印刷中にカラーイメージングキットが常に動作します。
ダウンロード先 RAM * ディスク	プリンタにダウンロードされたフォントやマクロなど、すべての常駐リソースを保存する場所を指定します。 メモ: このメニュー項目は、プリンタにハードディスクが取り付けられている場合のみ表示されます。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
リソース保存 オフ* オン	<p>利用可能なメモリよりも多くの領域を必要とするジョブを受信した場合に、フォントやマクロなどのダウンロードされたリソースをプリンタでどのように処理するかを指定します。</p> <p>メモ:</p> <ul style="list-style-type: none"> • [オフ]に設定すると、メモリが必要になるまで、ダウンロードされたリソースは保持されます。使用していないプリンタ言語に関連するリソースは削除されます。 • [オン]に設定すると、プリンタはすべての言語スイッチでダウンロード済みの常駐リソースをすべて保持します。必要に応じて、プリンタは常駐リソースを削除するのではなく、メモリ不足のメッセージを表示します。
[全て印刷]の順序 アルファベット順* 新しい順 古い順	<p>すべての保留ジョブとコンフィデンシャルジョブの印刷を選択するときに順序を指定します。</p> <p>メモ: このメニュー項目は、プリンタにハードディスクが取り付けられている場合のみ表示されます。</p>
<p>メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。</p>	

印刷品質

メニュー項目	説明
印刷モード モノクロ カラー*	印刷モードを設定します。
印刷解像度 4800 CQ* 1200 dpi	<p>印刷出力の解像度を設定します。</p> <p>メモ: 4800 CQ では高品質な出力が最高速度で行われます。</p>
トナー濃度 1 ~ 5(4*)	テキストイメージの明るさを指定します。
ハーフトーン 普通* 詳細	印刷出力を向上して鋭いエッジの滑らかな線にします。
カラートナー節約 オフ* オン	グラフィックや画像の印刷に使用するトナーの量を減らします。
RGB 明るさ -6 ~ 6(0*)	<p>カラー出力の明るさ、コントラスト、および彩度を調整します。</p> <p>メモ: この設定は、CMYK 色仕様を使用しているファイルには影響しません。</p>
RGB コントラスト 0 ~ 5(0*)	
RGB 彩度 0 ~ 5(0*)	
<p>メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。</p>	

イメージ詳細設定

メニュー項目	説明
カラーバランス シアン -5 ~ 5(0*) マゼンタ -5 ~ 5(0*) イエロー -5 ~ 5(0*) ブラック -5 ~ 5(0*) 初期設定に戻す	各色のトナー使用量を調整します。
カラー補正 オフ 自動* 手差し カラー補正の内容	ドキュメントの印刷に使用するカラー設定を変更します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> • [オフ]に設定すると、プリンタはソフトウェアからカラー補正を受信します。 • [自動]に設定すると、プリンタは印刷されるページの各オブジェクトに異なるカラープロファイルを適用します。 • [手動]に設定すると、印刷されるページの各オブジェクトに RGB または CMYK の色変換をカスタマイズできます。 • [カラー補正の内容]は、[カラー補正]が[手動]に設定されている場合のみ使用できます。
カラーサンプル カラーサンプルの印刷	プリンタで使用されている RGB/CMYK の各種色変換テーブルのサンプルページを印刷します。
カラー調整	プリンタを調整して、印刷出力でカラーバリエーションを調整します。
スポット色交換 カスタム CMYK の設定	指定した CMYK 値を、20 個の名前付きスポット色に割り当てます。
RGB 置換	出力のカラーを原稿のカラーと一致させます。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> • このメニュー項目では、[画面 - ツールブラック]カラーテーブルを選択する必要があります。 • このメニュー項目は、EWS でのみ表示されます。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

ジョブアカウント

メモ: このメニュー項目は、ハードディスクがプリンタに取り付けられている場合のみ表示されます。

メニュー項目	説明
ジョブアカウント オフ* オン	プリンタで受信した印刷ジョブのログを作成するかどうかを設定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
ジョブアカウントのログ回数 毎日 毎週 毎月 *	プリンタでログファイルを作成する頻度を指定します。
最後に行うログ操作 なし * 現在のログを E メールで送信 現在のログを E メールで送信して削除 現在のログをポスト 現在のログをポストして削除	頻度のしきい値を経過したときに、プリンタが行う処理を指定します。 メモ: このメニュー項目の動作をいつ実行させるかは、[ジョブアカウント情報のログ周期]で指定します。
ニアフルの状態をログ オフ * オン	プリンタがニアフル時のログ操作を実行する前に、ログファイルの最大サイズを指定します。
ニアフル時のログ操作 なし * 現在のログを E メールで送信 現在のログを E メールで送信して削除 最も古いログを E メール送信して削除 現在のログをポスト 現在のログをポストして削除 最も古いログを送信して削除 現在のログを削除 最も古いログを削除 現在のログ以外すべて削除 すべてのログを削除	ハードディスクがほぼ満杯になったときのプリンタの動作を指定します。 メモ: このメニュー項目の動作をいつ実行させるかは、[ニアフルの状態をログ]にて指定します。
フル時のログ操作 なし * 現在のログを E メールで送信して削除 最も古いログを E メール送信して削除 現在のログをポストして削除 最も古いログを送信して削除 現在のログを削除 最も古いログを削除 現在のログ以外すべて削除 すべてのログを削除	ディスクの使用領域が上限 (100MB) に達したときに、プリンタが行う処理を指定します。
ログ記録用 URL	プリンタによるジョブアカウント情報のログの記録先を指定します。
ログを送信するための E メールアドレス	ジョブアカウントのログを送信する E メールアドレスを指定します。
ログファイルのプレフィックス	ログファイル名に使用するプレフィックスを指定します。 メモ: [TCP/IP]メニューで現在設定されているホスト名が、ログファイルの初期設定のプレフィックスとして使用されます。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

XPS

メニュー項目	説明
エラーページを印刷 オフ* オン	XML マークアップエラーを含め、エラーに関する情報を含むテストページを印刷します。
最小線幅 1 ~ 30(2*)	最小線幅を設定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> • 1200 dpi で印刷されるジョブでは、この値がそのまま使用されます。 • 4800 CQ で印刷されるジョブでは、この値の半分が使用されます。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

PDF

メニュー項目	説明
用紙に合わせて印刷 オフ* オン	選択した用紙サイズに合わせてページの内容を拡大/縮小します。
注釈 印刷する 印刷しない*	PDF 内の注釈を印刷するかどうかを指定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

PostScript

メニュー項目	説明
PS エラーを印刷 オフ* オン	PostScript® エラーを説明するページを印刷します。 メモ: エラーが発生した場合、ジョブの処理が停止し、プリンタによりエラーメッセージが印刷されて、残りの印刷ジョブがキャンセルされます。
最小線幅 1 ~ 30(2*)	最小線幅を設定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> • 1200 dpi で印刷されるジョブでは、この値がそのまま使用されます。 • 4800 CQ で印刷されるジョブでは、この値の半分が使用されます。
PS スタートアップモードをロック オフ* オン	SysStart ファイルを無効化します。
イメージスムージング オフ* オン	解像度が低いイメージのコントラストやシャープネスを強調します。 メモ: この設定は、解像度が 300 dpi 以上のイメージには影響しません。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
フォントの優先順位 内蔵 * フラッシュ/ディスク	フォントの検索順序を指定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> • [内蔵]に設定すると、プリンタは要求されたフォントをメモリで検索してから、フラッシュメモリまたはプリンタのハードディスクで検索します。 • [フラッシュ/ディスク]に設定すると、プリンタは要求されたフォントをフラッシュメモリまたはプリンタのハードディスクで検索してから、プリンタメモリで検索します。 • このメニュー項目は、フラッシュメモリまたはプリンタのハードディスクが取り付けられているときにのみ表示されます。
印刷待ちタイムアウト オフ オン * (40 秒)	印刷ジョブを中止する前に、プリンタが他のデータを待つかどうかを設定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

PCL

メニュー項目	説明
クライアントリソース 内蔵 * ディスク フラッシュ すべて	初期設定のフォント選択項目を含むソースを選択します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> • [フラッシュ]および[ディスク]は、一部のプリンタ機種にのみ表示されます。 • [フラッシュ]および[ディスク]を表示するには、読み取り保護または書き込み保護されていないことを確認してください。
フォント名 [利用可能なフォントの一覧] (Courier *)	指定したフォントソースからフォントを選択します。
シンボルセット [利用可能なシンボルセットの一覧] (10U PC-8 *)	各フォント名のシンボルセットを指定します。 メモ: シンボルセットは英数字、句読点、特殊記号の組み合わせです。シンボルセットは、科学的な文章内の数学記号など、異なる言語または特定のプログラムをサポートします。
ピッチ 0.08 ~ 100 (10 *)	固定幅または等幅フォントのピッチを指定します。 メモ: ピッチとは、横方向 1 インチあたりの固定スペース文字の数のことです。
原稿の向き 縦 * 横	ページに印刷される文字やイメージの向きを指定します。
1 ページ当たりの行数 1 ~ 255	PCL® データストリームで印刷される各ページの文字の行数を指定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> • このメニュー項目によって、ページの初期設定の余白間に選択した数の要求される行を印刷させる縦方向の送りを有効にします。 • 米国向けの出荷時初期設定は、[60]になっています。米国以外の出荷時初期設定は[64]です。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
PCL5 の最小線幅 1 ~ 30(2*)	初期最小線幅を設定します。 メモ:
PCLXL の最小線幅 1 ~ 30(2*)	<ul style="list-style-type: none"> 1200 dpi で印刷されるジョブでは、この値がそのまま使用されます。 4800CQ で印刷されるジョブでは、この値の半分が使用されます。
A4 サイズの幅 198 mm * 203 mm	A4 サイズの用紙の論理ページ幅を設定します。 メモ: 論理ページとは、データが印刷される物理的な用紙上のスペースのことです。
LF 後自動 CR オフ* オン	改行制御コマンドの後にキャリッジリターンを実行するよう設定します。 メモ: キャリッジリターンは、同じ線上の最初の位置にカーソルを移動するようにプリンタに命令するメカニズムです。
CR 後自動 LF オフ* オン	キャリッジリターン制御コマンドの後に改行を実行するよう設定します。
トレイ番号変更 手差しトレイ トレイ [x] 割当て 手差し用紙を割当て 手差し封筒を割当て	給紙トレイの割り当てが異なる別の印刷ドライバやカスタムアプリケーションで動作するようにプリンタを設定し、特定の給紙トレイを使用するようにします。 以下のオプションから選択します。 オフ* - 出荷時初期設定の給紙トレイの割り当てを使用します。 なし - 給紙トレイで用紙フィーダーの選択コマンドを無視します。 0 ~ 199 - 数値を選択して、給紙トレイにユーザー定義値を割り当てます。 メモ: 手差しトレイは、一部のプリンタ機種でのみ使用可能です。
トレイ番号変更 出荷時初期設定の表示	各給紙トレイに割り当てられている出荷時初期設定値を表示します。
トレイ番号変更 初期設定に復元	トレイ番号変更の値を出荷時初期設定に復元します。
印刷タイムアウト オフ オン* [90]	指定した時間(秒)アイドル状態が続いた場合に印刷ジョブを完了するようにプリンタを設定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

HTML

メニュー項目	説明
フォント名 [フォントの一覧](Times*)	HTML ドキュメントに使用するフォントを設定します。
フォントサイズ 1 ~ 255(12*)	HTML ドキュメントで使用するフォントサイズを設定します。
倍率 1 ~ 400%(100*)	HTML ドキュメントを拡大/縮小します。
原稿の向き 縦* 横	HTML ドキュメントのページの向きを設定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
余白 8 ~ 255 mm(19*)	HTMLドキュメントのページ余白を設定します。
下地 印刷しない 印刷*	HTMLドキュメントの背景情報またはグラフィックスを印刷します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

イメージ

メニュー項目	説明
自動合せ オン オフ*	画像の利用可能用紙サイズと方向の設定を選択します。 メモ: [オン]に設定した場合、このメニュー項目では、画像の拡大/縮小と方向の設定は上書きされません。
輝度反転 オフ* オン	モノクロ2階調のイメージを反転します。 メモ: このメニュー項目は、GIF または JPEG イメージには適用されません。
拡大、縮小 左上隅に固定 自動調整* 中央に固定 高さ/幅に合わせる 高さに合わせる 幅に合わせる	画像印刷領域に合わせて画像を調整します。 メモ: [自動合せ]を[オン]に設定すると、[拡大縮小]は自動的に[自動調整]に設定されます。
用紙の向き 縦* 横 縦の反転 横の反転	ページに印刷される文字や画像の向きを指定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

用紙

トレイ構成設定

メニュー項目	説明
標準設定給紙源 トレイ [x](1*) 手差しトレイ 手差し用紙 手動封筒	すべての印刷ジョブの給紙トレイを設定します。 メモ: 手差しトレイは、[手差しトレイ設定]が[トレイ]に設定されている場合のみ、表示されます。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
用紙サイズ/タイプ トレイ [x] 手差しトレイ 手差し用紙 手動封筒	各給紙トレイにセットされている用紙サイズまたは用紙タイプを指定します。
代替サイズ オフ ステートメント/A5 レター/A4 上記のすべて*	<p>要求したサイズの用紙が給紙トレイにセットされていない場合に、指定のサイズの用紙を代替で使用するかどうかを設定します。</p> <p>メモ:</p> <ul style="list-style-type: none"> • [オフ]に設定すると、必要なサイズの用紙をセットするように画面に指示が表示されます。 • [ステートメント/A5]に設定すると、ステートメントがセットされている場合は A5 サイズのドキュメントがステートメントに印刷され、A5 がセットされている場合はステートメントサイズのドキュメントが A5 に印刷されます。 • [レター/A4]に設定すると、レターがセットされている場合は A4 サイズのドキュメントがレターに印刷され、A4 がセットされている場合はレターサイズのドキュメントが A4 に印刷されます。 • [上記のすべて]に設定すると、レター/A4 の代替が行われます。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

用紙構成

ユニバーサル設定

メニュー項目	説明
長さの単位 インチ mm	<p>ユニバーサル用紙の長さの単位を指定します。</p> <p>メモ: 米国向けの工場出荷時設定は[インチ]になっています。その他の国の工場出荷時設定は[mm]になっています。</p>
縦長の幅 3 ~ 14.17 インチ(8.50*) 76 ~ 359.91 mm(216*)	ユニバーサル用紙の縦長の幅を設定します。
縦長の高さ 3 ~ 14.17 インチ(14*) 76 ~ 359.91 mm(356*)	ユニバーサル用紙の縦長の高さを設定します。
給紙方向 短辺* 長辺	<p>プリンタが短辺と長辺のいずれから用紙を選択するかを設定します。</p> <p>メモ: [長辺]は、長い方の辺がサポートされる最大幅よりも短い場合にのみ表示されます。</p>
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

カスタムスキャンサイズ

メニュー項目	説明
カスタムスキャンサイズ [x] スキャンサイズ名 幅 1 ~ 8.50 インチ(8.50*) 25 ~ 216 mm(216*) 高さ 1 ~ 14 インチ(14*) 25 ~ 356 mm(297*) 原稿の向き 縦* 横 2 アップスキャン オフ* オン	スキャンサイズ名を割り当てて、スキャン設定を構成します。

用紙の種類

メニュー項目	説明
普通紙 厚紙 再生紙 光沢紙 ラベル紙 ビニールラベル紙 ボンド紙 封筒 レターヘッド紙 事前印刷用紙 カラー用紙 軽量紙 重量紙 ラフ紙/コットン紙 カスタム紙タイプ [x]	セットされた用紙の粗さと重さを指定します。

コピー

標準設定をコピー

メニュー項目	説明
内容の種類 文字 テキスト/写真 * 写真 グラフィックス	原稿の内容に基づいて、出力結果を向上させます。
内容のソース モノクロレーザー カラーレーザー * インクジェット 写真/フィルム 雑誌 新聞 出版物 その他	原稿のソースに基づいて、出力結果を向上させます。
両面片面選択 片面から片面 * 片面を両面に 両面を片面に 両面を両面に	原稿に応じてスキャン動作を指定します。
セパレータ紙 なし * 各部の間 各ジョブの間 各ページの間	印刷時に空白の区切り紙を挿入するかどうかを指定します。
区切り紙給紙源 トレイ[x](1 *) 多目的フィーダー	区切り紙の給紙源を指定します。
カラー オフ オン * 自動	カラー印刷するかどうかを指定します。
ページ集約 オフ * 縦 2 アップ 縦 4 アップ 横 2 アップ 横 4 アップ	複数のページ画像を 1 枚の用紙の片面に印刷するように指定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
ページ枠を印刷 オフ* オン	単一のページに複数のページを印刷する場合に、各画像の周囲に枠線を配置します。
丁合印刷 オフ[1,1,1,2,2,2] オン[1,2,1,2,1,2]*	順番に複数部印刷します。
[原稿サイズ]のサイズ [用紙サイズのリスト]	原稿の用紙サイズを設定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> 米国向けの工場出荷時設定は[レター]になっています。その他の国の工場出荷時設定は[A4]になっています。 このメニュー項目は、お使いのプリンタ機種によって異なります。
[用紙選択]の給紙源 トレイ[x](1*) 多目的フィーダー 自動サイズ調整	コピージョブの給紙源を指定します。
色温度 -4 ~ 4(0*)	寒色の強い出力を生成するか暖色の強い出力を生成するかを指定します。
濃さ -4 ~ 4(0*)	スキャンした画像の濃さを調整します。
コピー部数 1 ~ 9999(1*)	部数を指定します。
ヘッダー/フッター 上部左 上部中央 上部右 下部左 下部中央 下部右	印刷出力にヘッダーまたはフッターを適用します。
複製管理 コンフィデンシャル コピー ドラフト 緊急 カスタム オフ*	コピージョブの各ページに複製管理印刷する文字を指定します。
カスタムオーバーレイ	カスタムオーバーレイテキストを入力します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

詳細イメージング

メニュー項目	説明
カラーバランス -4 ~ 4(0*)	各色のトナー使用量を調整します。
カラードロップアウト なし* 赤 緑色 青 赤色 標準しきい値 0 ~ 255(128*) 緑色 標準しきい値 0 ~ 255(128*) 青色 標準しきい値 0 ~ 255(128*)	スキャン中にドロップアウトさせるカラーを指定し、そのカラーのドロップアウト設定を調整します。
自動カラー検出 カラー感度 1 ~ 9(5*) 領域感度 1 ~ 9(5*)	プリンタが原稿から検出するカラーの量を設定します。
コントラスト 内容に合わせて最適化* 0 1 2 3 4 5	出力のコントラストを指定します。
背景削除 下地の検出 コンテンツベース* ノイズ レベル -4 ~ 4(0*)	スキャン画像における背景の濃さを調節します。 メモ: 原稿から背景色を削除する場合は、[背景の検出]を[コンテンツベース]に設定します。 写真から画像ノイズを除去する場合は、[背景の検出]を[ノイズ]に設定します。
自動中央揃え オフ* オン	コンテンツをページの中央に合わせます。
鏡像 オフ* オン	原稿を左右反転した画像を作成します。
ネガイメージ オフ* オン	原稿のネガイメージを作成します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
シャドウ描写 -4 ~ 4(0*)	スキャン画像におけるシャドウ部の濃さを調節します。
ちょっと小さめ(全面) オフ* オン	原稿の端までスキャンできます。
シャープネス 1 ~ 5(3*)	スキャン画像のシャープネスを調整します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

管理制御

メニュー項目	説明
カラーコピーを許可 オフ オン*	コピーをカラーで印刷します。
優先コピーを許可 オフ オン*	印刷ジョブに割り込んで、ページまたはドキュメントをコピーします。
カスタムジョブスキャン オフ* オン	標準設定でカスタムジョブのスキャンをオンにします。
ショートカットとして保存を許可 オフ オン*	カスタムコピー設定をショートカットとして保存できるようにします。
サンプルコピー	サンプルコピーを印刷します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

FAX

FAX 初期設定

FAX モード

メニュー項目	説明
FAX モード Fax FAX サーバー 無効	FAX モードを選択します。 メモ: 出荷時初期設定は、プリンタ機種によって変わる場合があります。

FAX 設定

一般 FAX 設定

メニュー項目	説明
FAX 名	お使いの FAX 機を識別します。
FAX 番号	FAX 番号を識別します。
Fax ID FAX 名 FAX 番号 *	FAX 受信者に FAX 名または FAX 番号を通知します。
手差し FAX を有効化 オフ* オン	プリンタで FAX を手動で送受信する設定を行います。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> このメニュー項目には、電話回線スプリッタと電話の受話器が必要となります。 FAX 着信への応答、および FAX 番号のダイヤルは、通常の電話回線で行います。 手動 FAX 機能に直接移動するには、キーパッドで # と 0 をタッチします。
メモリ割当て すべて受信 ほとんど受信 均等に使用* ほぼ送信完了 すべて送信	FAX 送信用に割り当てられる内蔵プリンタメモリの容量を設定します。 メモ: このメニュー項目により、メモリバッファ状態や FAX の失敗を防ぎます。
FAX をキャンセル 許可する* 許可しない	送信 FAX を送信前にキャンセルしたり、受信 FAX を印刷終了前にキャンセルしたりします。
FAX 番号のマスキング オフ* 左から 右から	送信 FAX 番号をマスキングする形式を指定します。
マスキングする桁数 0 ~ 58(0*)	送信 FAX 番号をマスクする桁数を指定します。
接続回線の検出を有効化 オン* オフ	電話回線がプリンタに接続されているかどうかを確認します。 メモ: プリンタの電源をオンにしたときと通話前に、検出が行われます。
間違ったジャックの回線の検出を有効化 オフ オン*	電話回線がプリンタの正しいポートに接続されているかどうかを確認します。 メモ: プリンタの電源をオンにしたときと通話前に、検出が行われます。
使用されている内線番号のサポートを有効化 オフ オン*	同じ電話回線が別の電話など他のデバイスで使用されているかどうかを確認します。 メモ: プリンタの電源をオンにしたときと通話前に、検出が行われます。
FAX 互換性の最適化	他の FAX 機との互換性を最適化するために、プリンタの FAX 機能を設定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
FAX の転送 T.38 アナログ G.711 etherFAX	FAX の転送方式を設定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> このメニュー項目は、etherFAX または Fax over IP (FoIP) ライセンスバンドルがプリンタにインストールされている場合にのみ表示されます。 出荷時初期設定は、プリンタ機種によって変わる場合があります。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

HTTPS FAX 設定

メモ: このメニューは、[FAX の転送]が[etherFAX]に設定されている場合にのみ表示されます。

メニュー項目	説明
HTTPS サービス URL	etherFAX サービス URL を指定します。
HTTPS プロキシ	プロキシサーバーの URL を指定します。
HTTPS プロキシユーザー	プロキシサーバーのユーザー名とパスワードを指定します。
HTTPS プロキシパスワード	
FAX 送信の暗号化 無効 有効* 必須	送信 FAX メッセージの暗号化を有効にします。
FAX 受信の暗号化 無効 有効* 必須	受信 FAX メッセージの暗号化を有効にします。
HTTPS FAX 状態	etherFAX の通信状況を表示します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

FAX 送信設定

メニュー項目	説明
解像度 標準* ファイン スーパーファイン ウルトラファイン	スキャンした画像の解像度を設定します。 メモ: 解像度を高くするほど FAX 送信にかかる時間が長くなり、多くのメモリが必要になります。
原稿サイズ [用紙サイズのリスト](大きさ混在*)	原稿のサイズを指定します。
用紙の向き 縦* 横長	原稿の向きを指定します。 メモ: このメニュー項目は、一部のプリンタ機種にのみ表示されます。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
印刷面 オフ* 短辺 長辺	原稿の両面をスキャンする場合に、原稿の向きを指定します。 メモ: このメニュー項目は、一部のプリンタ機種にのみ表示されます。
内容の種類 文字* 文字/写真 写真 グラフィックス	原稿のコンテンツに基づいて、出力結果を向上させます。
内容のソース モノクロレーザー カラーレーザー* インクジェット 写真/フィルム 雑誌 新聞 出版物 その他	原稿のソースに基づいて、出力結果を向上させます。
濃さ 1 ~ 9(5*)	スキャンした画像の濃度を調整します。
PABX 経由 オン オフ*	ダイアルトーンを認識するまで待つことなく FAX 番号をダイヤルするようにプリンタを設定します。 メモ: 構内自動交換機(PABX)は、単一のアクセス番号で外部発信者に複数の回線を提供できる電話網です。
ダイヤルモード トーン* パルス	FAX 送受信のダイヤルモードを指定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

詳細イメージング

メニュー項目	説明
カラーバランス シアン - 赤 -4 ~ 4(0*) マゼンタ - 緑 -4 ~ 4(0*) イエロー - 青 -4 ~ 4(0*)	スキャンする際のカラーの彩度を調整します。
カラードロップアウト カラー削除(なし*) 赤色 初期しきい値(128*) 緑色 初期しきい値(128*) 青色 初期しきい値(128*)	スキャン中にドロップアウトさせるカラーを指定し、そのカラーのドロップアウト設定を調整します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
コントラスト 原稿内容に最適な設定 * 0 1 2 3 4 5	出力のコントラストを設定します。
背景削除 レベル -4 ~ 4(0*)	スキャン画像における背景の濃さを調節します。
左右反転 オフ* オン	原稿を左右反転した画像を作成します。
ネガイメージ オフ* オン	原稿のネガイメージを作成します。
シャドウ描写 -4 ~ 4(0*)	スキャン画像におけるシャドウ部の濃さを調節します。
端から端までスキャン オン オフ*	原稿の端までスキャンできます。
シャープネス 1 ~ 5(3*)	スキャン画像のシャープネスを調整します。
色温度 -4 ~ 4(0*)	寒色の強い出力を生成するか暖色の強い出力を生成するかを指定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

管理者用設定

メニュー項目	説明
カラー FAX スキャン有効化 初期設定でオフ* 初期設定でオン 使用しない 常に使用	FAX のカラー スキャンを有効化します。
自動リダイヤル 0 ~ 9(5*)	受信側 FAX 機器のアクティビティレベルに応じて、リダイヤル回数を調整します。
リダイヤル間隔 1 ~ 200 分(3*)	FAX が正常に送信される確率を高めるために、リダイヤル再試行までの間隔を長くします。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
ECM を有効化 オン* オフ	FAX ジョブのエラー修正モード (ECM) を有効にします。 メモ: FAX 送信処理において、電話回線ノイズや信号強度劣化により発生したエラーを ECM が検出して修正します。
FAX スキャンを有効化 オン* オフ	プリンタでスキャンした原稿を FAX します。
PC-FAX オン* オフ	プリンタドライバによる FAX 送信を許可します。
ショートカットとして保存を許可 オン* オフ	FAX 番号をショートカットとしてプリンタに保存します。
速度優先 33600* 14400 9600 4800 2400	FAX 送信の最大速度を設定します。
カスタムジョブスキャン オフ* オン	初期設定でカスタムジョブのスキャンをオンにします。 メモ: このメニュー項目はハードディスクがある場合にのみ表示されます。
スキャンプレビュー オフ* オン	ディスプレイにスキャンのプレビューを表示します。 メモ: このメニュー項目はハードディスクがある場合にのみ表示されます。
ADF の傾きを調整 オフ* オン	スキャンした画像の傾きを微調整します。
カラー FAX からモノクロ FAX への自動変換 オン* オフ	すべてのカラー送信 FAX を白黒 2 値に変換します。
FAX 番号を確認 オフ* オン	ユーザーに FAX 番号を確認するように求めます。
ダイヤルプレフィックス	外線発信番号を設定します。
ダイヤルプレフィックスルール	ダイヤルプレフィックスルールを設定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

FAX 受信設定

メニュー項目	説明
待機中の FAX ジョブ なし* トナー トナーと消耗品	利用できない特定のリソースを要求する FAX ジョブを印刷キューから削除します。
呼び出し回数 1 ~ 25(3*)	受信 FAX の呼び出し回数を設定します。
自動縮小 オン* オフ	ページに合わせて受信 FAX を縮小します。
給紙源 トレイ [x] 自動*	受信 FAX を印刷する際に使用するトレイを指定します。
印刷面 オン オフ*	用紙の両面に印刷します。
セパレータ紙 なし* 出力前 出力後	印刷時に空白の挿入紙を入れるかどうかを指定します。
区切り紙給紙源 トレイ [X](1*)	区切り紙の給紙源を指定します。
排紙トレイ 標準排紙トレイ	受信 FAX の排紙トレイを指定します。
FAX のフッター オン オフ*	受信 FAX の各ページの下に、送信情報を印刷します。
FAX フッター日時スタンプ 受信* 印刷する	受信 FAX の各ページの下部に、タイムスタンプを印刷します。
ステープル オフ* 1 ステープル 2 ステープル	印刷した FAX の出力紙をホッチキスで留めます。 メモ: このメニュー項目はフィニッシャがある場合にのみ表示されます。
FAX 保留 FAX 保留モード オフ* 常にオン 手差し スケジュール	受信 FAX がリリースされるまで印刷を保留します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

管理者用設定

メニュー項目	説明
FAX 受信を有効化 オン* オフ	FAX を受信するようにプリンタを設定します。
カラー FAX 受信を有効化 オン* オフ	FAX をカラーで受信するようにプリンタを設定します。
発信者番号表示を有効化 オン オフ*	受信 FAX の送信元の番号を表示します。
無記名の FAX をブロック オン オフ*	ステーション ID または FAX ID が設定されていないデバイスから送信された FAX の着信を拒否します。
禁止された FAX 一覧 禁止された FAX を追加	ブロックする電話番号を指定します。
受信の設定 すべて* 1 回のみ受信 2 回のみ受信 3 回のみ受信 1 回または 2 回のみ受信 1 回または 3 回のみ受信 2 回または 3 回のみ受信	受信 FAX 専用の着信音パターンを設定します。
自動応答 オン* オフ	FAX を自動で受信するようにプリンタを設定します。
手動応答コード 0 ~ 9(9*)	電話番号パッドでコードを手動で入力し、FAX 受信を開始します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> このメニュー項目は、プリンタと電話が同じ回線を共有している場合にのみ表示されます。 このメニュー項目は、FAX を手動で受信するようにプリンタを設定している場合にのみ表示されます。
FAX 転送 印刷* 印刷して転送 転送	受信 FAX を転送するかどうかを指定します。
転送先 宛先 1 宛先 2	受信 FAX の転送先を指定します。 メモ: このメニュー項目は、[FAX 転送]が[印刷して転送]または[転送]に設定されている場合にのみ表示されます。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
速度優先 33600 * 14400 9600 4800 2400	FAX の送信最大ビット速度を設定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

FAX 送付状ページ

メニュー項目	説明
FAX 送付状ページ 初期設定でオフ * 初期設定でオン 使用しない 常に使用	FAX 送付状ページの設定を構成します。
宛先を含める オフ * オン	
送信者を含める オフ * オン	
送信元	
[メッセージを含む]フィールド オフ * オン	
本文:	
ロゴを含む オフ * オン	
フッターを含める[x] オフ * オン	
フッター[x]	
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

FAX ログ設定

メニュー項目	説明
送信ログ周期 常時 * 実行しない エラー時のみ	プリンタで送信ログを作成する頻度を指定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
送信ログ操作 印刷する オフ オン* Eメール オフ* オン	FAX の正常送信および送信エラーのログを印刷または E メール送信します。
受信エラーログ 印刷しない* エラー時に印刷	FAX 受信エラーのログを印刷します。
自動印刷ログ オン* オフ	すべての FAX アクティビティを印刷します。
給紙源を記録 トレイ [x](1*)	ログを印刷する際に使用する給紙トレイを指定します。
ログ表示 リモート FAX 名* ダイヤルした番号	リモート FAX 名または FAX 番号で送信者を特定します。
ジョブログを有効化 オン* オフ	すべての FAX ジョブの概要を表示します。
通話ログを有効化 オン* オフ	FAX 発信履歴の概要を表示します。
ログ排出トレイ 標準排紙トレイ* 排紙トレイ[x]	印刷したログの排紙トレイを指定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

スピーカー設定

メニュー項目	説明
スピーカーモード 常にオフ* 常にオン 接続されるまでオン	FAX のスピーカーモードを設定します。
スピーカー音量 小* 高	FAX のスピーカー音量を調整します。
着信音量 オフ* オン	着信音を有効にします。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

FAX サーバー設定

一般 FAX 設定

メニュー項目	説明
送信先形式	FAX 送信先を指定します。 メモ: FAX 番号を使用する場合は、番号の前にシャープ(#)を入力します。
返信アドレス	FAX を送信するための返信アドレスを指定します。
件名	FAX の件名とメッセージを指定します。
本文	
アナログ受信を有効化 オフ* オン	アナログ FAX を受信するようにプリンタを設定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

FAX サーバー E メール設定

メニュー項目	説明
E メール SMTP サーバーを使用 オン* オフ	ファックスの送受信では、Eメールの簡易メール転送プロトコル(SMTP)を使用します。 メモ: [オン]に設定すると、[FAX サーバー E メール設定]メニュー以外の設定は表示されません。
一次 SMTP ゲートウェイ	プライマリ SMTP サーバーの IP アドレスまたはホスト名を入力します。
一次 SMTP ゲートウェイポート 1 ~ 65535(25*)	プライマリ SMTP サーバーのポート番号を入力します。
二次 SMTP ゲートウェイ	セカンダリまたはバックアップ SMTP サーバーのサーバー IP アドレスまたはホスト名を入力します。
二次 SMTP ゲートウェイポート 1 ~ 65535(25*)	セカンダリまたはバックアップ SMTP サーバーのサーバーポート番号を入力します。
SMTP タイムアウト 5 ~ 30(30*)	SMTP サーバーが応答しない場合にプリンタがタイムアウトするまでの時間を設定します。
返信アドレス	FAX を送信するための返信アドレスを指定します。
Use SSL/TLS 無効* 交渉 必須	暗号化されたリンクを使用して FAX を送信するかどうかを指定します。
信頼済み証明書を使用 オフ オン*	SMTP サーバーにアクセスする際の信頼済み証明書を指定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
SMTP サーバー認証 使用しない* Login/Plain NTLM CRAM-MD5 Digest-MD5 Kerberos 5	SMTP サーバーの認証タイプを設定します。
デバイスから送信される E メール なし* デバイスの SMTP 証明書を使用	デバイスから送信される E メールに資格情報が必要かどうかを指定します。
ユーザーから送信される E メール なし* デバイスの SMTP 証明書を使用 ログインしているユーザー ID とパスワードを使用 セッション E メールアドレスとパスワードを使用 ユーザーに確認	ユーザーから送信される E メールに資格情報が必要かどうかを指定します。
Active Directory デバイス資格証明書を使用 オフ* オン	SMTP サーバーに接続するために、ユーザー資格情報とグループ送信先を有効にします。
デバイスのユーザー ID	SMTP サーバーに接続する際のユーザー ID とパスワードを指定します。
デバイスのパスワード	
Kerberos 5 レルム	Kerberos 5 認証プロトコルのレルムを指定します。
NTLM ドメイン	NTLM セキュリティプロトコルのドメイン名を指定します。
[SMTP サーバーが設定されていません]エラーを無効にする オフ* オン	[SMTP サーバーが設定されていません]エラーメッセージを非表示にします。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

FAX サーバースキャン設定

メニュー項目	説明
イメージ形式 TIFF (.tif) PDF (.pdf) * XPS (.xps)	スキャン画像のファイル形式を指定します。
原稿の画質 文字* テキスト/写真 写真 グラフィックス	原稿の種類に基づいて、出力結果を向上させます。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
原稿の種類 モノクロレーザー カラーレーザー * インクジェット 写真/フィルム 雑誌 新聞 出版物 その他	原稿の種類に基づいて、出力結果を向上させます。
FAX 解像度 標準 * ファイン スーパーファイン ウルトラファイン	FAX の解像度を設定します。
両面片面選択 オフ * 短辺 長辺	原稿の両面をスキャンする場合に、原稿の向きを指定します。
濃さ 1 ~ 9(5 *)	出力の濃さを設定します。
用紙の向き 縦 * 横長	ページ上のテキストおよびグラフィックスの向きを指定します。
原稿サイズ [用紙サイズのリスト]	原稿の用紙サイズを設定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> • [大きさ混在]は米国向けの出荷時初期設定です。その他の国の工場出荷時設定は[A4]になっています。 • この設定は、お使いのプリンタ機種によって異なります。
複数ページ TIFF を使用 オフ オン *	単一ページ TIFF ファイルと複数ページ TIFF ファイルのどちらを使用するかを選択します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

E メール

E メール設定

メニュー項目	説明
プライマリ SMTP ゲートウェイ	E メール送信用のプライマリ SMTP サーバーの IP アドレスまたはホスト名を入力します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
プライマリ SMTP ゲートウェイポート 1 ~ 65535(25*)	プライマリ SMTP サーバーのポート番号を入力します。
セカンダリ SMTP ゲートウェイ	セカンダリまたはバックアップ SMTP サーバーのサーバー IP アドレスまたはホスト名を入力します。
セカンダリ SMTP ゲートウェイポート 1 ~ 65535(25*)	セカンダリまたはバックアップ SMTP サーバーのサーバーポート番号を入力します。
SMTP タイムアウト 5 ~ 30 秒(30*)	SMTP サーバーが応答しない場合、プリンタがタイムアウトするまでの時間を設定します。
返信アドレス	Eメールの返信アドレスを指定します。
SMTP の初期設定返信アドレスを常に使用する オン* オフ	SMTP サーバーで標準設定の返信アドレスを常に使用します。
SSL/TLS 使用 無効* ネゴシエーション 必須	暗号化されたリンクを使用して Eメールを送信するかどうかを指定します。
信頼済み証明書を使用 オフ オン*	SMTP サーバーにアクセスする際の信頼済み証明書が必要となります。
SMTP サーバー認証 使用しない* Login/Plain NTLM CRAM-MD5 Digest-MD5 Kerberos 5	SMTP サーバーの認証の種類を設定します。
デバイスから送信される Eメール なし* デバイスの SMTP 証明書を使用	デバイスから送信される Eメールに資格情報が必要かどうかを指定します。
ユーザーから送信される Eメール なし* デバイスの SMTP 証明書を使用 セッションユーザー ID およびパスワードを使用 セッション Eメールアドレスとパスワードを使用 ユーザーに確認	ユーザーから送信される Eメールに資格情報が必要かどうかを指定します。
Active Directory デバイス資格証明書を使用 オフ オン*	SMTP サーバーに接続するために、ユーザー資格情報とグループ指定を有効にします。
SMTP サーバーのユーザー ID	SMTP サーバーに接続する際のユーザー ID とパスワードを指定します。
SMTP サーバーのパスワード	
Kerberos 5 レルム	Kerberos 5 認証プロトコルのレルムを指定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
NTLM ドメイン	NTLM セキュリティプロトコルのドメイン名を指定します。
[SMTP サーバーが設定されていません]エラーを無効にする オフ* オン	[SMTP サーバーが設定されていません]エラーメッセージを非表示にします。

メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。

E メール初期設定

メニュー項目	説明
件名	Eメールの件名と本文を指定します。
本文	
ファイル名	スキャン画像のファイル名を指定します。
形式 PDF(.pdf) * TIFF(.tif) JPEG(.jpg) XPS(.xps) TXT(.txt) RTF(.rtf) DOCX(.docx)	スキャン画像のファイル形式を指定します。
グローバル OCR 設定 認識済み言語 自動回転 しみ除去 自動コントラスト補正	光学式文字認識(OCR)の設定を行います。 メモ: このメニュー項目は、OCR ソリューションを購入してインストールしている場合にのみ表示されます。

メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。

メニュー項目	説明
<p>PDF 設定</p> <ul style="list-style-type: none"> PDF バージョン <ul style="list-style-type: none"> 1.3 1.4 1.5 * 1.6 1.7 アーカイブバージョン <ul style="list-style-type: none"> A-1a * A-1b 高圧縮 <ul style="list-style-type: none"> オフ * オン セキュア <ul style="list-style-type: none"> オフ * オン 検索可能 <ul style="list-style-type: none"> オフ * オン アーカイブ(PDF/A) <ul style="list-style-type: none"> オフ * オン 	<p>スキャン画像の PDF 形式を設定します。</p>
<p>原稿の画質</p> <ul style="list-style-type: none"> 文字 テキスト/写真 * 写真 グラフィック 	<p>原稿の内容に基づいて、出力結果を向上させます。</p>
<p>原稿の種類</p> <ul style="list-style-type: none"> モノクロレーザー * カラーレーザー インクジェット 写真/フィルム 雑誌 新聞 出版物 その他 	<p>原稿に基づいて、出力結果を向上させます。</p>
<p>カラー</p> <ul style="list-style-type: none"> モノクロ グレースケール カラー * 自動 	<p>画像をスキャンするときのカラーを指定します。</p>
<p>メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。</p>	

メニュー項目	説明
解像度 75 dpi 150 dpi * 200 dpi 300 dpi 400 dpi 600 dpi	スキャンした画像の解像度を設定します。
濃度 -4 ~ 4(0*)	スキャンした画像の濃さを調整します。
原稿の向き 縦 * 横	ページに印刷される文字や画像の向きを指定します。
原稿サイズ [用紙サイズのリスト]	原稿の用紙サイズを設定します。 メモ: 工場出荷時設定は[大きさ混在]になっています。
両面片面選択 オフ * 長辺 短辺	両面の原稿をスキャンする際のテキストおよびグラフィックの向きを指定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

イメージ詳細設定

メニュー項目	説明
カラーバランス シアン - 赤 -4 ~ 4(0*) マゼンタ - 緑 -4 ~ 4(0*) イエロー - 青 -4 ~ 4(0*)	スキャン中、カラーの彩度を調整します。
カラー削除 カラー削除 なし * レッド グリーン ブルー 赤色 初期しきい値 0 ~ 255(128*) 緑色 初期しきい値 0 ~ 255(128*) 青色 初期しきい値 0 ~ 255(128*)	スキャン中に削除するカラーを指定し、そのカラーの削除設定を調整します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
自動カラー検出 カラー感度 1 ~ 9(5*) 判別範囲 1 ~ 9(5*) Eメールビット深度 1ビット* 8ビット	プリンタが原稿から検出するカラーの量を設定します。 メモ: このメニュー項目は、[カラー]が[自動]に設定されている場合にのみ、表示されます。
JPEG 品質 原稿内容に最適な設定* 5 ~ 95	JPEG 形式のスキャン画像の品質を設定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> • 5 に設定すると、ファイルサイズが小さくなりますが、画質も落ちます。 • 95 に設定すると、画質は最高になりますが、ファイルサイズが大きくなります。
コントラスト 原稿内容に最適な設定* 0 1 2 3 4 5	出力のコントラストを指定します。
下地調整 下地の検出 自動* 固定 レベル -4 ~ 4(0*)	スキャン画像における背景の濃さを調節します。 メモ: 原稿から背景色を削除する場合は、[下地の検出]を[自動]に設定します。写真から画像ノイズを除去する場合は、[下地の検出]を[固定]に設定します。
鏡像 オフ* オン	原稿を左右反転した画像を作成します。
ネガポジ反転 オフ* オン	原稿のネガイメージを作成します。
シャドウ調整 -4 ~ 4(0*)	スキャン画像におけるシャドウ部の濃さを調節します。
ちょっと小さめ(全面) オフ* オン	原稿の端までスキャンできます。
シャープネス 1 ~ 5(3*)	スキャン画像のシャープネスを調整します。
色温度 -4 ~ 4(0*)	寒色の強い出力を生成するか暖色の強い出力を生成するかを指定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
白紙ページ 白紙の除去 白紙ページの感度	白紙ページを含めるかどうかを指定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

管理制御

メニュー項目	説明
Eメールの最大送信サイズ 0 ~ 65535(0*)	各 Eメールのファイルサイズの上限を設定します。
メールサイズのエラーメッセージ	Eメールがファイルサイズの上限を超えた場合、プリンタから送信されるエラーメッセージを指定します。 メモ: 1,024 文字以下で入力します。
送信先を制限	指定したリストのドメイン名にのみ Eメールの送信を制限します。 メモ: カンマを使用して、各ドメインを区切ります。
自分にコピーを送信 表示しない* 初期設定でオン 初期設定でオフ 常にオン	自分自身に Eメールのコピーを送信します。
Eメール受信者を制限 オフ* オン	Eメール受信者数を制限します。
CC:/BCC:を使用 オフ* オン	Eメールの CC および BCC を有効にします。
複数ページ TIFF を使用 オン* オフ	単一ページ TIFF ファイルと複数ページ TIFF ファイルのどちらを使用するかを選択します。
TIFF 圧縮 LZW* JPEG	TIFF ファイルの圧縮オプションを設定します。
文字の画質設定 5 ~ 95(75*)	スキャン画像の文字の品質を設定します。
文字/写真の画質設定 5 ~ 95(75*)	スキャン画像の文字または写真の品質を設定します。
写真の画質設定 5 ~ 95(50*)	スキャン画像の写真の品質を設定します。
送信ログ ログを印刷* ログを印刷しない エラー時のみ印刷	送信に成功した Eメールのログを印刷します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
ログのトレイ指定 トレイ[x](1*) 多目的フィーダー	ログを印刷する際に用紙を使用する給紙トレイを指定します。
カスタムジョブスキャン オフ* オン	初期設定でカスタムジョブのスキャンをオンにします。 メモ: このメニュー項目はハードディスクがある場合にのみ表示されます。
スキャンプレビュー オフ オン*	ディスプレイにスキャンプレビューを表示します。 メモ: このメニュー項目は、プリンタにハードディスクが取り付けられている場合のみ表示されます。
ショートカットとして保存を許可 オフ オン*	E メールアドレスをショートカットとして保存できるようにします。 メモ: [オフ]を選択すると、Eメールの[送信先]画面に[ショートカットとして保存]ボタンが表示されません。
送信される画像 添付ファイル* Web リンク	Eメールで画像を送信する方法を指定します。
送信後に E メール情報をリセットする オフ オン*	Eメールの送信後、初期設定の E メール情報に戻します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

Web リンク設定

メニュー項目	説明
サーバー	Web リンクとして E メールを送信するように、プリンタを設定します。
ログイン	
パスワード	
パス	
ファイル名	
Web リンク	

FTP

FTP 標準設定

メニュー項目	説明
形式 PDF(.pdf) * TIFF(.tif) JPEG(.jpg) XPS(.xps) TXT(.txt) RTF(.rtf) DOCX(.docx)	スキャン画像のファイル形式を指定します。 メモ: メニュー項目は、お使いのプリンタ機種によって異なります。
グローバル OCR 設定 認識済み言語 自動回転 しみ除去 自動コントラスト補正	光学式文字認識(OCR)の設定を行います。 メモ: このメニューは、OCR ソリューションを購入してインストールしている場合のみ表示されます。
PDF 設定 PDF バージョン 1.3 1.4 1.5 * 1.6 1.7 アーカイブバージョン A-1a * A-1b セキュア オフ * オン アーカイブ(PDF/A) オフ * オン	スキャン画像の PDF 形式を設定します。
内容の種類 文字 テキスト/写真 * グラフィックス 写真	原稿の内容に基づいて、出力結果を向上させます。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
内容のソース モノクロレーザー カラーレーザー * インクジェット 写真/フィルム 雑誌 新聞 出版物 その他	原稿のソースに基づいて、出力結果を向上させます。
カラー モノクロ グレースケール カラー * 自動	画像をスキャンするときのカラーを指定します。
解像度 75 dpi 150 dpi * 200 dpi 300 dpi 400 dpi 600 dpi	スキャンした画像の解像度を設定します。
濃さ -4 ~ 4(0*)	スキャンした画像の濃さを調整します。
用紙の向き ポートレート * 横長	ページに印刷される文字や画像の向きを指定します。
原稿サイズ [用紙サイズのリスト]	原稿の用紙サイズを設定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> • 米国向けの工場出荷時設定は[レター]になっています。その他の国の工場出荷時設定は[A4]になっています。 • メニュー項目は、お使いのプリンタ機種によって異なります。
両面片面選択 オフ * 長辺 短辺	両面の原稿をスキャンする際のテキストおよびグラフィックスの向きを指定します。
ファイル名	スキャン画像のファイル名を指定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

詳細イメージング

メニュー項目	説明
カラーバランス -4 ~ 4(0*)	スキャン出力の各色のトナー使用量を調整します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
カラードロップアウト カラードロップアウト なし* 赤 緑色 青 赤色 標準しきい値 0 ~ 255(128*) 緑色 標準しきい値 0 ~ 255(128*) 青色 標準しきい値 0 ~ 255(128*)	スキャン中にドロップアウトさせるカラーを指定し、そのカラーのドロップアウト設定を調整します。
自動カラー検出 カラー感度 1 ~ 9(5*) 領域感度 1 ~ 9(5*)	プリンタが原稿から検出するカラーの量を設定します。 メモ: このメニュー項目は、[カラー]が[自動]に設定されている場合にのみ、表示されます。
JPEG 品質 内容に合わせて最適化* 5 ~ 95	JPEG 形式画像の品質を設定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> • 5 に設定すると、ファイルサイズが小さくなりますが、画質も落ちます。 • 90 に設定すると、画質は最高になりますが、ファイルサイズが大きくなります。
コントラスト 内容に合わせて最適化* 0 1 2 3 4 5	出力のコントラストを指定します。
背景削除 下地の検出 コンテンツベース* ノイズ レベル -4 ~ 4(0*)	スキャン画像における背景の濃さを調節します。 メモ: 原稿から背景色を削除する場合は、[背景の検出]を[コンテンツベース]に設定します。写真から画像ノイズを除去する場合は、[背景の検出]を[ノイズ]に設定します。
鏡像 オフ* オン	原稿を左右反転した画像を作成します。
ネガイメージ オフ* オン	原稿のネガイメージを作成します。
シャドウ描写 -4 ~ 4(0*)	スキャン画像におけるシャドウ部の濃さを調節します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
ちょっと小さめ(全面) オフ* オン	原稿の端までスキャンできます。
シャープネス 1 ~ 5(3*)	スキャン画像のシャープネスを調整します。
色温度 -4 ~ 4(0*)	寒色の強い出力を生成するか暖色の強い出力を生成するかを指定します。
白紙ページ 白紙の除去 白紙ページの感度	白紙ページを含めるかどうかを指定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

管理制御

メニュー項目	説明
テキスト標準設定 5 ~ 95(75*)	スキャン画像の文字の品質を設定します。
文字/写真標準設定 5 ~ 95(75*)	スキャン画像の文字または写真画像の品質を設定します。
写真標準設定 5 ~ 95(50*)	スキャン画像の写真画像の品質を設定します。
複数ページ TIFF を使用 オン* オフ	単一ページ TIFF ファイルと複数ページ TIFF ファイルのどちらを使用するかを選択します。
TIFF 圧縮 LZW* JPEG	TIFF ファイルの圧縮オプションを設定します。
送信ログ ログを印刷* ログを印刷しない エラーのみ印刷	成功した FTP スキャン送信のログを印刷します。
給紙源を記録 トレイ[x](1*) 多目的フィーダー	FTP ログを印刷する際の給紙源を指定します。
FTP ビット深度 1 ビット 8 ビット*	1 ビット画像を使用することで、文字/写真モードのファイルサイズを小さくすることができます。 メモ: このメニュー項目は、[カラー]が[グレー]に設定されている場合にのみ、表示されます。
カスタムジョブスキャン オフ* オン	標準設定でカスタムジョブのスキャンをオンにします。 メモ: このメニュー項目はハードディスクがある場合にのみ表示されます。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
スキャンプレビュー オフ オン*	ディスプレイにスキャンのプレビューを表示します。 メモ: このメニュー項目はハードディスクがある場合にのみ表示されます。
ショートカットとして保存を許可 オフ オン*	カスタム FTP 設定をショートカットとして保存します。

メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。

USB ドライブ

フラッシュドライブスキャン

メニュー項目	説明
形式 PDF(.pdf) * TIFF(.tif) JPEG(.jpg) XPS(.xps)	スキャン画像のファイル形式を指定します。 メモ: 設定は、お使いのプリンタ機種によって異なります。
グローバル OCR 設定 認識済み言語 自動回転 しみ除去 自動コントラスト補正	光学式文字認識(OCR)の設定を行います。 メモ: このメニューは、OCR ソリューションを購入してインストールしている場合のみ表示されます。
PDF 設定 PDF バージョン 1.3 1.4 1.5 * 1.6 1.7 アーカイブバージョン A-1a * A-1b セキュア オフ* オン アーカイブ(PDF/A) オフ* オン	スキャン画像の PDF 形式を設定します。

メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。

メニュー項目	説明
内容の種類 文字 テキスト/写真 * グラフィックス 写真	原稿の内容に基づいて、出力結果を向上させます。
内容のソース モノクロレーザー カラーレーザー * インクジェット 写真/フィルム 雑誌 新聞 出版物 その他	原稿のソースに基づいて、出力結果を向上させます。
カラー モノクロ グレースケール カラー * 自動	画像をスキャンするときのカラーを指定します。
解像度 75 dpi 150 dpi * 200 dpi 300 dpi 400 dpi 600 dpi	スキャンした画像の解像度を設定します。
濃さ 1 ~ 9(5*)	スキャンした画像の濃さを調整します。
用紙の向き ポートレート * 横長	ページに印刷される文字や画像の向きを指定します。
原稿サイズ [用紙サイズのリスト]	原稿の用紙サイズを設定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> • 米国向けの工場出荷時設定は[レター]になっています。その他の国の工場出荷時設定は[A4]になっています。 • このメニュー項目は、お使いのプリンタ機種によって異なります。
両面片面選択 オフ * 長辺 短辺	両面の原稿をスキャンする際のテキストおよびグラフィックスの向きを指定します。
ファイル名	スキャン画像のファイル名を指定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

詳細イメージング

メニュー項目	説明
カラーバランス	各色のトナー使用量を調整します。
カラードロップアウト カラードロップアウト なし* 赤 緑色 青 赤色 標準しきい値 0 ~ 255(128*) 緑色 標準しきい値 0 ~ 255(128*) 青色 標準しきい値 0 ~ 255(128*)	スキャン中にドロップアウトさせるカラーを指定し、そのカラーのドロップアウト設定を調整します。
自動カラー検出 カラー感度 1 ~ 9(5*) 領域感度 1 ~ 9(5*)	プリンタが原稿から検出するカラーの量を設定します。 メモ: このメニュー項目は、[カラー]が[自動]に設定されている場合にのみ、表示されます。
JPEG 品質 内容に合わせて最適化* 5 ~ 95	JPEG 形式画像の品質を設定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> • 5 に設定すると、ファイルサイズが小さくなりますが、画質も落ちます。 • 90 に設定すると、画質は最高になりますが、ファイルサイズが大きくなります。
コントラスト 内容に合わせて最適化* 0 1 2 3 4 5	出力のコントラストを指定します。
背景削除 下地の検出 コンテンツベース* ノイズ レベル -4 ~ 4(0*)	スキャン画像における背景の濃さを調節します。 メモ: 原稿から背景色を削除する場合は、[背景の検出]を[コンテンツベース]に設定します。写真から画像ノイズを除去する場合は、[背景の検出]を[ノイズ]に設定します。
鏡像 オフ* オン	原稿を左右反転した画像を作成します。
ネガイメージ オフ* オン	原稿のネガイメージを作成します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
シャドウ描写 -4 ~ 4(0*)	スキャン画像におけるシャドウ部の濃さを調節します。
ちょっと小さめ(全面) オフ* オン	原稿の端までスキャンできます。
シャープネス 1 ~ 5(3*)	スキャン画像のシャープネスを調整します。
色温度 -4 ~ 4(0*)	寒色の強い出力を生成するか暖色の強い出力を生成するかを指定します。
白紙ページ 白紙の除去 白紙ページの感度	白紙ページを含めるかどうかを指定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

管理制御

メニュー項目	説明
テキスト標準設定 5 ~ 95(75*)	スキャン画像の文字の品質を設定します。
文字/写真標準設定 5 ~ 95(75*)	スキャン画像の文字または写真の品質を設定します。
写真標準設定 5 ~ 95(75*)	スキャン画像の写真の品質を設定します。
複数ページ TIFF を使用 オン* オフ	単一ページ TIFF ファイルと複数ページ TIFF ファイルのどちらを使用するかを選択します。
TIFF 圧縮 LZW* JPEG	TIFF ファイルの圧縮を設定します。
スキャンビット深度 1 ビット 8 ビット*	1 ビット画像を使用することで、文字/写真モードのファイルサイズを小さくすることができます。 メモ: このメニュー項目は、[カラー]が[グレー]に設定されている場合にのみ、表示されます。
カスタムジョブスキャン オフ* オン	標準設定でカスタムジョブのスキャンをオンにします。 メモ: このメニュー項目はハードディスクがある場合にのみ表示されます。
スキャンプレビュー オフ オン*	ディスプレイにスキャンのプレビューを表示します。 メモ: このメニュー項目はハードディスクがある場合にのみ表示されます。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

フラッシュドライブプリント

メニュー項目	説明
印刷部数 1 ~ 9999(1*)	コピー部数を設定します。
トレイ指定 トレイ [X](1*) 手差しトレイ 手差し用紙 手差し封筒	印刷ジョブの給紙トレイを設定します。 メモ: 手差しトレイは、一部のプリンタ機種でのみ使用可能です。
カタログ オフ オープン*	カラーで印刷出力します。
ソート(1部ごと) (1,1,1) (2,2,2) (1,2,3) (1,2,3)*	順番に複数部印刷します。
両面片面選択 片面* 両面	用紙の片面に印刷するか両面に印刷するかを指定します。
反転スタイル 長辺* 短辺	両面印刷を実行する場合は、用紙の辺(長辺または短辺)が綴じられていないかどうかを確認します。 メモ: 選択したオプションに応じて、プリンタはページの各印刷情報を自動的にオフセットしてジョブを正しく綴じます。
ページ集約 オフ* 2 アップ 3 アップ 4 アップ 6 アップ 9 アップ 12 アップ 16 アップ	複数のページのイメージを 1 枚の用紙の片面に印刷します。
集約順 横方向* 横方向(右から) 縦方向(右から) 縦方向	[ページ集約]を使用する場合に、複数のページのイメージの位置を指定します。 メモ: 配置は、ページのイメージ数とページの向きによって異なります。
原稿セット方向 自動* 横 縦	[ページ集約]を使用する場合に、複数ページのドキュメントの向きを指定します。
ページ枠 なし* 実線	[ページ集約]を使用する場合に、各ページのイメージに枠線を印刷します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
挿入紙 オフ* 各コピー部数の間 各ジョブの間 各ページの間	印刷時に空白の挿入紙を入れるかどうかを指定します。
挿入紙のトレイ指定 トレイ[x](1*) 手差しトレイ	挿入紙の給紙トレイを指定します。 メモ: 手差しトレイは、一部のプリンタ機種でのみ使用可能です。
白紙ページ 印刷しない* 印刷	印刷ジョブで白紙ページを印刷するかどうかを指定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

ネットワーク/ポート

ネットワークの概要

メニュー項目	説明
アクティブアダプタ 自動* 標準ネットワーク ワイヤレス	ネットワーク接続のタイプを指定します。 メモ: [ワイヤレス]は、ワイヤレスネットワークに接続されているプリンタでのみ使用できます。
ネットワーク状況	プリンタのネットワークの接続状態を表示します。
プリンタにネットワークの状態を表示 オフ オン*	ディスプレイにネットワーク状況を表示します。
速度、通信モード	現在有効になっているネットワークカードの速度を示します。
IPv4	IPv4 アドレスを表示します。
すべての IPv6 アドレス	すべての IPv6 アドレスを表示します。
プリントサーバーをリセット	プリンタへの有効なネットワーク接続すべてをリセットします。 メモ: この設定により、すべてのネットワーク設定が削除されます。
ネットワークジョブのタイムアウト オフ オン*(90 秒)	ネットワークの印刷ジョブがキャンセルされるまでの時間を設定します。
バナーページ オフ* オン	バナーページを印刷します。
ポートの範囲	ポートをブロックしているファイアウォールの背後にあるプリンタに対して、有効なポート範囲を指定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
ネットワーク接続を有効化 オフ オン*	プリンタのネットワーク接続を有効にします。
LLDP を有効化 オフ* オン	プリンタにリンク層ディスカバリプロトコル(LLDP)を有効にします。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

ワイヤレス

メニュー項目	説明
モバイルアプリを使用した設定	Lexmark モバイルアシスタントアプリを使用してワイヤレス接続を設定します。
プリンタパネルで設定 ネットワークを選択 Wi-Fi ネットワークを追加 • ネットワーク名 • ネットワークモード • ワイヤレスセキュリティモード (無効*)	プリンタが接続するワイヤレスネットワークを指定します。 メモ: このメニュー項目は、Embedded Web Server に[ワイヤレス接続設定]として表示されます。
WPS(Wi-Fi Protected Setup) プッシュボタン方式を開始 暗証番号方式を開始	ワイヤレスネットワークを確立し、ネットワークセキュリティを有効にします。 メモ: • [プッシュボタン方式を開始]を選択した場合、プリンタとアクセスポイント(ワイヤレスルーター)の両方のボタンを一定時間内に押すと、プリンタがワイヤレスネットワークに接続されます。 • [暗証番号方式を開始]では、プリンタの PIN がアクセスポイントのワイヤレス設定に入力されると、プリンタがワイヤレスネットワークに接続されます。
互換性 802.11b/g/n(2.4GHz)*	ワイヤレスネットワークのワイヤレス規格を指定します。
ワイヤレスセキュリティモード 無効* WEP WPA2/WPA - Personal WPA2 - Personal 802.1x - RADIUS	プリンタをワイヤレスデバイスに接続する際のセキュリティのタイプを設定します。
WEP 認証モード 自動* オープン 共有	プリンタで使用する WEP(Wireless Encryption Protocol)のタイプを設定します。 メモ: このメニュー項目は、[ワイヤレスセキュリティモード]が[WEP]に設定されている場合にのみ表示されます。
WEP キーを設定	安全なワイヤレス接続のための WEP パスワードを指定します。 メモ: このメニュー項目は、[ワイヤレスセキュリティモード]が[WEP]に設定されている場合にのみ表示されます。

メニュー項目	説明
WPA2 - Personal AES *	WPA2 を使用したワイヤレスセキュリティが有効になります。 メモ: このメニュー項目は、[ワイヤレスセキュリティモード]が[WPA2 - Personal]に設定されている場合にのみ表示されます。
PSK を設定	安全なワイヤレス接続のためのパスワードを指定します。 メモ: このメニュー項目は、[ワイヤレスセキュリティモード]が[WPA2/WPA - Personal]または[WPA2 - Personal]に設定されている場合にのみ表示されます。
WPA2/WPA - Personal AES *	WPA2/WPA を使用したワイヤレスセキュリティが有効になります。 メモ: このメニュー項目は、[ワイヤレスセキュリティモード]が[WPA2/WPA - Personal]に設定されている場合にのみ表示されます。
802.1x 暗号化モード WPA+ WPA2 *	802.1x 規格を使用したワイヤレスセキュリティが有効になります。 メモ: このメニュー項目は、[ワイヤレスセキュリティモード]が[802.1x - Radius]に設定されている場合にのみ表示されます。
IPv4 DHCP を有効化 オン * オフ	動的ホスト構成プロトコル(DHCP)を有効にします。 メモ: DHCP とは、サーバーがネットワーク上の各デバイスに IP アドレスやその他のネットワーク設定パラメータを動的に割り当てて、他の IP ネットワークと通信できるようにする標準プロトコルです。
IPv4 静的 IP アドレスを設定 IP アドレス ネットマスク ゲートウェイ	プリンタの静的 IP アドレスを設定します。
IPv6 IPv6 を有効化 オン * オフ	プリンタの IPv6 を有効にします。
IPv6 DHCPv6 を有効化 オフ * オン	プリンタの DHCPv6 を有効にします。
IPv6 ステートレスアドレスの自動設定 オフ オン *	ルーターから送信される自動 IPv6 アドレス構成エントリを受信できるように、ネットワークアダプタを設定します。
IPv6 DNS アドレス	DNS サーバーアドレスを指定します。
IPv6 IPv6 の手動割り当て	IPv6 アドレスを割り当てます。 メモ: このメニュー項目は、一部のプリンタ機種にのみ表示されます。
IPv6 IPv6 ルーターの手動割り当て	IPv6 ルーターアドレスを割り当てます。 メモ: このメニュー項目は、一部のプリンタ機種にのみ表示されます。
IPv6 アドレスプレフィックス 0 ~ 128(64 *)	アドレスプレフィックスを指定します。

メニュー項目	説明
IPv6 すべての IPv6 アドレス	すべての IPv6 アドレスを表示します。
IPv6 すべての IPv6 ルーターアドレス	すべての IPv6 ルーターアドレスを表示します。
ネットワークアドレス UAA LAA	ネットワークアドレスを表示します。
PCL スマートスイッチ オン* オフ	印刷ジョブが必要な場合、初期設定のプリンタ言語に関係なく、自動的に PCL エミュレーションに切り替えるようにプリンタを設定します。 メモ: [PCL スマートスイッチ]がオフの場合、プリンタは受信データを確認せず、設定メニューで指定された初期設定のプリンタ言語が使用されます。
PS スマートスイッチ オン* オフ*	印刷ジョブが必要な場合、初期設定のプリンタ言語に関係なく、自動的に PS エミュレーションに切り替えるようにプリンタを設定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> このメニュー項目は、一部のプリンタ機種にのみ表示されます。 [PS スマートスイッチ]がオフの場合、プリンタは受信データを確認せず、設定メニューで指定された初期設定のプリンタ言語が使用されます。
Mac バイナリ PS 自動* オン オフ	Macintosh のバイナリ PostScript の印刷ジョブを処理するように設定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> このメニュー項目は、一部のプリンタ機種にのみ表示されます。 [オン]を選択すると、Raw バイナリ PostScript の印刷ジョブが処理されます。 [オフ]を選択すると、標準プロトコルによって印刷ジョブがフィルタリングされます。

wifi ダイレクト

メニュー項目	説明
wifi ダイレクトを有効化 オン オフ*	Wi-Fi デバイスに直接接続するように、プリンタを設定します。
wifi ダイレクト名	wifi ダイレクトネットワークの名前を指定します。
wifi ダイレクトのパスワード	Wi-Fi 接続時にユーザーを認証および検証するためのパスワードを設定します。
設定ページにパスワードを表示 オフ オン*	ネットワーク設定ページに wifi ダイレクトのパスワードを表示します。
優先チャネル番号 1 ~ 11 自動*	Wi-Fi ネットワークの優先チャネルを設定します。
グループオーナー IP アドレス	グループオーナーの IP アドレスを指定します。
自動受け付けプッシュボタン要求 オフ* オン	ネットワークに自動的に接続する要求を承諾します。 メモ: クライアントの自動承諾はセキュリティ保護されません。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

イーサネット

メニュー項目	説明
ネットワーク速度	アクティブなネットワークアダプタの速度を表示します。
IPv4 DHCP を有効化(オン*) 静的 IP アドレスを設定	IPv4 設定を行います。
IPv6 IPv6 を有効化(オン*) DHCPv6 を有効化(オフ*) ステートレスアドレスの自動設定(オン*) DNS サーバーアドレス IPv6 アドレスの手動割り当て IPv6 ルーターの手動割り当て アドレスプレフィックス(64*) すべての IPv6 アドレス すべての IPv6 ルーターアドレス	IPv6 設定を行います。
ネットワークアドレス UAA LAA	ネットワークアドレスを指定します。
PCL スマートスイッチ オフ オン*	印刷ジョブが必要な場合、初期設定のプリンタ言語に関係なく、自動的に PCL エミュレーションに切り替えるようにプリンタを設定します。 メモ: この設定が無効化されているときは、プリンタは受信データを確認せず、[設定]メニューで指定されている初期設定のプリンタ言語が使用されます。
PS スマートスイッチ オフ オン*	印刷ジョブが必要な場合、初期設定のプリンタ言語に関係なく、自動的に PostScript エミュレーションに切り替えるようにプリンタを設定します。 メモ: この設定が無効化されているときは、プリンタは受信データを確認せず、[設定]メニューで指定されている初期設定のプリンタ言語が使用されます。
ジョブバッファ オフ* オン	印刷前にジョブをハードディスクに一時的に保存します。 メモ: このメニュー項目はハードディスクがある場合にのみ表示されます。
Mac バイナリ PS 自動* オン オフ	Macintosh のバイナリ PostScript の印刷ジョブを処理するように設定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> • [自動]を選択すると、Windows または Macintosh オペレーティングシステムを使用するコンピュータからの印刷ジョブを処理します。 • [オフ]を選択すると、標準プロトコルによって PostScript 印刷ジョブがフィルタリングされません。
省電力型イーサネット オン オフ 自動*	プリンタがイーサネットネットワークからデータを受信しない場合に、電力消費を節約します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

TCP/IP

メモ: このメニューは、ネットワークプリンタ、またはプリントサーバーに接続されているプリンタでのみ表示されます。

メニュー項目	説明
ホスト名を設定	現在の TCP/IP ホスト名を設定します。
ドメイン名	ドメイン名を設定します。
DHCP/BOOTP による NTP サーバーの更新を許可 オン* オフ	DHCP および BOOTP クライアントによる、プリンタの NTP 設定の更新を許可します。
ゼロコンフィグレーション名	ゼロコンフィグレーションネットワークのサービス名を指定します。
自動 IP を有効化 オフ* オン	IP アドレスを自動的に割り当てます。
DNS サーバーアドレス	現在のドメイン名システム (DNS) サーバーアドレスを指定します。
バックアップ DNS アドレス	バックアップ DNS サーバーアドレスを指定します。
バックアップ DNS アドレス 2	
バックアップ DNS アドレス 3	
ドメイン検索順序	ドメイン名のリストを指定して、ネットワーク上の異なるドメインに存在するプリンタとそのリソースを確認します。
DDNS を有効化 オフ* オン	動的 DNS 設定を更新します。
DDNS TTL	現在の DDNS 設定を指定します。
初期設定 TTL	
DDNS 更新時間	
mDNS を有効化 オフ オン*	マルチキャスト DNS 設定を更新します。
WINS サーバーアドレス	Windows インターネットネーム サービス (WINS) のサーバーアドレスを指定します。
BOOTP を有効化 オフ* オン	BOOTP によるプリンタの IP アドレスの割り当てを許可します。
制限サーバーリスト	TCP/IP 経由でプリンタとの通信を許可する IP アドレスを指定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> 各 IP アドレスはカンマで区切ります。 最大 50 件の IP アドレスを追加できます。
メモ: 値の横にあるアスタリスク (*) は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
制限サーバーリストのオプション すべてのポートをブロック* 印刷のみをブロック 印刷および HTTP のみをブロック	リストにない IP アドレスのアクセスオプションを指定します。
MTU 256-1500 イーサネット(1500*)	TCP 接続のための最大伝送単位 (MTU) パラメータを指定します。
RAW 印刷ポート 1-65535(9100*)	ネットワーク上で接続されるプリンタの RAW ポート番号を指定します。
アウトバウンドトラフィックの最高速度 オフ* オン	プリンタの最大転送速度を設定します。 メモ: 有効にすると、この設定のオプションは 100 ~ 1000000 キロビット/秒になります。
TLSv1.0 を有効化 オフ オン*	TLSv1.0 プロトコルを有効にします。
TLSv1.1 を有効化 オフ オン*	TLSv1.1 プロトコルを有効にします。
SSL 暗号リスト	SSL 接続または TLS 接続に使用する暗号アルゴリズムを指定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

SNMP

メモ: このメニューは、ネットワークプリンタまたはプリントサーバーに接続したプリンタでのみ表示されます。

メニュー項目	説明
SNMP バージョン 1 および 2c 有効 オフ オン* SNMP の設定を許可 オフ オン* PPM MIB を有効化 オフ オン* SNMP コミュニティ	簡易ネットワーク管理プロトコル (SNMP) のバージョン 1 および 2c を設定して、プリンタドライバとアプリケーションをインストールします。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
SNMP バージョン 3 有効 オフ オン* 読み取り/書き込み認証資格情報の設定 ユーザー名 パスワード 読み取り専用認証資格情報の設定 ユーザー名 パスワード 認証ハッシュ MD5 SHA1* 最小認証レベル 認証なし、暗号化なし 認証あり、暗号化なし 認証あり、暗号化あり* 暗号化アルゴリズム DES AES-128*	SNMP バージョン 3 を設定して、プリンタセキュリティをインストールおよび更新します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

IPSec

メモ: このメニューは、ネットワークプリンタまたはプリントサーバーに接続したプリンタでのみ表示されます。

メニュー項目	説明
IPSec を有効化 オフ* オン	IPSec(Internet Protocol Security)を有効にします。
基本構成 初期設定* 互換性 セキュア	IPSec の基本構成を設定します。 メモ: このメニュー項目は、[IPSec を有効化]が[オン]に設定されている場合にのみ表示されます。
IPSec デバイス証明書	IPSec 証明書を指定します。 メモ: このメニュー項目は、[基本構成]が[互換性]に設定されている場合にのみ表示されます。
事前共有鍵認証済み接続 ホスト [x] アドレス キー	プリンタの認証済みの接続を設定します。 メモ: これらのメニュー項目は、[IPSec を有効化]が[オン]に設定されている場合のみ表示されます。
証明書認証接続 ホスト [x] アドレス[/サブネット] アドレス[/サブネット]	
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

802.1x

メモ: このメニューは、ネットワークプリンタまたはプリントサーバーに接続したプリンタでのみ表示されます。

メニュー項目	説明
有効 オフ* オン	アクセスを許可する前に認証を要求するネットワークにプリンタが参加できるようにします。 メモ: このメニュー項目を設定するには、EWS にアクセスします。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

LPD 設定

メモ: このメニューは、ネットワークプリンタまたはプリントサーバーに接続したプリンタでのみ表示されます。

メニュー項目	説明
LPD タイムアウト 0 ~ 65535 秒(90*)	タイムアウト値を設定して、Line Printer Daemon (LPD) サーバーが停止または無効な印刷ジョブのために無制限に待機しないようにします。
LPD バナーページ オフ* オン	すべての LPD 印刷ジョブのバナーページを印刷します。 メモ: バナーページは、印刷ジョブの最初のページで、印刷ジョブの区切りとして使用され、印刷ジョブ要求の送信元を識別します。
LPD 最終ページ オフ* オン	すべての LPD 印刷ジョブの最終ページを印刷します。 メモ: 最終ページは、印刷ジョブの最後のページです。
LPD キャリッジリターン変換 オフ* オン	キャリッジリターン変換を有効にします。 メモ: キャリッジリターンは、同じ線上の最初の位置にカーソルを移動するようにプリンタに命令するメカニズムです。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

HTTP/FTP の設定

メモ: このメニューは、ネットワークプリンタ、またはプリントサーバーに接続されているプリンタでのみ表示されます。

メニュー項目	説明
HTTP サーバを有効化 オフ オン*	EWS にアクセスして、プリンタの監視および管理を行います。
HTTPS を有効化 オフ オン*	ハイパーテキスト転送プロトコルセキュア (HTTPS) 設定を構成します。
FTP/FTTP を有効化 オフ オン*	FTP を使用して、ファイルを送信します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
ローカルドメイン	HTTP および FTP サーバーのドメイン名を指定します。 メモ: このメニュー項目は、一部のプリンタ機種にのみ表示されます。
HTTP プロキシ IP アドレス	HTTP および FTP サーバーの設定を構成します。 メモ: これらのメニュー項目は、一部のプリンタ機種にのみ表示されます。
FTP プロキシ IP アドレス	
HTTP 標準 IP ポート 1 ~ 65535(80*)	
HTTPS デバイス証明書	
FTP 標準 IP ポート 1 ~ 65535(21*)	
HTTP/FTP 要求のタイムアウト 1 ~ 299(30*)	サーバー接続が停止するまでの時間を指定します。
HTTP/FTP 要求の再試行回数 1 ~ 299(3*)	HTTP/FTP サーバーへの接続を再試行する回数を設定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

ThinPrint

メニュー項目	説明
ThinPrint を有効化 オフ オン*	ThinPrint を使用して印刷します。
ポート番号 4000 ~ 4999(4000*)	ThinPrint サーバーのポート番号を設定します。
帯域幅(ビット/秒) 100 ~ 1000000(0*)	ThinPrint 環境でデータを転送する速度を設定します。
パケットサイズ(KB) 0 ~ 64000(0*)	データ転送のパケットサイズを設定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

USB

メニュー項目	説明
PCL スマートスイッチ オフ オン*	USB ポート経由で受信された印刷ジョブが必要な場合、デフォルトのプリンタ言語に関係なく、PCL エミュレーションに切り替えるようにプリンタを設定します。 メモ: PCL スマートスイッチがオフの場合、プリンタは受信データを確認せず、[設定]メニューで指定されたデフォルトのプリンタ言語が使用されます。
PS スマートスイッチ オフ オン*	USB ポート経由で受信された印刷ジョブが必要な場合、デフォルトのプリンタ言語に関係なく、PS エミュレーションに切り替えるようにプリンタを設定します。 メモ: PS スマートスイッチがオフの場合、プリンタは受信データを確認せず、[設定]メニューで指定されたデフォルトのプリンタ言語が使用されます。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
ジョブバッファリング オフ* オン	印刷前にジョブをプリンタのハードディスクに一時的に保存します。 メモ: このメニュー項目はハードディスクがある場合にのみ表示されます。
Mac バイナリ PS オン 自動* オフ	Macintosh のバイナリ PostScript の印刷ジョブを処理するように設定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> • [オン]に設定すると、プリンタは Macintosh オペレーティングシステムを使用しているコンピュータからの RAW バイナリの PostScript 印刷ジョブを処理します。 • [自動]に設定すると、プリンタは Windows または Macintosh オペレーティングシステムを使用しているコンピュータからの印刷ジョブを処理します。 • [オフ]に設定すると、プリンタは標準プロトコルを使用して PostScript 印刷ジョブをフィルタリングします。
USB ポートを有効化 オフ オン*	標準 USB ポートを有効にします。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

外部ネットワークアクセスの制限

メニュー項目	説明
外部ネットワークアクセスの制限 オフ* オン	ネットワークサイトへのアクセスを制限します。
外部ネットワークアドレス	制限されたアクセスでのネットワークアドレスを指定します。
通知を送信する E メールアドレス	ログに記録されたイベントの通知を送信する E メールアドレスを指定します。
Ping 頻度 1 ~ 300(10*)	ネットワーククエリの間隔を秒単位で指定します。
件名	通知 E メール の件名とメッセージを指定します。
メッセージ	
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

セキュリティ

ログイン方式

権限を管理

メニュー項目	説明
機能アクセス アプリ内のアドレス帳にアクセス アドレス帳を変更 ショートカット管理 プロファイルの作成 ブックマークの管理 フラッシュドライブ印刷 フラッシュドライブカラー印刷 フラッシュドライブスキャン コピー機能 カラーコピー印刷 カラードロップアウト Eメール機能 Fax 機能 FTP 機能 保留 Fax のリリース 保持されたジョブへのアクセス プロファイルの使用 デバイスの[ジョブを中止] 言語を変更 インターネット印刷プロトコル(IPP) リモートスキャンを開始 B/W 印刷 カラー印刷 ネットワークフォルダ - 印刷 ネットワークフォルダ - カラー印刷 ネットワークフォルダ - スキャン ハードディスク - 印刷 ハードディスク - カラー印刷 ハードディスク - スキャン	プリンタ機能へのアクセスを制御します。 メモ: 一部のメニュー項目はハードディスクが取り付けられている場合にのみ表示されます。
管理者メニュー セキュリティメニュー ネットワーク/ポートメニュー 用紙メニュー レポートメニュー 機能設定メニュー 消耗品メニュー オプションカードメニュー SE メニュー デバイスマニュー	プリンタメニュー設定へのアクセスを制御します。

メニュー項目	説明
デバイス管理 リモート管理 ファームウェア更新 アプリケーション構成設定 操作パネルロック すべての設定をインポート/エクスポート 未使用時の消去	プリンタ管理オプションへのアクセスを制御します。
アプリ 新しいアプリケーション ID カードコピー スキャンセンター カスタムスキャンセンター [X] 用紙とお気に入り	プリンタのアプリケーションへのアクセスを制御します。

ローカルアカウント

メニュー項目	説明
グループ/権限を管理 グループの追加 アクセス制御をインポート 機能アクセス 管理者メニュー デバイス管理 アプリ 全ユーザー アクセス制御をインポート 機能アクセス 管理者メニュー デバイス管理 アプリ 管理者	プリンタ機能、アプリケーション、およびセキュリティ設定へのグループまたはユーザーアクセスを制御します。
ユーザーの追加 ユーザー名/パスワード ユーザー名 パスワード 暗証番号	ローカルアカウントを作成して、プリンタ機能へのアクセスを管理します。
ユーザー名/パスワードアカウント ユーザーの追加	
ユーザー名アカウント ユーザーの追加	
パスワードアカウント ユーザーの追加	
PIN アカウント ユーザーの追加	
ユーザーの追加	

USB デバイスをスケジュール

メニュー項目	説明
スケジュール 新スケジュールを追加	USB ポートへのアクセスをスケジュールします。

セキュリティ監査ログ

メニュー項目	説明
監査を有効化 オフ* オン	セキュリティ監査ログとリモート Syslog にイベントを記録します。
リモート Syslog を有効化 オフ* オン	監査ログをリモートサーバーに送信します。
リモート Syslog サーバー	リモート Syslog サーバーを指定します。
リモート Syslog ポート 1 ~ 65535(514*)	リモート Syslog ポートを指定します。
リモート Syslog 方式 通常の UDP* スプリットトンネリング	ログに記録されたイベントをリモートサーバに送信する Syslog 方式を指定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
リモート Syslog ファシリティ 0 - カーネルメッセージ 1 - ユーザーレベルメッセージ 2 - メールシステム 3 - システムデーモン 4 - セキュリティ/承認メッセージ * 5 - Syslog で内部的に生成されたメッセージ 6 - ラインプリンタサブシステム 7 - ネットワークニュースサブシステム 8 - UUCP サブシステム 9 - クロックデーモン 10 - セキュリティ/承認メッセージ 11 - FTP デーモン 12 - NTP サブシステム 13 - ログ監査 14 - ログアラート 15 - クロックデーモン 16 - ローカル使用 0(local0) 17 - ローカル使用 1(local1) 18 - ローカル使用 2(local2) 19 - ローカル使用 3(local3) 20 - ローカル使用 4(local4) 21 - ローカル使用 5(local5) 22 - ローカル使用 6(local6) 23 - ローカル使用 7(local7)	リモートサーバーにログイベントを送信する際に、プリンタが使用するファシリティコードを指定します。
ログ記録するイベントの重要度 0 - 緊急 1 - アラート 2 - クリティカル 3 - エラー 4 - 警告 * 5 - 通知 6 - 情報 7 - デバッグ	メッセージとイベントを記録するための優先度レベル条件を指定します。
リモート Syslog にログ記録しないイベント オフ * オン	重要度に関係なく、すべてのイベントがリモートサーバーに送信されます。
管理者の E メールアドレス	記録されたイベントの E メール通知が管理者に送信されます。
ログ消去 E メールアラート オフ * オン	ログエントリが削除された場合、E メール通知が管理者に送信されます。
E メールログラップアラート オフ * オン	E メールログラップアラート—ログが満杯になり、最も古いエントリの上書きが開始される場合、E メール通知が管理者に送信されます。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
ログ満杯時の動作 古いエントリをラップオーバーする * ログを E メール送信し、全エントリを削除	割り当てられたメモリがログで満杯になった場合、ログ保存の問題を解決します。
E メール % フルアラート オフ * オン	割り当てられたメモリがログで満杯になった場合、E メール通知が管理者に送信されます。
% 満杯アラートレベル 1 ~ 99(90 *)	
ログエクスポート E メールアラート オフ * オン	ログがエクスポートされた場合、E メール通知が管理者に送信されます。
ログ設定変更 E メールアラート オフ * オン	[監査を有効化]が設定された場合、E メール通知が管理者に送信されます。
ログの行末尾 LF(\n)* CR(\r) CRLF(\r\n)	ログファイルの各行の末尾の終了方法を指定します。
エクスポートにデジタル署名 オフ * オン	エクスポートされた各ログファイルにデジタル署名を追加します。
ログをクリア	すべての監査ログを削除します。
ログをエクスポート Syslog(RFC 5424) Syslog(RFC 3164) CSV	セキュリティログをフラッシュメモリにエクスポートします。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

ログイン制限

メニュー項目	説明
ログイン失敗許容回数 1 ~ 10(3*)	[ログイン失敗許容回数]では、ユーザーがロックアウトされる前にログイン失敗できる上限回数を指定します。
ログイン失敗許容時間 1 ~ 60 分(5*)	[ログイン失敗許容回数]では、ユーザーがロックアウトされる前にログイン失敗できる上限時間を指定します。
ロックアウト時間 1 ~ 60 分(5*)	ロックアウト時間を指定します。
Web ログインのタイムアウト 1 ~ 120 分(10*)	ユーザーが自動的にログオフされる前のリモートログインの遅延を指定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

コンフィデンシャル印刷設定

メニュー項目	説明
無効暗証番号許容回数 2 ~ 10	無効な PIN を入力できる回数を設定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> • 値を 0 にすると、この設定はオフになります。 • この上限回数に達すると、該当するユーザー名と暗証番号 (PIN) に対する印刷ジョブが削除されます。 • このメニュー項目はハードディスクがある場合にのみ表示されます。
コンフィデンシャルジョブ期限切れ オフ* 1 時間 4 時間 24 時間 1 週間	コンフィデンシャル印刷ジョブの有効期限を設定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> • コンフィデンシャル印刷ジョブがプリンタのメモリまたはハードディスクにあるときにこのメニュー項目が変更された場合、それらの印刷ジョブの有効期限は新しい設定値に変更されません。 • プリンタの電源がオフになると、プリンタのメモリにあったコンフィデンシャルジョブはすべて削除されます。
期限切れジョブの繰り返し オフ* 1 時間 4 時間 24 時間 1 週間	繰り返す印刷ジョブの有効期限を設定します。
期限切れジョブの確認 オフ* 1 時間 4 時間 24 時間 1 週間	残りのコピーを印刷する前に、ユーザーが印刷品質を確認するためのコピーを実行する有効期限を設定します。
期限切れジョブの予約 オフ* 1 時間 4 時間 24 時間 1 週間	後で印刷する予約印刷ジョブがプリンタに保存される有効期限を設定します。
すべてのジョブを保留にする オフ* オン	すべての印刷ジョブを保留にするように、プリンタを設定します。
重複ドキュメントを維持 オフ* オン	同じファイル名の別のドキュメントを、印刷ジョブを上書きせず印刷するようにプリンタを設定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク (*) は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

ディスク暗号化

メモ: このメニュー項目は、ハードディスクがプリンタに取り付けられている場合のみ表示されます。

メニュー項目	説明
状態 有効 無効	ディスク暗号化を有効にするかどうかを指定します。
暗号化を開始	プリンタまたはハードディスクが盗難された場合に機密データの損失を防ぎます。 メモ: ディスク暗号化を有効にすると、ハードディスクの内容がすべて消去されます。必要に応じて、暗号化を開始する前にプリンタの重要データをバックアップしてください。

一時データファイルの消去

メニュー項目	説明
オンボードメモリに保存 オフ* オン	プリンタのメモリに保存されているすべてのファイルを削除します。
ハードディスクに保存 1 回のパス消去* 3 回のパス消去 7 回のパス消去	プリンタのハードディスクに保存されているすべてのファイルを削除します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

ソリューション LDAP 設定

使用	目的
LDAP 参照を許可 オフ* オン	ドメイン内の異なるサーバーでログインしているユーザーアカウントを検索します。
LDAP 証明書の確認 いいえ* はい	LDAP 証明書の検証を有効にします。

その他

メニュー項目	説明
保護された機能 表示* 非表示	ユーザーに与えられたアクセス権に関係なく、機能アクセス制御(FAC)で保護される機能をすべて表示します。 メモ: FAC は特定のメニューや機能へのアクセスを管理したり、それらを完全に無効化したりします。
印刷許可 オフ* オン	印刷前のユーザーログインを許可します。
初期設定の印刷許可ログイン	印刷許可に関する初期設定のログインを設定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
セキュリティリセットジャンパー [ゲスト]アクセスを有効化 * 効果なし	セキュリティリセットジャンパー使用時の動作を指定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> ジャンパーは、コントローラボードのロックアイコンの横にあります。 「ゲスト」アクセスを有効にすると、ログインしていないユーザーに完全なアクセス制御が提供されます。 [効果なし]を選択すると、プリンタのセキュリティ設定はリセットされません。
最小パスワードの長さ 0 ~ 32(0*)	パスワードの最小文字数を指定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

レポート

メニュー設定ページ

メニュー項目	説明
メニュー設定ページ	プリンタの環境設定、印刷設定および構成に関するレポートを印刷します。

デバイス

メニュー項目	説明
デバイス情報	プリンタに関する情報が記載されているレポートを印刷します。
デバイス統計	プリンタの使用方法与消耗品の状態に関するレポートを印刷します。
プロファイル一覧	プリンタに保存されているプロファイルの一覧を印刷します。
監査レポート	プリンタのシリアル番号やモデル名などに関するレポートを印刷します。

印刷

メニュー項目	説明
フォントを印刷 PCL フォント PS フォント	各プリンタ言語で使用可能なフォントのサンプルと情報を印刷します。
ファイルディレクトリを印刷	フラッシュメモリまたはプリンタのハードディスクに保存されているリソースを印刷します。 メモ: このメニュー項目は、フラッシュメモリまたはプリンタのハードディスクがある場合にのみ表示されます。

ショートカット

メニュー項目	説明
すべてのショートカット	プリンタに保存されているショートカット一覧のレポートを印刷します。
FAX ショートカット	
コピーショートカット	
E メールショートカット	
FTP ショートカット	
ネットワークフォルダのショートカット	

Fax

メモ: このメニューは、FAX が設定されていて、[ジョブログを有効化]が[オン]に設定されている場合にのみ表示されます。

メニュー項目	説明
FAX ジョブのログ	過去 200 件の完了した FAX ジョブに関するレポートを印刷します。
FAX 通信ログ	ダイヤル、受信、ブロックされた過去 100 件の FAX に関するレポートを印刷します。

ネットワーク

メニュー項目	説明
ネット設定ページ	プリンタで設定されているネットワーク設定およびワイヤレス設定が記載されているページを印刷します。 メモ: このメニュー項目は、ネットワークプリンタ(またはプリントサーバーに接続されているプリンタ)でのみ表示されます。

ヘルプ

メニュー項目	説明
すべてのガイドを印刷	すべてのガイドを印刷します。
色品質ガイド	色品質の問題を解決する方法を説明します。
接続ガイド	プリンタをローカル接続(USB)またはネットワーク接続する方法を説明します。
コピーガイド	コピーの作成および設定の構成に関する情報を提供します。
E メールガイド	Eメールの送信および設定の構成に関する情報を提供します。
FAX ガイド	FAX の送信および設定の構成に関する情報を提供します。
スキャンガイド	ドキュメントのスキャンおよび設定の構成に関する情報を提供します。
情報ガイド	プリンタに関する情報を提供します。
用紙ガイド	用紙および特殊用紙のセット方法を説明します。
移動ガイド	プリンタの移動、配置、搬送に関する情報を提供します。
印刷品質ガイド	印刷品質の問題を解決する方法を説明します。

メニュー項目	説明
消耗品ガイド	消耗品の注文に関する情報を提供します。

問題に対処する

メニュー項目	説明
印刷品質テストページ	サンプルページを印刷し、印刷品質の不良を特定して修正します。
スキヤナの清掃	スキヤナの清掃手順を印刷します。

メニュー設定ページを印刷する

操作パネルから、次のメニューを選択します。

[設定] > [レポート] > [メニュー設定ページ]

タッチ画面のないプリンタ機種では、 を押して設定内を移動します。

プリンタを保護する

メモ: ハードディスクは、一部のプリンタ機種でのみサポートされています。

セキュリティスロットの場所

プリンタにはセキュリティロック機能があります。大半のノート型パソコンと互換性のあるセキュリティロックを図に示した場所に取り付けて、プリンタの盗難を防止できます。



プリンタメモリを消去する

揮発性メモリまたはバッファされているデータを消去するには、プリンタの電源をオフにします。

非揮発性メモリまたは個々の設定、デバイスおよびネットワークの設定、セキュリティ設定、内蔵ソリューションを消去するには、以下を行います。

1 操作パネルから、次のメニューを選択します。

[設定] > [デバイス] > [メンテナンス] > [データ完全消去] > [不揮発性メモリにあるすべての情報を消去]

タッチ画面のないプリンタ機種では、**OK** を押して設定内を移動します。

2 [初期設定を開始する]または[プリンタをオフラインのままにする]のいずれかを選択します。

プリンタハードディスクメモリを消去する

- 1 操作パネルから、次のメニューを選択します。

[設定] > [デバイス] > [メンテナンス] > [サービス終了後の消去] > [ハードディスクのすべての情報を消去]

タッチ画面のないプリンタ機種では、**OK** を押して設定内を移動します。

- 2 プリンタ機種に応じて、[消去]または[続行]を選択します。
- 3 ディスプレイに表示される手順に従います。

メモ: このプロセスには、数分から1時間以上かかります。この間は、プリンタを他の処理に使用できません。

プリンタのハードディスクを暗号化する

このプロセスにより、ハードディスクの内容がすべて消去されます。必要に応じて、暗号化を開始する前にプリンタの重要データをバックアップします。

- 1 ホーム画面で、[設定] > [セキュリティ] > [ディスクの暗号化] > [暗号化を開始する]にタッチします。
- 2 ディスプレイに表示される手順に従います。

メモ:

- データを損失することがないように、暗号化処理中はプリンタの電源を切らないでください。
- このプロセスには、数分から1時間以上かかります。この間は、プリンタを他の処理に使用できません。
- 暗号化の完了後、プリンタは自動的に再起動します。

出荷時初期設定を復元する

- 1 操作パネルから、次のメニューを選択します。

[設定] > [デバイス] > [工場出荷状態に復元]

タッチ画面のないプリンタ機種では、**OK** を押して設定内を移動します。

- 2 [すべての設定を復元]を選択します。

揮発性に関する記述

メモリのタイプ	説明
揮発性メモリ	本機では、単純な印刷ジョブやコピージョブ時にユーザーデータを一時的にバッファに格納するために標準的なランダムアクセスメモリ(RAM)を使用します。
不揮発性メモリ	本機では、2つの形態の不揮発性メモリが使用されています。EEPROM および NAND(フラッシュメモリ)の2つの形態の不揮発性メモリが使用されています。両タイプ共、オペレーティングシステム(OS)やプリンタの設定、ネットワーク情報、スキャナやブックマークの設定、組込みソリューションの保存に使用されます。
ハードディスクメモリ	一部のプリンタには、ハードディスクドライブが搭載されている場合があります。プリンタのハードディスクは、各プリンタ固有の機能に対応するように設計されています。ハードディスクがあることにより、複雑な印刷ジョブでバッファに保存されたユーザーデータ、用紙データ、フォントデータをプリンタが保持できます。

次の状況では、取り付けられたプリンタメモリの内容を消去してください。

- プリンタを廃棄する
- プリンタのハードディスクを交換する
- プリンタを別の部門または場所に移動する
- 外部の業者がプリンタを修理する
- プリンタが修理のために社外に搬送される
- プリンタが別の会社に売却される

ハードドライブの廃棄

- **消磁** – 磁場を使用してハードドライブをフラッシュし、保存されているデータを消去する
- **破碎** – ハードディスクを物理的に圧縮して構成部品を破壊し、読み取りを不可能にする
- **裁断** – ハードディスクが小さな金属片になるまで物理的に切断する

メモ: すべてのデータの完全な消去を確実にするには、データが保存されていたすべてのハードディスクを物理的に破壊します。

プリンタのメンテナンス

警告—破損の恐れあり: 最適なプリンタのパフォーマンスを維持できない場合や、部品や消耗品を交換できない場合は、プリンタの損傷が生じるおそれがあります。

消耗品通知を設定する

1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ:

- プリンタのホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。

2 [設定] > [デバイス] > [通知] をクリックします。

3 [消耗品] メニューの [消耗品のカスタム通知] をクリックします。

4 各消耗品の通知を選択します。

5 変更を適用します。

E メールアラートをセットアップする

消耗品が低下した場合、用紙を交換または追加する必要がある場合、または紙詰まりが発生した場合は、E メールアラートを送信するように設定します。

1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ:

- プリンタのホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。

2 [設定] >> [デバイス] > [通知] >> [E メールアラート設定] の順にクリックし、設定を構成します。

メモ: SMTP 設定の詳細については、E メールプロバイダにお問い合わせください。

3 [E メールリストおよびアラートの設定] をクリックし、設定を構成します。

4 変更を適用します。

レポートを表示する

1 操作パネルから、次のメニューを選択します。

[設定] > [レポート]

タッチ画面のないプリンタ機種では、 を押して設定内を移動します。

2 表示するレポートを選択します。

スピーカー音量の調整

標準設定の内部スピーカー音量を調整する

メモ: スピーカーは、一部のプリンタ機種でのみ使用可能です。

- 1 コントロールパネルで、[設定] > [デバイス] > [基本設定] > [タッチスクリーンのタッチ音の設定]の順にタッチします。
- 2 音量を調節します。

メモ:

- 静音モードが有効になっている場合、警告音はオフになります。また、この設定を有効にすると、プリンタのパフォーマンスが低下します。
- セッションをログアウトした後、またはプリンタがスリープモードや休止モードから復帰したときに、音量は標準設定値にリセットされます。

標準設定のヘッドホン音量を調整する

メモ: ヘッドホンジャックは、一部のプリンタ機種でのみ使用可能です。

- 1 操作パネルから、次のメニューを選択します。
[設定] > [デバイス] > [ユーザー補助機能]
- 2 ヘッドホンの音量を調整します。

メモ: セッションをログアウトした後、またはプリンタがスリープモードや休止モードから復帰したときに、音量は標準設定値にリセットされます。

FAX スピーカー設定を行う

メモ: FAX が設定されていることを確認します。詳細については、[「プリンタを設定して Fax を送信する」](#)、61 ページを参照してください。

- 1 操作パネルから、次のメニューを選択します。
[設定] > [FAX] > [FAX 設定] > [スピーカー設定]

タッチ画面のないプリンタ機種では、 を押して設定内を移動します。

- 2 以下の操作を実行します。
 - [スピーカーモード]を[常にオン]に設定します。
 - [スピーカー音量]を[大]に設定します。
 - [着信音]を有効にします。

ネットワーク

プリンタを Wi-Fi ネットワークに接続する

開始する前に、次の点を確認してください。

- [アクティブアダプタ]が[自動]に設定されている。操作パネルから、[設定] > [ネットワーク/ポート] > [ネットワークの概要] > [アクティブアダプタ] の順に移動します。

タッチ画面のないプリンタ機種では、 を押して設定内を移動します。

- プリンタにイーサネットケーブルが接続されていません。

プリンタのワイヤレス設定ウィザードを使用する

メモ:

- これらの手順は、一部のプリンタ機種にのみ適用されます。
- ウィザードを使用する前に、プリンタファームウェアがアップデートされていることを確認してください。詳細については、[「ファームウェアを更新する」](#)、[267 ページ](#) を参照してください。

- 1 ホーム画面で、 > [今すぐ設定] をタッチします。
- 2 Wi-Fi ネットワークを選択して、ネットワークパスワードを入力します。
- 3 [終了] をタッチします。

プリンタの[設定]メニューを使用する

- 1 操作パネルから、次のメニューを選択します。
[設定] > [ネットワーク/ポート] > [ワイヤレス] > [プリンタパネルで設定]

タッチ画面のないプリンタ機種では、 を押して設定内を移動します。

- 2 Wi-Fi ネットワークを選択して、ネットワークパスワードを入力します。

メモ: Wi-Fi ネットワーク対応のプリンタ機種では、初期セットアップ中に Wi-Fi ネットワークの設定を求めるメッセージが表示されます。

Lexmark モバイルアシスタントを使用する

- 1 お使いのモバイルデバイスに応じて、Google Play™ または App Store から Lexmark モバイルアシスタントアプリをダウンロードします。
- 2 プリンタ機種に応じて、次のいずれかを実行します。
 - ホーム画面で、[設定] > [ネットワーク/ポート] > [ワイヤレス] > [モバイルアプリを使用した設定] > [プリンタ ID] をタッチします。
 - 操作パネルから、次のメニューを選択します。
[設定] > [ネットワーク/ポート] > [ワイヤレス] > [モバイルアプリを使用した設定]

タッチ画面のないプリンタ機種では、 を押して設定内を移動します。

プリンタ ID を表示するには、画面上の手順に従います。

メモ: プリンタ ID は、プリンタのワイヤレスネットワーク SSID です。

- 3 モバイルデバイスからアプリを起動して、利用規約に同意します。
メモ: 必要に応じて、権限を付与します。
- 4 [プリンタに接続] > [Wi-Fi 設定に移動]をタップします。
- 5 モバイルデバイスをプリンタのワイヤレスネットワークに接続します。
- 6 アプリに戻り、[Wi-Fi 接続の設定]をタップします。
- 7 Wi-Fi ネットワークを選択して、ネットワークパスワードを入力します。
- 8 [終了]をタップします。

WPS (Wi-Fi Protected Setup) を使用してワイヤレスネットワークにプリンタを接続する

はじめに、次の点を確認してください。

- アクセスポイント(ワイヤレスルーター)が WPS (Wi-Fi Protected Setup) 認定または互換である。詳細については、お使いのアクセスポイントに付属のマニュアルを参照してください。
- ワイヤレスネットワークアダプタがプリンタに取り付けられている。詳細については、アダプタに付属の説明書を参照してください。
- [アクティブアダプタ]が[自動]に設定されている。操作パネルから、次のメニューを選択します。
[設定] > [ネットワークポート] > [ネットワークの概要] > [アクティブアダプタ]

タッチ画面のないプリンタ機種では、 を押して設定内を移動します。

プッシュボタン方式を使用する場合

- 1 操作パネルから、次のメニューを選択します。
[設定] > [ネットワークポート] > [ワイヤレス] > [WPS (Wi-Fi Protected Setup)] > [プッシュボタン方式を開始]

タッチ画面のないプリンタ機種では、 を押して設定内を移動します。

- 2 ディスプレイに表示される手順に従います。

個人 ID 番号 (PIN) 方式を使用する場合

- 1 操作パネルから、次のメニューを選択します。
[設定] > [ネットワークポート] > [ワイヤレス] > [WPS (Wi-Fi Protected Setup)] > [暗証番号方式を開始]

タッチ画面のないプリンタ機種では、 を押して設定内を移動します。

- 2 8桁の WPS PIN をコピーします。
- 3 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにアクセスポイントの IP アドレスを入力します。

メモ:

- IP アドレスを確認するには、アクセスポイントに付属のマニュアルを参照してください。
- プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効化し、Web ページを正しく読み込んでください。

- 4 WPS 設定にアクセスします。詳細については、お使いのアクセスポイントに付属のマニュアルを参照してください。
- 5 8 桁の PIN を入力して、変更を保存します。

wifi ダイレクトを設定する

wifi ダイレクト は、ワイヤレスデバイスがアクセスポイント(ワイヤレスルーター)を使用せずに直接、wifi ダイレクト対応プリンタに接続できるようにする、wifi ベースのピアツーピア技術です。

- 1 操作パネルから、次のメニューを選択します。

[設定] > [ネットワークポート] > [wifi ダイレクト]

タッチ画面のないプリンタ機種では、 を押して設定内を移動します。

- 2 設定を行います。

- [wifi ダイレクトを有効化] - プリンタが独自の wifi ダイレクトネットワークにブロードキャストできるようにします。
- [wifi ダイレクト名] - wifi ダイレクトのネットワークに名前を割り当てます。
- [wifi ダイレクトのパスワード] - ピアツーピア接続を使用しているときにワイヤレスセキュリティをネゴシエートするためのパスワードを割り当てます。
- [設定ページにパスワードを表示] - ネットワーク設定ページにパスワードを表示します。
- [自動受け付けプッシュボタン要求] - プリンタに接続要求を自動的に受け付けさせます。

メモ: プッシュボタン要求の自動承諾はセキュリティ保護されません。

メモ:

- 初期設定では、wifi ダイレクトのネットワークパスワードはプリンタのディスプレイに表示されません。パスワードを表示するには、パスワードピークアイコンを有効にします。操作パネルから[設定] > [セキュリティ] > [その他] > [パスワード/PIN 表示を有効化]の順にタッチします。
- wifi ダイレクトのネットワークのパスワードをプリンタのディスプレイに表示せずに確認するには、操作パネルから[設定] > [レポート] > [ネットワーク] > [ネットワーク設定ページ]に移動します。

プリンタにモバイルデバイスを接続する

モバイルデバイスを接続する前に、wifi ダイレクトが設定されていることを確認してください。詳細情報(⇒[「wifi ダイレクトを設定する」](#)、166 ページ)。

wifi ダイレクトを使用して接続する

- 1 モバイルデバイスから、[設定]メニューに移動します。
- 2 Wi-Fi を有効にして、[wifi ダイレクト]をタップします。
- 3 プリンタの wifi ダイレクト名を選択します。
- 4 プリンタ操作パネルの接続を確認します。

Wi-Fi を使用して接続する

- 1 モバイルデバイスから、[設定]メニューに移動します。
- 2 [Wi-Fi]をタップし、プリンタの wifi ダイレクト名を選択します。

メモ: 文字列 DIRECT-xy(x と y は 2 つのランダムな文字)が wifi ダイレクト名の前に追加されます。

- 3 wifi ダイレクトパスワードを入力します。

コンピュータをプリンタに接続する

コンピュータを接続する前に、以下の操作を実行します。

- 有効化 プリンタで wifi ダイレクト® を有効化します。操作パネルから、次のメニューを選択します。
[設定] > [ネットワークポート] > [wifi ダイレクト] > [wifi ダイレクトを有効化] > [オン]
 - wifi ダイレクトの名前をメモします。操作パネルから、次のメニューを選択します。
[設定] > [ネットワークポート] > [wifi ダイレクト] > [wifi ダイレクト名]
 - wifi ダイレクトのパスワードをメモします。操作パネルから、次のメニューを選択します。
[設定] > [ネットワークポート] > [wifi ダイレクト] > [wifi ダイレクトパスワード]
- メモ: wifi ダイレクトの名前とパスワードを設定することもできます。

タッチ画面のないプリンタ機種では、 を押して設定内を移動します。

Windows の場合

- 1 [プリンタとスキャナ]を開き、[プリンタまたはスキャナを追加]をクリックします。
- 2 [wifi ダイレクトプリンタを表示する]をクリックし、プリンタの wifi ダイレクト名を選択します。
- 3 プリンタのディスプレイから、プリンタの 8 桁の PIN をメモします。
- 4 コンピュータに PIN を入力します。

メモ: プリンタドライバがまだインストールされていない場合は、Windows によって適切なドライバがダウンロードされます。

Macintosh の場合

- 1 ワイヤレスアイコンをクリックし、プリンタの wifi ダイレクト名を選択します。

メモ: 文字列 DIRECT-xy(x と y は 2 つのランダムな文字)が wifi ダイレクト名の前に追加されます。

- 2 wifi ダイレクトのパスワードを入力します。

メモ: wifi ダイレクト接続から切断した後で、コンピュータを以前のネットワークに戻します。

Wi-Fi ネットワークの無効化

- 1 プリンタコントロールパネルから、次のメニューを選択します。

[設定] > [ネットワークポート] > [ネットワークの概要] > [アクティブアダプタ] > [標準ネットワーク]

タッチ画面のないプリンタ機種では、 を押して設定内を移動します。

- 2 ディスプレイに表示される手順に従います。

内蔵ソリューションポートを取り付けた後でプリンタのポート設定を変更する

メモ:

- 静的な IP アドレスがプリンタに割り当てられている場合は、設定を変更しないでください。
- IP アドレスの代わりにネットワーク名を使用するようにコンピュータが設定されている場合は、設定を変更しないでください。
- 以前はイーサネット接続用に設定されていたプリンタにワイヤレス内蔵ソリューションポート (ISP) を追加する場合は、プリンタをイーサネットネットワークから切り離します。

Windows の場合

- 1 プリンタフォルダを開きます。
- 2 新しい ISP を追加したプリンタのショートカットメニューから、プリンタのプロパティを開きます。
- 3 リストからポートを設定します。
- 4 IP アドレスを更新します。
- 5 変更を適用します。

Macintosh の場合

- 1 アップルメニューの「システム環境設定」から、プリンタの一覧に移動して、「+ > IP」の順に選択します。
- 2 アドレスフィールドに IP アドレスを入力します。
- 3 変更を適用します。

プリンタ部品の清掃

プリンタを清掃する

 **注意—感電危険:** プリンタの外部を清掃する際には、感電のリスクを避けるため、コンセントから電源コードを抜き、プリンタに接続されているすべてのケーブルを外してから作業を行ってください。

メモ:

- 数か月に 1 回この作業を実施します。
 - 不適切な取り扱いにより生じたプリンタの損傷は、保証の対象にはなりません。
- 1 プリンタの電源を切り、電源コードをコンセントから抜きます。
 - 2 標準排紙トレイと手差しトレイから用紙を取り除きます。
 - 3 柔らかいブラシまたは掃除機を使用して、プリンタ周辺の埃、糸くず、用紙の切れ端を取り除きます。
 - 4 水で湿らせた柔らかい糸くずの出ない布を使用して、プリンタの外側を拭きます。

メモ:

- 家庭用クリーナーや洗剤を使用しないでください。プリンタ表面の仕上げを傷つけることがあります。

- 清掃後にプリンタのすべてのエリアが乾いていることを確認してください。

5 電源コードをコンセントに接続し、プリンタの電源をオンにします。

⚠ 注意—傷害の恐れあり: 火災や感電の危険を避けるため、製品の設置場所の近くの、正しく接地され定格を守ったコンセントに、電源コードを接続します。

スキャナの清掃

1 スキャナカバーを開きます。



2 下に示した領域を、水で湿らせた柔らかい糸くずの出ない布で拭きます。

- ADF ガラス



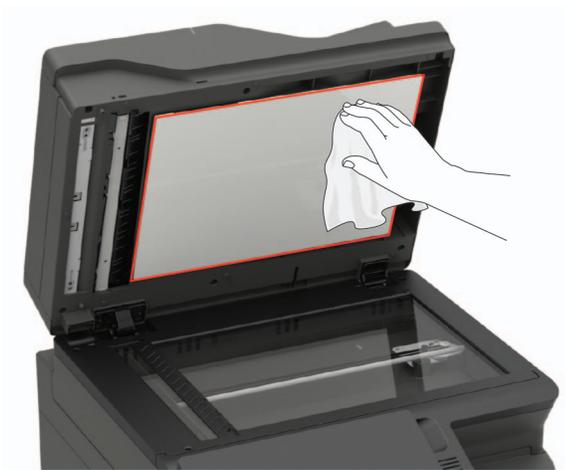
- ADF ガラスパッド



- 原稿台ガラス



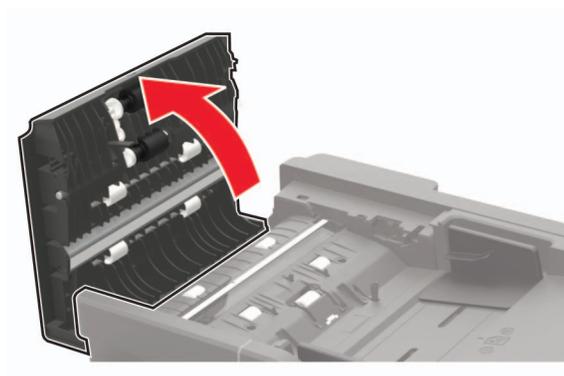
- スキャナガラスパッド



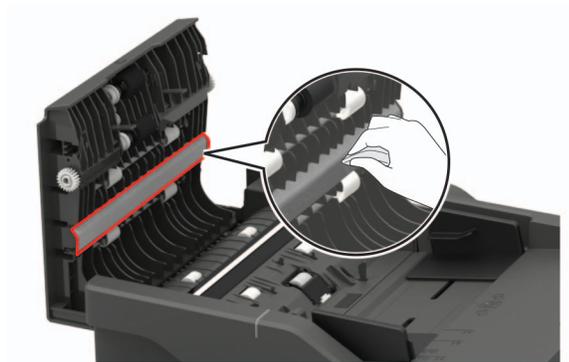
3 スキャナカバーを閉じます。

プリンタのドア C の中に別の ADF ガラスがある場合は、次の手順に進みます。

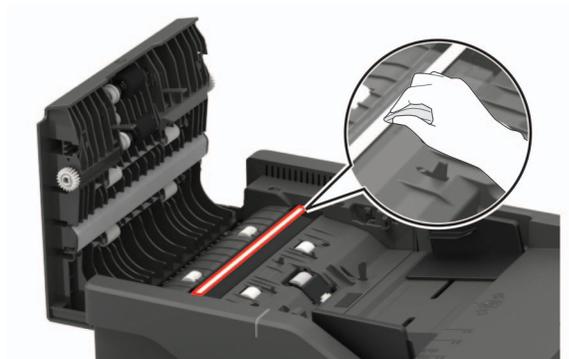
4 ドア C を開きます。



- 5 下に示した領域を、水で湿らせた柔らかい糸くずの出ない布で拭きます。
- ドア C の ADF ガラスパッド



- ドア C の ADF ガラス



- 6 ドアを閉じます。

タッチ画面を清掃する

⚠ 注意—感電危険: プリンタの外部を清掃する際には、感電のリスクを避けるため、コンセントから電源コードを抜き、プリンタに接続されているすべてのケーブルを外してから作業を行ってください。

- 1 プリンタの電源を切り、電源コードをコンセントから抜きます。
- 2 タッチ画面を、水で湿らせた柔らかい糸くずの出ない布で拭きます。

メモ:

- タッチ画面を傷める可能性がありますので、家庭用洗剤は使用しないでください。
- 清掃後は、タッチ画面が乾燥していることを確認してください。

- 3 電源コードをコンセントに接続し、プリンタの電源を入れます。

⚠ 注意—傷害の恐れあり: 火災や感電の危険を避けるため、製品の設置場所の近くにある、アクセスしやすい、正しく接地されていて、適切な定格を持つコンセントに、電源コードを接続します。

部品と消耗品を注文する

米国内で部品や消耗品を注文するには、お住まいの地域の Lexmark 正規販売店の情報について、1-800-539-6275 にお問い合わせください。他の国または地域については、www.lexmark.com をご覧いただくか、プリンタの販売店までお問い合わせください。

メモ: プリンタの消耗品の耐用期間見積もりは、レターまたは A4 サイズの普通紙を想定しています。

部品と消耗品の状況を確認する

- 1 ホーム画面で、[状態/消耗品]をタッチします。
- 2 確認したい部品または消耗品を選択します。

メモ: ホーム画面の上部にあるセクションをタッチしてこの設定にアクセスすることもできます。

Lexmark の純正部品と純正消耗品を使用する

Lexmark プリンタは Lexmark の純正部品および純正消耗品を使用して最高の機能を発揮するように設計されています。サードパーティ製の消耗品や部品を使用すると、パフォーマンス、信頼性、プリンタの寿命およびイメージングコンポーネントに影響する場合があります。保証の対象にも影響します。サードパーティ製の部品や消耗品の使用による損傷は、保証の対象外となります。すべての寿命インジケータは、純正の部品および消耗品を使用して機能するように設計されており、サードパーティ製の部品や消耗品を使用すると、予期せぬ結果になることがあります。想定された寿命を超えてイメージングコンポーネントを使用すると、Lexmark プリンタや関連するコンポーネントが損傷する可能性があります。

トナーカートリッジを注文する

メモ:

- 推定カートリッジ歩留まりは、ISO/IEC 19798 規格に基づいています。
- 極端に低い印刷比率で長時間印刷すると、実際の印刷数に悪影響を与える可能性があります。

Lexmark CX421、CX522、CX622、CX625 リターンプログラムトナーカートリッジ

項目	米国、カナダ	欧州経済領域	他のアジア太平洋地域	中南米	他の欧州諸国、中東、 アフリカ	オーストラリアおよび ニュージーランド
回収プログラムトナーカートリッジ						
シアン	78C10C0	78C20C0	78C30C0	78C40C0	78C50C0	78C60C0
マゼンタ	78C10M0	78C20M0	78C30M0	78C40M0	78C50M0	78C60M0
イエロー	78C10Y0	78C20Y0	78C30Y0	78C40Y0	78C50Y0	78C60Y0
ブラック	78C10K0	78C20K0	78C30K0	78C40K0	78C50K0	78C60K0
超大容量リターンプログラムトナーカートリッジ¹						
シアン	78C1XC0	78C2XC0	78C3XC0	78C4XC0	78C5XC0	78C6XC0

¹ CX421、CX 522、CX 622、CX 625 プリンタ機種でのみサポートされています。

² CX622 および CX625 プリンタ機種でのみサポートされています。

各地域に属する国の情報については、www.lexmark.com/regions をご覧ください。

項目	米国、カナダ	欧州経済領域	他のアジア太平洋地域	中南米	他の欧州諸国、中東、アフリカ	オーストラリアおよびニュージーランド
マゼンタ	78C1XM0	78C2XM0	78C3XM0	78C4XM0	78C5XM0	78C6XM0
イエロー	78C1XY0	78C2XY0	78C3XY0	78C4XY0	78C5XY0	78C6XY0
ブラック	78C1XK0	78C2XK0	78C3XK0	78C4XK0	78C5XK0	78C6XK0
超特大容量リターンプログラムトナーカートリッジ²						
シアン	78C1UC0	78C2UC0	78C3UC0	78C4UC0	78C5UC0	78C6UC0
マゼンタ	78C1UM0	78C2UM0	78C3UM0	78C4UM0	78C5UM0	78C6UM0
イエロー	78C1UY0	78C2UY0	78C3UY0	78C4UY0	78C5UY0	78C6UY0
ブラック	78C1UK0	78C2UK0	78C3UK0	78C4UK0	78C5UK0	78C6UK0
¹ CX421、CX 522、CX 622、CX 625 プリンタ機種でのみサポートされています。 ² CX622 および CX625 プリンタ機種でのみサポートされています。 各地域に属する国の情報については、 www.lexmark.com/regions をご覧ください。						

Lexmark CX421、CX522、CX622、CX625 標準トナーカートリッジ

項目	部品番号
超大容量トナーカートリッジ¹	
シアン	78C0X20
マゼンタ	78C0X30
イエロー	78C0X40
ブラック	78C0X10
超特大容量トナーカートリッジ²	
シアン	78C0U20
マゼンタ	78C0U30
イエロー	78C0U40
ブラック	78C0U10
¹ CX421 および CX522 プリンタ機種でのみサポートされています。 ² CX622 および CX625 プリンタ機種でのみサポートされています。	

Lexmark MC2325、MC2425、MC2535、MC2640 リターンプログラムトナーカートリッジ

項目	米国、カナダ	欧州経済領域	他のアジア太平洋地域	中南米	他の欧州諸国、中東、アフリカ	オーストラリアおよびニュージーランド
回収プログラムトナーカートリッジ						
シアン	C2310C0	C2320C0	C2330C0	C2340C0	C2350C0	C2360C0
マゼンタ	C2310M0	C2320M0	C2330M0	C2340M0	C2350M0	C2360M0
¹ MC2425、MC2535、MC2640 プリンタ機種でのみサポートされています。 ² MC2535 および MC2640 プリンタ機種でのみサポートされています。 各地域に属する国の情報については、 www.lexmark.com/regions をご覧ください。						

項目	米国、カナダ	欧州経済領域	他のアジア太平洋地域	中南米	他の欧州諸国、中東、 アフリカ	オーストラリアおよび ニュージーランド
イエロー	C2310Y0	C2320Y0	C2330Y0	C2340Y0	C2350Y0	C2360Y0
ブラック	C2310K0	C2320K0	C2330K0	C2340K0	C2350K0	C2360K0
大容量リターンプログラムトナーカートリッジ						
シアン	C231HC0	C232HC0	C233HC0	C234HC0	C235HC0	C236HC0
マゼンタ	C231HM0	C232HM0	C233HM0	C234HM0	C235HM0	C236HM0
イエロー	C231HY0	C232HY0	C233HY0	C234HY0	C235HY0	C236HY0
ブラック	C231HK0	C232HK0	C233HK0	C234HK0	C235HK0	C236HK0
超大容量リターンプログラムトナーカートリッジ¹						
シアン	C241XC0	C242XC0	C243XC0	C244XC0	C245XC0	C246XC0
マゼンタ	C241XM0	C242XM0	C243XM0	C244XM0	C245XM0	C246XM0
イエロー	C241XY0	C242XY0	C243XY0	C244XY0	C245XY0	C246XY0
ブラック	C241XK0	C242XK0	C243XK0	C244XK0	C245XK0	C246XK0
超特大容量リターンプログラムトナーカートリッジ²						
ブラック	C251UK0	C252UK0	C253UK0	C254UK0	C255UK0	C256UK0
¹ MC2425、MC2535、MC2640 プリンタ機種でのみサポートされています。 ² MC2535 および MC2640 プリンタ機種でのみサポートされています。 各地域に属する国の情報については、 www.lexmark.com/regions をご覧ください。						

Lexmark MC2325、MC2425、MC2535、MC2640 標準トナーカートリッジ

項目	部品番号
大容量トナーカートリッジ¹	
シアン	C230H20
マゼンタ	C230H30
イエロー	C230H40
ブラック	C230H10
超大容量トナーカートリッジ	
シアン ²	C240X20
マゼンタ ²	C240X30
イエロー ²	C240X40
ブラック ³	C240X10
超特大容量トナーカートリッジ⁴	
ブラック	C250U10
¹ MC2325 プリンタ機種でのみサポートされています。 ² MC2425、MC2535、MC2640 プリンタ機種でのみサポートされています。 ³ MC2425 プリンタ機種でのみサポートされています。 ⁴ MC2535、MC2640 プリンタ機種でのみサポートされています。	

Lexmark XC2235 標準トナーカートリッジ

項目	米国、カナダ、オーストラリア、ニュージーランド	ヨーロッパ、中東、アフリカ	他のアジア太平洋地域	中南米
シアン	24B7154	24B7178	24B7202	24B7230
マゼンタ	24B7155	24B7179	24B7203	24B7231
イエロー	24B7156	24B7180	24B7204	24B7232
ブラック	24B7157	24B7181	24B7205	24B7233

Lexmark XC4240 標準トナーカートリッジ

項目	米国、カナダ、オーストラリア、ニュージーランド	ヨーロッパ、中東、アフリカ	他のアジア太平洋地域	中南米
シアン	24B7158	24B7182	24B7206	24B7234
マゼンタ	24B7159	24B7183	24B7207	24B7235
イエロー	24B7160	24B7184	24B7208	24B7236
ブラック	24B7161	24B7185	24B7209	24B7237

イメージングキットを注文する

項目	部品番号
リターンプログラムイメージングキット	
ブラックのリターンプログラムイメージングキット	78C0ZK0
ブラックおよびカラーのリターンプログラムイメージングキット	78C0ZV0
標準イメージングキット	
ブラックイメージングキット	78C0Z10
ブラックおよびカラーのイメージングキット	78C0Z50

廃トナーボトルを注文する

項目	部品番号
廃トナーボトル	78C0W00

メンテナンスキットを注文する

メンテナンスキットをプリンタの電圧と合わせます。

メモ:

- 特定のタイプの用紙を使用するには、メンテナンスキットをより頻繁に交換しなければならない場合があります。
- メンテナンスキットには、フューザーとピックタイヤが含まれます。必要に応じて、これらの部品は個別に注文して交換することができます。

項目	部品番号
100 V フューザーメンテナンスキット	41X2095
110 V フューザーメンテナンスキット	41X2096
220 V フューザーメンテナンスキット	41X2097

メモ: 認定サービス技術者のみがメンテナンスキットを交換できます。サービスプロバイダにお問い合わせください。

消耗品を交換する

トナーカートリッジを交換する

- 1 ドア B をカチッという音がするまで開きます。

警告—破損の恐れあり: 静電気放電による損傷を防ぐため、プリンタ内部に手を入れたり触れたりする前に、プリンタの露出している金属製フレームに触れてください。



2 使用済みトナーカートリッジを取り外します。



3 新しいトナーカートリッジを包装から取り出します。

4 新しいトナーカートリッジを挿入します。



5 ドア B を閉じます。



廃トナーボトルを交換する

1 ドア B をカチッという音がするまで開きます。

警告—破損の恐れあり: 静電気放電による損傷を防ぐため、プリンタ内部に手を入れたり触れたりする前に、プリンタの露出している金属製フレームに触れてください。

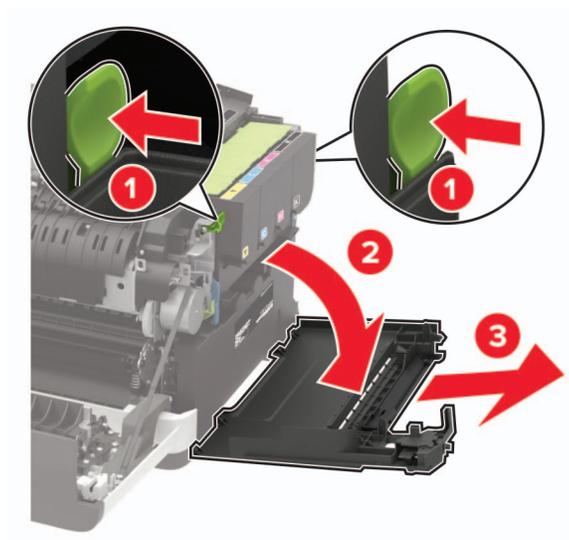


2 ドア A を開きます。

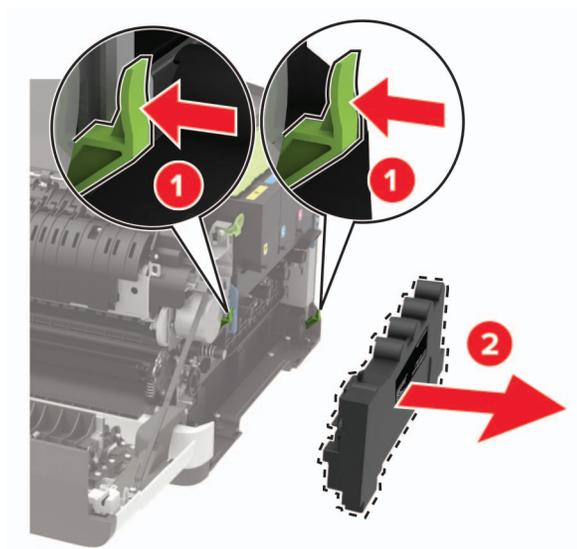
⚠️ 注意—表面高温: プリンタの内部が高温になっている場合があります。高温のコンポーネントによる負傷の危険を減らすため、表面が冷えてから触れるようにしてください。



3 右側のカバーを取り外します。



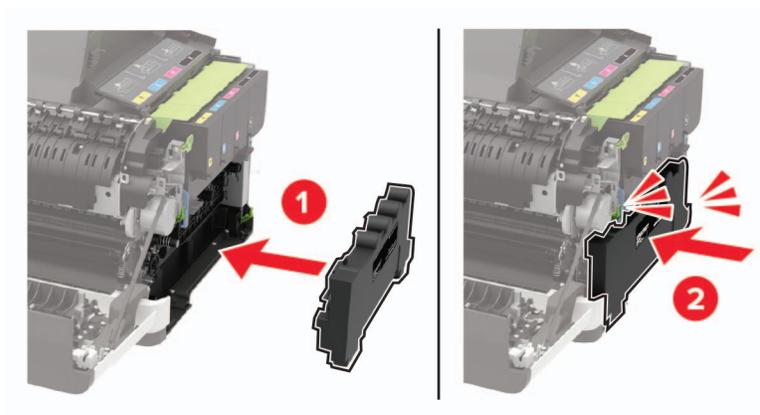
4 使用済の廃トナーボトルを取り外します。



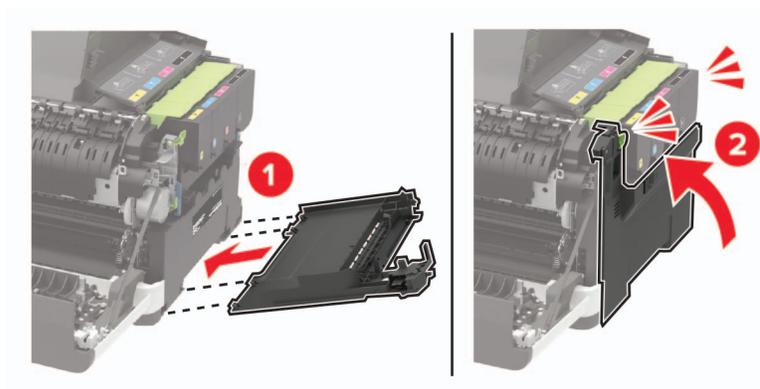
メモ: トナーがこぼれるのを回避するために、ボトルを直立状態で取り付けます。

5 新しい廃トナーボトルの梱包を取り外します。

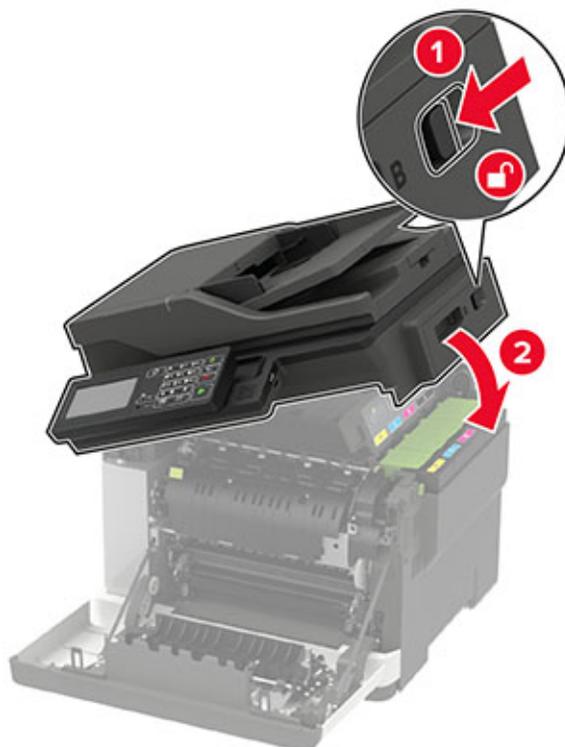
6 新しい廃トナーボトルを挿入します。



7 右側のカバーを挿入します。



8 ドア B を閉じます。



9 ドア A を閉じます。

イメージングキットを交換する

1 ドア B をカチッという音がするまで開きます。

警告—破損の恐れあり: 静電気放電による損傷を防ぐため、プリンタ内部に手を入れたり触れたりする前に、プリンタの露出している金属製フレームに触れてください。

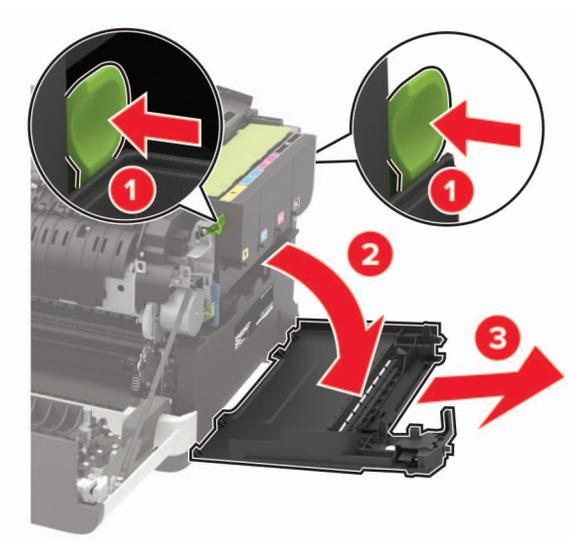


2 ドア A を開きます。

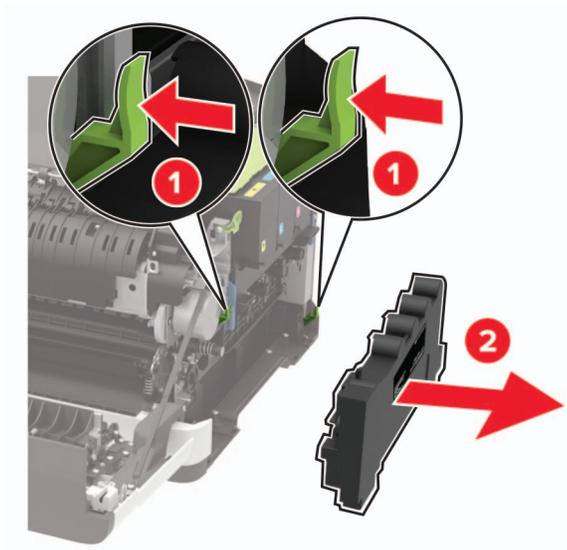
 **注意-表面高温:** プリンタの内部が高温になっている場合があります。高温のコンポーネントによる負傷の危険を減らすため、表面が冷えてから触れるようにしてください。



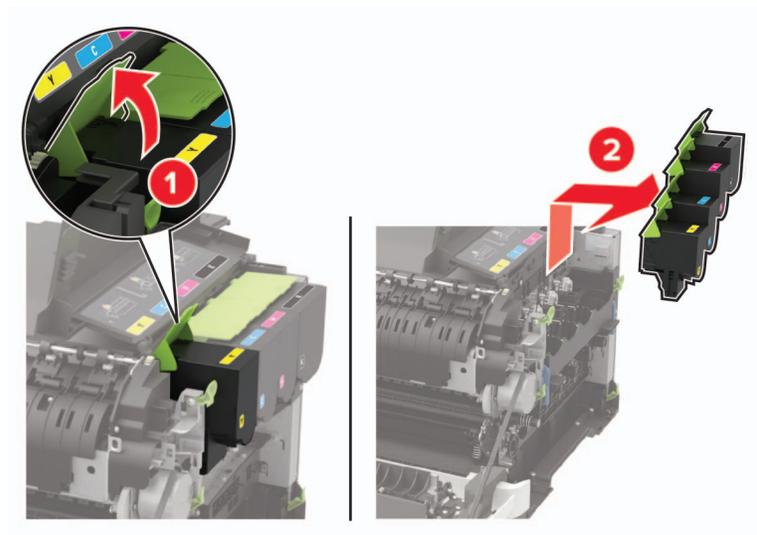
3 右側のカバーを取り外します。



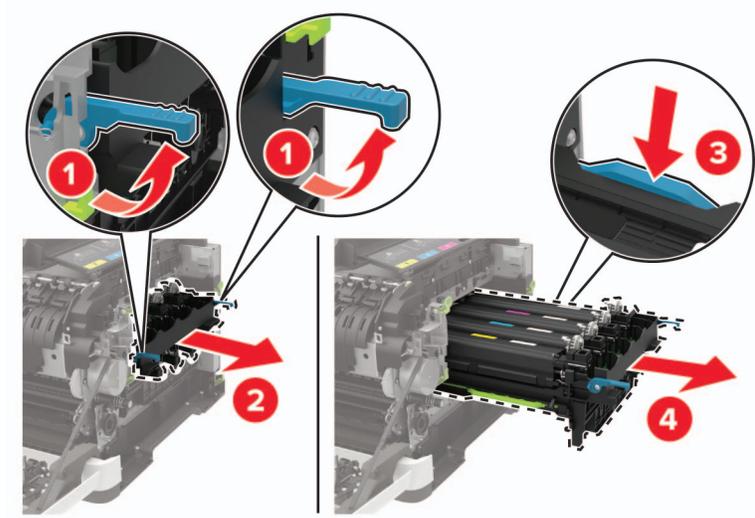
4 廃トナーボトルを取り外します。



5 トナーカートリッジを取り外します。



6 使用済みイメージングキットを取り外します。



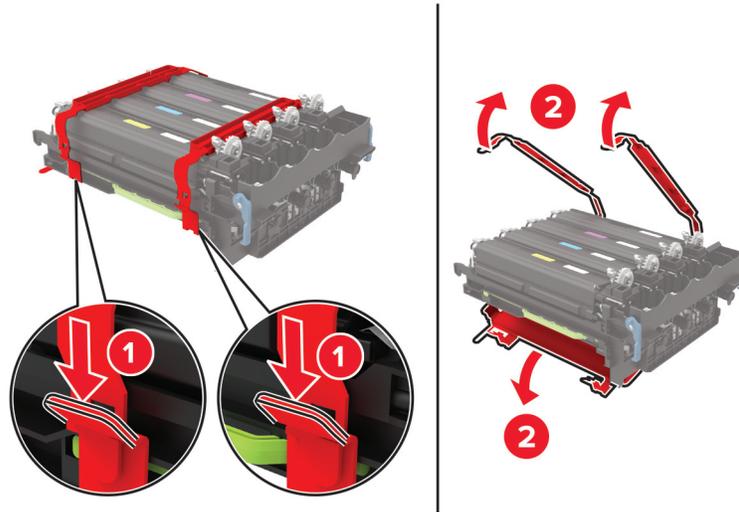
7 新しいイメージングキットを包装から取り出します。



メモ:

- ブラックイメージングキットには、イメージングキットとブラック現像体ユニットがあります。
- ブラックおよびカラーのイメージングキットには、イメージングキットとブラック、シアン、マゼンタ、イエローの現像体ユニットがあります。
- ブラックイメージングキットを交換する場合は、シアン、マゼンタ、イエローの現像体ユニットをイメージングキットから取り外します。

8 梱包材を取り除きます。



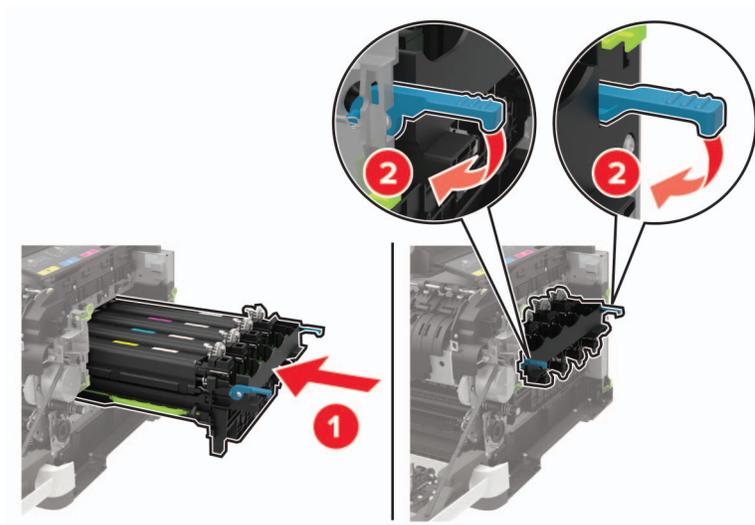
メモ: ブラックイメージングキットを交換する場合は、マゼンタ、シアン、イエローの現像体ユニットを新しいイメージングキットに挿入します。

警告—破損の恐れあり: イメージングキットを直射光にさらさないでください。長時間直射日光にさらすと、印刷品質の問題が生じる可能性があります。

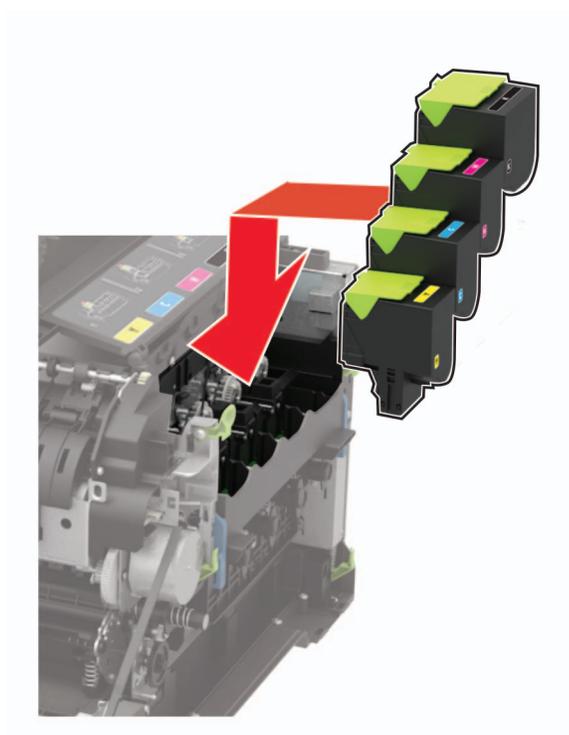
警告—破損の恐れあり: 感光体ドラムには触らないでください。触れると、今後の印刷ジョブの印刷品質に影響する可能性があります。



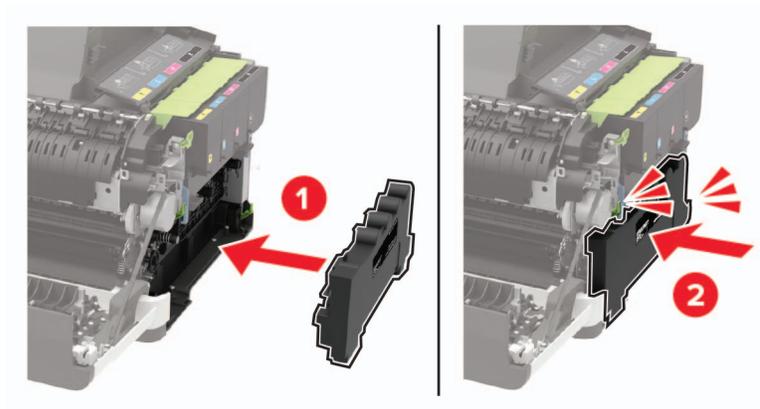
9 イメージングキットがしっかりと装着されるまで挿入します。



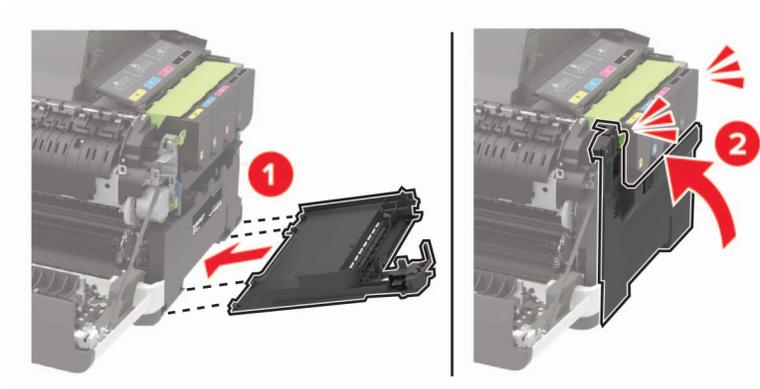
10 トナーカートリッジを挿入します。



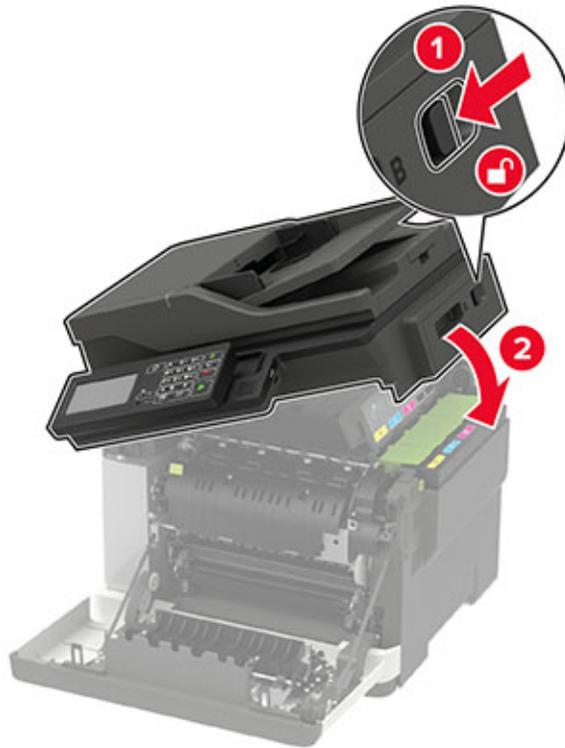
11 廃トナーボトルを挿入します。



12 右側のカバーを挿入します。



13 ドア B を閉じます。



14 ドア A を閉じます。

プリンタを移動する

プリンタを別の場所に移動する

- ⚠ 注意—傷害の恐れあり:** プリンタの重量が 20 kg (44 ポンド) 以上ある場合、安全に持ち上げるには 2 名以上の人が必要になることがあります。
- ⚠ 注意—傷害の恐れあり:** 火災や感電の危険を避けるため、製品に同梱されている電源コード、または製造元が代替品として認可した電源コードのみを使用してください。
- ⚠ 注意—傷害の恐れあり:** プリンタを移動する場合は、けがやプリンタの破損を避けるため、以下のガイドラインに従ってください。
 - すべてのドアとトレイが閉じられていることを確認します。
 - プリンタの電源を切り、電源コードをコンセントから抜きます。
 - プリンタからコードやケーブル類をすべて取り外します。
 - プリンタに別途フロアスタンド型オプショントレイまたは排紙オプションが取り付けられている場合は、それらを取り外してからプリンタを移動します。
 - プリンタにキャスターベースがある場合は、慎重に新しい場所に移動します。しきいや床の割れ目を通るときは注意してください。
 - プリンタにキャスターベースがなく、オプションのトレイまたは排紙オプションで構成されている場合は、排紙オプションを取り外してからプリンタをトレイから取り外します。どのオプションの場合も、プリンタと同時に持ち上げないでください。

- 必ずプリンタの持ち手を使用してプリンタを持ち上げます。
- プリンタの移動に台車を使用する場合は、プリンタの底面全体を載せられる台車を使用してください。
- ハードウェアオプションの移動に台車を使用する場合は、オプション全体を載せられる台車を使用してください。
- プリンタは直立状態に保ってください。
- 急激な動きは避けてください。
- 下に置くときにプリンタの下に指が入らないようにしてください。
- プリンタの周囲に十分なスペースがあることを確認します。

メモ: 不適切な移動により生じたプリンタの損傷は、保証の対象にはなりません。

プリンタを輸送する

輸送の手順については、<http://support.lexmark.com> にアクセスするか、カスタマサポートにお問い合わせください。

電力と用紙を節約する

節電モードを設定する

スリープモード

- 1 操作パネルから、次のメニューを選択します。

[設定] > [デバイス] > [電源管理] > [タイムアウト時間] > [スリープモード]

タッチ画面のないプリンタ機種では、**OK** を押して設定内を移動します。

- 2 プリンタがスリープモードに移行するまでのアイドル時間を設定します。

休止モード

- 1 操作パネルから、次のメニューを選択します。

[設定] > [デバイス] > [電源管理] > [タイムアウト時間] > [休止モード]

タッチ画面のないプリンタ機種では、**OK** を押して設定内を移動します。

- 2 プリンタが休止モードになるまでの時間を設定します。

メモ:

- 印刷ジョブを送信する前に、必ずプリンタを休止モードから復帰させてください。
- プリンタを休止モードから復帰させるには、電源ボタンを押します。
- プリンタが休止モードの場合、Embedded Web Server は無効です。

ディスプレイの明るさを調整する

メモ: この設定は、一部のプリンタ機種でのみ使用可能です。

- 1 操作パネルから、次のメニューを選択します。

[設定] > [デバイス] > [基本設定]

タッチ画面のないプリンタ機種では、 を押して設定内を移動します。

- 2 [画面の明るさ]メニューで、設定を調整します。

消耗品を節約する

- 用紙の両面に印刷します。

メモ: 両面印刷は、プリンタドライバの標準設定です。

- 1 枚の用紙に複数のページを割り付けて印刷します。
- プレビュー機能を使用して、印刷前にドキュメントがどのように印刷されるか確認します。
- ドキュメントを 1 部だけ印刷し、内容や形式に誤りがないかどうかを確認します。

リサイクル

Lexmark 製品のリサイクルプログラム

Lexmark 製品を返却してリサイクルするには、以下の手順に従います。

- 1 www.lexmark.com/recycle をご覧ください。
- 2 リサイクルする製品を選択します。

メモ: Lexmark 回収プログラムの一覧にないプリンタ消耗品およびハードウェアの場合でも、地元のリサイクルセンターでリサイクルできる場合があります。

Lexmark 製品の梱包材をリサイクルする

Lexmark は梱包材を最小限に抑えるよう絶えず努力しています。より少ない梱包材により、Lexmark プリンタは最も効率的で、かつ環境に配慮した方法で輸送され、梱包材の廃棄量の削減に貢献しています。これらの努力は、温室効果ガスのより少ない排出、省エネルギー、天然資源の節約をもたらします。また、Lexmark では、一部の国と地域で梱包材のリサイクルも行っています。詳細については、www.lexmark.com/recycle で、お住まいの国と地域を選択してください。利用可能な梱包材リサイクルプログラムに関する情報は、製品リサイクルに関する情報の中に含まれています。

Lexmark のダンボール箱は、再生利用する施設がある地域ではすべてリサイクル可能です。その施設は、お住まいの地域にない可能性があります。

Lexmark の梱包材に使用されている発泡スチロールは、再生利用する施設がある地域ではリサイクル可能です。その施設は、お住まいの地域にない可能性があります。

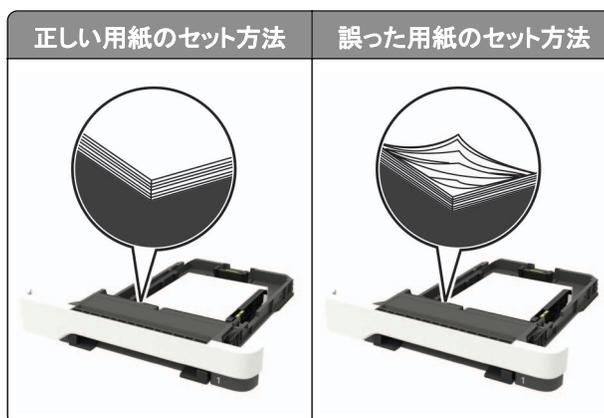
Lexmark にカートリッジを返却する際には、配達時に梱包されていたダンボール箱を再利用できます。そのダンボール箱は Lexmark がリサイクルします。

紙詰まりを取り除く

紙詰まりを防止する

用紙を正しくセットする

- 用紙はトレイに平らに置いてください。



- 印刷中はトレイに用紙をセットしたり、トレイを取り外したりしないでください。
- 過度に多い量の用紙をセットしないでください。重ねた用紙の高さが、指定されている高さの上限を超えないようにします。
- 用紙をトレイにスライドしないでください。図のように用紙をセットします。

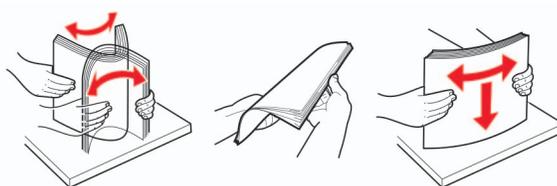


- 用紙ガイドが正しい位置にあり、用紙や封筒をきつく挟みすぎでないことを確認します。
- 用紙をセットしたらトレイをしっかりと押し込みます。

推奨用紙を使用する

- 推奨用紙または特殊紙のみを使用します。
- しわ、折り目のある用紙、湿っている用紙、曲がっている用紙、丸まっている用紙をセットしないでください。

- ほぐしたり、パラパラめくったり、端をそろえたりしてから用紙をセットします。



- 手で切った、またはちぎった用紙は使用しないでください。
- 用紙のサイズ、重さ、タイプが異なる用紙を混在させてセットしないでください。
- コンピュータまたはプリンタ操作パネルで、用紙のサイズおよびタイプが適切に設定されていることを確認します。
- 用紙はメーカーの推奨事項に従い保管します。

紙詰まりの場所を確認する

メモ:

- [紙詰まり時の復旧サポート]が[オン]に設定されている場合、紙詰まりを起こしたページが取り除かれた後、プリンタは白紙ページまたは一部印刷されたページを排出します。白紙ページがあるかどうか、印刷済み出力用紙を確認します。
- [紙詰まりしたページの再印刷]が[オン]または[自動]に設定されている場合、プリンタは紙詰まりが発生したページを再印刷します。



	紙詰まりの場所
1	自給紙(ADF)
2	標準排紙トレイ
3	ドア A
4	トレイ
5	手差しトレイ
6	手差しフィーダー

トレイの紙詰まり

- 1 トレイを取り外します。



- 2 詰まっている用紙を取り除きます。

メモ: 必ずすべての紙片を取り除いてください。



- 3 トレイを挿入します。

ドア A の紙詰まり

フューザーの紙詰まり

- 1 ドア A を開き、ドア B をカチッという音がするまで開きます。

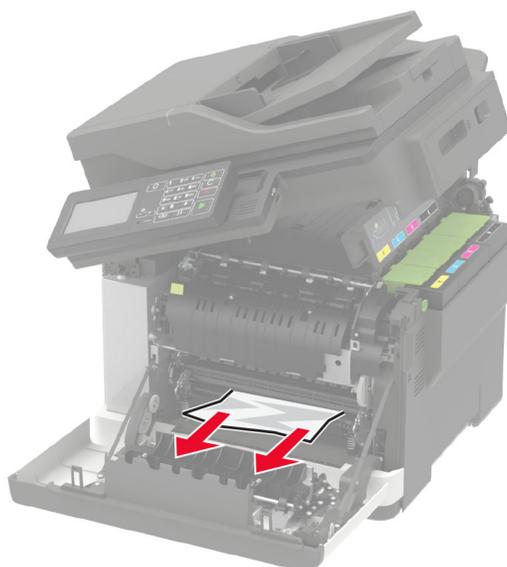
 **注意—表面高温:** プリンタの内部が高温になっている場合があります。高温のコンポーネントによる負傷の危険を減らすため、表面が冷えてから触れるようにしてください。

警告—破損の恐れあり: 静電気放電による損傷を防ぐため、プリンタ内部に手を入れたり触れたりする前に、プリンタの露出している金属製フレームに触れてください。



2 詰まっている用紙を取り除きます。

メモ: 必ずすべての紙片を取り除いてください。



3 ドア B および A を閉じます。

フューザーの紙詰まり

1 ドア A と B を開きます。

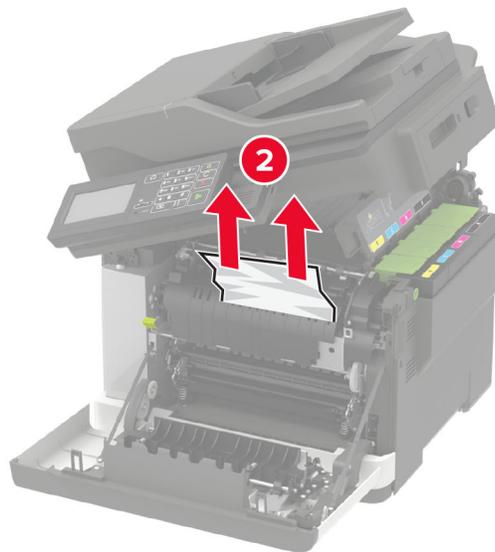
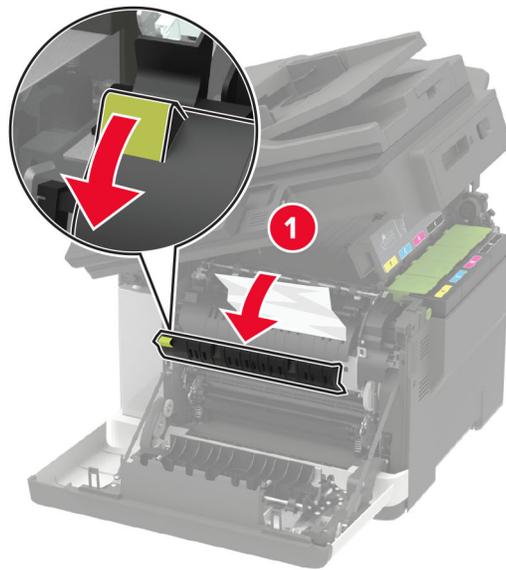
 **注意—表面高温:** プリンタの内部が高温になっている場合があります。高温のコンポーネントによる負傷の危険を減らすため、表面が冷えてから触れるようにしてください。

警告—破損の恐れあり: 静電気放電による損傷を防ぐため、プリンタ内部に手を入れたり触れたりする前に、プリンタの露出している金属製フレームに触れてください。



2 フューザーアクセスドアを開き、詰まっている用紙を取り除きます。

メモ: 必ずすべての紙片を取り除いてください。



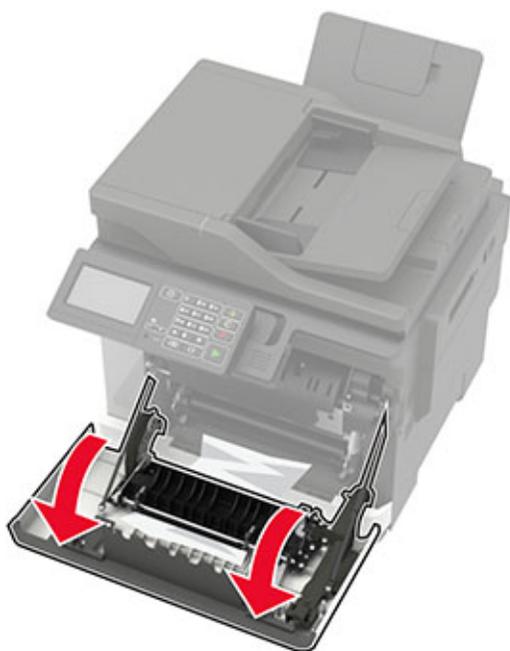
3 ドア B および A を閉じます。

両面印刷ユニット内の紙詰まり

1 ドア A を開きます。

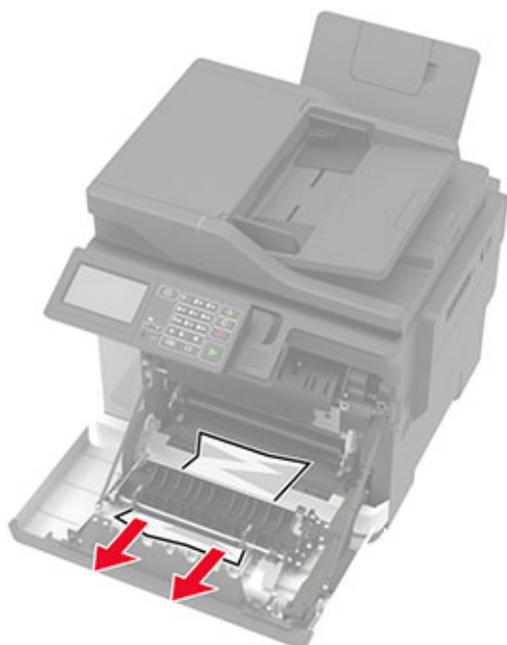
 **注意—表面高温:** プリンタの内部が高温になっている場合があります。高温のコンポーネントによる負傷の危険を減らすため、表面が冷えてから触れるようにしてください。

警告—破損の恐れあり: 静電気放電による損傷を防ぐため、プリンタ内部に手を入れたり触れたりする前に、プリンタの露出している金属製フレームに触れてください。



2 詰まっている用紙を取り除きます。

メモ: 必ずすべての紙片を取り除いてください。

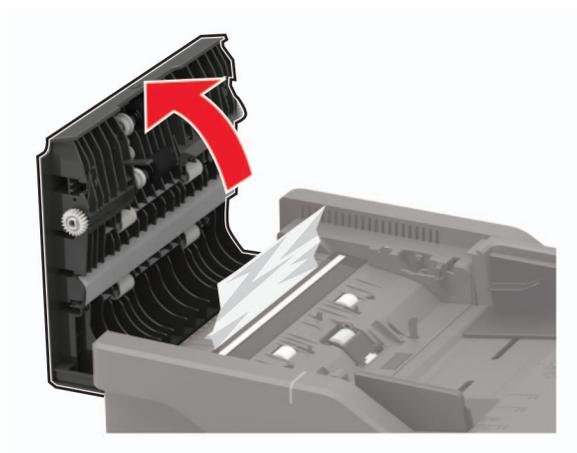


3 ドア A を閉じます。

ドア C の紙詰まり

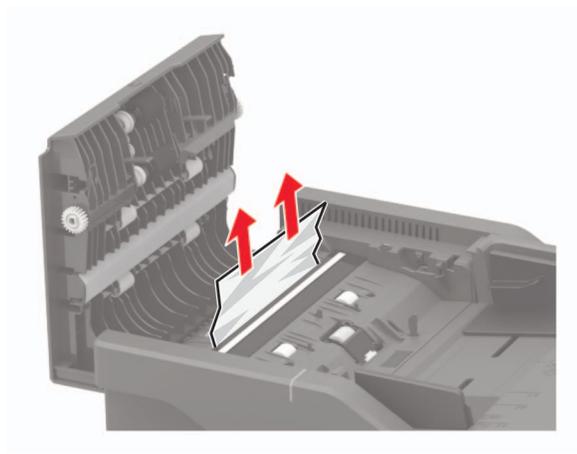
- 1 ADFトレイからすべての原稿を取り除いてください。
- 2 ドア C を開きます。

警告—破損の恐れあり: 静電気放電による損傷を防ぐため、プリンタ内部に手を入れたり触れたりする前に、プリンタの露出している金属製フレームに触れてください。



- 3 詰まっている用紙を取り除きます。

メモ: 必ずすべての紙片を取り除いてください。



- 4 ドア C を閉じます。

標準排紙トレイの紙詰まり

- 1 ドア B をカチッという音がするまで開き、詰まった用紙を取り除きます。

警告—破損の恐れあり: 静電気放電による損傷を防ぐため、プリンタ内部に手を入れたり触れたりする前に、プリンタの露出している金属製フレームに触れてください。

メモ: 必ずすべての紙片を取り除いてください。



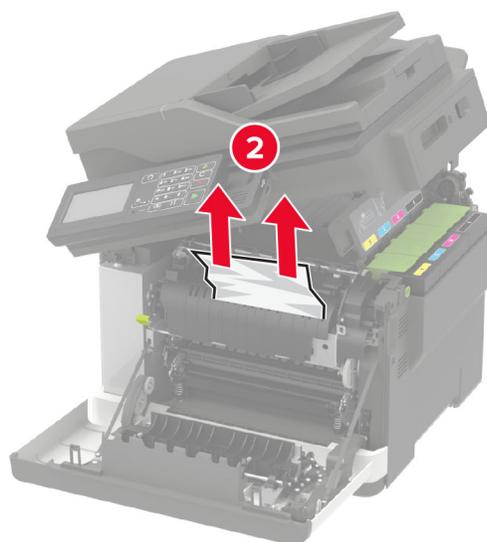
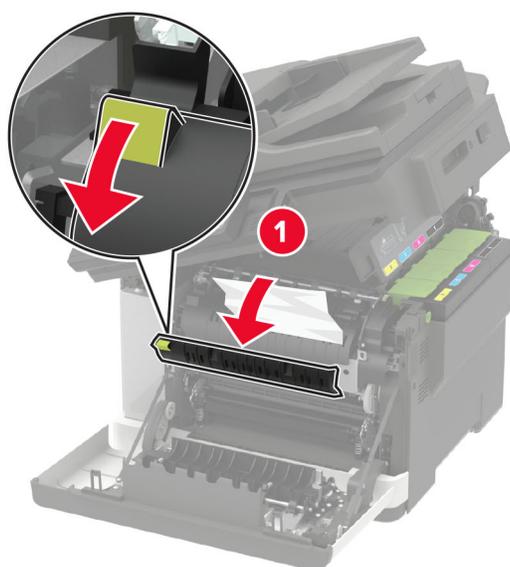
2 ドア A を開きます。

 **注意—表面高温:** プリンタの内部が高温になっている場合があります。高温のコンポーネントによる負傷の危険を減らすため、表面が冷えてから触れるようにしてください。



3 フューザーアクセスドアを開き、詰まっている用紙を取り除きます。

メモ: 必ずすべての紙片を取り除いてください。

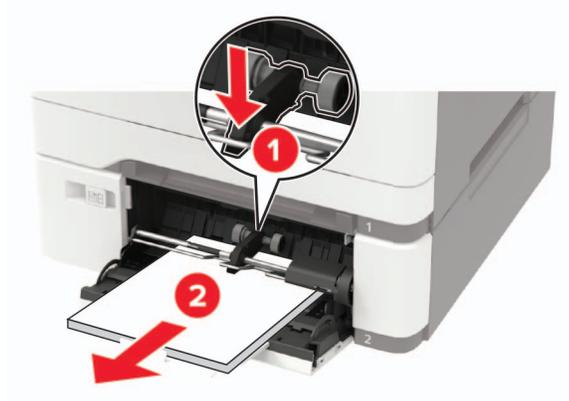


4 ドア A および B を閉じます。

多目的フィーダの紙詰まり

メモ: 手差しトレイは、一部のプリンタ機種でのみ使用可能です。

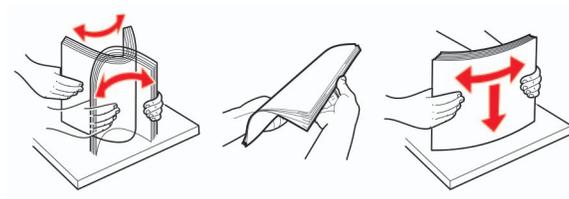
- 1 多目的フィーダから用紙を取り除きます。



- 2 つまっている用紙を取り除きます。

メモ: 必ずすべての紙片を取り除いてください。

- 3 用紙をほぐし、パラパラとめくってから端をそろえ、用紙をセットします。



- 4 用紙をセットしなおします。



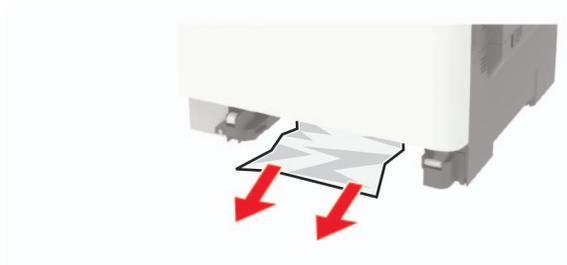
手差しフィーダーの紙詰まり

1 トレイを取り外します。



2 詰まっている用紙を取り除きます。

メモ: 必ずすべての紙片を取り除いてください。

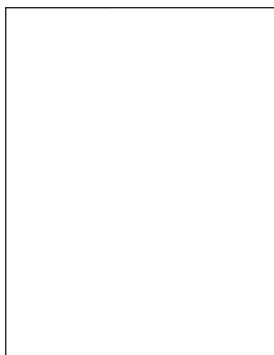


3 トレイを挿入します。

問題に対処する

印刷品質の問題

現在発生している印刷品質問題に似ている画像を探して、その下のリンクをクリックして、問題を解決する手順を確認してください。



[「空白または白のページ」、206 ページ](#)



[「印刷が濃い」、207 ページ](#)



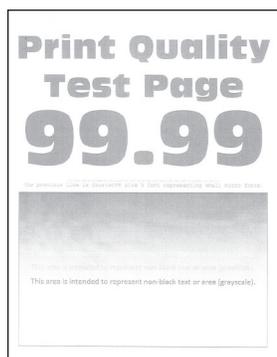
[「ゴースト」、208 ページ](#)



[「グレースケールまたはカラーの背景」、209 ページ](#)



[「余白が正しくない」、210 ページ](#)



[「印刷が薄い」、211 ページ](#)



[「印刷されない色」、213 ページ](#)



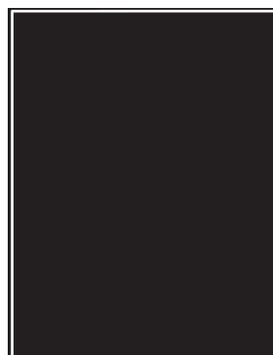
[「まだらな印刷やドット」、213 ページ](#)



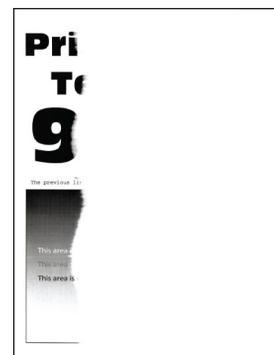
[「用紙のカール」、237 ページ](#)



[「印刷が歪むまたは傾く」、215 ページ](#)



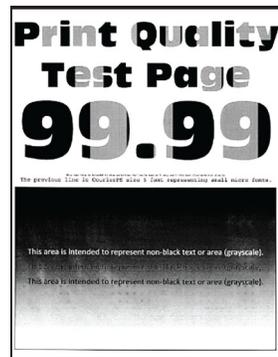
[「単色または黒のイメージ」、215 ページ](#)



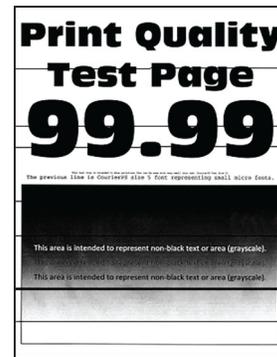
[「文字やイメージが切り取られる」、216 ページ](#)



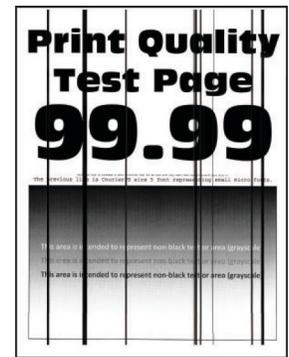
「トナーがはがれ落ちる」、217 ページ



「印刷の濃さが均一ではない」、218 ページ



「横方向の黒い線」、219 ページ



「縦方向の黒い線」、220 ページ



「横方向の白い線」、222 ページ



「縦方向の白い線」、223 ページ



「印刷不良が繰り返し発生する」、224 ページ

印刷の問題

印刷品質が悪い

空白または白のページ



メモ: 問題を解決する前に、印刷品質テストページを印刷します。操作パネルから、[設定] > [トラブルシューティング] > [印刷品質テストページ]の順に移動します。タッチ画面のないプリンタ機種では、 を押して設定内を移動します。

対応	はい	いいえ
<p>a イメージングキットを取り外してから挿入します。</p> <p>警告—破損の恐れあり: イメージングキットを直射光にさらさないでください。長時間直射日光にさらすと、印刷品質に問題が生じる可能性があります。</p> <p>警告—破損の恐れあり: イメージングキットの下のフォトコンダクタードラムに触れないでください。触れると、今後の印刷ジョブの印刷品質に影響する可能性があります。</p> <p>b ドキュメントを印刷します。</p> <p>プリンタで空白または白のページが印刷されますか？</p>	<p>カスタマサポート にお問い合わせください。</p>	<p>問題は解決しました。</p>

印刷が濃い



メモ: 問題を解決する前に、印刷品質テストページを印刷します。操作パネルから、**[設定]** > **[トラブルシューティング]** > **[印刷品質テストページ]**の順に移動します。タッチ画面のないプリンタ機種では、**OK** を押して設定内を移動します。

対応	はい	いいえ
<p>手順 1</p> <p>a カラー調節を実行します。</p> <p>操作パネルから、次のメニューを選択します。</p> <p>[設定] > [印刷] > [品質] > [イメージ詳細設定] > [カラー調節]</p> <p>b ドキュメントを印刷します。</p> <p>印刷が濃すぎますか？</p>	<p>手順 2 に進みます。</p>	<p>問題は解決しました。</p>
<p>手順 2</p> <p>a オペレーティングシステム(OS)に応じて、[印刷基本設定]または[印刷]ダイアログからトナー濃度を薄くします。</p> <p>メモ: プリンタ操作パネルで設定を変更することもできます。次のメニューを選択します。</p> <p>[設定] > [印刷] > [品質] > [トナー濃度]</p> <p>b ドキュメントを印刷します。</p> <p>印刷が濃すぎますか？</p>	<p>手順 3 に進みます。</p>	<p>問題は解決しました。</p>

対応	はい	いいえ
<p>手順 3</p> <p>a オペレーティングシステム(OS)に応じて、[印刷基本設定]または[印刷]ダイアログから用紙タイプを指定します。</p> <p>メモ:</p> <ul style="list-style-type: none"> • トレイにセットされた用紙と設定が一致していることを確認します。 • プリンタ操作パネルで設定を変更することもできます。次のメニューを選択します。 <p>[設定] > [用紙] > [トレイ構成設定] > [用紙サイズ/タイプ]</p> <p>b ドキュメントを印刷します。</p> <p>印刷が濃すぎますか？</p>	手順 4 に進みます。	問題は解決しました。
<p>手順 4</p> <p>用紙の表面が粗いかどうかを確認します。</p> <p>表面が粗い用紙に印刷していますか？</p>	手順 5 に進みます。	手順 6 に進みます。
<p>手順 5</p> <p>a 表面が粗い用紙を普通紙と交換します。</p> <p>b ドキュメントを印刷します。</p> <p>印刷が濃すぎますか？</p>	手順 6 に進みます。	問題は解決しました。
<p>手順 6</p> <p>a 新しいパッケージの用紙をセットします。</p> <p>メモ: 湿度が高いと、用紙が湿気を吸収します。用紙は、使用するときまで元の包装に入れて保管してください。</p> <p>b ドキュメントを印刷します。</p> <p>印刷が濃すぎますか？</p>	カスタマサポート にお問い合わせください 。	問題は解決しました。

ゴースト



メモ: 問題を解決する前に、印刷品質テストページを印刷します。操作パネルから、[設定] > [トラブルシューティング] > [印刷品質テストページ]の順に移動します。タッチ画面のないプリンタ機種では、**OK** を押して設定内を移動します。

対応	はい	いいえ
<p>手順 1</p> <p>a トレイに、適切なタイプの用紙をセットします。</p> <p>b ドキュメントを印刷します。</p> <p>印刷にゴーストが表示されますか？</p>	手順 2 に進みます。	問題は解決しました。
<p>手順 2</p> <p>a オペレーティングシステム(OS)に応じて、[印刷基本設定]または[印刷]ダイアログから用紙タイプを指定します。</p> <p>メモ:</p> <ul style="list-style-type: none"> • トレイにセットされた用紙と設定が一致していることを確認します。 • プリンタ操作パネルで設定を変更することもできます。次のメニューを選択します。 <p>[設定] > [用紙] > [トレイ構成設定] > [用紙サイズ/タイプ]</p> <p>b ドキュメントを印刷します。</p> <p>印刷にゴーストが表示されますか？</p>	手順 3 に進みます。	問題は解決しました。
<p>手順 3</p> <p>a カラー調節を実行します。</p> <p>操作パネルから、次のメニューを選択します。</p> <p>[設定] > [印刷] > [品質] > [イメージ詳細設定] > [カラー調節]</p> <p>b ドキュメントを印刷します。</p> <p>印刷にゴーストが表示されますか？</p>	手順 4 に進みます。	問題は解決しました。
<p>手順 4</p> <p>a イメージングキットを取り外してから挿入します。</p> <p>警告—破損の恐れあり: イメージングキットを直射光にさらさないでください。長時間直射日光にさらすと、印刷品質に問題が生じる可能性があります。</p> <p>警告—破損の恐れあり: イメージングキットの下のフォトコンダクタードラムに触れないでください。触れると、今後の印刷ジョブの印刷品質に影響する可能性があります。</p> <p>b ドキュメントを印刷します。</p> <p>印刷にゴーストが表示されますか？</p>	カスタマサポート にお問い合わせください 。	問題は解決しました。

グレースケールまたはカラーの背景



メモ: 問題を解決する前に、印刷品質テストページを印刷します。操作パネルから、**[設定]** > **[トラブルシューティング]** > **[印刷品質テストページ]**の順に移動します。タッチ画面のないプリンタ機種では、**OK** を押して設定内を移動します。

対応	はい	いいえ
手順 1 a カラー調節を実行します。 操作パネルから、次のメニューを選択します。 [設定] > [印刷] > [品質] > [イメージ詳細設定] > [カラー調節] b ドキュメントを印刷します。 グレースケールまたはカラーの背景が印刷に現れますか？	手順 2 に進みます。	問題は解決しました。
手順 2 a イメージングキットを取り外してから挿入します。 警告—破損の恐れあり: イメージングキットを直射光にさらさないでください。長時間直射日光にさらすと、印刷品質に問題が生じる可能性があります。 警告—破損の恐れあり: イメージングキットの下のフォトコンダクタードラムに触れないでください。触れると、今後の印刷ジョブの印刷品質に影響する可能性があります。 b ドキュメントを印刷します。 グレースケールまたはカラーの背景が印刷に現れますか？	カスタマサポート にお問い合わせください 。	問題は解決しました。

余白が正しくない



対応	はい	いいえ
手順 1 a 用紙ガイドを、セットされている用紙のサイズに合う正しい位置に調整します。 b ドキュメントを印刷します。 余白は正しいですか？	問題は解決しました。	手順 2 に進みます。
手順 2 a 操作パネルから用紙サイズを設定します。次のメニューを選択します。 [設定] > [用紙] > [トレイ構成設定] > [用紙サイズ/タイプ] b ドキュメントを印刷します。 余白は正しいですか？	問題は解決しました。	手順 3 に進みます。

対応	はい	いいえ
手順 3 a オペレーティングシステム (OS) によって、[印刷基本設定] または [印刷] ダイアログから用紙サイズを指定します。 メモ: トレイにセットされた用紙と設定が一致していることを確認します。 b ドキュメントを印刷します。 余白は正しいですか？	問題は解決しました。	カスタマサポート にお問い合わせください 。

印刷が薄い

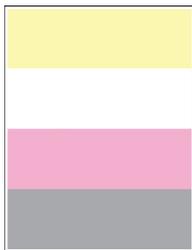


メモ: 問題を解決する前に、印刷品質テストページを印刷します。操作パネルから、[設定] > [トラブルシューティング] > [印刷品質テストページ] の順に移動します。タッチ画面のないプリンタ機種では、**OK** を押して設定内を移動します。

対応	はい	いいえ
手順 1 a カラー調節を実行します。 操作パネルから、次のメニューを選択します。 [設定] > [印刷] > [品質] > [イメージ詳細設定] > [カラー調節] b ドキュメントを印刷します。 印刷が薄いですか？	手順 2 に進みます。	問題は解決しました。
手順 2 a オペレーティングシステム (OS) に応じて、[印刷基本設定] または [印刷] ダイアログでトナー濃度を濃くします。 メモ: プリンタ操作パネルで設定を変更することもできます。次のメニューを選択します。 [設定] > [印刷] > [品質] > [トナー濃度] b ドキュメントを印刷します。 印刷が薄いですか？	手順 3 に進みます。	問題は解決しました。

対応	はい	いいえ
<p>手順 3</p> <p>a [カラートナー節約]をオフにします。 操作パネルから、次のメニューを選択します。 [設定] > [印刷] > [品質] > [カラートナー節約]</p> <p>b ドキュメントを印刷します。</p> <p>印刷が薄いですか？</p>	手順 4 に進みます。	問題は解決しました。
<p>手順 4</p> <p>a オペレーティングシステム(OS)に応じて、[印刷基本設定]または[印刷]ダイアログから用紙タイプを指定します。</p> <p>メモ:</p> <ul style="list-style-type: none"> • トレイにセットされた用紙と設定が一致していることを確認します。 • プリンタ操作パネルで設定を変更することもできます。次のメニューを選択します。 <p>[設定] > [用紙] > [トレイ構成設定] > [用紙サイズ/タイプ]</p> <p>b ドキュメントを印刷します。</p> <p>印刷が薄いですか？</p>	手順 5 に進みます。	問題は解決しました。
<p>手順 5</p> <p>用紙の表面が粗いかどうかを確認します。</p> <p>表面が粗い用紙に印刷していますか？</p>	手順 6 に進みます。	手順 7 に進みます。
<p>手順 6</p> <p>a 表面が粗い用紙を普通紙と交換します。</p> <p>b ドキュメントを印刷します。</p> <p>印刷が薄いですか？</p>	手順 7 に進みます。	問題は解決しました。
<p>手順 7</p> <p>a 新しいパッケージの用紙をセットします。</p> <p>メモ: 湿度が高いと、用紙が湿気を吸収します。用紙は、使用するときまで元の包装に入れて保管してください。</p> <p>b ドキュメントを印刷します。</p> <p>印刷が薄いですか？</p>	手順 8 に進みます。	問題は解決しました。
<p>手順 8</p> <p>a イメージングキットを取り外してから挿入します。</p> <p>警告—破損の恐れあり: イメージングキットを直射光にさらさないでください。長時間直射日光にさらすと、印刷品質に問題が生じる可能性があります。</p> <p>警告—破損の恐れあり: イメージングキットの下のフォトコンダクタードラムに触れないでください。触れると、今後の印刷ジョブの印刷品質に影響する可能性があります。</p> <p>b ドキュメントを印刷します。</p> <p>印刷が薄いですか？</p>	カスタマサポート にお問い合わせください 。	問題は解決しました。

印刷されない色



メモ: 問題を解決する前に、印刷品質テストページを印刷します。操作パネルから、[設定] > [トラブルシューティング] > [印刷品質テストページ]の順に移動します。タッチ画面のないプリンタ機種では、**OK** を押して設定内を移動します。

対応	はい	いいえ
<p>a 印刷されない色のトナーカートリッジを取り外します。</p> <p>b イメージングキットを取り外します。</p> <p>警告—破損の恐れあり: イメージングキットを直射光にさらさないでください。長時間直射日光にさらすと、印刷品質に問題が生じる可能性があります。</p> <p>警告—破損の恐れあり: イメージングキットの下のフォトコンダクタードラムに触れないでください。触れると、今後の印刷ジョブの印刷品質に影響する可能性があります。</p> <p>c 印刷されない色の現像体ユニットを取り外してから、挿入します。</p> <p>d イメージングキットを挿入します。</p> <p>e トナーカートリッジを挿入します。</p> <p>f ドキュメントを印刷します。</p> <p>印刷されない色がありますか？</p>	<p>カスタマサポート にお 問い合わせください。</p>	<p>問題は解決しました。</p>

まだらな印刷やドット



メモ: 問題を解決する前に、印刷品質テストページを印刷します。操作パネルから、[設定] > [トラブルシューティング] > [印刷品質テストページ]の順に移動します。タッチ画面のないプリンタ機種では、**OK** を押して設定内を移動します。

対応	はい	いいえ
<p>手順 1 トナー漏れの汚れがないか、プリンタをチェックします。</p> <p>プリンタにトナー漏れはありませんか？</p>	手順 2 に進みます。	カスタマサポート にお問い合わせください 。
<p>手順 2</p> <p>a 操作パネルから、次のメニューを選択します。 [設定] > [用紙] > [トレイ構成設定] > [用紙サイズ/タイプ]</p> <p>b 用紙サイズと用紙タイプがセットした用紙と一致しているかどうかを確認します。</p> <p>メモ: 用紙の表面が粗くないことを確認します。</p> <p>設定は一致していますか？</p>	手順 4 に進みます。	手順 3 に進みます。
<p>手順 3</p> <p>a オペレーティングシステム(OS)に応じて、[印刷基本設定]または[印刷]ダイアログから用紙サイズと用紙タイプを指定します。</p> <p>メモ: セットした用紙と設定が一致していることを確認します。</p> <p>b ドキュメントを印刷します。</p> <p>印刷がまだらになっていますか？</p>	手順 4 に進みます。	問題は解決しました。
<p>手順 4</p> <p>a 新しいパッケージの用紙をセットします。</p> <p>メモ: 湿度が高いと、用紙が湿気を吸収します。用紙は、使用するときまで元の包装に入れて保管してください。</p> <p>b ドキュメントを印刷します。</p> <p>印刷がまだらになっていますか？</p>	手順 5 に進みます。	問題は解決しました。
<p>手順 5</p> <p>a イメージングキットを取り外してから挿入します。</p> <p>警告—破損の恐れあり: イメージングキットを直射光にさらさないでください。長時間直射日光にさらすと、印刷品質に問題が生じる可能性があります。</p> <p>警告—破損の恐れあり: イメージングキットの下のフォトコンダクタードラムに触れないでください。触れると、今後の印刷ジョブの印刷品質に影響する可能性があります。</p> <p>b ドキュメントを印刷します。</p> <p>印刷がまだらになっていますか？</p>	カスタマサポート にお問い合わせください 。	問題は解決しました。

印刷が歪むまたは傾く



メモ: 問題を解決する前に、印刷品質テストページを印刷します。操作パネルから、**[設定]** > **[トラブルシューティング]** > **[印刷品質テストページ]**の順に移動します。タッチ画面のないプリンタ機種では、**OK** を押して設定内を移動します。

対応	はい	いいえ
手順 1 a トレイの用紙ガイドを、セットされている用紙に合う正しい位置に調整します。 b ドキュメントを印刷します。 印刷が歪んだり傾いたりしていますか？	手順 2 に進みます。	問題は解決しました。
手順 2 a 新しいパッケージの用紙をセットします。 メモ: 湿度が高いと、用紙が湿気を吸収します。用紙は、使用するときまで元の包装に入れて保管してください。 b ドキュメントを印刷します。 印刷が歪んだり傾いたりしていますか？	手順 3 に進みます。	問題は解決しました。
手順 3 a セットした用紙に対応しているかどうかを確認します。 メモ: 用紙に対応していない場合は、対応している用紙をセットします。 b ドキュメントを印刷します。 印刷が歪んだり傾いたりしていますか？	カスタマサポート にお問い合わせください 。	問題は解決しました。

単色または黒のイメージ



メモ: 問題を解決する前に、印刷品質テストページを印刷します。操作パネルから、[設定] > [トラブルシューティング] > [印刷品質テストページ]の順に移動します。タッチ画面のないプリンタ機種では、**OK** を押して設定内を移動します。

対応	はい	いいえ
<p>a イメージングキットを取り外し、再び挿入します。</p> <p>警告—破損の恐れあり: イメージングキットを直射光にさらさないでください。長時間直射日光にさらすと、印刷品質に問題が生じる可能性があります。</p> <p>警告—破損の恐れあり: イメージングキットの下のフォトコンダクタードラムに触れないでください。触れると、今後の印刷ジョブの印刷品質に影響する可能性があります。</p> <p>b ドキュメントを印刷します。</p> <p>プリンタで単色または黒のイメージが印刷されていますか？</p>	<p>カスタマサポート にお問い合わせください。</p>	<p>問題は解決しました。</p>

文字やイメージが切り取られる



メモ: 問題を解決する前に、印刷品質テストページを印刷します。操作パネルから、[設定] > [トラブルシューティング] > [印刷品質テストページ]の順に移動します。タッチ画面のないプリンタ機種では、**OK** を押して設定内を移動します。

対応	はい	いいえ
<p>手順 1</p> <p>a トレイの用紙ガイドを、セットされている用紙に合う正しい位置に調整します。</p> <p>b ドキュメントを印刷します。</p> <p>文字やイメージが切れて印刷されていますか？</p>	<p>手順 2 に進みます。</p>	<p>問題は解決しました。</p>

対応	はい	いいえ
<p>手順 2</p> <p>a オペレーティングシステム (OS) によって、[印刷基本設定] または [印刷] ダイアログから用紙サイズを指定します。</p> <p>メモ:</p> <ul style="list-style-type: none"> • トレイにセットされた用紙と設定が一致していることを確認します。 • プリンタ操作パネルで設定を変更することもできます。次のメニューを選択します。 <p>[設定] > [用紙] > [トレイ構成設定] > [用紙サイズ/タイプ]</p> <p>b ドキュメントを印刷します。</p> <p>文字やイメージが切れて印刷されていますか？</p>	<p>手順 3 に進みます。</p>	<p>問題は解決しました。</p>
<p>手順 3</p> <p>a イメージングキットを取り外してから挿入します。</p> <p>警告—破損の恐れあり: イメージングキットを直射光にさらさないでください。長時間直射日光にさらすと、印刷品質に問題が生じる可能性があります。</p> <p>警告—破損の恐れあり: イメージングキットの下のフォトコンダクタードラムに触れないでください。触れると、今後の印刷ジョブの印刷品質に影響する可能性があります。</p> <p>b ドキュメントを印刷します。</p> <p>文字やイメージが切れて印刷されていますか？</p>	<p>カスタマサポート にお問い合わせください。</p>	<p>問題は解決しました。</p>

トナーがはがれ落ちる



メモ: 問題を解決する前に、印刷品質テストページを印刷します。操作パネルから、[設定] > [トラブルシューティング] > [印刷品質テストページ]の順に移動します。タッチ画面のないプリンタ機種では、**OK** を押して設定内を移動します。

対応	はい	いいえ
<p>手順 1</p> <p>a オペレーティングシステム(OS)に応じて、[印刷基本設定]または[印刷]ダイアログから用紙タイプを指定します。</p> <p>メモ:</p> <ul style="list-style-type: none"> • トレイにセットされた用紙と設定が一致していることを確認します。 • プリンタ操作パネルで設定を変更することもできます。次のメニューを選択します。 <p>[設定] > [用紙] > [トレイ構成設定] > [用紙サイズ/タイプ]</p> <p>b ドキュメントを印刷します。</p> <p>トナーが摩擦で簡単にはがれ落ちますか？</p>	<p>手順 2 に進みます。</p>	<p>問題は解決しました。</p>
<p>手順 2</p> <p>a 用紙の重さがサポートされている重さかどうかを確認します。</p> <p>メモ: 用紙の重さがサポートされていない重さの場合は、サポートされている重さの用紙をセットします。</p> <p>b ドキュメントを印刷します。</p> <p>トナーが摩擦で簡単にはがれ落ちますか？</p>	<p>手順 3 に進みます。</p>	<p>問題は解決しました。</p>
<p>手順 3</p> <p>a 新しいパッケージの用紙をセットします。</p> <p>メモ: 湿度が高いと、用紙が湿気を吸収します。用紙は、使用するときまで元の包装に入れて保管してください。</p> <p>b ドキュメントを印刷します。</p> <p>トナーが摩擦で簡単にはがれ落ちますか？</p>	<p>カスタマサポート にお問い合わせください。</p>	<p>問題は解決しました。</p>

印刷の濃さが均一ではない



メモ: 問題を解決する前に、印刷品質テストページを印刷します。操作パネルから、[設定] > [トラブルシューティング] > [印刷品質テストページ]の順に移動します。タッチ画面のないプリンタ機種では、**OK** を押して設定内を移動します。

対応	はい	いいえ
<p>a イメージングキットを取り外してから挿入します。</p> <p>警告—破損の恐れあり: イメージングキットを直射光にさらさないでください。長時間直射日光にさらすと、印刷品質に問題が生じる可能性があります。</p> <p>警告—破損の恐れあり: イメージングキットの下のフォトコンダクタードラムに触れないでください。触れると、今後の印刷ジョブの印刷品質に影響する可能性があります。</p> <p>b ドキュメントを印刷します。</p> <p>印刷の濃さが均一ではありませんか？</p>	<p>カスタマサポート にお問い合わせください。</p>	<p>問題は解決しました。</p>

横方向の黒い線



メモ:

- 問題を解決する前に、印刷品質テストページを印刷します。操作パネルから、[設定] > [トラブルシューティング] > [印刷品質テストページ]の順に移動します。タッチ画面のないプリンタ機種では、**OK** を押して設定内を移動します。
- 印刷に横方向の黒い線が表示され続ける場合は、「印刷不良が繰り返し発生する」のトピックを参照してください。

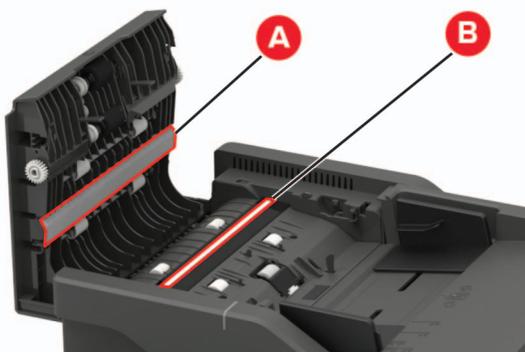
対応	はい	いいえ
<p>手順 1</p> <p>a オペレーティングシステム(OS)に応じて、[印刷基本設定]または[印刷]ダイアログから用紙タイプを指定します。</p> <p>メモ:</p> <ul style="list-style-type: none"> トレイにセットされた用紙と設定が一致していることを確認します。 プリンタ操作パネルで設定を変更することもできます。次のメニューを選択します。 <p>[設定] > [用紙] > [トレイ構成設定] > [用紙サイズ/タイプ]</p> <p>b ドキュメントを印刷します。</p> <p>横方向の黒い線が印刷に表示されますか？</p>	<p>手順 2 に進みます。</p>	<p>問題は解決しました。</p>

対応	はい	いいえ
<p>手順 2</p> <p>a 新しいパッケージの用紙をセットします。</p> <p>メモ: 湿度が高いと、用紙が湿気を吸収します。用紙は使用するまで元の包み紙のまま保管してください。</p> <p>b ドキュメントを印刷します。</p> <p>横方向の黒い線が印刷に表示されますか？</p>	<p>手順 3 に進みます。</p>	<p>問題は解決しました。</p>
<p>手順 3</p> <p>a イメージングキットを取り外してから挿入します。</p> <p>警告—破損の恐れあり: イメージングキットを直射光にさらさないでください。長時間直射日光にさらすと、印刷品質に問題が生じる可能性があります。</p> <p>警告—破損の恐れあり: イメージングキットの下のフォトコンダクタードラムに触れないでください。触れると、今後の印刷ジョブの印刷品質に影響する可能性があります。</p> <p>b ドキュメントを印刷します。</p> <p>横方向の黒い線が印刷に表示されますか？</p>	<p>カスタマサポート にお問い合わせください。</p>	<p>問題は解決しました。</p>

縦方向の黒い線



メモ: 問題を解決する前に、印刷品質テストページを印刷します。操作パネルから、**[設定]** > **[トラブルシューティング]** > **[印刷品質テストページ]**の順に移動します。タッチ画面のないプリンタ機種では、**OK** を押して設定内を移動します。

対応	はい	いいえ
<p>手順 1 白紙を 1 枚用意し、ADF を使用して両面印刷を行います。</p> <p>縦方向の黒い線またはすじが印刷に表示されますか？</p>	手順 2 に進みます。	手順 3 に進みます。
<p>手順 2 下にした領域を、水で湿らせた柔らかい糸くずの出ない布で拭きます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ADF ガラスパッド(A)および ADF ガラス(B)  <ul style="list-style-type: none"> • ADF ガラスパッド(A)およびドア C の ADF ガラス(B)  <p>縦方向の黒い線またはすじが印刷に表示されますか？</p>	手順 3 に進みます。	問題は解決しました。
<p>手順 3</p> <p>a オペレーティングシステム(OS)に応じて、[印刷基本設定]または[印刷]ダイアログから用紙タイプを指定します。</p> <p>メモ:</p> <ul style="list-style-type: none"> • トレイにセットされた用紙と設定が一致していることを確認します。 • プリンタ操作パネルで設定を変更することもできます。次のメニューを選択します。 <p>[設定] > [用紙] > [トレイ設定] > [用紙サイズ/タイプ]</p> <p>b ドキュメントを印刷します。</p> <p>縦方向の黒い線またはすじが印刷に表示されますか？</p>	手順 4 に進みます。	問題は解決しました。

対応	はい	いいえ
<p>手順 4</p> <p>a 新しいパッケージの用紙をセットします。</p> <p>メモ: 高湿度の場合、用紙は水分を吸収します。用紙は使用するまで元の包み紙のまま保管してください。</p> <p>b ドキュメントを印刷します。</p> <p>縦方向の黒い線またはすじが印刷に表示されますか？</p>	<p>手順 5 に進みます。</p>	<p>問題は解決しました。</p>
<p>手順 5</p> <p>a イメージングキットを取り外してから挿入します。</p> <p>警告—破損の恐れあり: イメージングキットを直射光にさらさないでください。長時間の露光は、印刷品質低下の原因になることがあります。</p> <p>警告—破損の恐れあり: イメージングキットの下の感光体ドラムに触れないでください。触れると、今後の印刷ジョブの印刷品質に影響する可能性があります。</p> <p>b ドキュメントを印刷します。</p> <p>縦方向の黒い線またはすじが印刷に表示されますか？</p>	<p>カスタマサポートにお問い合わせください。</p>	<p>問題は解決しました。</p>

横方向の白い線



メモ:

- 問題を解決する前に、印刷品質テストページを印刷します。操作パネルから、[設定] > [トラブルシューティング] > [印刷品質テストページ]の順に移動します。タッチ画面のないプリンタ機種では、**OK** を押して設定内を移動します。
- 印刷に横方向の白い線が表示され続ける場合は、「印刷不良が繰り返し発生する」のトピックを参照してください。

対応	はい	いいえ
<p>手順 1</p> <p>a オペレーティングシステム(OS)に応じて、[印刷基本設定]または[印刷]ダイアログから用紙タイプを指定します。</p> <p>メモ:</p> <ul style="list-style-type: none"> • トレイにセットされた用紙と設定が一致していることを確認します。 • プリンタ操作パネルで設定を変更することもできます。次のメニューを選択します。 <p>[設定] > [用紙] > [トレイ構成設定] > [用紙サイズ/タイプ]</p> <p>b ドキュメントを印刷します。</p> <p>横方向の白い線が印刷に表示されますか？</p>	<p>手順 2 に進みます。</p>	<p>問題は解決しました。</p>
<p>手順 2</p> <p>a イメージングキットを取り外してから挿入します。</p> <p>警告—破損の恐れあり: イメージングキットを直射光にさらさないでください。長時間の露光は、印刷品質低下の原因になることがあります。</p> <p>警告—破損の恐れあり: イメージングキットの下のフォトコンダクタードラムに触れないでください。触れると、今後の印刷ジョブの印刷品質に影響する可能性があります。</p> <p>b ドキュメントを印刷します。</p> <p>横方向の白い線が印刷に表示されますか？</p>	<p>カスタマサポート にお問い合わせください。</p>	<p>問題は解決しました。</p>

縦方向の白い線



メモ: 問題を解決する前に、印刷品質テストページを印刷します。操作パネルから、[設定] > [トラブルシューティング] > [印刷品質テストページ]の順に移動します。タッチ画面のないプリンタ機種では、**OK** を押して設定内を移動します。

対応	はい	いいえ
<p>手順 1</p> <p>a オペレーティングシステム(OS)に応じて、[印刷基本設定]または[印刷]ダイアログから用紙タイプを指定します。</p> <p>メモ:</p> <ul style="list-style-type: none"> • トレイにセットされた用紙と設定が一致していることを確認します。 • プリンタ操作パネルで設定を変更することもできます。次のメニューを選択します。 <p>[設定] > [用紙] > [トレイ構成設定] > [用紙サイズ/タイプ]</p> <p>b ドキュメントを印刷します。</p> <p>印刷に縦方向の白い線が表示されますか？</p>	<p>手順 2 に進みます。</p>	<p>問題は解決しました。</p>
<p>手順 2</p> <p>推奨されるタイプの用紙を使用しているか確認します。</p> <p>a 推奨されるタイプの用紙をセットします。</p> <p>b ドキュメントを印刷します。</p> <p>印刷に縦方向の白い線が表示されますか？</p>	<p>手順 3 に進みます。</p>	<p>問題は解決しました。</p>
<p>手順 3</p> <p>a イメージングキットを取り外してから挿入します。</p> <p>警告—破損の恐れあり: イメージングキットを直射光にさらさないでください。長時間直射日光にさらすと、印刷品質に問題が生じる可能性があります。</p> <p>警告—破損の恐れあり: イメージングキットの下のフォトコンダクタードラムに触れないでください。触れると、今後の印刷ジョブの印刷品質に影響する可能性があります。</p> <p>b ドキュメントを印刷します。</p> <p>印刷に縦方向の白い線が表示されますか？</p>	<p>カスタマサポート にお問い合わせください。</p>	<p>問題は解決しました。</p>

印刷不良が繰り返し発生する



メモ: 問題を解決する前に、印刷品質テストページを印刷します。操作パネルから、[設定] > [トラブルシューティング] > [印刷品質テストページ]の順に移動します。タッチ画面のないプリンタ機種では、 を押して設定内を移動します。

対応	はい	いいえ
<p>a [印刷品質テストページ]を使って、影響を受けるカラーページに繰り返し発生する印刷不良の間隔を測定します。</p> <p>b 繰り返し発生する印刷不良が、次の測定値のいずれかと一致しているかどうかを確認します。</p> <p>イメージングキット</p> <ul style="list-style-type: none"> • 94.20 mm (3.71 インチ) • 29.80 mm (1.17 インチ) • 23.20 mm (0.91 インチ) <p>現像体ユニット</p> <ul style="list-style-type: none"> • 43.90 mm (1.73 インチ) • 45.50 mm (1.79 インチ) <p>転写モジュール</p> <ul style="list-style-type: none"> • 37.70 mm (1.48 インチ) • 78.50 mm (3.09 インチ) • 55 mm (2.17 インチ) <p>フューザー</p> <ul style="list-style-type: none"> • 79.80 mm (3.14 インチ) • 94.30 mm (3.71 インチ) <p>繰り返し発生する印刷不良は、次の測定値のいずれかと一致していますか？</p>	<p>間隔を記録して、カスタマサポートにお問い合わせください。</p>	<p>間隔を記録して、カスタマサポートにお問い合わせください。</p>

印刷ジョブが印刷されない

対応	はい	いいえ
<p>手順 1</p> <p>a 印刷する原稿で[印刷]ダイアログボックスを開き、正しいプリンタが選択されているかどうかを確認します。</p> <p>b ドキュメントを印刷します。</p> <p>原稿は印刷されましたか？</p>	<p>問題は解決しました。</p>	<p>手順 2 に進みます。</p>
<p>手順 2</p> <p>a プリンタの電源が入っているかどうかを確認します。</p> <p>b ディスプレイに表示されるエラーメッセージを解決します。</p> <p>c ドキュメントを印刷します。</p> <p>原稿は印刷されましたか？</p>	<p>問題は解決しました。</p>	<p>手順 3 に進みます。</p>

対応	はい	いいえ
手順 3 a ポートが動作し、ケーブルがコンピュータとプリンタにしっかりと接続されていることを確認します。 詳細については、プリンタに同梱されているセットアップマニュアルを参照してください。 b ドキュメントを印刷します。 原稿は印刷されましたか？	問題は解決しました。	手順 4 に進みます。
手順 4 a プリンタの電源を切って約 10 秒間待ってから、再び電源を入れます。 b ドキュメントを印刷します。 原稿は印刷されましたか？	問題は解決しました。	手順 5 に進みます。
手順 5 a 印刷ドライバを削除してから、再インストールします。 b ドキュメントを印刷します。 原稿は印刷されましたか？	問題は解決しました。	カスタマサポート に問い合わせてください。

印刷が遅い

対応	はい	いいえ
手順 1 プリンタケーブルがプリンタおよびコンピュータ、プリントサーバー、オプション、またはその他のネットワークデバイスにしっかりと接続されていることを確認します。 印刷に時間がかかりますか。	手順 2 に進みます。	問題は解決しました。
手順 2 a プリンタが静音モードになっていないことを確認します。 <ul style="list-style-type: none"> 操作パネルから、次のメニューを選択します。 [設定] > [デバイス] > [メンテナンス] > [構成設定メニュー] > [デバイスの操作] > [静音モード] タッチ画面のないプリンタ機種では、  を押して設定内を移動します。 b ドキュメントを印刷します。 印刷に時間がかかりますか。	手順 3 に進みます。	問題は解決しました。
手順 3 a オペレーティングシステム(OS)に応じて、[印刷基本設定]または[印刷]ダイアログから印刷解像度を指定します。 b 解像度を 4800 CQ に設定します。 c ドキュメントを印刷します。 印刷に時間がかかりますか。	手順 4 に進みます。	問題は解決しました。

対応	はい	いいえ
<p>手順 4</p> <p>a オペレーティングシステム(OS)に応じて、[印刷基本設定]または[印刷]ダイアログから用紙タイプを指定します。</p> <p>メモ:</p> <ul style="list-style-type: none"> • トレイにセットされた用紙と設定が一致していることを確認します。 • プリンタ操作パネルで設定を変更することもできます。[設定] > [用紙] > [トレイ構成設定] > [用紙サイズ/タイプ]の順に移動します。タッチ画面のないプリンタ機種では、OK を押して設定内を移動します。 • 重い用紙は、印刷に時間がかかります。 • レター、A4、リーガルよりも幅の狭い用紙は、印刷に時間がかかることがあります。 <p>b ドキュメントを印刷します。</p> <p>印刷に時間がかかりますか。</p>	<p>手順 5 に進みます。</p>	<p>問題は解決しました。</p>
<p>手順 5</p> <p>a [表面の粗さ]と[重さ]のプリンタ設定がセットされている用紙と一致していることを確認します。</p> <p>操作パネルから、次のメニューを選択します。</p> <p>[設定] > [用紙] > [用紙構成] > [用紙の種類]</p> <p>タッチ画面のないプリンタ機種では、OK を押して設定内を移動します。</p> <p>メモ: 粗い用紙および重い用紙は、印刷に時間がかかることがあります。</p> <p>b ドキュメントを印刷します。</p> <p>印刷に時間がかかりますか。</p>	<p>手順 6 に進みます。</p>	<p>問題は解決しました。</p>
<p>手順 6</p> <p>保留ジョブを削除します。</p> <p>印刷に時間がかかりますか。</p>	<p>手順 7 に進みます。</p>	<p>問題は解決しました。</p>
<p>手順 7</p> <p>a プリンタが過熱していないことを確認します。</p> <p>メモ:</p> <ul style="list-style-type: none"> • 長い印刷ジョブの後には、プリンタを十分に冷まします。 • プリンタの推奨周囲温度を守ってください。詳細については、「プリンタの設置場所を選択する」、12 ページを参照してください。 <p>b ドキュメントを印刷します。</p> <p>印刷に時間がかかりますか。</p>	<p>カスタマサポートに お問い合わせください。</p>	<p>問題は解決しました。</p>

ジョブが誤ったトレイまたは用紙で印刷される

対応	はい	いいえ
<p>手順 1</p> <p>a 正しい用紙で印刷しているかどうかを確認します。</p> <p>b ドキュメントを印刷します。</p> <p>ドキュメントは正しい用紙で印刷されていますか？</p>	<p>手順 2 に進みます。</p>	<p>正しいサイズとタイプの用紙をセットします。</p>
<p>手順 2</p> <p>a オペレーティングシステム(OS)に応じて、[印刷基本設定]または[印刷]ダイアログから用紙サイズと用紙タイプを指定します。</p> <p>メモ: プリンタ操作パネルで設定した設定を変更することもできます。次のメニューを選択します。</p> <p>[設定] > [用紙] > [トレイ設定] > [用紙サイズ/タイプ]</p> <p>タッチ画面のないプリンタ機種では、 を押して設定内を移動します。</p> <p>b セットした用紙と設定が一致していることを確認します。</p> <p>c ドキュメントを印刷します。</p> <p>ドキュメントは正しい用紙で印刷されていますか？</p>	<p>問題は解決しました。</p>	<p>手順 3 に進みます。</p>
<p>手順 3</p> <p>a トレイがリンクされていることを確認します。</p> <p>詳細については、「トレイのリンク」、37 ページ を参照してください。</p> <p>b ドキュメントを印刷します。</p> <p>ドキュメントは正しいトレイから印刷されましたか？</p>	<p>問題は解決しました。</p>	<p>カスタマサポートに問い合わせてください。</p>

コンフィデンシャル原稿およびその他の保持された原稿が印刷されない

対応	はい	いいえ
<p>手順 1</p> <p>a 操作パネルから、待ちのジョブのリストに原稿が表示されるかを確認します。</p> <p>メモ: 原稿が一覧表示されない場合、[印刷して保持]オプションを使用して原稿を印刷します。</p> <p>b 原稿を印刷します。</p> <p>原稿は印刷されましたか？</p>	<p>問題は解決しました。</p>	<p>手順 2 に進みます。</p>
<p>手順 2</p> <p>印刷ジョブに、フォーマットエラーまたは無効なデータが含まれている可能性があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 印刷ジョブを削除し、もう一度送信します。 PDF ファイルの場合、新しいファイルを生成してから、原稿を印刷します。 <p>原稿は印刷されましたか？</p>	<p>問題は解決しました。</p>	<p>手順 3 に進みます。</p>

対応	はい	いいえ
<p>手順 3 インターネットから印刷する場合、プリンタは重複している複数のジョブタイトルを読み取る可能性があります。</p> <p>Windows の場合</p> <p>a [印刷設定]ダイアログを開きます。 b [印刷と保持]セクションで、[重複ドキュメントを維持]を選択します。 c PIN を入力します。 d 印刷ジョブを再送信します。</p> <p>Macintosh の場合</p> <p>a ジョブは保存され、ジョブごとに違う名前が付けられます。 b ジョブを個別に送信します。</p> <p>原稿は印刷されましたか？</p>	問題は解決しました。	手順 4 に進みます。
<p>手順 4 a 一部の保持ジョブを削除して、プリンタメモリの空き容量を増やします。 b 印刷ジョブを再送信します。</p> <p>原稿は印刷されましたか？</p>	問題は解決しました。	手順 5 に進みます。
<p>手順 5 a プリンタメモリを増設します。 b 印刷ジョブを再送信します。</p> <p>原稿は印刷されましたか？</p>	問題は解決しました。	カスタマサポート にお問い合わせください 。

プリンタが応答していない

対応	はい	いいえ
<p>手順 1 電源コードが電源コンセントに接続されていることを確認します。</p> <p> 注意—傷害の恐れあり: 火災や感電の危険を避けるため、製品の設置場所の近くでアクセスしやすく、正しく接地され定格を守ったコンセントに、電源コードを接続します。</p> <p>プリンタは応答していますか？</p>	問題は解決しました。	手順 2 に進みます。
<p>手順 2 コンセントがスイッチやブレーカーなどでオフになっていないことを確認します。</p> <p>コンセントがスイッチやブレーカーなどでオフになっていますか？</p>	スイッチをオンにするか、ブレーカーをリセットします。	手順 3 に進みます。
<p>手順 3 プリンタの電源が入っているかどうかを確認します。</p> <p>プリンタの電源はオンになっていますか？</p>	手順 4 に進みます。	プリンタの電源を入れます。

対応	はい	いいえ
<p>手順 4 プリンタがスリープモードまたは休止モードになっていないか確認します。</p> <p>プリンタがスリープモードまたは休止モードになっていませんか？</p>	電源ボタンを押してプリンタを復帰させます。	手順 5 に進みます。
<p>手順 5 プリンタとコンピュータをつなぐケーブルが正しいポートに接続されているかどうかを確認します。</p> <p>ケーブルは正しいポートに差し込まれていますか？</p>	手順 6 に進みます。	ケーブルを正しいポートに差し込みます。
<p>手順 6 プリンタの電源を切ってハードウェアオプションを取り付けてから、プリンタの電源を入れます。</p> <p>詳細については、オプションに同梱されているマニュアルを参照してください。</p> <p>プリンタは応答していますか？</p>	問題は解決しました。	手順 7 に進みます。
<p>手順 7 正しいプリントドライバをインストールします。</p> <p>プリンタは応答していますか？</p>	問題は解決しました。	手順 8 に進みます。
<p>手順 8 プリンタの電源を切って約 10 秒間待ってから、再び電源を入れます。</p> <p>プリンタは応答していますか？</p>	問題は解決しました。	カスタマサポート にお問い合わせください 。

フラッシュメモリを読み取れない

対応	はい	いいえ
<p>手順 1 プリンタが他の印刷、コピー、スキャン、FAX ジョブを処理中でないか確認します。</p> <p>プリンタは準備完了状態ですか？</p>	手順 2 に進みます。	プリンタ他のジョブの処理を終了するまで待ちます。
<p>手順 2 フラッシュドライブのサポートを確認します。詳細については、「サポートされているフラッシュメモリとファイルタイプ」、45 ページを参照してください。</p> <p>フラッシュメモリが対応していますか？</p>	手順 3 に進みます。	対応しているフラッシュメモリを挿入します。
<p>手順 3 フラッシュドライブを取り外してから、挿入します。</p> <p>プリンタはフラッシュメモリを認識していますか？</p>	問題は解決しました。	テクニカルサポート カスタマサポート 。

USB ポートの有効化

操作パネルから、次のメニューを選択します。

[設定] > [ネットワーク/ポート] > [USB] > [USB ポートを有効化]

タッチ画面のないプリンタ機種では、 を押して設定内を移動します。

ネットワーク接続の問題

EWS を開けない

対応	はい	いいえ
手順 1 プリンタの電源が入っているかどうかを確認します。 プリンタの電源はオンになっていますか？	手順 2 に進みます。	プリンタの電源を入れます。
手順 2 プリンタの IP アドレスが正しいかどうかを確認してください。 プリンタの IP アドレスを以下の部分で確認します。 <ul style="list-style-type: none"> ホーム画面 [ネットワーク/ポート]メニューの[TCP/IP]セクション ネットワーク設定ページまたはメニュー設定ページを印刷し、[TCP/IP]セクションを確認 メモ: IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。 プリンタの IP アドレスは正しいですか？	手順 3 に進みます。	アドレスフィールドにプリンタの正しい IP アドレスを入力します。
手順 3 サポート対象のブラウザを使用しているかどうか確認します。 <ul style="list-style-type: none"> Internet Explorer® バージョン 11 以降 Microsoft Edge™ Safari バージョン 6 以降 Google Chrome™ バージョン 32 以降 Mozilla Firefox バージョン 24 以降 ブラウザはサポート対象ですか？	手順 4 に進みます。	サポート対象のブラウザをインストールします。
手順 4 ネットワーク接続が動作しているかどうかを確認します。 ネットワーク接続は動作していますか？	手順 5 に進みます。	管理者に問い合わせてください。

対応	はい	いいえ
手順 5 プリンタおよびプリントサーバーへのケーブルの接続をチェックし、しっかり固定されているか確認します。詳細については、プリンタに同梱されているマニュアルを参照してください。 ケーブルはしっかりと接続されていますか？	手順 6 に進みます。	ケーブルをしっかりと接続します。
手順 6 Web プロキシサーバーが無効か確認します。 Web プロキシサーバーは無効ですか？	手順 7 に進みます。	管理者に問い合わせてください。
手順 7 EWS にアクセスします。 EWS を開きましたか？	問題は解決しました。	カスタマサポート にお問い合わせください 。

プリンタを Wi-Fi ネットワークに接続できません

アクション	はい	いいえ
手順 1 アクティブアダプタが自動的に設定されていることを確認します。 操作パネルから、次のメニューを選択します。 [設定] > [ネットワーク/ポート] > [ネットワークの概要] > [アクティブアダプタ] > [自動] タッチ画面のないプリンタ機種では、  を押して設定内を移動します。 プリンタを Wi-Fi ネットワークに接続できますか？	問題は解決しました。	手順 2 に進みます。
手順 2 正しい Wi-Fi ネットワークが選択されていることを確認します。 メモ: 一部のルーターは初期設定の SSID を共有する場合があります。 正しい Wi-Fi ネットワークに接続していますか？	手順 4 に進みます。	手順 3 に進みます。
手順 3 正しい Wi-Fi ネットワークに接続します。詳細情報(⇒ 「プリンタを Wi-Fi ネットワークに接続する」 、164 ページ)。 プリンタを Wi-Fi ネットワークに接続できますか？	問題は解決しました。	手順 4 に進みます。
手順 4 ワイヤレスセキュリティモードを選択します。 操作パネルから、次のメニューを選択します。 [設定] > [ネットワーク/ポート] > [ワイヤレス] > [ワイヤレスセキュリティモード] タッチ画面のないプリンタ機種では、  を押して設定内を移動します。 正しいワイヤレスセキュリティモードが選択されていますか？	手順 6 に進みます。	手順 5 に進みます。

アクション	はい	いいえ
手順 5 正しいワイヤレスセキュリティモードを選択します。 プリンタを Wi-Fi ネットワークに接続できますか？	問題は解決しました。	手順 6 に進みます。
手順 6 ネットワークパスワードを正しく入力したことを確認します。 メモ: パスワード内のスペース、数字、大文字小文字の区別に注意してください。 プリンタを Wi-Fi ネットワークに接続できますか？	問題は解決しました。	次に問い合わせます： カスタマサポート 。

プリンタの接続を確認する

1 ネット設定ページを印刷します。

操作パネルから、次のメニューを選択します。

[設定] > [レポート] > [ネットワーク] > [ネット設定ページ]

タッチ画面のないプリンタ機種では、 を押して設定内を移動します。

2 ページの最初のセクションを確認し、状態が[接続]であることを確認します。

状態が[未接続]の場合、LAN 破棄が有効ではないか、ネットワークケーブルが外れているか、正常に動作していない可能性があります。サポートが必要な場合は、管理者に問い合わせてください。

ハードウェアオプションの問題

内蔵オプションが検出されない

対応	はい	いいえ
手順 1 プリンタの電源を切って約 10 秒間待ってから、再び電源を入れます。 内蔵オプションは正しく動作しますか？	問題は解決しました。	手順 2 に進みます。
手順 2 メニュー設定ページを印刷し、[インストール済みの機能]リストに内蔵オプションがあるかどうかを確認します。 内蔵オプションはメニュー設定ページに記載されていますか？	手順 4 に進みます。	手順 3 に進みます。

対応	はい	いいえ
<p>手順 3 内蔵オプションがコントローラボードに正しく取り付けられていることを確認します。</p> <p>a プリンタの電源を切り、電源コードをコンセントから抜きます。</p> <p>b 内蔵オプションがコントローラボードの適切なコネクタに取り付けられていることを確認します。</p> <p>c 電源コードをコンセントに接続し、プリンタの電源をオンにします。</p> <p> 注意—傷害の恐れあり: 火災や感電の危険を避けるため、製品の設置場所の近くの、正しく接地され定格を守ったコンセントに、電源コードを接続します。</p> <p>内蔵オプションは正しく動作しますか？</p>	問題は解決しました。	手順 4 に進みます。
<p>手順 4</p> <p>a 内蔵オプションがプリンタドライバで使用可能かどうか確認します。</p> <p>メモ: 必要に応じて、プリンタドライバで内蔵オプションを手動で追加し、印刷ジョブで使用できるようにします。詳細については、「プリントドライバの使用可能なオプションを追加する」、266 ページ を参照してください。</p> <p>b 印刷ジョブを再送信します。</p> <p>内蔵オプションは正しく動作しますか？</p>	問題は解決しました。	カスタマサポート にお問い合わせください。

フラッシュメモリ不良が検出された

次の手順を 1 つ以上実行します。

- 不良のフラッシュメモリを交換します。
- プリンタ操作パネルで[続行]を選択してメッセージを無視し、印刷を続行します。
- 実行中の印刷ジョブを中止します。

リソース用のフラッシュメモリ空領域が不十分

次の手順を 1 つ以上実行します。

- プリンタ操作パネルで[続行]を選択してメッセージを消去し、印刷を続行します。
- フラッシュメモリに保存されているフォント、マクロ、その他のデータを削除します。
- 容量が大きいフラッシュメモリを取り付けます。

メモ: フラッシュメモリに保存されていないダウンロード済みのフォントおよびマクロは削除されます。

未フォーマットフラッシュメモリが検出された

次の手順を 1 つ以上実行します。

- 操作パネルの[続行]を選択して、デフラグを停止し、印刷を続行します。
- フラッシュメモリをフォーマットします。

メモ: エラーメッセージがまだ表示される場合は、フラッシュメモリが不良の可能性があるため交換する必要があります。

消耗品の問題

カートリッジを交換、プリンタの地域設定が不一致

この問題を解決するには、プリンタの地域に一致する正しい地域でカートリッジを購入するか、世界標準のカートリッジを購入します。

- 42 の後ろに続くメッセージの最初の番号は、プリンタの地域を示します。
- 42 の後ろに続くメッセージの 2 番目の番号は、カートリッジの地域を示します。

プリンタおよびトナーカートリッジの地域

地域	数値コード
世界標準または未定義の地域	0
北米(米国、カナダ)	1
欧州経済領域、西ヨーロッパ、北欧諸国、スイス	2
アジア太平洋	3
中南米	4
その他の欧州諸国、中東、アフリカ	5
オーストラリア、ニュージーランド	6
無効な地域	9

メモ: プリンタとトナーカートリッジの地域設定を検索するには、印刷品質テストページを印刷します。操作パネルから、次のメニューを選択します。[設定] > [トラブルシューティング] > [印刷品質テストページ]

Lexmark 以外の消耗品

プリンタに他社製の消耗品または部品が取り付けられています。

お使いの Lexmark プリンタは、Lexmark の純正の消耗品および部品を使用して最適に動作するように設計されています。サードパーティ製の消耗品や部品を使用すると、パフォーマンス、信頼性、プリンタの寿命およびイメージングコンポーネントに影響する場合があります。

すべての寿命インジケータは、純正の消耗品および部品を使用して機能するように設計されており、サードパーティ製の消耗品や部品を使用すると、予期せぬ結果になることがあります。想定された寿命を超えてイメージングコンポーネントを使用すると、Lexmark プリンタや関連するコンポーネントが損傷する可能性があります。

警告—破損の恐れあり: サードパーティ製の消耗品や部品の使用は、保証の対象に影響します。サードパーティ製の消耗品や部品の使用による損傷は、保証の対象外となる可能性があります。

これらのリスクをすべて許容し、純正でない消耗品や部品の使用をプリンタで続行するには、操作パネルで X と # を同時に 15 秒間押し続けます。

これらのリスクを許容しない場合は、サードパーティ製の消耗品や部品をプリンタから取り外し、Lexmark の純正の消耗品や部品を取り付けます。詳細については、[「Lexmark の純正部品と純正消耗品を使用する」](#)、172 ページを参照してください。

X と # を 15 秒間同時に押し続けても印刷されない場合、消耗品使用量カウンタをリセットします。

- 1 操作パネルから、次のメニューを選択します。
[設定] > [デバイス] > [メンテナンス] > [構成メニュー] > [消耗品使用量とカウンタ]
- 2 リセットする部品または消耗品を選択して、[スタート]を選択します。
- 3 警告メッセージを確認して[続行]を選択します。
- 4 X と # を同時に 15 秒間押し続けて、メッセージをクリアします。

メモ: 消耗品使用量カウンタをリセットできない場合は、購入した場所に消耗品を返品します。

スキャナのメンテナンスが必要、ADF キットを使用

プリンタはメンテナンスの予定があります。詳細については、<http://support.lexmark.com> を参照するか、サービス担当者に連絡してメッセージを報告してください。

給紙の問題

印刷時に封筒の封が閉じられる

アクション	はい	いいえ
<p>手順 1</p> <p>a 乾燥した場所に保管されている封筒を使用してください。 メモ: 含水率の高い封筒に印刷すると、封の部分が閉じられる可能性があります。</p> <p>b 印刷ジョブを送信します。</p> <p>印刷時に封筒の封が閉じられますか？</p>	手順 2 に進みます。	問題は解決しました。
<p>手順 2</p> <p>a 用紙タイプが[封筒]に設定されていることを確認します。 操作パネルから、次のメニューを選択します。 [設定] > [用紙] > [トレイ構成設定] > [用紙サイズ/タイプ]</p> <p>タッチ画面のないプリンタ機種では、 を押して設定内を移動します。</p> <p>b 印刷ジョブを送信します。</p> <p>印刷時に封筒の封が閉じられますか？</p>	カスタマサポートに お問い合わせください 。	問題は解決しました。

部単位印刷が動作しない

アクション	はい	いいえ
<p>手順 1</p> <p>a 操作パネルから、次のメニューを選択します。 [設定] > [印刷] > [レイアウト] > [部単位]</p> <p>タッチ画面のないプリンタ機種では、OK を押して設定内を移動します。</p> <p>b [オン「1,2,1,2,1,2」]を選択します。</p> <p>c ドキュメントを印刷します。</p> <p>ドキュメントは正しく部単位になっていますか？</p>	問題は解決しました。	手順 2 に進みます。
<p>手順 2</p> <p>a 印刷するドキュメントで、[印刷]ダイアログボックスを開いて[部単位]を選択します。</p> <p>b ドキュメントを印刷します。</p> <p>ドキュメントは正しく部単位になっていますか？</p>	問題は解決しました。	手順 3 に進みます。
<p>手順 3</p> <p>a 印刷するページ数を減らします。</p> <p>b ドキュメントを印刷します。</p> <p>ページは正しく部単位になっていますか？</p>	問題は解決しました。	カスタマサポートに お問い合わせください 。

用紙のカール



対応	はい	いいえ
<p>手順 1</p> <p>a トレイのガイドを、セットされている用紙のサイズに合う正しい位置に調整します。</p> <p>b ドキュメントを印刷します。</p> <p>用紙がカールしていますか？</p>	手順 2 に進みます。	問題は解決しました。

対応	はい	いいえ
<p>手順 2</p> <p>a オペレーティングシステム(OS)に応じて、[印刷基本設定]または[印刷]ダイアログから用紙タイプを指定します。</p> <p>メモ:</p> <ul style="list-style-type: none"> • トレイにセットされた用紙と設定が一致していることを確認します。 • プリンタ操作パネルで設定を変更することもできます。次のメニューを選択します。 <p>[設定] > [用紙] > [トレイ構成設定] > [用紙サイズ/タイプ]</p> <p>b ドキュメントを印刷します。</p> <p>用紙がカールしていますか？</p>	手順 3 に進みます。	問題は解決しました。
<p>手順 3</p> <p>用紙の反対の面に印刷します。</p> <p>a 用紙を取り出して裏返し、セットし直します。</p> <p>b ドキュメントを印刷します。</p> <p>用紙がカールしていますか？</p>	手順 4 に進みます。	問題は解決しました。
<p>手順 4</p> <p>a 新しいパッケージの用紙をセットします。</p> <p>メモ: 湿度が高いと、用紙が湿気を吸収します。用紙は、使用するときまで元の包装に入れて保管してください。</p> <p>b ドキュメントを印刷します。</p> <p>用紙がカールしていますか？</p>	カスタマサポート にお問い合わせください 。	問題は解決しました。

トレイのリンクが動作しない

対応	はい	いいえ
<p>手順 1</p> <p>a トレイに同じサイズおよびタイプの用紙がセットされているか確認します。</p> <p>b 用紙ガイドの位置が正しいか確認します。</p> <p>c ドキュメントを印刷します。</p> <p>トレイは正しくリンクしますか？</p>	問題は解決しました。	手順 2 に進みます。
<p>手順 2</p> <p>a 操作パネルから、次のメニューを選択します。</p> <p>[設定] > [用紙] > [トレイ設定] > [用紙サイズ/タイプ]</p> <p>タッチ画面のないプリンタ機種では、 を押して設定内を移動します。</p> <p>b 接続されているトレイにセットされた用紙に合った用紙サイズと用紙のタイプを設定します。</p> <p>c ドキュメントを印刷します。</p> <p>トレイは正しくリンクしますか？</p>	問題は解決しました。	手順 3 に進みます。

対応	はい	いいえ
手順 3 a トレイのリンクが[自動]に設定されていることを確認します。詳細については、「 トレイのリンク 」、 37 ページ を参照してください。 b ドキュメントを印刷します。 トレイは正しくリンクしますか？	問題は解決しました。	カスタマサポート にお問い合わせください 。

紙詰まりが頻繁に発生する

対応	はい	いいえ
手順 1 a トレイを取り外します。 b 用紙が正しくセットされていることを確認します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> 用紙ガイドが正しい位置にあることを確認します。 重ねた用紙の高さが、指定されている高さの上限を超えないようにします。 推奨用紙サイズとタイプで印刷していることを確認します。 c トレイを挿入します。 d ドキュメントを印刷します。 紙詰まりが頻繁に発生しますか？	手順 2 に進みます。	問題は解決しました。
手順 2 a 操作パネルから、次のメニューを選択します。 [設定] > [用紙] > [トレイ設定] > [用紙サイズ/タイプ] タッチ画面のないプリンタ機種では、  を押して設定内を移動します。 b 用紙サイズとタイプを正しく設定します。 c ドキュメントを印刷します。 紙詰まりが頻繁に発生しますか？	手順 3 に進みます。	問題は解決しました。
手順 3 a 新しいパッケージの用紙をセットします。 メモ: 高湿度の場合、用紙は水分を吸収します。用紙は、使用するときまで元の包装に入れて保管してください。 b ドキュメントを印刷します。 紙詰まりが頻繁に発生しますか？	カスタマサポート にお問い合わせください。	問題は解決しました。

紙詰まりが発生したページが再印刷されない

アクション	はい	いいえ
<p>a 操作パネルから、次のメニューを選択します。 [設定] > [デバイス] > [通知] > [紙詰まりしたページの再印刷]</p> <p>タッチ画面のないプリンタ機種では、OK を押して設定内を移動します。</p> <p>b [紙詰まりしたページの再印刷]メニューで[オン]または[自動]を選択します。</p> <p>c ドキュメントを印刷します。</p> <p>紙詰まりが発生したページは再印刷されましたか？</p>	問題は解決しました。	カスタマサポートに お問い合わせください 。

色品質の問題

トナー濃度を調整する

- 1 操作パネルから、次のメニューを選択します。

[設定] > [印刷] > [品質] > [トナー濃度]

タッチ画面のないプリンタ機種では、**OK** を押して設定内を移動します。

- 2 設定を調整します。
- 3 変更を適用します。

印刷出力でカラーを変更する

タッチ画面のないプリンタ機種では、**OK** を押して設定内を移動します。

- 1 操作パネルから、次のメニューを選択します。
[設定] > [印刷] > [品質] > [イメージ詳細設定] > [カラー補正]
- 2 [カラー補正]メニューから、**[手動] > [カラー補正の内容]**を選択します。
- 3 適切なカラー変換設定を選択します。

オブジェクトタイプ	カラー変換表
RGB イメージ	<ul style="list-style-type: none"> • ビビッドより明るい彩度の色を生成し、受信するすべてのカラー形式に適用できます。 • sRGB 表示-コンピュータモニタでの表示に合った色を生成します。写真印刷の黒のトナーの使用が最適化されます。 • ディスプレイ-ウルトラブラック-コンピュータモニタでの表示に合った色を生成します。この設定では、中間色のグレーにはすべての階調でブラクトナーのみが使用されます。 • sRGB ビビッド-sRGB 表示カラー補正の高い彩度の色を生成します。ビジネスグラフィックスの印刷の場合に、黒トナーの使用が最適化されます。 • オフ
RGB 文字	
RGB グラフィックス	

オブジェクトタイプ	カラー変換表
CMYK イメージ	• 米国 CMYK-SWOP (米国のオフセット印刷標準規格) カラー出力の近似値に補正します。
CMYK 文字	• ユーロ CMYK-EuroScale カラー出力の近似値に補正します。
CMYK グラフィック	• ビビッド CMYK-米国 CMYK より彩度の高いカラー補正設定が適用されます。 • オフ

カラー印刷についてよくある質問

RGB カラーとは？

RGB カラーは、ある色を作るのに使用する赤、緑、青色の割合を示すことによって色を表現する方法です。赤、緑、青の光は、さまざまな割合で重ねると自然界で見られる幅広い色を作ることができます。コンピュータ画面、スキャナ、デジタルカメラは、この方法を使用してカラーを表示します。

CMYK カラーとは？

CMYK カラーは、特定の色を再現するのに使用するシアン、マゼンタ、イエロー、ブラックの割合を示すことによって色を表現する方法です。シアン、マゼンタ、イエロー、ブラックのインクまたはトナーは、さまざまな割合で印刷すると自然界で見られる幅広い色を作ることができます。印刷機、インクジェットプリンタ、カラーレーザープリンタの色はこのように作ります。

印刷されるドキュメントの色はどのように指定されるのですか？

RGB または CMYK カラーの組み合わせを使用してドキュメントの色を指定および変更するには、ソフトウェアプログラムが使用されます。詳細については、ソフトウェアプログラムのヘルプの項を参照してください。

プリンタは印刷する色をどのように認識するのですか？

ドキュメントを印刷するとき、各オブジェクトのタイプとカラーを示す情報がプリンタに送信され、カラー変換テーブルを通じて渡されます。カラーは、希望する色を作るのに使用するシアン、マゼンタ、イエロー、ブラックのトナー量に換算されます。適用するカラー変換テーブルはオブジェクト情報によって決まります。例えば、文字には 1 種類のカラー変換テーブルを適用し、写真イメージには別のカラー変換テーブルを適用することができます。

手動カラー補正とは？

手動カラー補正が有効である場合、ユーザーが選択したカラー変換テーブルを使用し、オブジェクトを処理します。手動カラー補正の設定は、印刷するオブジェクトのタイプ (文字、グラフィックス、イメージ) によって異なります。また、ソフトウェアプログラムでオブジェクトのカラーを指定する方法 (RGB または CMYK の組み合わせ) によっても異なります。異なるカラー変換テーブルを手動で適用する方法については、[「印刷出力でカラーを変更する」](#)、[240 ページ](#)を参照してください。

ソフトウェアプログラムが RGB または CMYK の組み合わせでカラーを指定しない場合、手動カラー補正は役立ちません。また、ソフトウェアプログラムやコンピュータのオペレーティングシステム (OS) がカラー調整を制御している場合も、設定が無効になります。ほとんどの場合、カラー補正を [自動] に設定すると、ドキュメントに対して適切なカラーが選択されます。

特殊な色 (企業のロゴなど) はどのように合わせますか？

プリンタの [品質] メニューには、9 種類の [カラーサンプル] 値があります。これらの設定は EWS のカラーサンプルページにあります。カラーサンプルのいずれかを選択すると、数百のカラーボックスが複数ページに印刷されます。選択したテーブルに応じて、各ボックスに CMYK または RGB の組み合わせが示されます。ボックスに表示された CMYK または RGB の組み合わせを選択したカラー変換テーブルに通すと各ボックスの実際の色が得られます。

カラーサンプルページを確認して、対応する色に最も近い色のボックスを特定できます。次に、ボックスに表示される色の組み合わせを使用して、ソフトウェアプログラムでオブジェクトの色を変更できます。詳細については、ソフトウェアプログラムのヘルプの項を参照してください。[手動カラー補正]は特定オブジェクトに対してカラー変換テーブルを選択して使用する際に必要です。

特定カラーの一致の問題を解決するためにどのカラーサンプルセットを選択するかは、以下の点によって異なります。

- 使用するカラー補正の設定(自動、オフ、手動)
- 印刷するオブジェクトのタイプ(文字、グラフィックス、イメージ)
- ソフトウェアプログラムでオブジェクトのカラーを指定する方法(RGB または CMYK の組み合わせ)

ソフトウェアプログラムが RGB または CMYK の組み合わせでカラーを指定しない場合、カラーサンプルページは役立ちません。また、カラー管理機能を介してプログラムで指定される RGB または CMYK の組み合わせを調整するソフトウェアプログラムもあります。そのような状況では、印刷された色がカラーサンプルページと厳密には合わない場合があります。

印刷が薄く見える

対応	はい	いいえ
<p>手順 1 カラー調節を実行します。</p> <p>a 操作パネルから、次のメニューを選択します。 [設定] > [印刷] > [品質] > [イメージ詳細設定] > [カラー調節]</p> <p>タッチ画面のないプリンタ機種では、 を押して設定内を移動します。</p> <p>b ドキュメントを印刷します。</p> <p>印刷が薄く見えますか？</p>	<p>手順 2 に進みます。</p>	<p>問題は解決しました。</p>
<p>手順 2 a 操作パネルから、次のメニューを選択します。 [設定] > [印刷] > [品質] > [イメージ詳細設定] > [カラーバランス]</p> <p>タッチ画面のないプリンタ機種では、 を押して設定内を移動します。</p> <p>b 設定を調整します。</p> <p>c ドキュメントを印刷します。</p> <p>印刷が薄く見えますか？</p>	<p>カスタマサポート にお問い合わせください。</p>	<p>問題は解決しました。</p>

E メールの問題

E メールを送信できない

対応	はい	いいえ
<p>手順 1 プリンタの E メール SMTP 設定が正しいことを確認してください。詳細については、「E メール SMTP 設定を構成する」、52 ページ を参照してください。</p> <p>E メールを送信できますか？</p>	問題は解決しました。	手順 2 に進みます。
<p>手順 2 正しいパスワードを使用していることを確認してください。E メールサービスプロバイダに応じて、アカウントパスワード、アプリパスワード、または認証パスワードを使用します。詳細については、「E メール SMTP 設定を構成する」、52 ページ を参照してください。</p> <p>E メールを送信できますか？</p>	問題は解決しました。	手順 3 に進みます。
<p>手順 3 プリンタがネットワークに接続されていること、ネットワークがインターネットに接続されていることを確認してください。</p> <p>E メールを送信できますか？</p>	問題は解決しました。	次に問い合わせます： カスタマサポート 。

FAX に関するトラブル

発信者 ID が表示されない

メモ: これらの手順は、アナログ FAX をサポートしているプリンタにのみ適用されます。詳細については、[「プリンタを設定して Fax を送信する」](#)、61 ページ を参照してください。

対応	はい	いいえ
<p>発信者番号表示を有効化します。 操作パネルから、次のメニューを選択します。 [設定] > [FAX] > [FAX 設定] > [FAX 受信設定] > [管理者用設定] > [発信者 ID の有効化]</p> <p>タッチ画面のないプリンタ機種では、 を押して設定内を移動します。</p> <p>発信者 ID が表示されますか？</p>	問題は解決しました。	次に問い合わせます： カスタマサポート 。

アナログ FAX を使用して FAX を送受信できない

対応	はい	いいえ
<p>手順 1 ディスプレイに表示されるエラーメッセージを解決します。</p> <p>FAX を送受信できますか？</p>	問題は解決しました。	手順 2 に進みます。
<p>手順 2 以下の機器のケーブルがしっかりと接続されていることを確認します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 電話 • ハンドセット • 留守番電話 <p>FAX を送受信できますか？</p>	問題は解決しました。	手順 3 に進みます。
<p>手順 3 発信音を確認します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • FAX 番号に電話をかけて、正しく機能していることを確認します。 • オフフックダイヤル機能をご使用の場合は、ボリュームを上げて発信音が聞こえるかどうかを確認してください。 <p>発信音が聞こえますか？</p>	手順 5 に進みます。	手順 4 に進みます。
<p>手順 4 電話の差し込み口を確認します。</p> <ul style="list-style-type: none"> a 差し込み口に直接アナログ電話を接続します。 b 発信音を聞いてください。 c 発信音が聞こえない場合は、別の電話ケーブルをご利用ください。 d やはり発信音が聞こえない場合は、アナログ電話を別の差し込み口に差し込んでください。 e 発信音が聞こえたら、その差し込み口にプリンタを接続してください。 <p>FAX を送受信できますか？</p>	問題は解決しました。	手順 5 に進みます。
<p>手順 5 プリンタがアナログ電話サービスまたは正しいデジタルコネクタに接続されていることを確認します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 統合サービスデジタル通信網 (ISDN) 電話サービスを使用している場合、ISDN ターミナルアダプタのアナログ電話ポートに接続します。詳細については、ISDN プロバイダにお問い合わせください。 • DSL を使用している場合、アナログでの使用をサポートしている DSL フィルタまたはルーターに接続します。詳細については、DSL プロバイダにお問い合わせください。 • 構内交換機 (PBX) 電話サービスをご使用の場合は、PBX のアナログ接続部に接続しているか確認してください。アナログ接続部がない場合は、FAX 機用アナログ電話回線の設置をご検討ください。 <p>FAX を送受信できますか？</p>	問題は解決しました。	手順 6 に進みます。

対応	はい	いいえ
手順 6 一時的に他の機器の接続を切断して、他の電話サービスを無効にします。 a プリンタと電話回線間の他の機器（留守番電話、コンピュータ、モデムまたは電話回線スプリッタなど）を切断します。 b 割込通話およびボイスメールを無効にします。詳細については、電話会社にお問い合わせください。 FAX を送受信できますか？	問題は解決しました。	手順 7 に進みます。
手順 7 原稿を一度に 1 ページスキャンしてください。 a FAX 番号にダイヤルしてください。 b 原稿をスキャンします。 FAX を送受信できますか？	問題は解決しました。	次に問い合わせます： カスタマサポート 。

アナログ FAX を使用して FAX を受信できるが送信できない

対応	はい	いいえ
手順 1 原稿を ADF トレイまたは原稿台に正しくセットします。 FAX を送信できますか？	問題は解決しました。	手順 2 に進みます。
手順 2 ショートカット番号を正しく設定します。 <ul style="list-style-type: none"> ショートカット番号がダイヤルしたい電話番号に設定されていることを確認してください。 電話番号を手動でダイヤルします。 FAX を送信できますか？	問題は解決しました。	次に問い合わせます： カスタマサポート 。

アナログ FAX を使用して FAX を送信できるが受信できない

対応	はい	いいえ
手順 1 給紙源が空でないことを確認します。 FAX を受信できますか？	問題は解決しました。	手順 2 に進みます。
手順 2 着信音回数待機の設定をチェックします。 操作パネルから、次のメニューを選択します。 [設定] > [FAX] > [FAX 設定] > [FAX 受信設定] > [呼び出し回数] タッチ画面のないプリンタ機種では、 OK を押して設定内を移動します。 FAX を受信できますか？	問題は解決しました。	手順 3 に進みます。
手順 3 プリンタで空白のページが印刷される場合(⇒ 「空白または白のページ」 、 206 ページ)。 FAX を受信できますか？	問題は解決しました。	次に問い合わせます： カスタマサポート 。

etherFAX を設定できない

対応	はい	いいえ
手順 1 プリンタの接続を確認します。 a ネットワーク設定ページを印刷します。操作パネルから、次のメニューを選択します。 [設定] > [レポート] > [ネットワーク] > [ネット設定ページ] タッチ画面のないプリンタ機種では、 OK を押して設定内を移動します。 b ネットワークの状態をチェックします。 プリンタはネットワークに接続されていますか？	手順 3 に進みます。	手順 2 に進みます。
手順 2 プリンタがネットワークに接続されていること、ネットワークがインターネットに接続されていることを確認してください。 etherFAX を設定できますか？	問題は解決しました。	手順 3 に進みます。
手順 3 etherFAX が正しく設定されていることを確認します。詳細については、 「etherFAX を使用した FAX 機能の設定」 、 64 ページ を参照してください。 etherFAX を設定できますか？	問題は解決しました。	https://www.etherfax.net/lexmark

etherFAX を使用して FAX を送受信できない

対応	はい	いいえ
<p>手順 1 プリンタがネットワークに接続されていること、ネットワークがインターネットに接続されていることを確認してください。</p> <p>etherFAX を使用して FAX を送受信できますか？</p>	問題は解決しました。	手順 2 に進みます。
<p>手順 2 a 操作パネルから、次のメニューを選択します。 [設定] > [FAX] > [FAX 設定] > [一般 FAX 設定]</p> <p>タッチ画面のないプリンタ機種では、 を押して設定内を移動します。</p> <p>b FAX 番号を正しく入力したことを確認します。 c [FAX の転送]は、必ず[etherFAX]に設定します。</p> <p>etherFAX を使用して FAX を送受信できますか？</p>	問題は解決しました。	手順 3 に進みます。
<p>手順 3 大きいドキュメントを小さいファイルサイズに分割します。</p> <p>etherFAX を使用して FAX を送受信できますか？</p>	問題は解決しました。	https://www.etherfax.net/lexmark

FAX の印刷品質が悪い

対応	はい	いいえ
<p>手順 1 印刷品質に問題がないことを確認します。</p> <p>a 操作パネルから、[設定] > [トラブルシューティング] > [印刷品質テストページ]の順に移動します。タッチ画面のないプリンタ機種では、 を押して設定内を移動します。</p> <p>b あらゆる印刷品質の問題を修正します。詳細については、「印刷品質が悪い」、206 ページ を参照してください。</p> <p>FAX の印刷品質に問題はありませんか？</p>	問題は解決しました。	手順 2 に進みます。
<p>手順 2 FAX の受信速度を下げてください。</p> <p>a 操作パネルから、次のメニューを選択します。 [設定] > [FAX] > [アナログ FAX 設定] > [FAX 受信設定] > [管理者用設定]</p> <p>タッチ画面のないプリンタ機種では、 を押して設定内を移動します。</p> <p>b [送信最大ビット速度]メニューで、遅い送信速度を選択します。</p> <p>FAX の印刷品質に問題はありませんか？</p>	問題は解決しました。	次に問い合わせます： カスタマサポート 。

FAX 送付状ページに情報がない

対応	いいえ	はい
<p>a プリンタの電源を切り、約 10 秒間待ってから、再び電源を入れます。</p> <p>b FAX を送信または取得します。</p> <p>FAX 送付状ページに情報がありませんか？</p>	問題は解決しました。	次に問い合わせます： カスタマサポート 。

コンピュータから FAX 送付状ページを送信できない

対応	はい	いいえ
<p>手順 1</p> <p>a プリンタドライバが更新されていることを確認します。詳細については、「プリンタソフトウェアをインストールする」、265 ページを参照してください。</p> <p>b FAX を送信します。</p> <p>FAX 送付状ページを送信できますか？</p>	問題は解決しました。	手順 2 に進みます。
<p>手順 2</p> <p>a FAX するドキュメントで、[印刷]ダイアログを開きます。</p> <p>b プリンタを選択し、[プロパティ]、[基本設定]、[オプション]、または [設定]をクリックします。</p> <p>c [FAX]をクリックし、[FAX を送信する前に設定を常に表示]をオフにします。</p> <p>d FAX を送信します。</p> <p>FAX 送付状ページを送信できますか？</p>	問題は解決しました。	次に問い合わせます： カスタマサポート 。

スキャンに関するトラブル

コンピュータからスキャンできない

対応	はい	いいえ
<p>手順 1</p> <p>a プリンタの電源を切り、約 10 秒間待機してから、プリンタの電源を入れます。</p> <p>b スキャンジョブを再送信します。</p> <p>スキャンジョブを送信できますか？</p>	問題は解決しました。	手順 2 に進みます。

対応	はい	いいえ
<p>手順 2</p> <p>a プリンタおよびプリントサーバーへのケーブルがしっかり固定されていることを確認します。 詳細については、プリンタに同梱されているセットアップマニュアルを参照してください。</p> <p>b スキャンジョブを再送信します。</p> <p>スキャンジョブを送信できますか？</p>	問題は解決しました。	カスタマサポート にお問い合わせください 。

スキャンしてネットワークフォルダに保存できない

対応	はい	いいえ
<p>手順 1</p> <p>a ネットワークフォルダのショートカットを作成します。</p> <p>b ショートカットを使用して原稿をスキャンします。詳細については、「ショートカットを使用してネットワークフォルダにスキャンする」、77 ページを参照してください。</p> <p>原稿をスキャンしてネットワークフォルダに保存できますか？</p>	問題は解決しました。	手順 2 に進みます。
<p>手順 2</p> <p>ネットワークフォルダのパスと形式が正しいことを確認します。たとえば、<code>//server_hostname/foldername/path</code> の場合、<code>server_hostname</code> は、完全修飾ドメイン (FQDN) または IP アドレスです。</p> <p>ネットワークフォルダのパスと形式は正しいですか？</p>	手順 3 に進みます。	手順 4 に進みます。
<p>手順 3</p> <p>ネットワークフォルダへの書き込みアクセス権限があることを確認します。</p> <p>原稿をスキャンしてネットワークフォルダに保存できますか？</p>	問題は解決しました。	手順 4 に進みます。

対応	はい	いいえ
<p>手順 4 ネットワークフォルダのショートカットを更新します。</p> <p>a Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。</p> <p>メモ:</p> <ul style="list-style-type: none"> ホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。 プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。 <p>b [ショートカット]をクリックして、ショートカットを選択します。</p> <p>メモ: 複数のショートカットタイプがある場合は、[ネットワークフォルダ]を選択します。</p> <p>c [共有パス]フィールドに、ネットワークフォルダのパスを入力します。</p> <p>メモ:</p> <ul style="list-style-type: none"> 共有パスが \\server_hostname\foldername\path の場合は、//server_hostname/foldername/path と入力します。 共有パスを入力するときは、必ずフォワードスラッシュを使用してください。 <p>d [認証]メニューから、認証方法を選択します。</p> <p>メモ: 認証が[割り当て済みのユーザー名とパスワードを使用]に設定されている場合は、[ユーザー名]フィールドと[パスワード]フィールドに資格情報を入力します。</p> <p>e [保存]をクリックします。</p> <p>原稿をスキャンしてネットワークフォルダに保存できますか？</p>	問題が解決しました。	手順 5 に進みます。
<p>手順 5 プリンタとネットワークフォルダが同じネットワークに接続していることを確認します。</p> <p>原稿をスキャンしてネットワークフォルダに保存できますか？</p>	問題が解決しました。	次に問い合わせます： カスタマサポート 。

文書や写真の一部しかコピーされない

対応	はい	いいえ
<p>手順 1</p> <p>a 文書または写真が原稿台ガラスの左上の角に表を下にしてセットされているか確認してください。</p> <p>b 文書または写真をコピーします。</p> <p>文書または写真は正しくコピーされていますか？</p>	問題が解決しました。	手順 2 に進みます。

対応	はい	いいえ
手順 2 a 用紙サイズの設定がトレイにセットした用紙と合っているか確認してください。 b 文書または写真をコピーします。 文書または写真は正しくコピーされていますか？	問題は解決しました。	カスタマサポート にお問い合わせください 。

コピー品質が悪い

対応	はい	いいえ
手順 1 a 水で湿らせた柔らかい糸くずの出ない布で、スキャナ原稿台ガラスと ADF 原稿台ガラスを清掃してください。お使いのプリンタで、ADF 内部に 2 枚目の ADF 原稿台ガラスがある場合は、そのガラスも清掃してください。 詳細については、 「スキャナの清掃」、169 ページ を参照してください。 b 文書または写真が原稿台ガラスの左上の角に表を下にしてセットされているか確認してください。 c 文書または写真をコピーします。 コピーの品質に問題はありませんか？	問題は解決しました。	手順 2 に進みます。
手順 2 a 文書または写真の質を確認します。 b スキャン品質の設定を調整します。 c 文書または写真をコピーします。 コピーの品質に問題はありませんか？	問題は解決しました。	カスタマサポート にお問い合わせください。

スキャンジョブが失敗しました

対応	はい	いいえ
手順 1 ケーブル接続をチェック確認します。 a イーサネットまたは USB ケーブルがコンピュータおよびプリンタにしっかりと接続されていることを確認してください。 b スキャンジョブを再送信します。 スキャンジョブが正常に完了しましたか？	問題は解決しました。	手順 2 に進みます。

対応	はい	いいえ
手順 2 スキャンするファイルを確認します。 a ファイル名が保存先フォルダで既に使用されていないことを確認します。 b スキャンする文書または写真が他のアプリケーションで開かれていないことを確認します。 c スキャンジョブを再送信します。 スキャンジョブが正常に完了しましたか？	問題は解決しました。	手順 3 に進みます。
手順 3 a 保存先の設定で[タイムスタンプを追加]または[既存ファイルを上書き]チェックボックスが選択されていることを確認します。 b スキャンジョブを再送信します。 スキャンジョブが正常に完了しましたか？	問題は解決しました。	カスタマサポート にお問い合わせください 。

スキャナが閉じない

アクション	はい	いいえ
スキャナカバーが閉じない原因となっている障害物を取り除きます。 スキャナカバーは正常に閉じましたか。	問題は解決しました。	カスタマサポート にお問い合わせください 。

スキャンに時間がかかり過ぎる、またはコンピュータがフリーズする

対応	はい	いいえ
スキャンを妨害しているすべてのアプリケーションを閉じます。 スキャンに時間がかかる、またはコンピュータが停止してしまいますか？	カスタマサポート に問い合わせてください。	問題は解決しました。

スキャナが反応しない

対応	はい	いいえ
手順 1 a 電源コードがプリンタと電源コンセントに接続されていることを確認します。  注意—傷害の恐れあり: 火災や感電の危険を避けるため、製品の設置場所の近くの、正しく接地され定格を守ったコンセントに、電源コードを接続します。 b 原稿をスキャンまたはコピーします。 スキャナは応答していますか？	問題は解決しました。	手順 2 に進みます。

対応	はい	いいえ
手順 2 a プリンタの電源が入っているかどうかを確認します。 b ディスプレイに表示されるエラーメッセージを解決します。 c 原稿をスキャンまたはコピーします。 スキャナは応答していますか？	問題は解決しました。	手順 3 に進みます。
手順 3 a プリンタの電源を切って約 10 秒間待ってから、再び電源を入れます。 b 原稿をスキャンまたはコピーします。 スキャナは応答していますか？	問題は解決しました。	カスタマサポート にお問い合わせください。

スキャナ登録の調整

- 1 操作パネルから、次のメニューを選択します。

[設定] > [デバイス] > [メンテナンス] > [設定メニュー] > [スキャナ設定] > [スキャナ手動登録]

タッチ画面のないプリンタ機種では、 を押して設定内を移動します。

- 2 [印刷簡易テスト]メニューで[開始]をタッチします。
- 3 原稿台に印刷簡易テストページを配置し、[フラットベッド登録]をタッチします。
- 4 [コピー簡易テスト]メニューで[開始]をタッチします。
- 5 コピー簡易テストページを原稿と比較します。

メモ: テストページの余白が原稿と異なる場合は、[左余白]と[上余白]を調整します。

- 6 コピー簡易テストページの余白が原稿と一致するまで、[手順 4](#) および [手順 5](#) を繰り返します。

ADF 登録の調整

- 1 操作パネルから、次のメニューを選択します。

[設定] > [デバイス] > [メンテナンス] > [設定メニュー] > [スキャナ設定] > [スキャナ手動登録]

タッチ画面のないプリンタ機種では、 を押して設定内を移動します。

- 2 [印刷簡易テスト]メニューで[開始]をタッチします。
- 3 ADF トレイに印刷簡易テストページをセットします。
- 4 [正面 ADF 登録]または[背面 ADF 登録]をタッチします。

メモ:

- 前面 ADF 登録を調整するには、短辺方向から ADF ヘテストページ面を上にしてセットします。
- 背面 ADF 登録を調整するには、短辺方向から ADF ヘテストページ面を下にしてセットします。

- 5 [コピー簡易テスト]メニューで[開始]をタッチします。

6 コピー簡易テストページを原稿と比較します。

メモ: テストページの余白が原稿と異なる場合は、[水平方向の調整]と[上余白]を調整します。

7 コピー簡易テストページの余白が原稿と一致するまで、[手順 5](#) および [手順 6](#) を繰り返します。

カスタマサポートに問い合わせる

カスタマサポートに連絡する前に、次の情報を確認してください。

- プリンタの問題
- エラーメッセージ
- プリンタ機種とシリアル番号

http: E メールまたはチャットによるサポートを受けるか、マニュアル、サポートドキュメント、ドライバ、およびその他のダウンロードのライブラリを参照するには、<http://support.lexmark.com> にアクセスしてください。

電話によるテクニカルサポートもご利用いただけます。米国またはカナダの場合、1-800-539-6275 までお電話ください。その他の国または地域については、<http://support.lexmark.com> を参照してください。

アップグレードと移行

ハードウェア

使用可能な内蔵オプション

- メモリカード
 - PCIe
 - DDR3 DRAM
 - フラッシュメモリ
- オプションカード
 - フォントカード
 - ファームウェアカード
 - 用紙とバーコード
 - 規定
- プリンタハードディスク(SATA)

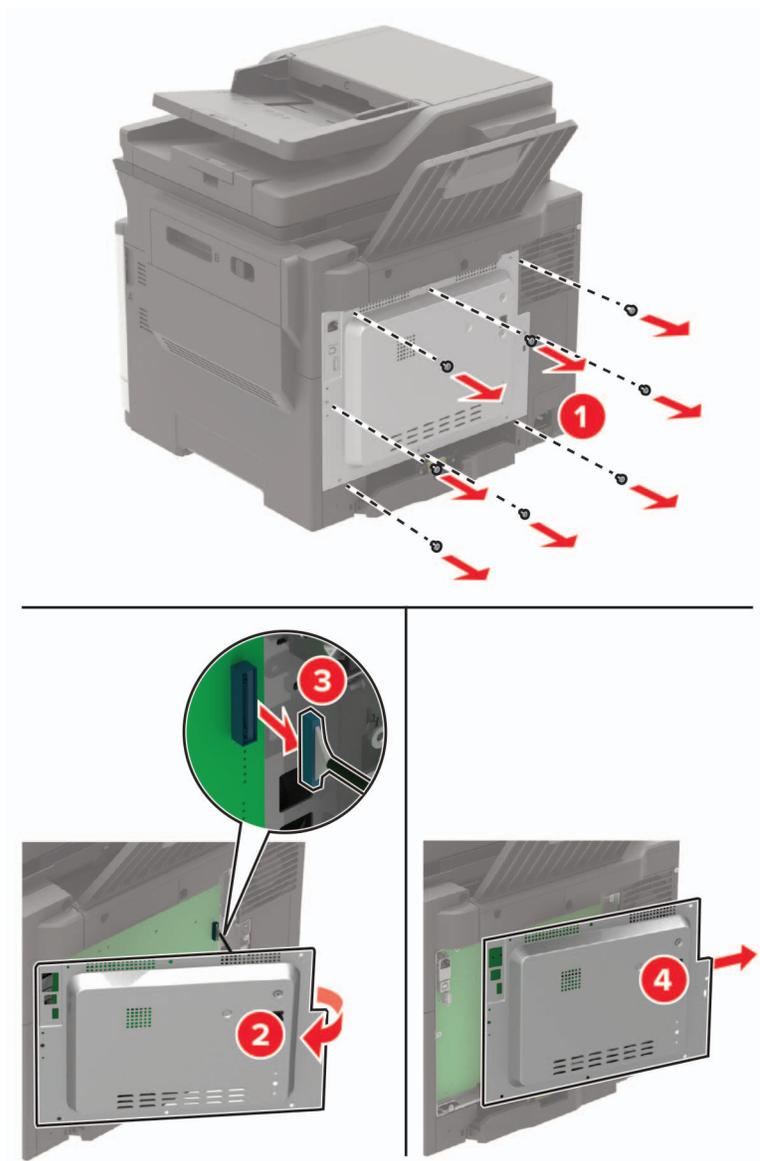
メモ: 一部のプリンタモデルでのみサポートされているオプションがあります。

コントローラボードにアクセスする

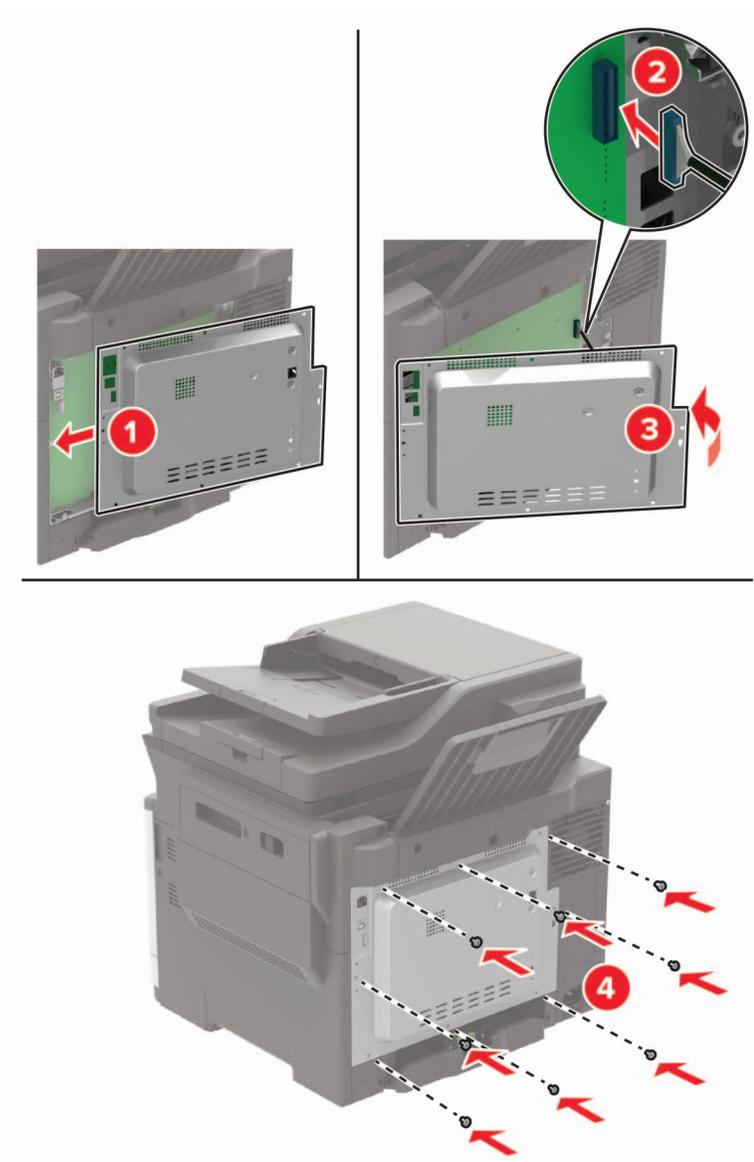
 **注意—感電危険:** 感電の危険を避けるため、プリンタのセットアップ後コントローラボードにアクセスしたり、オプションのハードウェアまたはメモリデバイスを取り付ける場合には、作業を進める前にプリンタの電源を切り、電源コードを抜きます。他のデバイスがプリンタに接続されている場合は、他のデバイスの電源も切り、プリンタに接続しているケーブルを抜きます。

- 1 プリンタの電源を切ります。
- 2 電源コードをコンセントから抜き、次にプリンタから抜きます。
- 3 マイナスドライバを使用して、コントローラボードのアクセスカバーを取り外します。

警告—破損の恐れあり: コントローラボードの電気コンポーネントは、静電気により簡単に損傷します。コントローラボードの電気コンポーネントまたはコネクタに触れる前に、プリンタの金属面を触ります。



4 アクセスカバーを取り付けます。



5 電源コードをプリンタに接続し、電源コンセントに接続します。

⚠ 注意—傷害の恐れあり: 火災や感電の危険を避けるため、設置場所の近くでアクセスしやすく、正しく接地され定格を守ったコンセントに、電源コードを接続します。

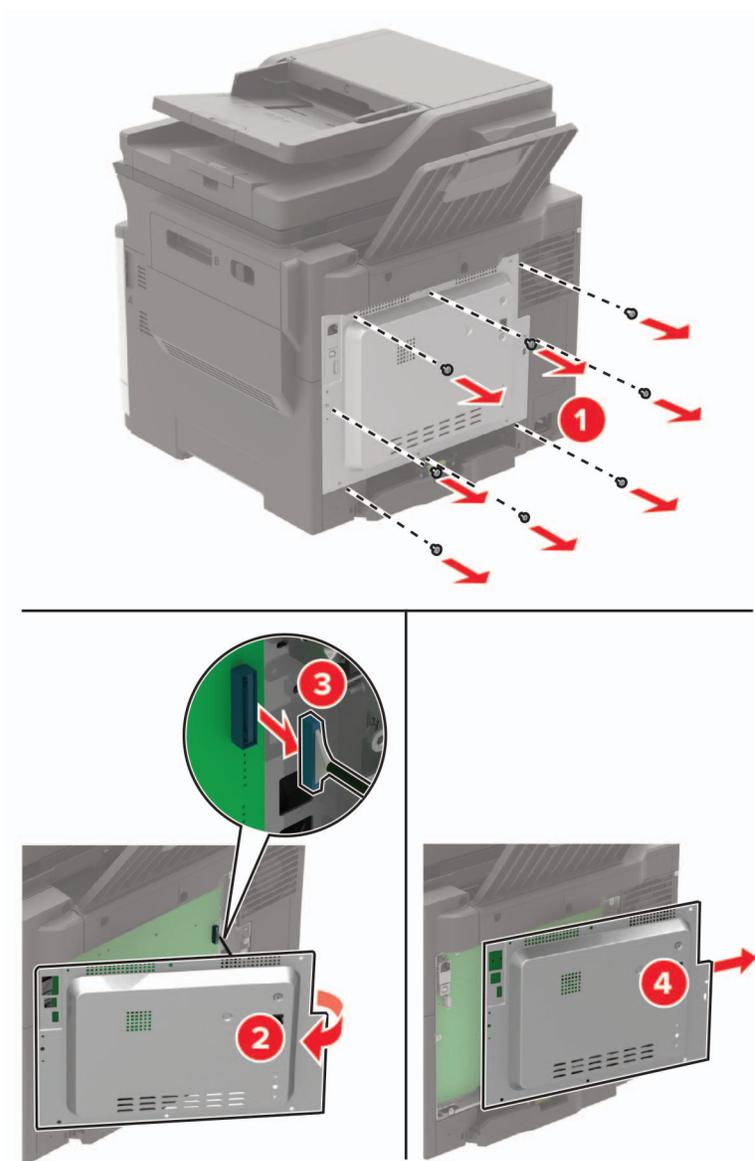
6 プリンタの電源を入れます。

メモ리카ードを取り付ける

⚠ 注意—感電危険: 感電の危険を避けるため、プリンタの設定後コントローラボードにアクセスしたり、オプションのハードウェアまたはメモリデバイスを設置する場合には、作業を進める前にプリンタの電源を切り、電源コードを抜きます。他のデバイスがプリンタに接続されている場合は、他のデバイスの電源も切り、プリンタに接続しているケーブルを抜きます。

- 1 プリンタの電源を切ります。
- 2 電源コードをコンセントから抜き、次にプリンタから抜いてください。
- 3 コントローラボードのアクセスカバーを取り外すには、マイナスドライバを使用します。

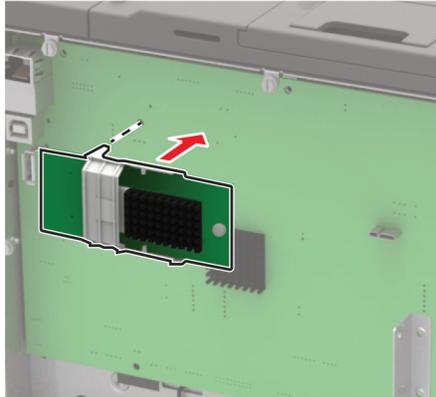
警告—破損の恐れあり: コントローラボードの電気コンポーネントは、静電気により簡単に損傷します。コントローラボードのコンポーネントまたはコネクタに触れる前に、プリンタの金属面を触ります。



- 4 メモ리카ードを開梱します。

警告—破損の恐れあり: カードの端に沿った接点に触れないでください。

- 5 メモリカードを、所定の位置でカチッと音がするまで挿入します。



- 6 アクセスカバーを取り付けます。
- 7 電源コードをプリンタに接続し、電源コンセントに接続します。

⚠ 注意—傷害の恐れあり: 火災や感電の危険を避けるため、製品の設置場所の近くの、正しく接地され定格を守ったコンセントに、電源コードを接続します。

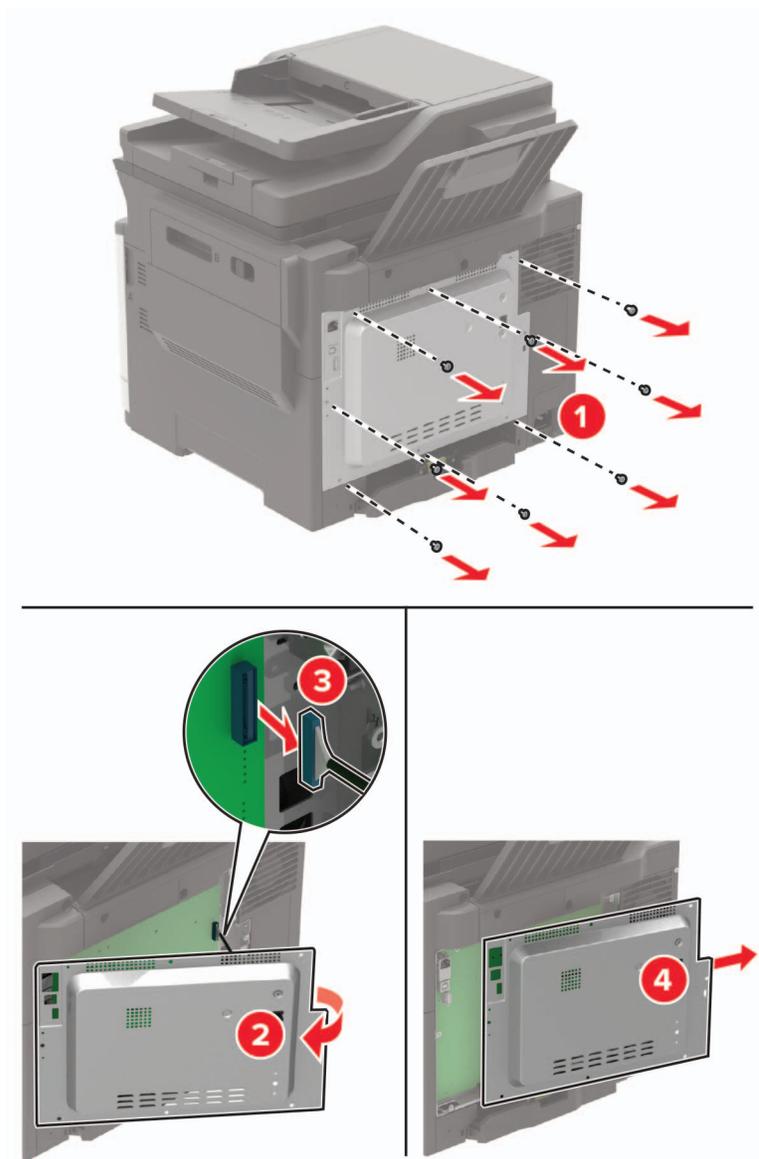
- 8 プリンタの電源を入れます。

オプションカードを取り付ける

⚠ 注意—感電危険: 感電の危険を避けるため、プリンタの設定後コントローラボードにアクセスしたり、オプションのハードウェアまたはメモリデバイスを設置する場合には、作業を進める前にプリンタの電源を切り、電源コードを抜きます。他のデバイスがプリンタに接続されている場合は、他のデバイスの電源も切り、プリンタに接続しているケーブルを抜きます。

- 1 プリンタの電源を切ります。
- 2 電源コードをコンセントから抜き、次にプリンタから抜いてください。
- 3 コントローラボードのアクセスカバーを取り外すには、マイナスドライバを使用します。

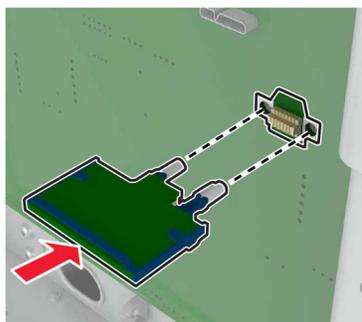
警告—破損の恐れあり: コントローラボードの電気コンポーネントは、静電気により簡単に損傷します。コンポーネントまたはコネクタに触れる前に、プリンタの金属面を触ります。



4 オプションカードを開梱します。

警告—破損の恐れあり: カードの端に沿った接点に触れないでください。

5 カードを所定の位置にしっかりと押し入れます。



メモ: カードのコネクタ全体がコントローラボードに触れ、水平になっている必要があります。

警告—破損の恐れあり: カードを正しく取り付けない場合、カードとコントローラボードが損傷するおそれがあります。

- 6 アクセスカバーを取り付けます。
- 7 電源コードをプリンタに接続し、電源コンセントに接続します。

 **注意—傷害の恐れあり:** 火災や感電の危険を避けるため、製品の設置場所の近くの、正しく接地され定格を守ったコンセントに、電源コードを接続します。

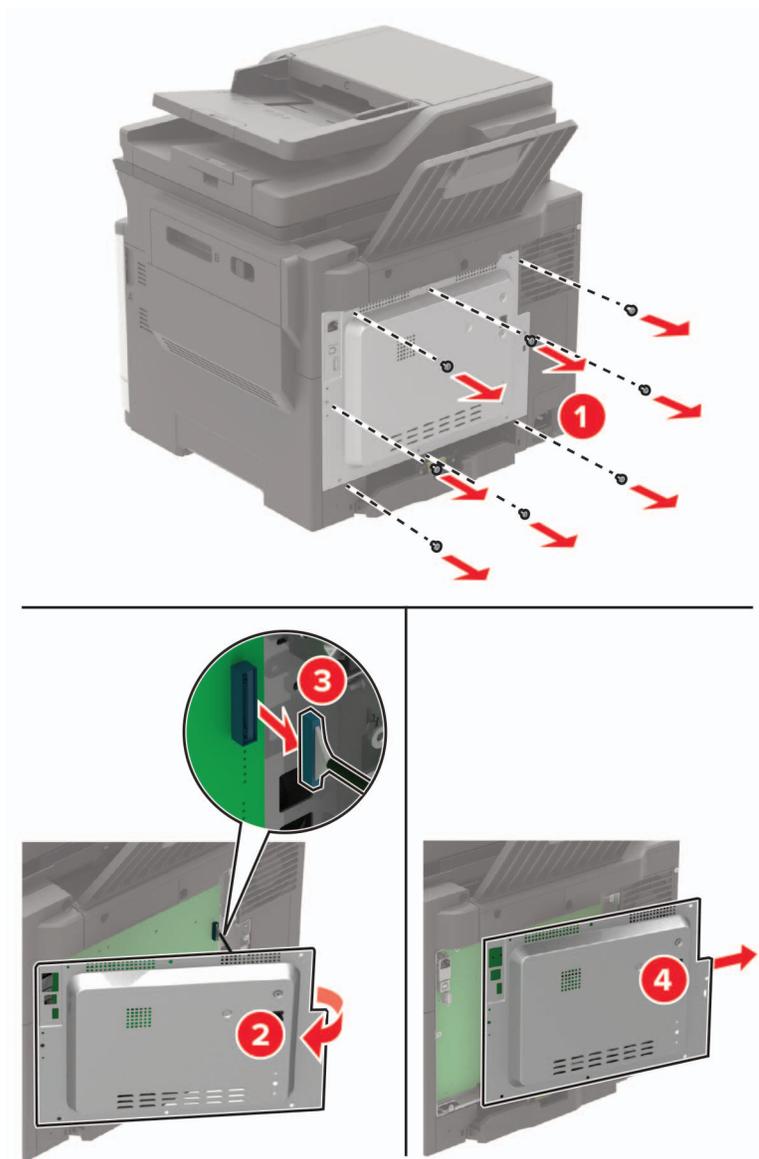
- 8 プリンタの電源を入れます。

プリンタハードディスクを取り付ける

 **注意—感電危険:** 感電の危険を避けるため、プリンタのセットアップ後コントローラボードにアクセスしたり、オプションのハードウェアまたはメモリデバイスを取り付ける場合には、作業を進める前にプリンタの電源を切り、電源コードを抜きます。他のデバイスがプリンタに接続されている場合は、他のデバイスの電源も切り、プリンタに接続しているケーブルを抜きます。

- 1 プリンタの電源を切ります。
- 2 電源コードをコンセントから抜き、次にプリンタから抜きます。
- 3 マイナスドライバを使用して、コントローラボードのアクセスカバーを取り外します。

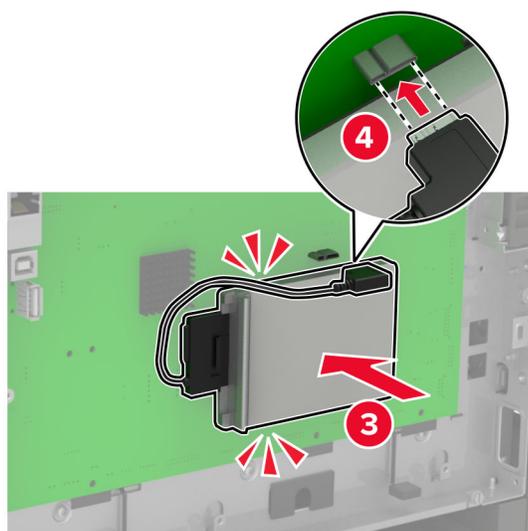
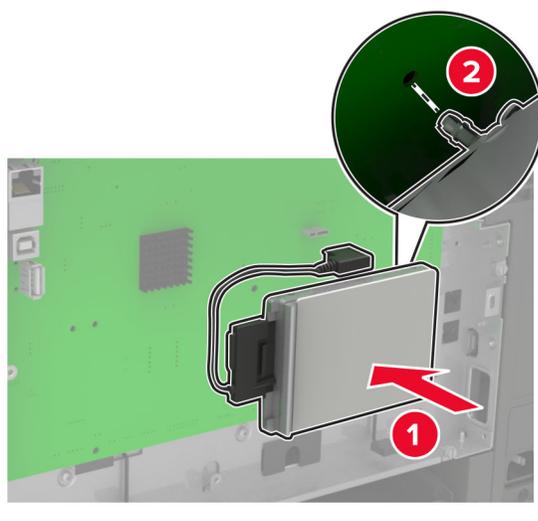
警告—破損の恐れあり: コントローラボードの電気コンポーネントは、静電気により簡単に損傷します。コントローラボードのコンポーネントまたはコネクタに触れる前に、プリンタの金属面を触ります。



4 プリンタハードディスクを開梱します。

5 ハードディスクを接続し、次にハードディスクインターフェイスケーブルをコントローラボードに接続します。

警告—破損の恐れあり: ハードディスクの中央に触れたり、押したりしないでください。



6 アクセスカバーを取り付けます。

7 電源コードをプリンタに接続し、電源コンセントに接続します。

⚠ 注意—傷害の恐れあり: 火災や感電の危険を避けるため、製品の設置場所の近くでアクセスしやすく、正しく接地され定格を守ったコンセントに、電源コードを接続します。

8 プリンタの電源を入れます。

オプショントレイを取り付ける

メモ: プリンタ機種に応じて、650 枚デュオトレイ、または 650 枚デュオトレイと 550 枚トレイの両方を取り付けることができます。

⚠ 注意—感電危険: 感電を避けるため、プリンタのセットアップ後にコントローラボードにアクセスする際や、オプションのハードウェアまたはメモリデバイスを取り付ける際には、作業を進める前にプリンタの電源を切り、電源コードを抜きます。他のデバイスがプリンタに接続されている場合は、他のデバイスの電源も切り、プリンタに接続しているケーブルを抜きます。

- 1 プリンタの電源を切ります。
- 2 電源コードをコンセントから抜き、次にプリンタから抜きます。
- 3 オプショントレイを梱包から取り出し、梱包材をすべて取り除きます。
- 4 プリンタをオプショントレイに合わせて、プリンタを下ろします。

⚠ 注意—傷害の恐れあり: プリンタの重量が 20 kg (40 ポンド) 以上ある場合、安全に持ち上げるには訓練を受けた人が 2 名以上必要です。



メモ: 両方のオプショントレイを取り付ける場合は、550 枚トレイを 650 枚デュオトレイの下に配置します。

- 5 電源コードをプリンタに接続してから、電源コンセントに接続します。

⚠ 注意—傷害の恐れあり: 火災や感電の危険を避けるため、製品の設置場所の近くにある、アクセスしやすい、正しく接地されていて、適切な定格を持つコンセントに電源コードを接続します。

- 6 プリンタの電源を入れます。

プリントドライバにトレイを追加し、印刷ジョブで使用できるようにします。詳細については、「[プリントドライバの使用可能なオプションを追加する](#)」、266 ページ を参照してください。

ソフトウェア

プリンタソフトウェアをインストールする

メモ:

- プリンタドライバはソフトウェアインストーラパッケージに含まれています。
 - macOS バージョン 10.7 以降が搭載されている Macintosh コンピュータの場合は、ドライバをインストールせずに AirPrint 対応プリンタで印刷できます。カスタム印刷機能が必要な場合は、プリンタドライバをダウンロードします。
- 1 ソフトウェアインストーラパッケージのコピーを取得します。
 - プリンタに付属のソフトウェア CD から
 - www.lexmark.com/downloads にアクセスします。
 - 2 インストーラを実行して、コンピュータの画面の手順に従います。

FAX ドライバをインストールする

- 1 www.lexmark.com/downloads にアクセスし、プリンタ機種を検索して、適切なインストーラパッケージをダウンロードします。
- 2 コンピュータで、**[プリンタのプロパティ]**をクリックし、**[設定]**タブに移動します。
- 3 **[FAX]**を選択してから**[適用]**をクリックします。

コンピュータにプリンタを追加する

開始する前に、次のいずれかを実行します。

- プリンタとコンピュータを同じネットワークに接続します。詳細情報(⇒「[プリンタを Wi-Fi ネットワークに接続する](#)」、164 ページ)。
- コンピュータをプリンタに接続します。詳細については、「[コンピュータをプリンタに接続する](#)」、167 ページ を参照してください。
- USB ケーブルを使用してプリンタをコンピュータに接続します。詳細については、「[ケーブルを接続する](#)」、14 ページ を参照してください。

メモ: USB ケーブルは付属していません。

Windows の場合

- 1 コンピュータから、プリントドライバをインストールします。

メモ: 詳細については、「[プリンタソフトウェアをインストールする](#)」、265 ページ を参照してください。
- 2 **[プリンタとスキャナ]**を開き、**[プリンタまたはスキャナを追加]**をクリックします。

3 プリンタ接続に応じて、次のいずれかを実行します。

- 一覧からプリンタを選択し、[デバイスの追加]をクリックします。
- [wi-fi ダイレクトプリンタを表示する]をクリックし、プリンタを選択して、[デバイスの追加]をクリックします。
- [プリンタが一覧にない場合]をクリックして、[プリンタを追加]ウィンドウで次の手順を実行します。
 - a [TCP/IP アドレスまたはホスト名を使ってプリンタを追加する]を選択し、[次へ]をクリックします。
 - b [ホスト名または IP アドレス]フィールドにプリンタの IP アドレスを入力し、[次へ]をクリックします。

メモ:

- プリンタのホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。

- c プリンタドライバ選択してから、[次へ]をクリックします。
- d [現在インストールされているプリントドライバを使用する(推奨)]を選択し、[次へ]をクリックします。
- e プリンタ名を入力し、[次へ]をクリックします。
- f プリンタ共有オプションを選択し、[次へ]をクリックします。
- g [終了]をクリックします。

Macintosh の場合

- 1 コンピュータで、[プリンタとスキャナ]を開きます。
- 2 **+** をクリックし、プリンタを選択します。
- 3 [使用]メニューからプリントドライバを選択します。

メモ:

- Macintosh のプリントドライバを使用するには、[AirPrint]または[Secure AirPrint]のいずれかを選択します。
- カスタム印刷機能を使用する場合は、Lexmark のプリントドライバを選択します。ドライバをインストールするには、[「プリンタソフトウェアをインストールする」](#)、265 ページを参照してください。

- 4 プリンタを追加します。

プリントドライバの使用可能なオプションを追加する

Windows の場合

- 1 プリンタフォルダを開きます。
- 2 更新するプリンタを選択して、次のいずれかを実行します。
 - Windows 7 以降の場合は、[プリンタのプロパティ]を選択します。
 - それ以前のバージョンの場合は、[プロパティ]を選択します。
- 3 [設定]タブに移動して、[今すぐ更新 - プリンタに照会]を選択します。
- 4 変更を適用します。

Macintosh の場合

- 1 アップルメニューの[システム環境設定]からお使いのプリンタに移動して、[オプションとサプライ]を選択します。
- 2 ハードウェアオプションの一覧に移動して、設置済みのオプションを追加します。
- 3 変更を適用します。

ファームウェア

設定ファイルをエクスポートまたはインポートする

プリンタの構成設定をテキストファイルにエクスポートしてから、それをインポートし、他のプリンタに設定を適用できます。

- 1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ:

- プリンタのホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。

- 2 EWS から、[構成をエクスポート]または[構成をインポート]をクリックします。
- 3 画面に表示される手順に従います。
- 4 プリンタがアプリケーションをサポートする場合は、次の手順を実行します。
 - a [アプリ] > をクリックし、アプリケーションの > [設定]を選択します。
 - b [エクスポート]または[インポート]をクリックします。

ファームウェアを更新する

一部のアプリケーションを正しく動作させるためには、デバイスファームウェアの最小レベルが必要になります。

デバイスファームウェアの更新の詳細については、Lexmark 担当者にお問い合わせください。

- 1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ:

- プリンタのホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。

- 2 [設定] > > [デバイス] > [ファームウェアを更新]をクリックします。
- 3 次のいずれかを実行します。
 - [更新を確認] > [同意します。更新を開始します]をクリックして、更新を開始します。
 - フラッシュファイルをアップロードします。

メモ: 最新のファームウェアを入手するには、www.lexmark.com/downloads にアクセスし、使用しているプリンタ機種を検索します。

a フラッシュファイルを参照します。

メモ: ファームウェアの zip ファイルが解凍されていることを確認します。

b [アップロード] > [開始]をクリックします。

通知

製品情報

製品名:

Lexmark CX522ade、Lexmark CX522de; Lexmark CX622ade、Lexmark CX622de; Lexmark CX625ade、Lexmark CX625adhe、Lexmark CX625de; Lexmark MC2425adw; Lexmark MC2535adw; Lexmark MC2640adwe; Lexmark XC2235; Lexmark XC4240、Lexmark XC4240i

機種番号:

7529

モデル:

081、230、238、436、486、496、636、638、686、698、836、838、898

版通知

2024 年 7 月

この章に記載された内容は、これらの条項と地域法とに矛盾が生じる国では適用されないものとします。Lexmark International, Inc. は本ドキュメントを「現状有姿」で提供し、明示的または黙示的であるかを問わず、商品性および特定目的に対する適合性の黙示的保証を含み、これに限定されないその他すべての保証を否認します。一部の地域では特定の商取引での明示的または黙示的な保証に対する免責を許可していない場合があります、これらの地域ではお客様に対して本条項が適用されない場合があります。

本ドキュメントには、不正確な技術情報または誤植が含まれている場合があります。ここに記載された情報は定期的に変更され、今後のバージョンにはその変更が含まれます。記載された製品またはプログラムは、任意の時期に改良または変更が加えられる場合があります。

本ドキュメントで特定の製品、プログラム、またはサービスについて言及している場合でも、すべての国々でそれらが使用可能であることを黙示的に意味しているものではありません。特定の製品、プログラム、またはサービスについてのすべての記述は、それらの製品、プログラム、またはサービスのみを使用することを明示的または黙示的に示しているものではありません。既存の知的財産権を侵害しない、同等の機能を持つすべての製品、プログラム、またはサービスを代替して使用することができます。製造元が明示的に指定した以外の製品、プログラム、またはサービスと組み合わせた場合の動作の評価および検証は、ユーザーの責任において行ってください。

Lexmark テクニカルサポートについては、<http://support.lexmark.com> を参照してください。

消耗品とダウンロードについては、<http://www.lexmark.com> を参照してください。

© 2018 Lexmark International, Inc.

All rights reserved.

商標

Lexmark および Lexmark ロゴは、米国およびその他の国における Lexmark International, Inc. の商標または登録商標です。

Gmail、Android、Google Play、Google Chrome は Google LLC の商標です。

Macintosh, Safari, and AirPrint are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries. App Store and iCloud are service marks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries. Use of the Works with Apple badge means that an accessory has been designed to work specifically with the technology identified in the badge and has been certified by the developer to meet Apple performance standards.

Mopria® のワードマークは、米国およびその他の国における Mopria Alliance, Inc. の登録商標または未登録商標です。無断使用は固く禁じられています。

PCL® は Hewlett-Packard Company の登録商標です。PCL は、Hewlett-Packard Company のプリンタ製品に含まれるプリンタコマンド(言語)および機能のセットの表示です。このプリンタは PCL 言語に対応します。このことは、プリンタがさまざまなアプリケーションプログラムで使用される PCL コマンドを認識し、プリンタがコマンドに対応する機能をエミュレートすることを意味します。

PostScript は米国およびその他の国における Adobe Systems Incorporated の登録商標です。

Wi-Fi® および Wi-Fi Direct® は、Wi-Fi Alliance® の登録商標です。

その他すべての商標は、それぞれの所有者の財産です。

ライセンスに関する通知

この製品に関連するライセンスについての通知はすべて、インストールソフトウェア CD の CD:\NOTICES ディレクトリから表示できます。

騒音レベル

次の計測は ISO 7779 に従って実施され、ISO 9296 に準拠した手順で報告されました。

メモ: 製品によっては適用されないモードがあります。

1メートルの平均音圧 (dBA)	
印刷中	53(片面)、55(両面)
スキャン中	53
コピー中	56
レディ状態	16

値は変更される場合があります。最新の値については、www.lexmark.com をご覧ください。

Environmental labeling for packaging

Per Commission Regulation Decision 97/129/EC Legislative Decree 152/2006, the product packaging may contain one or more of the following symbols.

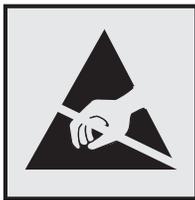
	<p>This symbol indicates that the packaging may contain corrugated fiberboard.</p>
	<p>This symbol indicates that the packaging may contain non-corrugated fiberboard.</p>
	<p>This symbol indicates that the packaging may contain paper.</p>

For more information, go to www.lexmark.com/recycle, and then choose your country or region. Information on available packaging recycling programs is included with the information on product recycling.

製品の廃棄

プリンタまたは消耗品は、一般の家庭ごみと一緒に捨てないでください。廃棄とリサイクルの方法については、お住まいの地方自治体にお問い合わせください。

静電気感知に関する通知



このマークは、静電気に敏感な部品であることを示します。このマークの周辺に触れる前に、マークから離れた場所のプリンタの金属フレームに触れてください。

紙詰まりの除去や消耗品の交換などのメンテナンス作業時に、静電気放電による損傷を防ぐため、マークがない場合でも、プリンタ内部に手を入れたり触れたりする前に、プリンタの露出している金属製フレームに触れてください。

国際エネルギースタープログラム(ENERGY STAR)

ENERGY STAR® のマークが付いている Lexmark 製品、または起動画面でこのマークが表示される Lexmark 製品は、製造日時点でアメリカ環境保護庁(EPA)の ENERGY STAR 基準に準拠しています。



温度に関する情報

動作温度と相対湿度	10 ~ 32.2°C (50 ~ 90°F) および 15 ~ 80% RH
プリンタ/カートリッジ/イメージングユニットの長期保存 ¹	15.3 ~ 32.2°C (60 ~ 90°F) および 8 ~ 80% RH 最高湿球温度 ² : 22.8°C (73°F) 結露のない環境
プリンタ/カートリッジ/イメージングユニットの短期輸送	-40 ~ 43.3°C (-40 ~ 110°F)
¹ 消耗品棚の寿命は約 2 年です。これは 22°C (72°F)、湿度 45% の標準的なオフィス環境における保管に基づいています。 ² 湿球温度は空気温度と相対湿度によって決まります。	

レーザーについて

本機は、米国においてクラス I(1)レーザー製品に対する DHHS 21 CFR、Chapter I、Subchapter J の要件に準拠し、その他の国では IEC 60825-1 の要件に準拠するクラス I レーザー製品として認可されています。2014

クラス I レーザー製品は、危険性がないとみなされています。レーザーシステムとプリンタは、通常の操作、ユーザーによるメンテナンス、または所定のサービス条件の下で、ユーザーがクラス I レベルを超えるレーザー放射に絶対にさらされないように設計されています。プリンタには、以下の仕様のレーザーを含む、メンテナンス不可能なプリントヘッドアセンブリがあります。

クラス: IIIb(3b) AlGaInP

公称出力電力(ミリワット): 15

波長(ナノメートル): 650 ~ 670

電力消費量

製品の消費電力

次の表に、本製品の電力消費特性を示します。

メモ: 製品によっては適用されないモードがあります。

モード	説明	消費電力(W)
印刷	製品が入力データからハードコピー出力を生成しているとき。	片面: 400(CX421、MC2325、MC2425)、530(CX522、MC2535、XC2235)、580(CX622、MC2640)、580(CX625、XC4240) 両面: 280(CX421、MC2325、MC2425)、360(CX522、MC2535、XC2235)、420(CX622、MC2640)、420(CX625、XC4240)
コピー	製品が原稿のハードコピー出力を生成しているとき。	425(CX421、MC2325、MC2425)、485(CX522、MC2535、XC2235)、560(CX622、MC2640)、540(CX625、XC4240)
スキャン	製品が原稿のスキャンを行っているとき。	25(CX421、MC2325、MC2425)、28.5(CX522、MC2535、XC2235)、29.5(CX622、MC2640)、28(CX625、XC4240)
準備完了	印刷ジョブを待機中	25(CX421、MC2325、MC2425)、26.5(CX522、MC2535、XC2235)、28.5(CX622、MC2640)、29.5(CX625、XC4240)
スリープモード	製品が高レベルのパワーセーブモードの状態にあるとき。	2.2(CX421、MC2325、MC2425)、1.9(CX522、MC2535、XC2235)、1.8(CX622、MC2640)、1.8(CX625、XC4240)
休止モード	製品が低レベルのパワーセーブモードの状態にあるとき。	0.2(CX421、MC2325、MC2425)、0.2(CX522、MC2535、XC2235)、0.2(CX622、MC2640)、0.2(CX625、XC4240)
オフ	製品の電源コードがコンセントに差し込まれていて、電源スイッチはオフの状態のとき。	0.2(CX421、MC2325、MC2425)、0.2(CX522、MC2535、XC2235)、0.2(CX622、MC2640)、0.2(CX625、XC4240)

上記の表に示されている電力消費レベルは、時間的平均測定値です。瞬間的な電力は、この平均値を大きく上回る場合があります。

値は変更される場合があります。最新の値については、www.lexmark.com をご覧ください。

スリープモード

この製品には、スリープモードと呼ばれる省電力モードがあります。スリープモードでは、長時間アイドル状態になった場合、電力消費量を下げることによって、電力を節約します。[スリープモードタイムアウト]という一定期間の間に本機が使用されない場合、自動的にスリープモードになります。

本機の工場出荷時のデフォルト[スリープモードタイムアウト](分):	15
-----------------------------------	----

設定メニューを使用し、[スリープモードタイムアウト]を1～120分の間に変更できます。印刷速度が1分あたり30ページ以下の場合、タイムアウトは60分まで設定できます。[スリープモードタイムアウト]を低い値に設定すると電力消費量を下げることができますが、本機の応答時間が長くなる場合があります。[スリープモードタイムアウト]を高い値に設定すると、応答が速くなりますが、電力消費量が多くなります。

休止モード

この製品には、休止モードと呼ばれる超低電力動作モードがあります。休止モードで動作中は、他のシステムやデバイスの電源を安全に切れる状態です。

休止モードに切り替えるには、次のいずれかの方法を使用します。

- 休止モードを使用する
- 電力モードの定期実行を使用する

すべての国または地域におけるこの製品の工場出荷時の休止タイムアウト値	3日
------------------------------------	----

ジョブが印刷された後から休止モードに切り替わるまでプリンタが待機する時間は、1時間～1か月の範囲で設定できます。

EPEAT に登録されているイメージング機器製品に関する注意事項:

- 休止モードまたはオフモードの場合、待機電力レベルになります。
- 本製品は、自動的に待機電力レベル(1 W 以下)に下がります自動スタンバイ機能(休止またはオフ)は、製品出荷時に有効になっています。

オフモード

オフモードでも、わずかながら電力を消費します。製品の電力消費を完全になくすには、電源コードをコンセントから抜いてください。

総消費電力

本製品の総消費電力を見積もる必要がある場合があります。消費電力はワット単位で示されているので、総消費電力を計算するには、プリンタの各モードでの消費電力に使用時間を乗じます。プリンタの総消費電力は、各モードでの消費電力の合計です。

通信端末機器の規制に関する通知

このセクションでは、アナログファクシミリカードを含む製品の規制に関する情報を提供しています。

Lexmark 規制タイプ/モデル番号:

LEX-M14-002 または LEX-M03-002

日本における通信に関する通知

内蔵のオプションモデムは日本の電気通信法に準拠し、以下の証明書番号によって電気通信端末機器審査協会による認証を受けています。

A18-0046001 または A11-0160001

	Lexmark International, Inc.
	LEX-M14-002 または LEX-M03-002
	A18-0046001 または A11-0160001

ワイヤレス製品に関する規制通知

このセクションに記載されている規制情報はワイヤレスモデルにのみ適用されます。

お使いのモデルがワイヤレスモデルかどうかを判別できない場合は <http://support.lexmark.com> を参照してください。

モジュールコンポーネントに関する通知事項

ワイヤレスモデルには、以下のモジュールコンポーネントのいずれか 1 点が搭載されています。

Lexmark 規制タイプ/モデル番号 LEX-M07-001、FCC ID: IYLLEXM07001、カナダ産業省(IC)規則:2376A-LEXM07001

Lexmark 規制タイプ/モデル番号 LEX-M08-001、FCC ID: IYLLEXM08001、カナダ産業省(IC)規則:2376A-LEXM08001

お使いの製品に搭載されているモジュールコンポーネントを確認するには、実際の製品に貼付されているラベルを参照してください。

高周波エネルギーの放射に対する被爆

この装置の高周波放射出力は、FCC およびその他の監督機関の高周波エネルギーに対する被爆制限値よりはるかに低いものです。アンテナおよび人体から本機器までの距離を最低 20 cm (8 インチ) 確保することにより、FCC の高周波エネルギーに対する被爆制限を満たすことができます。

複数のモデル情報

以下の情報は、CX421 (7529-230)、CX522 (7529-436)、MC2325 (7529-081)、MC2425 (7529-238)、MC2535 (7529-486)、XC2235 (7529-496) のすべてのプリンタ機種に適用されます。

日本の VCCI 規定

製品にこのマークが表示されている場合、次の要件を満たしています。



この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

モデル固有の情報

以下の情報は、プリンタ機種 CX622 (7529-636、7529-638)、CX625 (7529-836、7529-838)、MC2640 (7529-686)、XC4240 (7529-898) にのみ適用されます。

日本の VCCI 規定

製品にこのラベルが表示されている場合、次の要件を満たしています。

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。 VCCI-A

この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。 VCCI-A

電波障害について

警告

本製品は、EN 55032 のクラス A 制限の放射要件および EN55024 の電磁波耐性要件に準拠しています。本製品は、住宅環境での使用を目的としていません。

本製品はクラス A 製品です。本製品を家庭環境で使用すると電波障害を引き起こす場合があります。この場合には使用者が適切な対策を講じる必要があります。

索引

数字

1 枚の用紙に複数ページをコピーする 51

アルファベット

ADF(自動原稿フィーダ)内の紙詰まり 199

AirPrint
使用 43

etherFAX、使用する

FAX 機能を設定する 64

etherFAX を使用した FAX 機能の設定 64

etherFAX を使用して FAX を送受信できない 247

E メール

ショートカットを作成する 60

送信 59

原稿台ガラスを使用 52

自動原稿フィーダ(ADF)の使用 52

E メールアラート

セットアップ 162

E メールアラートをセットアップする 162

E メール機能

セットアップ 52

E メールサーバー

設定 52

E メールサーバー設定を構成する 52

E メールサービスプロバイダ 52

E メールショートカットを作成する 60

E メールに関するトラブルシューティング

E メールを送信できない 243

E メールを送信する 59

E メールを送信できない 243

FAX

送信 70

転送 73

保留 73

原稿台ガラスを使用 61

自動原稿フィーダ(ADF)の使用 61

日付および時刻の設定 70

Fax 宛先

ショートカットを作成する 71

Fax 宛先ショートカットを作成 71

FAX 解像度

変更 72

FAX 解像度を変更する 72

FAX サーバー、使用

FAX 機能の設定 65

FAX サーバーを使用した FAX 機能の設定 65

FAX スピーカーの設定

設定 163

FAX スピーカーを設定する 163

FAX 送付状ページに情報が無い 248

FAX ドライバ

設置 265

FAX ドライバをインストールする 265

FAX の印刷品質が悪い 247

FAX の初期設定

国または地域固有 68

標準電話回線接続 65

FAX の設定

国または地域固有 68

標準電話回線接続 65

FAX の濃度

調整 72

FAX の濃度を調整する 72

FAX の保留 73

FAX の問題に対処する

etherFAX を使用して FAX を送受信できない 247

etherFAX を設定できない 246

FAX 送付状ページに情報が無い 248

FAX の印刷品質が悪い 247

アナログ FAX を使用して FAX を送受信できない 246

アナログ FAX を使用して FAX を送受信できない 244

アナログ FAX を使用して FAX を送信できない 245

コンピュータから FAX 送付状ページを送信できない 248

発信者 ID が表示されない 243

FAX ログ

印刷 73

FAX をスケジュール設定する 71

FAX を送信 70

FAX を送信する
予約 71

FAX を転送する 73

FCC 通知 275

FTP アドレス

ショートカットを作成する 77

FTP サーバー、スキャン先

操作パネルを使用する 76

FTP ショートカットを作成する 77

HTTP/FTP の設定メニュー 146

ISP の取り付け後にプリンタポート設定を変更する 168

Lexmark ScanBack ユーティリティ

使用 75

Lexmark 以外の消耗品 235

Lexmark モバイル印刷

使用 43

LINE ポート 14

Mopria プリントサービス 43

QR コード

追加する 26

QR コードジェネレータを使用する 26

RJ-11 アダプタ 68

SMTP 設定

設定 52

USB ケーブル 14

USB ポート 14

有効化 231

USB ポートを有効にする 231

Wi-Fi Protected Setup

ワイヤレスネットワーク 165

wifi ダイレクト

設定 166

モバイルデバイスから印刷する 44

有効化 166

wifi ダイレクトを設定する 166

wifi ダイレクトを有効化 166

Wi-Fi ネットワーク

無効化 167

Wi-Fi ネットワークの無効化 167

あ行

明るさの調整
表示 190
アダプタプラグ 68
厚紙
用紙をセット 34
アナログ FAX
FAX を受信できない 246
セットアップ 63
アナログ FAX を使用して FAX を
受信できない 246
アナログ FAX を使用して FAX を
送受信できない 244
アプリケーション、サポートされてい
る 23
暗号化
プリンタハードディスク 160
安全に関する情報 8, 9, 10
イーサネットケーブル 14
イーサネットポート 14
イメージングキット
交換 181
注文 175
印刷
FAX ログ 73
Mopria プリントサービスを使用す
る 43
wifi ダイレクトを使用する 44
印刷ジョブを確認 46
印刷ジョブを繰り返し 46
印刷ジョブを戻す 46
クラウドコネクタプロファイルか
ら 47
コンピュータから 43
コンフィデンシャル印刷ジョブ 46
ディレクトリリスト 48
品質テストページ 158
フォントサンプルリスト 48
フラッシュドライブから 44
保持されたジョブ 46
メニュー設定ページ 158
モバイルデバイスから 43, 44
印刷が遅い 226
印刷時に封筒の封が閉じられ
る 236
印刷ジョブが印刷されない 225
印刷ジョブの保存 46
印刷ジョブを確認 46
印刷ジョブを繰り返し 46
印刷の問題に対処する
印刷が遅い 226

印刷時に封筒の封が閉じられ
る 236
印刷ジョブが印刷されない 225
紙詰まりが発生したページが再印
刷されない 240
コンフィデンシャルドキュメントお
よびその他の保留ドキュメントが
印刷されない 228
ジョブが正しくないトレイから印刷
される 228
ジョブが正しくない用紙で印刷さ
れる 228
正しくないマージン 210
トレイのリンクが動作しない 238
頻繁な紙詰まり 239
部単位印刷が動作しない 237
フラッシュメモリを読み取れな
い 230
印刷品質
スキャナを清掃する 169
印刷品質の問題に対処する
印刷が薄い 211
印刷が薄く見える 242
印刷が濃い 207
印刷が歪む 215
印刷されない色 213
印刷にゴーストイメージがあ
る 208
印刷の濃さが均一ではない 218
空白ページ 206
繰り返し発生する異常 224
グレースケールまたはカラーの背
景 209
白のページ 206
縦方向の色付きの線または縞模
様 220
縦方向の白い線 223
単色または黒の画像 215
トナーが簡単にはがれ落ち
る 217
まだらな印刷やドット 213
文字または画像が切り取られ
る 216
歪んだ印刷 215
用紙が巻いてしまう 237
横方向の黒い線 219
横方向の白い線 222
インジケータランプ
状態について理解する 20
エコ設定
設定 26

エコモード
設定 189
オプションカード
設置 259
オプションカードを取り付ける 259
オプションを取り付ける
プリンタハードディスク 261
音声ガイダンス
スピーチ速度 30
有効化 30
音声ガイダンスのスピーチ速度
調整 30
音声ガイダンスの有効化 30
音声のパスワード
有効化 31
音声のパスワードの有効化 31

か行

各コピー部数の間に挿入紙
挿入 51
拡大モード
有効化 30
拡大モードを有効にする 30
カスタマサポート
使用 26
問い合わせ 254
カスタマサポートに問い合わせ
る 254
カスタマサポートを使用する 26
仮想キーボード
使用 31
カードコピー
セットアップ 23
カートリッジを交換してください。プ
リンタの地域設定が一致ませ
ん 235
壁紙を変更する 24
紙詰まり
紙づまりが発生しているエリアに
アクセスする 192
場所 192
防止 191
紙詰まりが発生したページが再印
刷されない 240
紙詰まり、取り除く
自動原稿フィーダ(ADF)内 199
手差しフィーダ内 204
フューザー内 193
両面印刷ユニット内 193
紙詰まりを取り除く
標準排紙トレイ 199
多目的フィーダー 203

- トレイ内 193
 - 紙詰まりを防止する 191
 - 画面の操作
 - ジェスチャを使用する 30
 - 画面をカスタマイズする 24
 - カラー印刷についてのよくある質問 241
 - カラー補正
 - 手動 240
 - カラー補正の内容 240
 - 環境設定 189
 - 揮発性に関する記述 160
 - 揮発性メモリ 160
 - 消去 159
 - クラウドコネクタプロファイル
 - 印刷 47
 - 作成 26
 - スキャン 79
 - クラウドコネクタプロファイルを作成する 26
 - 繰り返し発生する異常 224
 - グループ
 - 削除 29
 - 追加する 28
 - 編集する 29
 - グループを削除する 29
 - グループを追加する 28
 - グループを編集する 29
 - ケーブルを接続する 14
 - 原稿台ガラス
 - 使用 49, 52, 61, 75
 - 原稿台ガラスを使用 49, 52, 61, 75
 - 個人 ID 番号
 - 有効化 31
 - 個人 ID 番号の有効化 31
 - 個人 ID 番号方式 165
 - コピー
 - ADF を使用 49
 - 原稿台ガラスを使用 49
 - 自動原稿フィーダ(ADF)の使用 49
 - ショートカットを作成する 51
 - 用紙の両面 50
 - コピーの拡大 50
 - コピーの区切りとしてセパレータ紙を挿入する 51
 - コピーの縮小 50
 - コピーの問題に対処する
 - コピー品質が悪い 251
 - スキヤナが応答しない 252
 - 文書や写真の一部分しかコピーされない 250
 - コピーを実行する 49
 - コントローラボード
 - アクセス 255
 - コントローラボードにアクセスする 255
 - コントロールパネル
 - Lexmark CX522 19
 - Lexmark CX622 19
 - Lexmark MC2535 19
 - Lexmark MC2640 19
 - Lexmark XC2235 19
 - コンピュータ
 - プリンタに接続する 167
 - コンピュータから FAX 送付状ページを送信できない 248
 - コンピュータから印刷する 43
 - コンピュータ、スキャン先 75
 - コンピュータにプリンタを追加する 265
 - コンピュータをプリンタに接続する 167
 - コンフィデンシャル印刷ジョブ 46
- ## さ行
- サポートされている FAX 62
 - サポートされているファイルタイプ 45
 - サポートされているフラッシュドライブ 45
 - サポートされている用紙サイズ 38
 - サポートされている用紙タイプ 40
 - サポートされている用紙の重さ 40
 - サポートされるアプリケーション 23
 - ジェスチャを使用した画面操作 30
 - 自動原稿フィーダ(ADF)
 - 使用 49, 52, 61, 75
 - 自動原稿フィーダ(ADF)の使用 49, 52, 61, 75
 - 写真
 - コピー 49
 - 写真をコピーする 49
 - 出荷時初期設定
 - 復元 160
 - 手動カラー補正
 - 適用 240
 - 使用
 - Lexmark 純正の消耗品 172
 - Lexmark 純正の部品 172
 - 消耗品
 - 節約 190
 - 消耗品使用量カウンタ
 - リセット 235
 - 消耗品使用量カウンタをリセットする 235
 - 消耗品通知
 - 設定 162
 - 消耗品通知を設定する 162
 - 消耗品の状態
 - 確認 172
 - 消耗品を交換する
 - トナーカートリッジ 176
 - 廃トナーボトル 178
 - ブラックイメージングキット 181
 - ブラックおよびカラーのイメージングキット 181
 - 消耗品を節約する 190
 - 消耗品を注文する
 - イメージングキット 175
 - トナーカートリッジ 172
 - 廃トナーボトル 175
 - 初期状態のデフォルトを復元する 160
 - 初期設定のスピーカー音量
 - 調整 163
 - 初期設定のスピーカー音量を調整する 163
 - 初期設定のヘッドホンの音量
 - 調整 163
 - 初期設定のヘッドホンの音量を調整する 163
 - ショートカット
 - Eメール 24
 - FAX 24
 - FTP 24
 - コピー 24
 - 作成 24
 - ショートカットコピーを作成する 51
 - ショートカットを作成する 24
 - Eメール 60
 - Fax 宛先 71
 - FTP アドレス 77
 - コピー 51
 - シリアル番号、プリンタ
 - 確認 16
 - スキヤナ
 - 清掃 169
 - スキヤナが閉じない 252
 - スキヤナのメンテナンスが必要、ADF キットを使用 236
 - スキヤナを清掃する 158
 - スキャン
 - Eメールへ 59

FTP サーバーへ 76
 クラウドコネクタプロファイル
 へ 79
 原稿台ガラスを使用 75
 コンピュータ 75
 自動原稿フィーダ(ADF)の使
 用 75
 ネットワークフォルダへ 77
 スキャンして FTP サーバーに送信
 する
 操作パネルを使用する 76
 スキャンしてネットワークフォルダに
 保存できない 249
 スキャンセンター
 セットアップ 25
 スキャンの問題に対処する
 コピー品質が悪い 251
 コンピュータからスキャンできな
 い 248
 スキャナが応答しない 252
 スキャンしてネットワークフォルダ
 に保存できない 249
 スキャンジョブが失敗しまし
 た 251
 スキャンに時間がかかりすぎ
 る 252
 スキャンによってコンピュータがフ
 リーズする 252
 文書や写真の一部分しかコピー
 されない 250
 スクリーンセーバーを管理する 24
 スピーカー
 初期設定のボリューム 163
 スピーチ速度の調整
 音声ガイダンス 30
 スライドショーを実行する 24
 スリープモード
 設定 189
 清掃
 スキャナ 169
 プリンタの外観 168
 プリンタの内部 168
 セキュリティスロット
 場所 159
 セキュリティスロットの場所 159
 設定ファイルをインポートする
 内蔵 Web サーバーを使用す
 る 267
 設定ファイルをエクスポートする
 内蔵 Web サーバーを使用す
 る 267

セットアップ
 アナログ FAX 63
 騒音レベル 270
 操作パネルを使用する
 Lexmark CX421 18
 Lexmark CX625 20
 Lexmark MC2325 18
 Lexmark MC2425 18
 Lexmark XC4240 20

た行

対処、印刷品質
 印刷が薄い 211
 印刷が薄く見える 242
 印刷が濃い 207
 印刷が歪む 215
 印刷されない色 213
 印刷にゴーストイメージがあ
 る 208
 印刷の濃さが均一ではない 218
 空白ページ 206
 繰り返し発生する異常 224
 グレースケールまたはカラーの背
 景 209
 白のページ 206
 縦方向の色付きの線または縞模
 様 220
 縦方向の白い線 223
 単色または黒の画像 215
 トナーが簡単にはがれ落ち
 る 217
 まだらな印刷やドット 213
 文字または画像が切り取られ
 る 216
 歪んだ印刷 215
 用紙が巻いてしまう 237
 横方向の黒い線 219
 横方向の白い線 222
 タッチ画面を清掃する 171
 タッチスクリーン
 清掃 171
 多目的フィーダー
 用紙をセット 34
 多目的フィーダ内の紙詰まり 203
 多目的フィーダに用紙をセットす
 る 34
 着信識別サービス、FAX
 有効化 70
 着信識別サービスへの接続 70
 注文
 フューザーメンテナンススキ
 ヲト 175

丁合印刷する
 コピー 50
 調整
 ADF 登録 253
 スキャナ登録 253
 通
 知 270, 271, 272, 273, 274,
 275, 276
 ディ스플레이の明るさ
 調整 190
 ディ스플레이のカスタマイズ
 使用 24
 ディ스플레이のカスタマイズを使用
 する 24
 ディ스플레이のキーボード
 使用 31
 ディレクトリリスト
 印刷 48
 手差しフィーダー
 用紙をセット 35
 デバイスクォータ
 セットアップ 25
 デバイスクォータを設定する 25
 電源コードソケット 14
 電源ボタンのランプ
 状態について理解する 20
 電力節約モード
 設定 189
 ドア A 内の紙詰まり 193
 ドキュメント、印刷
 コンピュータから 43
 モバイルデバイスから 43
 トナーカートリッジ
 交換 176
 注文 172
 トナーの濃さ
 調整 240
 トナーの濃さを調整する 240
 トラブルシューティング、E メール
 E メールを送信できない 243
 トレイ
 設置 264
 用紙をセット 32
 リンク 37
 リンク解除 37
 トレイ内の紙詰まり 193
 トレイのリンク 37
 トレイのリンク解除 37
 トレイを取り付ける 264

な行

内蔵 Web サーバーを開けない 231
 内蔵オプション
 ファームウェアカード 255
 プリンタハードディスク 255
 メモリカード 255
 内蔵オプション、追加
 プリントドライバ 266
 内蔵オプションを追加する
 プリントドライバ 266
 内部オプションが検出されません 233
 夏時間
 設定 70
 夏時間を設定する 70
 二酸化炭素排出量に関する通知 270, 275, 276
 ネットワークフォルダ
 スキャン 77

は行

廃トナーボトル
 交換 178
 廃トナーボトルを注文する 175
 ハイバネートモード
 設定 189
 ハードウェアオプション
 トレイ 264
 メモリカード 258
 ハードウェアオプション、追加
 プリントドライバ 266
 ハードウェアオプションを追加する
 プリントドライバ 266
 日付/時刻
 FAX 設定 70
 標準排紙トレイ内の紙詰まり 199
 ファームウェア、更新 267
 ファームウェアを更新する 267
 封筒
 用紙をセット 34, 35
 フォルダを作成する
 ブックマーク用 28
 フォントサンプルリスト
 印刷 48
 不揮発性メモリ 160
 消去 159
 複数のページをコピーする 51
 部単位印刷が動作しない 237
 ブックマーク
 作成 27
 フォルダを作成する 28
 ブックマークを作成する 27
 プッシュボタン方式 165
 部品と消耗品の状況を確認する 172
 部品の状態
 確認 172
 フューザーメンテナンスキット
 注文 175
 ブラックイメージングキットを注文する 175
 ブラックおよびカラーのイメージングキットを注文する 175
 フラッシュドライブ
 印刷 44
 スキャン 78
 フラッシュドライブから印刷する 44
 フラッシュドライブにスキャンする 78
 フラッシュメモリ不良 234
 フラッシュメモリを読み取れない
 問題に対処する、印刷 230
 プリンタ
 完全に設定 13
 搬送 189
 プリンタオプションの問題に対処する
 内蔵オプションが検出されない 233
 プリンタが応答していない 229
 プリンタ構成 13
 プリンタ周辺の温度 12, 272
 プリンタ周辺の湿度 272
 プリンタ周辺のスペース 12
 プリンタ情報
 確認 11
 プリンタ接続
 確認 233
 プリンタ設定
 工場出荷状態に復元する 160
 プリンタソフトウェア
 設置 265
 プリンタソフトウェアをインストールする 265
 プリンタに関する情報を見つける 11
 プリンタの状況 20
 プリンタのシリアル番号を確認する 16
 プリンタの清掃 168
 プリンタの接続を確認する 233

プリンタの設置場所
 選択 12
 プリンタの設置場所を選択する 12
 プリンタのハードディスクメモリを消去する 160
 プリンタのレポート
 表示 162
 プリンタハードディスク
 暗号化 160
 設置 261
 プリンタハードディスクメモリ 160
 消去 160
 プリンタポート 14
 プリンタポート設定
 変更 168
 プリンタメッセージ
 Lexmark 以外の消耗品 235
 カートリッジを交換してください。プリンタの地域設定が一致しません 235
 スキャナのメンテナンスが必要、ADF キットを使用 236
 フラッシュメモリ不良 234
 未フォーマットフラッシュメモリ検出 234
 リソース用のフラッシュメモリ空領域が不十分 234
 プリンタメニュー 80
 プリンタメモリ
 消去 159
 プリンタメモリを消去する 159, 160
 プリンタメモリを保護する 160
 プリンタを Wi-Fi に接続できない 232
 プリンタを移動する 188
 プリンタを接続する
 ワイヤレスネットワークに 164
 プリンタを着信音に割り当てる 70
 プリンタを搬送する 189
 プリントドライバ
 設置 265
 ハードウェアオプション、追加 266
 プリントドライバをインストールする 265
 保持されたジョブ 46
 ホーム画面
 アイコンの表示 23
 カスタマイズ 23
 ホーム画面のアイコン
 使用 22

表示 23
ホーム画面のアイコンの表示 23
ホーム画面を使用する 22

ま行

未フォーマットフラッシュメモリ検出 234
迷惑 FAX
ブロック 73
迷惑 FAX のブロック 73
メニュー
802.1x 146
E メール初期値設定 123
E メール設定 121
FAX 157
FAX サーバー設定 119
FAX 設定 110
FAX モード 109
FTP 初期値設定 129
HTML 102
HTTP/FTP の設定 146
IPSec 145
LPD 設定 146
PCL 101
PDF 100
PostScript 100
SNMP 144
TCP/IP 143
ThinPrint 147
USB 147
USB デバイスのスケジュー
ル 151
Web リンク設定 128
wifi ダイレクト 141
XPS 100
アクセシビリティ 88
イーサネット 142
一時データファイルの消去 155
印刷 156
印刷品質 97
エコモード 82
遠隔操作パネル 83
外部ネットワークアクセスの制
限 148
カスタムスキャンサイズ 105
画像 103
基本設定 81
権限を管理 149
工場出荷状態に復元 89
このプリンタについて 94
コピー初期設定 106
コンフィデンシャル印刷設定 154

ショートカット 157
ジョブアカウント 98
セキュリティ監査ログ 151
設定メニュー 90
セットアップ 96
その他 155
ソリューション LDAP 設定 155
通知 84
ディスク暗号化 154
デバイス 156
電源管理 87
匿名データの収集 88
トレイ構成設定 103
ネットワーク 157
ネットワークの概要 138
フラッシュドライブ印刷 137
フラッシュドライブスキャン 133
ヘルプ 157
ホーム画面アイコンの表示 94
未使用時の消去 94
メニュー設定ページ 156
問題に対処する 158
ユニバーサル設定 104
用紙の種類 105
レイアウト 95
ローカルアカウント 150
ログイン制限 153
ワイヤレス 139
メニュー設定ページ
印刷 158
メモリカード
設置 258
メモリカードを取り付ける 258
メモリを消去する
プリンタハードディスクから 160
モバイルデバイス
印刷 43, 44
プリンタに接続する 166
モバイルデバイスを接続する
プリンタに 166
問題に対処する
カラー印刷についてのよくある質
問 241
内蔵 Web サーバーを開けな
い 231
プリンタが応答していない 229
プリンタを Wi-Fi に接続できな
い 232
問題に対処する、FAX
etherFAX を使用して FAX を送
受信できない 247
etherFAX を設定できない 246

FAX 送付状ページに情報がな
い 248
アナログ FAX を使用して FAX を
送受信できない 244
アナログ FAX を使用して FAX を
送信できない 245
コンピュータから FAX 送付状ペ
ージを送信できない 248
発信者 ID が表示されない 243
問題に対処する、印刷
印刷が遅い 226
印刷時に封筒の封が閉じられ
る 236
印刷ジョブが印刷されない 225
紙詰まりが発生したページが再印
刷されない 240
コンフィデンシャルドキュメントお
よびその他の保留ドキュメントが
印刷されない 228
ジョブが正しくないトレイから印刷
される 228
ジョブが正しくない用紙で印刷さ
れる 228
正しくないマージン 210
トレイのリンクが動作しない 238
頻繁な紙詰まり 239
部単位印刷が動作しない 237
問題に対処する、コピー
コピー品質が悪い 251
スキャナが応答しない 252
スキャナが閉じない 252
文書や写真の一部分しかコピー
されない 250
問題に対処する、スキャン
コピー品質が悪い 251
コンピュータからスキャンできな
い 248
スキャナが応答しない 252
スキャナが閉じない 252
スキャンしてネットワークフォルダ
に保存できない 249
スキャンジョブが失敗しまし
た 251
文書や写真の一部分しかコピー
されない 250
問題に対処する、プリンタオプシ
ョン
内蔵オプションが検出されな
い 233

や行

ユニバーサル用紙

設定 32

ユニバーサル用紙を設定する 32

用紙サイズを設定する 32

用紙節約 51

用紙タイプを設定する 32

用紙を手差しフィーダにセットす

る 35

用紙をトレイにセットする 32

ら行

リサイクル

Lexmark 梱包 190

Lexmark 製品 190

リセット

消耗品使用量カウンタ 235

リソース用のフラッシュメモリ空領

域が不十分 234

両面コピー 50

留守番電話

セットアップ 65

レターヘッド

コピー 50

用紙をセット 34, 35

レターヘッド紙にコピーする 50

レポートを表示する 162

連絡先

削除 29

追加する 28

編集する 29

連絡先を削除する 29

連絡先を追加する 28

連絡先を編集する 29

わ行

ワイヤレスネットワーク 164

Wi-Fi Protected Setup 165

プリンタに接続する 164

ワイヤレスネットワークに接続する

PIN 方式を使用する 165

プッシュボタン方式を使用す

る 165